病 院 年 報

平成29年

日本赤十字社

名古屋第一赤十字病院

理　　念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基　本　方　針

1．皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2．高度・良質で安全な医療をいたします。
3．災害救護活動を積極的に行います。
4．周産期・小児及び救急医療を充実します。
5．医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6．職員の教育・研修を推進します。
7．健全経営を維持するように努めます。

ミ　ッ　シ　ョ　ン　ス　テ　ー　ト　メ　ン　ト

リーダーシップを発揮しよう	Leadership
チームワークを大切にしよう	Teamwork
互いにリスペクトする心を持とう	Respect
最高の医療レベルを目指そう	Best Quality
安全第一に心がけよう	Safety

患　者　さ　ん　の　権　利　と　責　務

当院は、患者さんやご家族のご意向を尊重し、医療者と患者さんとのより良いパートナーシップ（対等な協力関係）を築くため、「患者さんの権利と責務」を明示し、患者さん中心の医療を行うことに最大の努力をいたします。

患者さんの権利

1．人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2．病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3．患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4．ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。

５．所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
６．当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。
７．臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
８．診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

医療は、患者さんと医療者が信頼関係を築き協同することが肝要です。
この精神にのっとり患者さんに以下の点を望みます。

患者さんの責務

１．患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
２．検査や治療の内容を十分理解し、合意のうえでお受けください。
３．すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
４．医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
５．入院中は、病院の規則を守ってください。
６．適切な医療を維持するために、医療費をお支払いいただくことが必要です。支払い請求を受けたら、速やかにお支払いください。
７．当院は臨床研修指定病院（基幹型）で、研修医が直接医療に従事します。また、医学生、看護学生などの教育研修病院でもありますので、臨床教育にご理解とご協力をお願いします。

巻　頭　言

病院年報も１４冊目の発行となりました。ここ数年の医療を取り巻く状況の変化のスピードは驚くほどです。昨年も書きましたが、ダーウィンの言葉　“進化し続けるもののみが生き残ることができるのだ”　を毎日のように実感する日々です。医療を取り巻く時間の流れは、明らかに昨年よりも今年の方が早くなっています。今年度も、CT の更新、SPECT の更新、手術ロボット　ダ・ヴィンチの導入等枚挙に暇がありませんでした。京都大学　iPS 研究所の山中教授と細胞ストックプロジェクトで連携ができました。遺伝カウンセリングを開始し、それに呼応しガンゲノム医療の推進ができる体制が整いつつあります。常に病院を最新の状態にしておくことは、患者さんにとってより良い医療の提供ができるのみならず、職員にとっても向上心を鼓舞し、自らが成長する契機となります。今年度の地道な努力が実を結び来年度は公的資金が一部注入され、最新型医療機器の導入の予定もできました。

現在鋭意準備中である第５４回日本赤十字社医学会総会のテーマは『人工知能の時代にこそ人の手のぬくもりを　　～未来への懸け橋～』です。この時代、これからの時代にこそ医療人の熱く優しい心が求められます。当院の職員は最新型機器を使う良き医療人であってほしい、と思います。業績集は毎年内容が増加、充実してきています。日赤学会へも多くの発表を通じて当院の現在を発信して頂きたいと願っています。

平成３０年６月　　院長　　宮田　完志

目　　次

Ⅰ. 業務概要

1. 医事サービス第二課

(1)病院年度別患者数 …… 2
(2)平成29年度診療科別・月別患者数 …… 3
(3)平成29年度科別救急患者数 …… 5
(4)平成29年度曜日別救急患者数 …… 5
(5)平成29年度月別救急患者数 …… 6
(6)平成29年度地域別救急患者数 …… 6

2. 栄養課

(1)平成29年度栄養指導集計表 …… 7

3. 医療情報課

(1)大分類別退院患者数 …… 8
(2)大分類別退院患者数の推移 …… 9
(3)住所別退院患者数 …… 10
(4)主要疾患別退院患者数の推移 …… 11
(5)診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数 …… 13

4. 放射線科部

(1)平成29年度診療科別被検者数 …… 15
(2)年度別検査項目別件数 …… 17
(3)年度別放射線治療患者数 …… 17

5. 病理部・細胞診分子病理診断部

(1)診療科別生検検体数 …… 18
(2)病理特殊検査検体数 …… 18
(3)院外受託検査 …… 19
(4)剖検検体数(科別検体数、月別検体数) …… 19
(5)細胞診件数(検体種別検体数) …… 20
(6)遺伝子件数 …… 20

6. 輸血部

(1)平成29年度検査年報集計 …… 21
(2)平成29年度院内廃棄血集計(輸血管理室) …… 21
(3)平成29年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室) …… 22
(4)平成29年度成分採血室稼働状況 …… 22

7. 健診部
平成29年度健診実績 23

8. 薬剤部
(1) 入院・外来処方せん枚数 24
(2) 入院薬剤管理指導料算定数 24
(3) 妊娠と薬外来の相談件数 24
(4) 薬学生実務実習受け入れ人数 24
(5) 抗がん剤調製延患者数 25
(6) 新規の治験・製造販売後調査受託件数 25
(7) 専門薬剤師資格取得薬剤師数 25

9. 検査部
(1) 平成29年度検査種別稼動集計 26
(2) 平成29年度判断料 28
(3) 平成29年度検査加算・管理料 29

10. 看護部
(1) 看護部の理念 30
(2) 基本方針 30
(3) 看護部目標 30
(4) 専門分野と人数 30
(5) 平成29年度看護部行事・看護職員対象研修等一覧 32
(6) 育児休業復帰プログラムの実施 35
(7) 看護専門外来月別患者数 35
(8)「こころの相談室」利用者状況 36
(9) 看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数 36

11. リハビリテーション科部
(1) リハビリ依頼件数 37
(2) 平成29年度診療科別依頼件数 37
(3) PT/OT/ST 別　処方件数 37
(4) 平成29年度リハビリ延べ実施件数 37
(5) 平成29年度 ADL の改善状況 38

Ⅱ. 業績

1. 著書 40

2. 論文 42

3. 学会 62

4. 学術講演等記録 98

Ⅲ. 医療社会事業部

1. 地域医療連携室

(1)地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】 (年度別推移)…… 103
(2)地域医療支援病院【紹介率・逆紹介率】(年度月別推移)…… 103
(3)【診療科別】紹介件数 (過去5年度比較) …… 104
(4)【診療科別】逆紹介件数 (過去5年度比較) …… 104
(5)【地域、医療圏別】2 次医療圏別紹介元動向(過去5年度比較)…… 105
(6)【地域、医療圏別】2 次医療圏別逆紹介先動向(過去5年度比較)…… 105
(7)平成29年度医療機器等の共同利用の実績 …… 106
(8)病診連携システム学術セミナー開催状況…… 107
(9)平成29年度地域医療研修プログラム実績…… 109

2. 医療社会事業課

(1)平成29年度年間援助件数…… 126
(2)平成29年度科別援助件数…… 127
(3)平成29年度がん相談支援センター援助件数 …… 128

3. 社会課

(1)平成29年度災害救護訓練・研修派遣実績 …… 130
(2)病院ボランティア活動状況 …… 133
(3)地域福祉活動状況 …… 134

Ⅰ. 業　務　概　要

1．医事サービス第二課

（1）病院年度別患者数

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
外来	新患者数	44,449	43,740	39,527	39,483	36,738	36,474
	患者延数	402,015	407,408	400,199	406,607	404,379	399,482
	1日平均	1,647.6	1,676.6	1,646.9	1,680.2	1,664.1	1,644.0
入院	入院患者数	20,238	20,374	20,875	21,767	21,478	21,237
	退院患者数	20,236	20,329	20,855	21,773	21,474	21,311
	在院患者延数	254,484	255,955	258,196	258,519	258,867	260,833
	入院患者延数	274,720	276,284	279,051	280,292	280,341	282,144
	1日平均	752.7	756.9	764.5	765.8	768.1	773.0

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

（2）平成29年度診療科別・月別患者数（患者延数）

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	92	66	76	81	102	71
	腎臓内科	716	656	716	668	735	621
	内分泌科	1,575	1,466	1,660	1,532	1,614	1,561
	血液内科	1,216	1,226	1,250	1,207	1,385	1,274
	化学療法内科	12	10	12	10	9	8
	総合診療科	35	35	35	42	54	35
	精神科	26	33	27	32	31	31
	神経内科	1,947	1,953	2,007	2,061	1,948	1,919
	呼吸器内科	1,681	1,616	1,759	1,613	1,814	1,828
	消化器内科	3,273	3,197	3,588	3,425	3,606	3,517
	循環器内科	2,035	1,918	2,135	1,956	2,140	2,007
	小児科	1,838	1,674	1,821	1,956	2,304	1,864
	一般・消化器外科	1,539	1,510	1,559	1,442	1,658	1,529
	乳腺・内分泌外科	471	457	512	470	561	517
	整形外科	2,666	2,762	3,004	2,791	3,158	2,832
	形成外科	270	311	375	265	311	326
	脳神経外科	748	700	747	724	642	767
	呼吸器外科	318	330	409	289	275	426
	心臓血管外科	506	557	484	537	540	488
	血管外科	257	260	315	245	327	225
	小児外科	99	93	94	102	141	122
	皮膚科	1,289	1,237	1,389	1,221	1,501	1,190
	泌尿器科	1,471	1,222	1,628	1,572	1,536	1,549
	女性泌尿器科	549	645	585	599	657	462
	産婦人科	1,770	1,856	2,101	1,851	2,036	1,910
	眼科	745	843	959	856	872	837
	耳鼻咽喉科	1,734	1,629	1,614	1,781	1,728	1,687
	放射線科	569	629	781	671	727	736
	リハビリ	695	631	619	541	611	594
	歯科口腔外科	2,012	2,076	2,387	2,433	2,667	2,281
	合計	32,154	31,598	34,648	32,973	35,690	33,214

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	0	0	0	0	0	0
	腎臓内科	431	449	384	468	574	477
	内分泌科	419	301	186	190	353	169
	血液内科	2,345	2,404	2,204	2,524	2,622	2,319
	化学療法内科	13	13	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	神経内科	1,555	1,636	1,435	1,549	1,698	1,609
	呼吸器内科	2,014	2,283	1,973	2,094	2,625	2,478
	消化器内科	2,202	2,049	2,457	2,539	2,433	2,069
	循環器内科	1,587	1,369	1,235	1,282	1,124	1,253
	小児科	2,437	2,600	2,703	2,947	2,838	2,671
	一般・消化器外科	1,924	1,684	1,940	1,849	1,803	1,746
	乳腺・内分泌外科	274	230	167	326	273	267
	整形外科	1,505	1,545	1,484	1,645	1,566	1,301
	形成外科	65	82	108	99	90	94
	脳神経外科	580	541	494	549	666	718
	呼吸器外科	513	419	490	422	483	470
	心臓血管外科	1,021	960	925	901	780	657
	血管外科	170	146	156	172	232	152
	小児外科	58	61	54	24	79	75
	皮膚科	57	79	95	117	122	136
	泌尿器科	741	872	866	807	887	842
	女性泌尿器科	156	166	199	180	197	144
	産婦人科	2,358	2,359	2,421	2,523	2,301	2,284
	眼科	19	9	15	11	6	3
	耳鼻咽喉科	600	736	785	893	854	690
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	277	180	202	280	276	205
	合計	23,321	23,173	22,978	24,391	24,882	22,829

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
70	78	106	109	94	109	1,054	内科
658	647	668	654	598	702	8,039	腎臓内科
1,591	1,526	1,649	1,425	1,426	1,558	18,583	内分泌科
1,329	1,302	1,360	1,285	1,244	1,355	15,433	血液内科
14	10	4	4	7	9	109	化学療法内科
48	53	46	55	49	43	530	総合診療科
28	38	31	34	34	34	379	精神科
1,890	1,815	1,796	1,737	1,696	1,897	22,666	神経内科
1,760	1,735	1,870	1,899	1,707	1,965	21,247	呼吸器内科
3,645	3,657	3,560	3,066	3,072	3,437	41,043	消化器内科
1,977	2,028	1,991	1,948	1,902	2,167	24,204	循環器内科
1,740	1,671	1,993	1,780	1,771	2,192	22,604	小児科
1,573	1,541	1,551	1,447	1,497	1,567	18,413	一般・消化器外科
551	530	585	510	480	548	6,192	乳腺・内分泌外科
2,836	2,654	2,682	2,584	2,501	2,908	33,378	整形外科
327	324	377	340	287	323	3,836	形成外科
779	705	739	690	661	800	8,702	脳神経外科
402	289	372	353	277	364	4,104	呼吸器外科
564	494	508	478	457	497	6,110	心臓血管外科
276	251	278	216	234	262	3,146	血管外科
116	96	107	118	102	116	1,306	小児外科
1,204	1,243	1,170	1,148	973	1,209	14,774	皮膚科
1,619	1,384	1,631	1,496	1,468	1,710	18,286	泌尿器科
661	601	600	542	523	585	7,009	女性泌尿器科
2,045	1,956	1,944	1,878	1,908	2,128	23,383	産婦人科
881	833	843	768	749	851	10,037	眼科
1,726	1,738	1,878	1,870	1,810	1,973	21,168	耳鼻咽喉科
871	759	653	560	575	640	8,171	放射線科
575	519	539	603	608	640	7,175	リハビリ
2,538	2,394	2,361	2,249	2,342	2,661	28,401	歯科口腔外科
34,294	32,871	33,892	31,846	31,052	35,250	399,482	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
0	0	0	0	0	0	0	内科
444	591	553	678	572	517	6,138	腎臓内科
282	260	177	231	233	388	3,189	内分泌科
2,412	1,909	2,100	2,209	2,077	2,391	27,516	血液内科
0	0	0	0	0	0	26	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
1,536	1,504	1,459	1,494	1,420	1,325	18,220	神経内科
2,667	2,550	2,564	2,617	2,571	2,698	29,134	呼吸器内科
2,190	2,169	2,364	2,449	2,165	2,604	27,690	消化器内科
1,221	1,433	1,551	1,514	1,454	1,586	16,609	循環器内科
2,530	2,237	2,397	2,494	2,230	2,652	30,736	小児科
1,836	1,771	1,824	1,622	1,574	1,760	21,333	一般・消化器外科
209	236	193	199	278	190	2,842	乳腺・内分泌外科
1,536	1,442	1,589	1,574	1,519	1,429	18,135	整形外科
98	74	66	45	99	112	1,032	形成外科
893	729	740	915	625	739	8,189	脳神経外科
507	468	508	393	365	482	5,520	呼吸器外科
830	733	694	786	717	883	9,887	心臓血管外科
184	212	163	123	189	181	2,080	血管外科
60	28	69	55	51	62	676	小児外科
123	110	85	67	84	106	1,181	皮膚科
768	690	679	700	665	778	9,295	泌尿器科
204	181	177	172	175	208	2,159	女性泌尿器科
2,288	2,437	2,660	2,368	2,253	2,227	28,479	産婦人科
18	1	13	0	7	5	107	眼科
820	880	836	614	680	758	9,146	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
229	201	245	221	226	283	2,825	歯科口腔外科
23,885	22,846	23,706	23,540	22,229	24,364	282,144	合計

（3）平成29年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	1	258	259	1.1
腎臓内科	152	125	277	1.2
内分泌内科	99	142	241	1.1
血液内科	162	133	295	1.3
消化器内科	711	1,923	2,634	11.6
呼吸器内科	610	982	1,592	7.0
神経内科	617	1,296	1,913	8.4
循環器内科	647	1,190	1,837	8.1
一般消化器外科	356	277	633	2.8
呼吸器外科	39	30	69	0.3
心臓血管外科	153	216	369	1.6
血管外科	16	46	62	0.3
乳腺内分泌外科	5	26	31	0.1
小児外科	7	18	25	0.1
整形外科	390	2,143	2,533	11.2
リハビリ科	0	0	0	0.0
脳神経外科	260	1,146	1,406	6.2
産婦人科	480	779	1,259	5.6
小児科	703	2,619	3,322	14.7
耳鼻咽喉科	86	1,702	1,788	7.9
皮膚科	27	768	795	3.5
形成外科	3	107	110	0.5
泌尿器科	133	671	804	3.5
女性泌尿器科	5	7	12	0.1
眼科	0	100	100	0.4
歯科口腔外科	7	278	285	1.3
精神科	0	0	0	0.0
総合診療科	0	5	5	0.0
化学療法内科	0	0	0	0.0
放射線科	0	2	2	0.0
救急科	0	0	0	0.0
計	5,669	16,989	22,658	100.0

（4）平成29年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	1日平均
4月	227	217	193	192	226	368	428	1,851	61.7
5月	242	271	194	145	155	305	722	2,034	65.6
6月	230	210	199	270	275	294	313	1,791	59.7
7月	197	197	197	213	227	397	524	1,952	63.0
8月	226	249	251	259	159	319	394	1,857	59.9
9月	174	204	220	205	270	341	401	1,815	60.5
10月	224	251	220	203	201	259	441	1,799	58.0
11月	221	202	255	209	142	250	465	1,744	58.1
12月	225	198	222	224	218	377	498	1,962	63.3
1月	173	199	213	221	233	310	814	2,163	69.8
2月	188	226	204	207	228	297	437	1,787	63.8
3月	212	209	180	278	270	366	388	1,903	61.4
合計	2,539	2,633	2,548	2,626	2,604	3,883	5,825	22,658	62.1
平均	211.6	219.4	212.3	218.8	217.0	323.6	485.4	1,888.2	269.7
%	11.2	11.6	11.2	11.6	11.5	17.1	25.7	100.0	

（5）平成29年度月別救急患者数

	入　院			外　来			合　計
	時間内	時間外	深　夜	時間内	時間外	深　夜	
4月	(56)	(112)	(67)	(86)	(175)	(63)	(559)
	86	232	125	254	838	316	1,851
5月	(85)	(133)	(72)	(70)	(187)	(79)	(626)
	105	261	130	225	993	320	2,034
6月	(80)	(99)	(53)	(92)	(147)	(92)	(563)
	115	212	102	259	763	340	1,791
7月	(78)	(112)	(82)	(99)	(157)	(67)	(595)
	112	237	141	255	877	330	1,952
8月	(78)	(126)	(80)	(78)	(154)	(74)	(590)
	112	240	134	249	779	343	1,857
9月	(84)	(144)	(64)	(84)	(155)	(84)	(615)
	111	259	129	243	737	336	1,815
10月	(96)	(109)	(62)	(81)	(155)	(76)	(579)
	134	217	123	251	790	284	1,799
11月	(94)	(119)	(52)	(86)	(147)	(68)	(566)
	130	218	90	235	794	277	1,744
12月	(99)	(113)	(86)	(83)	(170)	(73)	(624)
	140	213	133	259	925	292	1,962
1月	(71)	(137)	(65)	(79)	(159)	(75)	(586)
	114	261	115	281	1,035	357	2,163
2月	(84)	(108)	(64)	(78)	(116)	(70)	(520)
	135	228	107	271	749	297	1,787
3月	(80)	(121)	(71)	(86)	(159)	(71)	(588)
	125	222	121	315	816	304	1,903
合計	(985)	(1,433)	(818)	(1,002)	(1,881)	(892)	(7,011)
	1,419	2,800	1,450	3,097	10,096	3,796	22,658
1日平均	(2.7)	(3.9)	(2.2)	(2.7)	(5.2)	(2.4)	(19.2)
	3.9	7.7	4.0	8.5	27.7	10.4	

※(　)内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

（6）平成29年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	7,786	名古屋市以外	清須市	1,276
	中川区	3,514		津島市	280
	西区	1,350		北名古屋市	147
	北区	346		稲沢市	200
	中区	448		愛西市	177
				あま市	2,490
	その他	1,231		その他	861
	小計	14,675		小計	5,431
海部郡	大治町	1,477	西春日井郡	豊山町	12
	蟹江町	185		その他	0
	その他	6		小計	12
			その他	県外	747
	小計	1,668		不明	25

2. 栄養課

(1) 平成29年度栄養指導集計表

【 個人指導 】 ［ 単位＝件 ］

		糖尿病食	心臓病食	脂質異常症	腎臓病食	胃切術後食	潰瘍食	低残渣食	痛風食	肝臓食	その他	合計
入院	28年度	199	236	11	76	114	82	26	0	4	162	910
	29年度	203	311	11	99	131	77	8	0	3	208	1,051
外来	28年度	234	65	42	59	5	1	1	0	2	64	473
	29年度	235	47	61	91	2	0	1	2	5	73	517
合計	28年度	433	301	53	135	119	83	27	0	6	226	1,383
	29年度	438	358	72	190	133	77	9	2	8	281	1,568

【 集団指導 】 ［ 単位＝人 ］

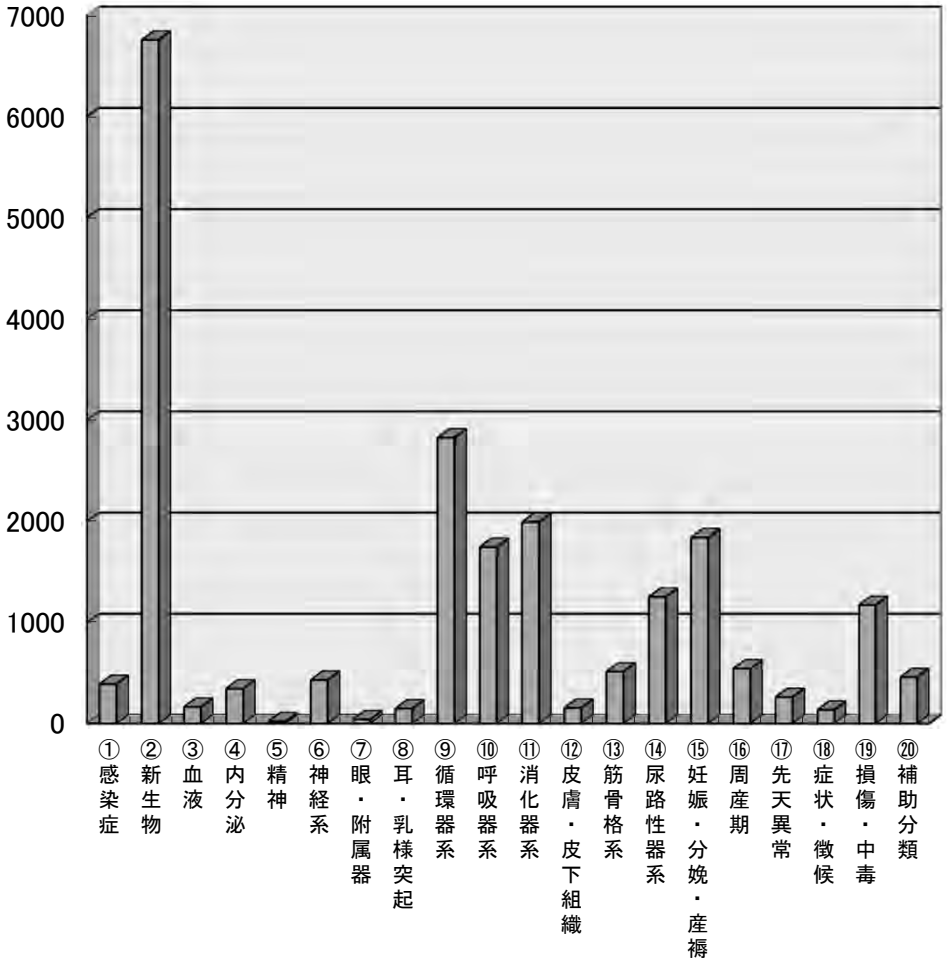
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	28年度	15	13	9	15	9	6	10	12	10	4	17	12	132
	29年度	9	4	12	5	13	5	8	7	8	7	15	12	105

3. 医療情報課

平成29年退院患者に関する諸統計

（1）大分類別退院患者数

＜基準＞
・2017/1/1～2017/12/31　退院
・患者数 ⇒ 延人数
・退院時診療科



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	390	⑪消化器系	1,993
②新生物	6,758	⑫皮膚・皮下組織	155
③血液	164	⑬筋骨格系	514
④内分泌	346	⑭尿路性器系	1,254
⑤精神	20	⑮妊娠・分娩・産褥	1,841
⑥神経系	432	⑯周産期	543
⑦眼・附属器	40	⑰先天異常	261
⑧耳・乳様突起	148	⑱症状・徴候	135
⑨循環器系	2,826	⑲損傷・中毒	1,173
⑩呼吸器系	1,747	⑳補助分類	460
合計		21,200	

（2）大分類別退院患者数の推移（2005年～2017年）

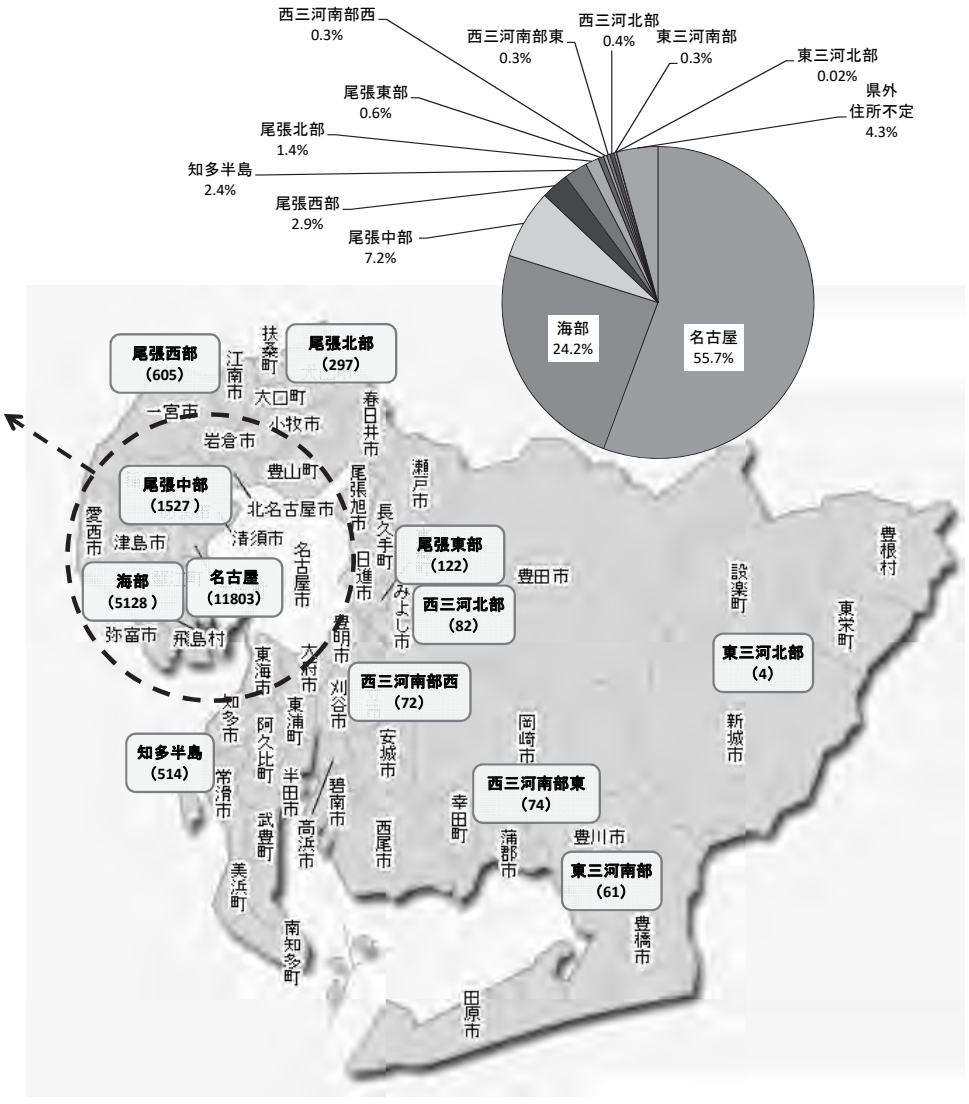
大分類 / 年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
①感染症	453	457	352	351	379	398	436	473	501	511	463	429	390
②新生物	3,823	3,910	4,380	4,557	4,805	5,443	5,711	5,861	5,874	5,841	6,557	6,786	6,758
③血液	123	126	136	126	127	140	149	163	163	196	175	182	164
④内分泌	420	390	289	276	230	314	248	298	285	322	306	342	346
⑤精神	33	34	17	18	17	9	15	10	16	13	6	19	20
⑥神経系	479	491	479	467	387	448	471	502	544	510	463	422	432
⑦眼および附属器	370	403	446	428	460	380	243	107	101	76	27	48	40
⑧耳・乳様突起	190	215	215	194	154	124	148	127	164	162	177	154	148
⑨循環器系	2,623	2,487	2,491	2,493	2,465	2,592	2,486	2,565	2,625	2,634	2,738	2,799	2,826
⑩呼吸器系	1,578	1,415	1,421	1,343	1,295	1,586	1,603	1,662	1,784	1,707	1,811	1,708	1,747
⑪消化器系	1,526	1,598	1,647	1,698	1,617	1,854	1,909	2,041	1,970	2,040	2,043	2,033	1,993
⑫皮膚・皮下組織	170	140	142	158	134	125	182	151	164	165	197	165	155
⑬筋骨格系	406	492	506	516	476	545	474	450	519	519	496	518	514
⑭尿路性器系	733	712	937	1,011	983	1,012	1,126	1,152	1,131	1,195	1,233	1,292	1,254
⑮妊娠・分娩・産褥	1,409	1,533	1,632	1,524	1,734	1,890	1,898	1,988	1,896	2,007	2,044	2,013	1,841
⑯周産期	567	603	672	625	589	602	572	582	626	621	659	629	543
⑰先天異常	229	266	322	307	241	220	222	249	217	206	223	221	261
⑱症状・診断不明確	343	271	224	143	101	56	91	65	53	81	93	138	135
⑲損傷・中毒	865	853	962	914	860	972	1,175	1,110	1,064	1,184	1,083	1,148	1,173
⑳補助分類	633	626	516	430	384	458	517	567	534	560	545	437	460
合　計	16,973	17,022	17,786	17,579	17,438	19,168	19,676	20,123	20,231	20,550	21,339	21,483	21,200

(3)住所別退院患者数

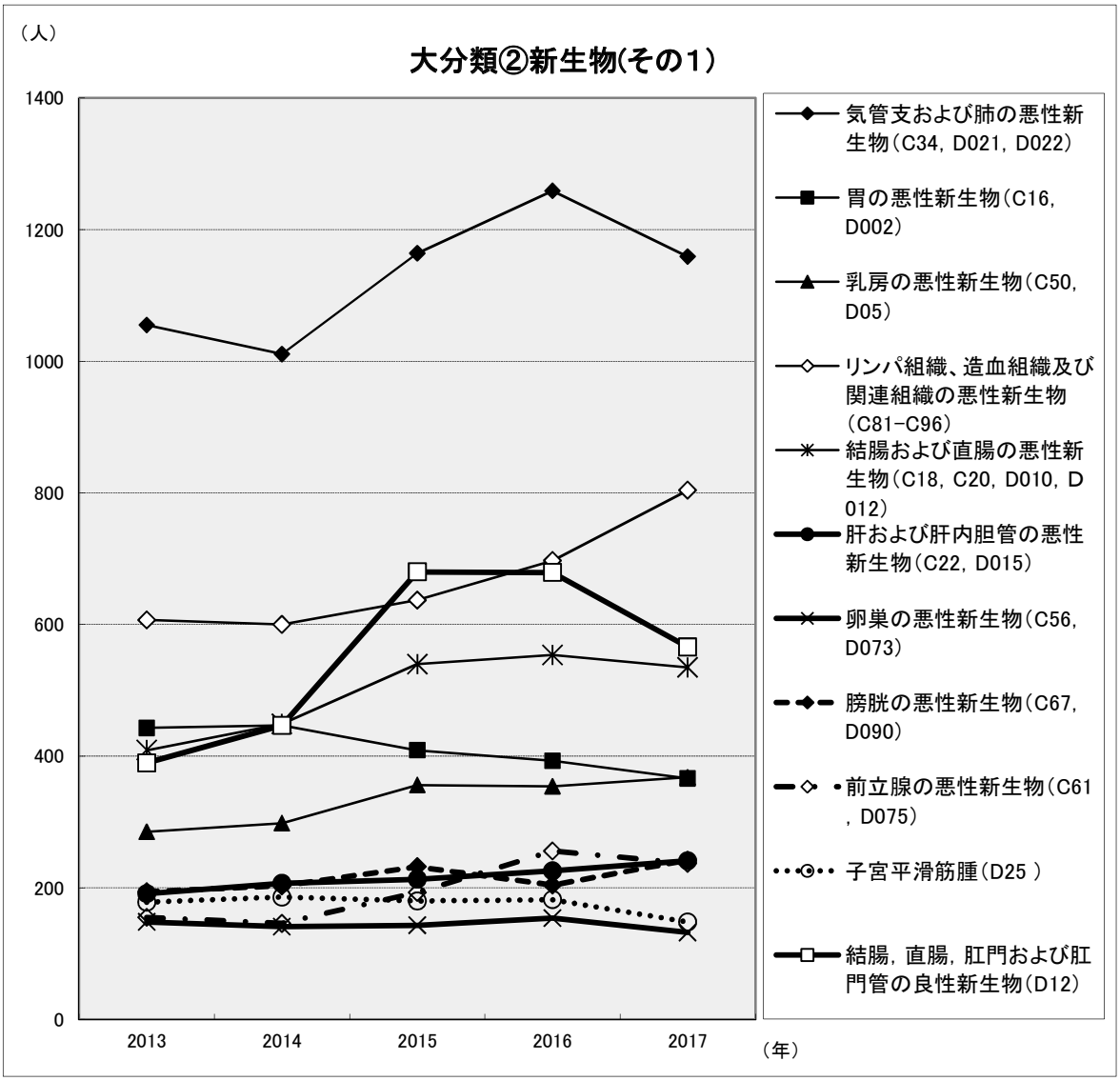
県内・外	2次医療圏	合計	①感染症	②新生物	③血液	④内分泌	⑤精神	⑥神経系	⑦眼および附属器	⑧耳・乳様突起	⑨循環器系	⑩呼吸器系	⑪消化器系	⑫皮膚・皮下組織	⑬筋骨格系	⑭尿路性器系	⑮妊娠・分娩・産褥	⑯周産期	⑰先天異常	⑱症状・診断不明確	⑲損傷・中毒	⑳補助分類
愛知県	名古屋	11,803	242	3,523	100	208	12	259	24	76	1,578	1,102	1,180	101	308	663	962	289	118	85	734	239
	海部	5,128	91	1,948	30	72	－	112	11	34	693	398	516	28	120	287	283	73	49	20	245	113
	尾張中部	1,527	27	493	18	21	－	33	－	－	215	123	137	－	32	86	131	28	15	14	93	40
	尾張東部	122	－	18	－	11	－	－	－	－	14	－	－	－	－	16	21	10	－	－	－	－
	尾張西部	605	－	254	－	－	－	－	－	－	65	38	41	－	14	42	55	17	－	－	24	11
	尾張北部	297	－	80	－	10	－	－	－	－	43	－	21	－	－	26	37	22	－	－	－	12
	知多半島	514	－	106	－	－	－	－	－	－	113	18	19	－	－	18	125	43	12	－	23	－
	西三河北部	82	－	34	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	11	－	－	－	－
	西三河南部東	74	－	21	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－
	西三河南部西	72	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	13	22	－	－	－	－	－
	東三河北部	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東三河南部	61	－	20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	11	－	－	－	－	－
	小計	20,289	377	6,505	158	335	19	428	39	131	2,739	1,706	1,931	151	492	1,174	1,668	500	228	131	1,142	435
県外	岐阜	265	－	93	－	－	－	－	－	－	22	13	16	－	－	30	23	－	14	－	11	－
	三重県	310	－	114	－	－	－	－	－	15	33	17	14	－	－	39	16	－	11	－	－	11
	静岡	30	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	300	－	36	－	－	－	－	－	－	28	11	27	－	－	－	129	30	－	－	－	－
	住所不定	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計	911	13	253	6	11	1	4	1	17	87	41	62	4	22	80	173	43	33	4	31	25
総計		21,200	390	6,758	164	346	20	432	40	148	2,826	1,747	1,993	155	514	1,254	1,841	543	261	135	1,173	460

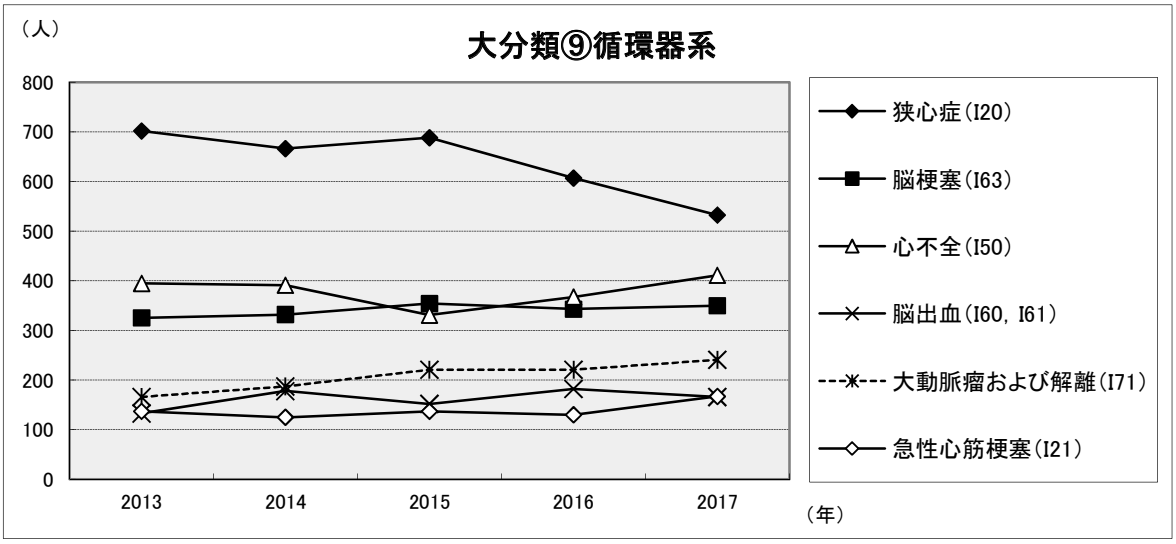
※各項目10件以下(0を含む)は、－で示した。

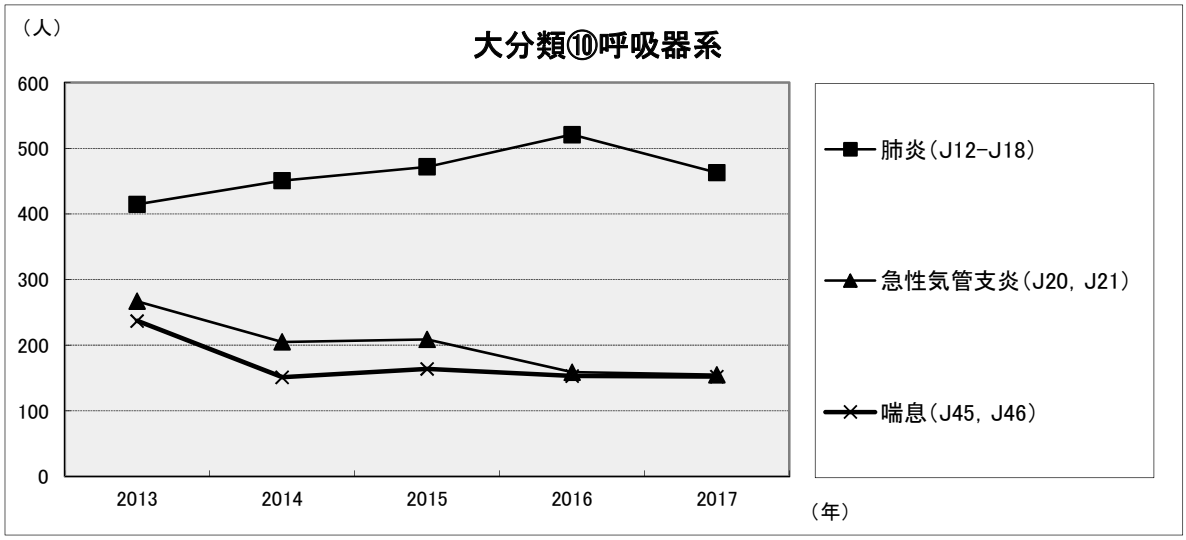
2次医療圏	地区	延人数
名古屋	中村区	5,520
	中川区	3,105
	西区	1,142
	港区	325
	中区	325
	北区	258
	緑区	120
	千種区	166
	熱田区	137
	守山区	87
	名東区	122
	南区	133
	東区	124
	瑞穂区	53
	天白区	77
	昭和区	109
海部	あま市	2,662
	大治町	1,250
	津島市	492
	愛西市	329
	蟹江町	325
	弥富市	62
	飛島村	8
尾張中部	清須市	1,263
	北名古屋市	236
	豊山町	28

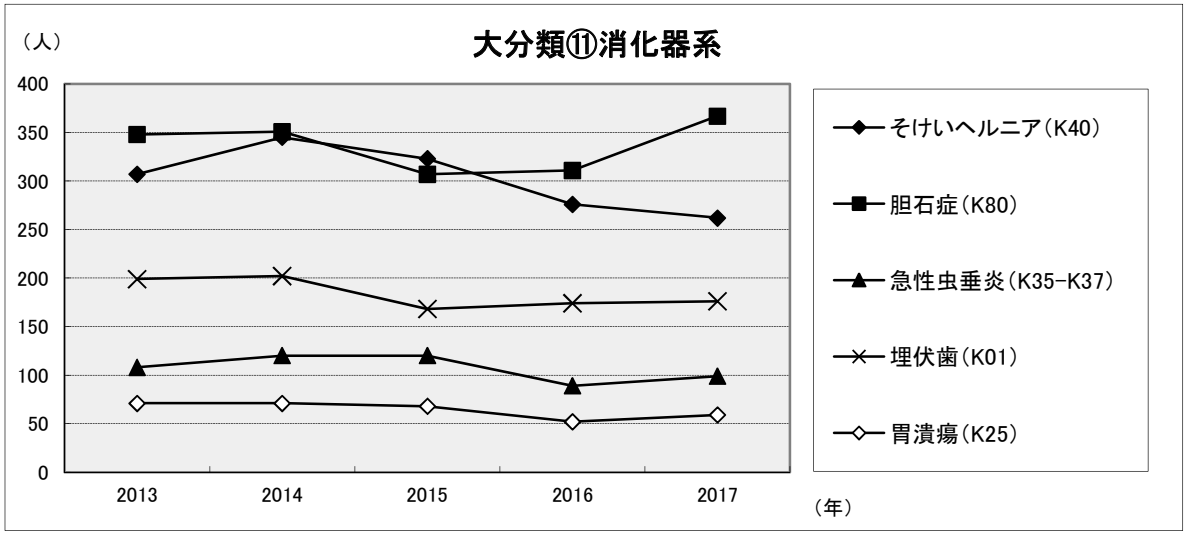


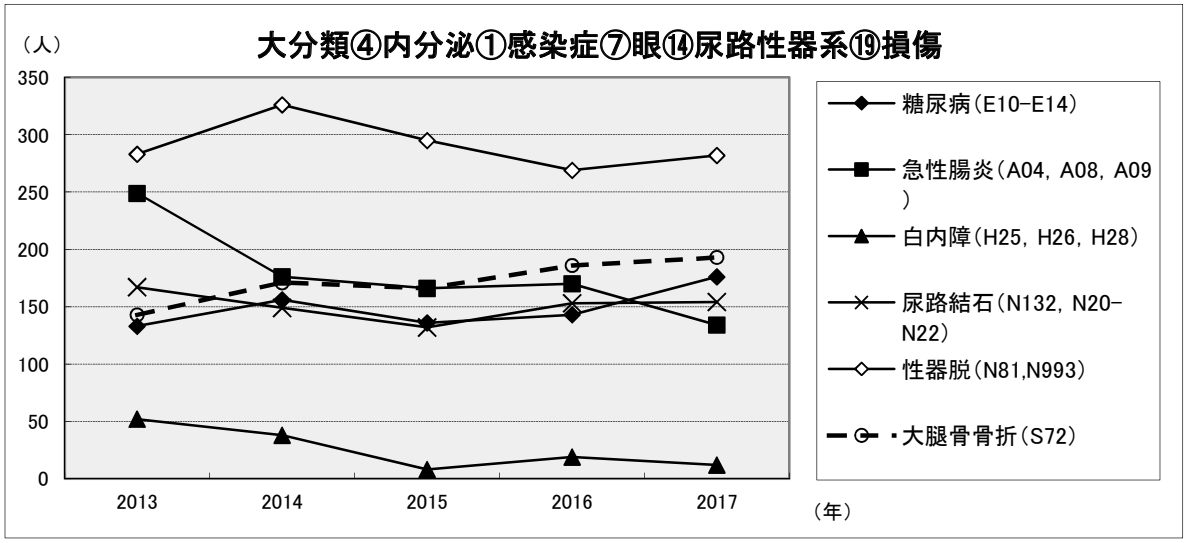
（４）主要疾患別退院患者数の推移（2013年～2017年）






（人）
大分類⑩呼吸器系
600
500
400
300
200
100
0
2013
2014
2015
2016
2017
（年）
肺炎（J12-J18）
急性気管支炎（J20，J21）
喘息（J45，J46）


（人）
大分類⑪消化器系
400
350
300
250
200
150
100
50
0
2013
2014
2015
2016
2017
（年）
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35-K37）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


（人）
大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
350
300
250
200
150
100
50
0
2013
2014
2015
2016
2017
（年）
糖尿病（E10-E14）
急性腸炎（A04，A08，A09）
白内障（H25，H26，H28）
尿路結石（N132，N20-N22）
性器脱（N81,N993）
・大腿骨骨折（S72）

（5）診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段：患者数、下段：平均在院日数）

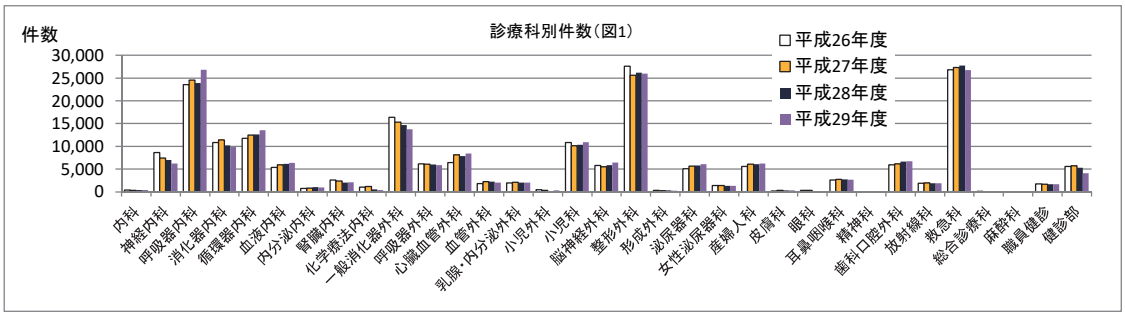
診療科	1病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科										
内 科										
化学療法内科										
呼吸器内科	C34 気管支および肺の悪性新生物	872	J18 肺炎、病原体不詳	102	J69 固形物および液状物による肺臓炎	94	J15 細菌性肺炎、他に分類されないもの	89	J84 その他の間質性肺疾患	82
		14.2		15.5		24.1		15.6		21.3
循環器内科	I20 狭心症	433	I50 心不全	357	I21 急性心筋梗塞	145	I48 心房細動および粗動	113	I44 房室ブロックおよび左脚ブロック	45
		3.7		21.1		17.3		3.7		13.8
消化器内科	D12 結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	1132	K80 胆石症	418	C22 肝および肝内胆管の悪性新生物	400	C16 胃の悪性新生物	306	C25 膵の悪性新生物	260
		2.5		12.4		15.5		14.9		20.6
神経内科	I63 脳梗塞	332	I61 脳内出血	94	G40 てんかん	45	G20 パーキンソン＜Parkinson＞病	34	G45 一過性脳虚血発作および関連症候群	33
		21.5		24.2		13.5		38.0		8.5
血液内科	C92 骨髄性白血病	165	C83 びまん性非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫	158	C91 リンパ性白血病	88	C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	61	D46 骨髄異形成症候群	49
		39.6		26.8		38.3		34.7		41.9
内分泌内科	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	11	E87 その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	23	E10 インスリン依存性糖尿病＜IDDM＞	21	E05 甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］	8	E23 下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害	8
		14.6		10.5		12.5		18.5		12.5
腎臓内科	N18 慢性腎不全	146	N10 急性尿細管間質性腎炎	48	N02 反復性および持続性血尿	48	N04 ネフローゼ症候群	21	I50 心不全	11
		13.8		13.3		13.3		18.4		27.1
一般消化器外科	C18 結腸の悪性新生物	277	C16 胃の悪性新生物	212	K40 そけい＜鼠径＞ヘルニア	180	K80 胆石症	155	K91 消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	101
		16.7		17.1		2.3		8.6		11.6
血管外科	I70 アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化(症)	117	I71 大動脈瘤および解離	112	I83 下肢の静脈瘤	38	I72 その他の動脈瘤	20	I74 動脈塞栓症および血栓症	7
		4.3		11.0		2.4		6.9		6.4
乳腺・内分泌外科	C50 乳房の悪性新生物	261	C73 甲状腺の悪性新生物	28	D05 乳房の上皮内癌	15	D24 乳房の良性新生物	8	D34 甲状腺の良性新生物	8
		9.2		7.6		7.7		4.4		7.5
呼吸器外科	C34 気管支および肺の悪性新生物	280	J93 気胸	73	C78 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	23	S27 その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	13	D38 中耳、呼吸器および胸腔内臓器の性状不祥又は不明の新生物	8
		12.2		10.3		8.3		11.5		8.1
小児外科	K40 そけい＜鼠径＞ヘルニア	81	K42 臍ヘルニア	45	Q53 停留精巣＜睾丸＞	22	K35 急性虫垂炎	16	N47 過長包皮、包茎およびかん＜嵌＞頓包茎	7
		2.3		2.6		3.0		6.7		2.9
心臓血管外科	I35 非リウマチ性大動脈弁障害	112	I71 大動脈瘤および解離	108	I20 狭心症	99	I34 非リウマチ性僧帽弁障害	64	I08 連合弁膜症	32
		15.2		20.9		13.7		16.4		18.5
産婦人科	O70 分娩における会陰裂傷＜laceration＞	567	O47 偽陣痛	202	O34 既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのための母体ケア	202	C53 子宮頚(部)の悪性新生物	161	C54 子宮体部の悪性新生物	158
		6.9		23.4		9.1		17.2		9.7
小児科	P07 妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	322	J20 急性気管支炎	101	J18 肺炎、病原体不詳	85	J46 喘息発作重積状態	81	P22 新生児の呼吸窮＜促＞迫	67
		34.4		6.3		6.4		5.7		8.6
整形外科	S72 大腿骨骨折	192	Z47 その他の整形外科的経過観察＜フォローアップ＞ケア	176	S52 前腕の骨折	137	S42 肩および上腕の骨折	103	M48 その他の脊椎障害	91
		19.3		2.7		3.6		8.3		14.8
脳神経外科	S06 頭蓋内損傷	146	I60 くも膜下出血	41	I61 脳内出血	37	C71 脳の悪性新生物	35	I67 その他の脳血管疾患	26
		14.6		30.2		32.5		25.5		8.8
泌尿器科	C61 前立腺の悪性新生物	235	C67 膀胱の悪性新生物	135	Z03 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価	126	D09 その他および部位不明の上皮内癌	111	N20 腎結石および尿管結石	78
		5.5		12.8		2.7		6.6		7.4
女性泌尿器科	N81 女性性器脱	254	N39 尿路系のその他の障害	54	N99 尿路性器系の処置後障害、他に分類されないもの	28	C67 膀胱の悪性新生物	3	N20 腎結石および尿管結	1
		6.0		3.3		5.3		7.4		3.0
耳鼻咽喉科	J35 扁桃およびアデノイドの慢性疾患	82	H71 中耳真珠腫(症)	45	J32 慢性副鼻腔炎	43	C32 喉頭の悪性新生物	31	H65 非化膿性中耳炎	30
		7.1		13.1		8.3		31.1		3.5
眼科	H25 老人性白内障	8	H30 網脈絡膜の炎症	4	H02 眼瞼のその他の障害	3	H26 その他の白内障	3	H43 硝子体の障害	2
		2.5		7.5		3.0		2.0		2.0
皮膚科	L03 蜂巣炎	23	B02 帯状疱疹［帯状ヘルペス］	11	C44 皮膚のその他の悪性新生物	10	L72 皮膚および皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	6	L12 類天疱瘡	5
		14.4		11.1		4.6		3.8		20.8
形成外科	D17 良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	83	C50 乳房の悪性新生物	14	H02 眼瞼のその他の障害	12	Q17 耳のその他の先天奇形	7	D22 メラニン細胞性母斑の良性新生物	7
		4.4		6.6		3.6		3.3		3.1
歯科口腔外科	K01 埋伏歯	176	K05 歯肉炎および歯周疾患	68	K04 歯髄および根尖歯周組織の疾患	25	K09 口腔部のう＜嚢＞胞、他に分類されないもの	23	C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物	19
		2.1		2.1		2.4		4.3		24.6

診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科										
内 科										
化学療法内科										
呼吸器内科	J46 喘息発作重積状態	53	J93 気胸	43	J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	38	J44 その他の慢性閉塞性肺疾患	26	J10 インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	23
		10.4		15.3		17.3		14.3		15.3
循環器内科	I35 非リウマチ性大動脈弁障害	42	I47 発作性頻拍(症)	39	I25 慢性虚血性心疾患	39	T82 心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	28	I49 その他の不整	22
		9.5		7.3		2.9		10.0		14.0
消化器内科	C18 結腸の悪性新生物	128	K57 腸の憩室性疾患	114	C15 食道の悪性新生物	114	K63 腸のその他の疾患	112	C24 その他および部位不明の胆道の悪性新生物	112
		11.2		8.9		18.8		2.2		18.9
神経内科	J69 固形物および液状物による肺臓炎	31	G12 脊髄性筋萎縮症および関連症候群	23	G23 基底核のその他の変性疾患	22	G04 脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	11	G91 水頭症	11
		26.1		29.4		24.1		55.9		6.9
血液内科	C82 ろ＜濾＞胞性[結節性]非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫	39	C84 末梢性および皮膚T細胞リンパ腫	38	J18 肺炎、病原体不詳	27	C85 非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他および詳細不明の型	27	D69 紫斑病およびその他の出血性病態	23
		21.2		26.9		17.4		30.8		23.6
内分泌内科	J69 固形物および液状物による肺臓炎	6	A41 その他の敗血症	5	E24 クッシング＜Cushing＞症候群	4	E80 ポルフィリンおよびビリルビン代謝障害	4	J18 肺炎、病原体不詳	3
		26.8		17.6		4.8		7.5		7.0
腎臓内科	E87 その他の体液、電解質および酸塩基平衡障害	10	J18 肺炎、病原体不詳	8	M31 その他のえ＜壊＞死性血管障害	8	Q61 のう＜嚢＞胞性腎疾患	7	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	6
		23.4		33.5		24.6		4.1		10.3
一般消化器外科	C20 直腸の悪性新生物	100	K35 急性虫垂炎	78	C50 乳房の悪性新生物	75	C19 直腸S状結腸移行部の悪性新生物	63	C15 食道の悪性新生物	63
		20.9		8.6		7.4		12.4		23.7
血管外科	T82 心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	5	K55 腸の血行障害	3	T81 処置の合併症、他に分類されないもの	2	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	2	I26 肺塞栓症	2
		19.2		27.7		23.5		3.0		4.0
乳腺・内分泌外科	E04 その他の非中毒性甲状腺腫	6	E05 甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	3	E21 副甲状腺＜上皮小体＞機能亢進症及びその他の副甲状腺＜上皮小体＞障害	3	D70 無顆粒球症	2	C77 リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物	2
		5.8		6.0		7.7		10.0		5.5
呼吸器外科	J85 肺および縦隔の膿瘍	7	C37 胸腺の悪性新生物	6	D15 その他および部位不明の胸腔内臓器の良性新生物	3	Z03 疾病および病態の疑いに対する医学	3	J84 その他の間質性肺疾患	2
		9.4		9.7		5.0		10.3		8.0
小児外科	Q40 上部消化管のその他の先天奇形	5	N43 精巣＜睾丸＞水瘤および精液瘤	3	Q89 その他の先天奇形、他に分類されないもの	3	Q43 腸のその他の先天奇形	2	Q55 男性性器のその他の先天奇形	2
		5.2		2.3		2.3		5.0		3.0
心臓血管外科	I50 心不全	31	I21 急性心筋梗塞	21	Q21 心(臓)中隔の先天奇形	16	T82 心臓および血管のプロステーシス、挿入物および移植片の合併症	7	I25 慢性虚血性心疾患	6
		18.2		28.2		8.3		44.7		33.5
産婦人科	D25 子宮平滑筋腫	148	C56 卵巣の悪性新生物	131	D27 卵巣の良性新生物	100	O14 明らかなたんぱく＜蛋白＞尿を伴う妊娠高血圧(症)	68	O32 既知の胎位異常またはその疑いのための母体ケア	63
		7.4		12.3		6.6		10.2		9.2
小児科	P59 その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	66	C91 リンパ性白血病	61	R56 けいれん＜痙攣＞、他に分類されないもの	53	A08 ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	46	J21 急性細気管支炎	45
		3.3		58.6		4.0		3.8		6.0
整形外科	S82 下腿の骨折、足首を含む	74	G56 上肢の単ニューロパチ＜シ＞ー	53	M47 脊椎症	49	S32 腰椎および骨盤の骨折	43	M51 その他の椎間板障害	33
		18.6		2.0		15.0		21.8		10.0
脳神経外科	I63 脳梗塞	12	D32 髄膜の良性新生物	9.0	G40 てんかん	9	G91 水頭症	8	I65 脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	6
		18.9		13.8		13.8		12.9		9.2
泌尿器科	N13 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患	78	C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	65	N40 前立腺肥大(症)	36	N10 急性尿細管間質性腎炎	32	C65 腎盂の悪性新生物	22
		9.9		15.1		8.9		10.5		16.9
女性泌尿器科	D09 その他および部位不明の上皮内癌	1	N21 下部尿路結石	1	N36 尿道のその他の障害	1	A41 その他の敗血症	1	N35 尿道狭窄	1
		7.0		5.0		3.0		7.0		3.0
耳鼻咽喉科	C10 中咽頭の悪性新生物	28	D11 大唾液腺の良性新生物	28	C12 梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物	25	J36 扁桃周囲膿瘍	24	J03 急性扁桃炎	22
		22.6		8.1		18.6		5.5		5.8
眼科	E11 インスリン非依存性糖尿病＜NIDDM＞	2	H27 水晶体のその他の障害	2	H35 その他の網膜障害	1	H16 角膜炎	1	H40 緑内障	1
		2.5		3.0		3.0		4.0		2.0
皮膚科	L51 多形紅斑	5	D04 皮膚の上皮内癌	3	L63 円形脱毛症	3	D22 メラニン細胞性母斑の良性新生物	3	D23 皮膚のその他の良性新生物	3
		11.4		4.3		4.3		2.3		6.0
形成外科	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	6	L72 皮膚および皮下組織の毛包のう＜嚢＞胞	6	L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍	4	L91 皮膚の肥厚性障害	4	D18 血管腫およびリンパ管腫、各部位	4
		8.8		3.0		3.0		3.5		3.0
歯科口腔外科	C03 歯肉の悪性新生物	15	K10 顎骨のその他の疾患	14	K07 歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	14	S02 頭蓋骨および顔面骨の骨折	11	K11 唾液腺疾患	10
		38.7		4.5		9.9		9.5		5.6

4. 放射線科部

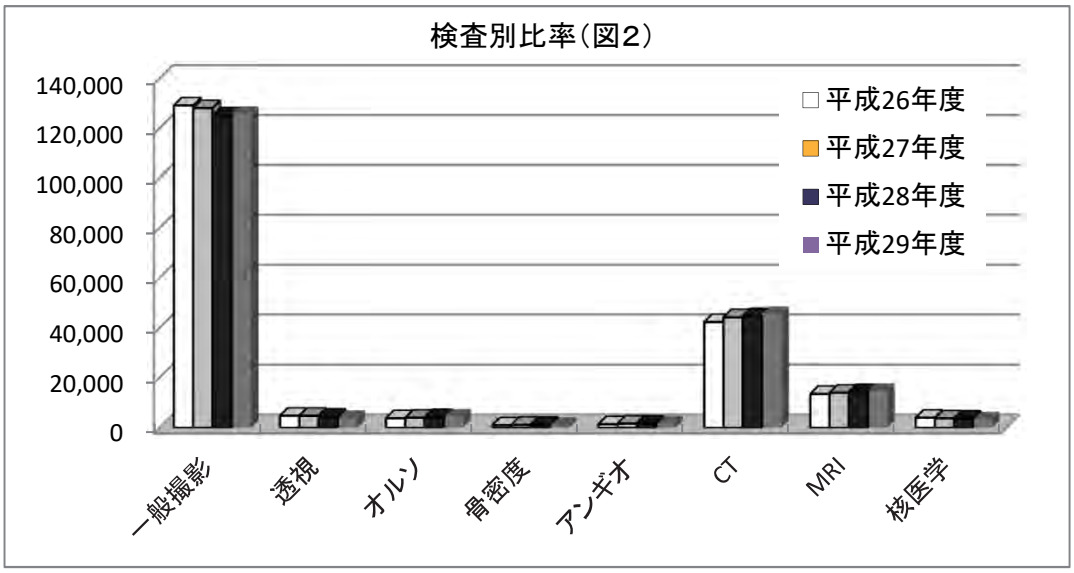
（1）平成29年度診療科別被検者数（外来＋入院）

検査種	一般撮影				透視撮影				オルソ／断層撮影				骨密度／破砕				血管／心カテ			
科名／年度	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
内科	257	281	332	262	2	4	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0
神経内科	2,568	2,007	1,545	1,510	4	0	3	0	0	0	0	0	26	12	14	19	0	0	0	0
呼吸器内科	17,147	17,811	17,445	19,618	49	53	63	80	0	0	1	0	20	11	14	11	1	5	4	1
消化器内科	3,524	3,340	2,220	1,999	602	568	505	477	0	0	0	0	7	26	8	11	74	74	88	67
循環器内科	8,463	8,862	9,144	9,745	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1,151	1,187	1,073	1,143
血液内科	3,062	3,327	3,424	3,422	222	222	255	291	10	10	3	1	156	150	161	163	0	1	0	1
内分泌内科	335	349	448	392	1	3	2	5	0	0	0	0	64	44	35	41	0	0	0	0
腎臓内科	2,034	1,686	1,440	1,545	29	26	17	4	0	0	0	2	20	25	16	43	0	0	4	3
化学療法内科	359	479	336	269	6	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0
一般消化器外科	11,333	10,232	9,390	8,723	862	874	807	731	0	0	0	0	19	26	29	25	10	4	8	3
呼吸器外科	4,482	4,248	4,130	3,920	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	5,469	7,033	6,702	7,170	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	58	57	59
血管外科	1,158	1,231	1,213	1,002	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	50	236	257	233
乳腺・内分泌外科	1,460	1,581	1,585	1,550	1	0	4	4	0	0	0	0	11	14	5	8	0	0	0	0
小児外科	417	332	193	319	40	29	7	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	9,718	8,936	9,081	9,574	79	61	78	49	0	10	1	1	25	37	61	85	7	10	22	20
脳神経外科	1,223	1,113	1,393	1,646	5	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	49	70	60	112
整形外科	22,862	21,230	21,463	21,304	494	402	414	413	0	0	0	0	392	609	694	593	0	0	1	0
形成外科	176	124	152	129	0	4	16	4	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	2,763	3,103	3,239	3,244	321	424	459	507	0	0	1	0	86	70	33	18	2	6	2	0
女性泌尿器科	1,084	1,073	1,052	1,051	62	87	55	61	0	0	0	0	13	19	8	6	0	0	0	0
産婦人科	3,958	4,205	4,222	4,171	67	48	40	34	0	0	0	0	27	37	17	40	2	2	1	2
皮膚科	98	161	146	121	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	11	8	0	0	0	0
眼科	241	214	18	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	782	851	818	891	20	17	19	30	5	5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	1,379	1,370	1,500	1,390	83	103	119	150	3,726	3,954	4,190	4,460	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	3	6	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
救急科	18,132	18,222	17,957	16,792	23	19	30	23	91	77	75	61	0	1	0	0	36	53	84	46
総合診療科	42	14	17	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	1	3	0	0	0	0
麻酔科	0	2	11	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員健診	1,719	1,703	1,693	1,691	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健診部	2,865	2,922	2,823	2,159	1,878	1,874	1,583	1,077	4	5	0	0	109	127	118	117	0	0	0	0
合計	129,113	128,048	125,136	125,702	4,853	4,825	4,482	3,967	3,839	4,063	4,274	4,530	985	1,217	1,226	1,191	1,399	1,708	1,663	1,690



CT				MRI				核医学(RI)				核医学(PET)				合計			
H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29	H26	H27	H28	H29
124	58	74	112	6	13	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	389	357	415	381
2,931	2,498	2,302	1,755	2,600	2,454	2,655	2,467	520	440	458	480	5	6	3	3	8,654	7,417	6,980	6,234
4,971	5,285	5,032	5,595	677	792	851	1,012	2	1	0	5	680	560	488	530	23,547	24,518	23,898	26,852
5,467	6,119	5,982	5,789	831	993	1,066	1,292	11	10	13	14	301	307	300	175	10,817	11,437	10,182	9,824
1,606	1,908	1,900	2,058	85	85	63	101	448	416	436	457	9	6	5	4	11,763	12,465	12,622	13,508
1,361	1,612	1,657	1,843	83	90	98	137	0	0	0	1	505	529	533	488	5,399	5,941	6,131	6,347
248	282	394	392	77	82	86	96	55	52	45	47	2	1	1	3	782	813	1,011	976
497	598	527	481	24	29	29	45	6	2	0	1	2	1	1	2	2,612	2,367	2,034	2,126
587	663	189	106	34	39	4	3	8	9	2	0	26	15	7	3	1,022	1,207	539	381
3,716	3,819	4,090	3,924	202	190	172	158	66	82	90	104	153	108	114	65	16,361	15,335	14,700	13,733
1,369	1,528	1,653	1,697	193	169	159	185	2	4	5	2	116	100	69	88	6,164	6,050	6,018	5,894
909	1,028	1,039	1,165	32	32	27	30	0	0	0	0	0	0	4	2	6,428	8,152	7,830	8,426
589	749	750	802	10	27	14	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1,807	2,243	2,235	2,049
357	361	306	330	106	70	97	119	35	48	45	46	16	5	9	12	1,986	2,079	2,051	2,069
3	2	3	3	6	4	4	7	0	0	1	0	0	0	0	0	466	367	208	348
285	266	345	365	667	738	691	743	40	60	54	43	14	26	27	16	10,835	10,144	10,360	10,896
2,129	1,906	1,893	2,054	2,336	2,430	2,487	2,586	23	21	11	6	12	2	7	8	5,777	5,545	5,852	6,415
1,846	1,554	1,649	1,747	1,991	1,845	1,978	1,921	3	6	2	1	10	4	0	4	27,598	25,650	26,201	25,983
83	63	74	86	44	56	62	55	0	0	0	0	0	0	0	0	305	249	306	275
1,513	1,623	1,632	1,861	171	236	190	274	194	215	221	189	24	12	15	13	5,074	5,689	5,792	6,106
206	175	169	148	39	39	55	59	8	16	19	10	0	1	0	0	1,412	1,410	1,358	1,335
834	966	1,068	1,153	687	810	714	806	7	0	0	0	23	23	19	26	5,605	6,091	6,081	6,232
95	124	123	130	21	48	35	38	0	0	1	1	4	3	1	1	218	342	317	299
18	42	30	34	39	49	46	29	0	0	0	0	0	0	0	0	298	305	94	87
1,244	1,296	1,365	1,371	403	380	387	290	1	3	1	2	178	162	140	110	2,633	2,714	2,731	2,697
0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
632	636	726	653	31	36	40	41	2	1	0	0	117	44	48	42	5,970	6,144	6,623	6,736
934	1,060	1,077	1,078	853	822	768	754	10	4	5	8	94	81	76	67	1,894	1,974	1,929	1,915
7,636	7,916	8,515	8,695	932	1,063	1,090	1,140	0	0	0	0	0	0	0	0	26,850	27,351	27,751	26,757
56	27	32	15	17	3	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	124	47	52	28
0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	15	55
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,719	1,703	1,693	1,691
0	0	0	63	349	386	377	336	0	0	0	0	349	420	375	349	5,554	5,734	5,276	4,101
42,246	44,164	44,596	45,507	13,547	14,011	14,258	14,741	1,441	1,391	1,409	1,417	2,641	2,416	2,242	2,011	200,064	201,843	199,286	200,756

(2)年度別検査項目別件数



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般撮影	129,113	128,048	125,136	125,702
透視	4,853	4,825	4,482	3,967
オルソ	3,839	4,063	4,274	4,530
骨密度	985	1,217	1,226	1,191
アンギオ	1,399	1,708	1,663	1,690
CT	42,246	44,164	44,596	45,507
MRI	13,547	14,011	14,258	14,741
核医学	4,082	3,807	3,651	3,428

(3)年度別放射線治療患者数

	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
放射線治療(患者数)	ライナック治療(RT)	467	536	587	596
	全身照射(TBI)	58	57	37	37
	定位照射(SRS、SRT)	5	51	47	50
	強度変調放射線治療(IMRT)	1	15	34	45
	全身リンパ節照射(TLI)	0	0	0	0

5. 病理部・細胞診分子病理診断部

（1）診療科別生検検体数

診療科名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
内科	4	3	0	2
消化器内科	3,623	3,840	3,548	3,583
血液内科	2,017	2,017	1,943	2,036
呼吸器内科	524	595	574	770
循環器内科	15	35	33	36
内分泌内科	1	2	0	0
神経内科	1	3	0	0
腎臓内科	51	55	51	45
小児科	916	929	742	716
一般消化器外科	986	1,060	1,119	1,062
小児外科	50	28	17	29
心臓血管外科	53	47	36	37
呼吸器外科	407	436	416	457
乳腺内分泌外科	295	312	339	494
産婦人科	1,724	1,962	1,915	1,938
泌尿器科	461	670	653	673
女性泌尿器科	94	93	117	143
脳神経外科	155	171	144	198
整形外科	94	92	88	97
皮膚科	753	977	1179	941
形成外科	271	286	249	262
耳鼻咽喉科	562	529	559	570
歯科口腔外科	534	450	490	472
血管外科	47	25	7	3
眼科	1	5	3	1
救急科	9	7	7	10
総合診療科	1	0	0	0
健診部	4	7	0	0
化学療法内科	8	2	0	0
合計	13,661	14,638	14,229	14,575

（2）病理特殊検査検体数

特殊検査	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
免疫染色	4, 632	4, 480	4, 399	4, 668
コンサルテーション症例数	581	553	397	406

（3）院外受託検査

受託検査	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
骨髄病理検査	1,253	1,316	1,196	1,176
テレパソロジー検査	15	11	12	8

（4）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

診療科名	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
一般消化器外科	0	0	2	1
血液内科	3	4	3	6
呼吸器内科	6	2	7	6
循環器内科	3	4	1	0
小児科	1	3	0	0
消化器内科	3	4	0	1
神経内科	7	4	8	6
呼吸器外科	0	0	0	0
内分泌内科	0	0	0	0
産婦人科	1	2	2	0
心臓血管外科	1	1	1	2
脳神経外科	0	1	0	1
腎臓内科	1	1	1	1
整形外科	0	1	0	0
耳鼻科	0	0	0	0
救急科	0	0	2	0
泌尿器科	1	0	0	0
合計	27	27	27	24

月別検体数

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
4 月	2	1	2	3
5 月	2	2	5	2
16 月	2	2	0	1
7 月	5	2	3	2
8 月	2	1	0	1
9 月	0	3	2	2
10 月	2	5	0	0
11 月	1	0	3	1
12 月	4	4	2	5
1 月	2	2	5	5
2 月	3	4	2	2
3 月	2	1	3	0
合計	27	27	27	24

（5）細胞診件数（検体種別検体数）

細胞診件数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般細胞診	4,826 件	5,020 件	4,645 件	5,098 件
婦人科細胞診	4,305 件	4,395 件	4,297 件	4,059 件
ドック細胞診	586 件	644 件	595 件	438 件
合計	9,717 件	10,059 件	9,537 件	9,595 件

（6）遺伝子件数

特殊検査	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
FISH・遺伝子検査	5,763 件	6,497 件	7,268 件	7,120 件
受託遺伝子検査	43 件	116 件	153 件	177 件

６．　輸血部

（１）平成29年度検査年報集計

		件　数			点　数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
輸血管理	入院	17,536	18,020	-2.7	522,282	600,571	-13.0
	外来	17,470	17,646	-1.0	424,256	435,165	-2.5
	他	262	459	-42.9	0	0	-
	小計	35,268	36,125	-2.4	946,538	1,035,736	-8.6
分子細胞検査	入院	1,188	1,090	9.0	1,921,650	1,747,600	10.0
	外来	941	919	2.4	976,640	951,410	2.7
	小計	2,129	2,009	6.0	2,898,290	2,699,010	7.4
合　計	入院	18,724	19,110	-2.0	2,443,932	2,348,171	4.1
	外来	18,411	18,565	-0.8	1,400,896	1,386,575	1.0
	他	262	459	-42.9	0	0	-
総　合　計		37,397	38,134	-1.9	3,844,828	3,734,746	2.9

上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）

件数	点数
4,694	77,230

加算・管理料

	件　数			点　数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比（%）
輸血管理料Ⅰ	2,211	618	2,829	944,820	966,500	-2.2
不規則抗体検査加算	2,008	569	2,577	507,669	525,202	-3.3
輸血に伴う血液型加算	1,030	72	1,102	52,896	49,392	7.1
総　合　計	5,249	1,259	6,508	1,505,385	1,541,094	-2.3

（２）　平成29年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

血液製剤総購入額　　522,341,211円の　　0.068%
血液製剤総使用数　　12,837バッグの　　0.070%

品　　名	略　　号	廃棄数（本）	薬　価	合　計（円）	処理日	廃棄理由
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-480	1	23,617	23,617	4月27日	溶解時にバッグが破損していた
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-480	1	23,617	23,617	5月9日	溶解時にバッグが破損していた
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-480	2	23,617	47,234	5月17日	ルートが外れていたため輸血されず
照射濃厚血小板-LR「日赤」	Ir-PC-LR-5	1	40,100	40,100	6月26日	製剤のバッグに穴が開いていた
照射赤血球液-LR「日赤」	IrRBC-LR－2	1	17,726	17,726	10月29日	回収時、誤って室温に放置した為
照射濃厚血小板-LR「日赤」	Ir-PC-LR-20	1	159,733	159,733	1月28日	手術開始まで6時間冷蔵庫で保管した
照射赤血球液-LR「日赤」	IrRBC-LR－2	1	17,726	17,726	1月31日	ICUから病棟へ6単位持参し、4単位のみ使用の為
新鮮凍結血漿「日赤」	FFP-LR-480	1	23,617	23,617	2月20日	溶解時にバッグが破損していた
総　計		9		353,370		

（３） 平成29年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）

造血幹細胞移植関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	52	57	69	76	62	50	60	48	47	62	46	53	682
ＰＢＳＣ保存	0	0	3	1	2	1	3	0	2	2	3	0	17
ＡＢＭ保存	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ＤＬＩ保存	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
ＣＤ34測定	5	11	13	8	13	5	12	3	7	15	16	8	116
ＰＢＳＣ輸注	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	1	2	11
ＣＢＳＣ輸注	2	1	0	1	1	3	1	0	1	0	0	0	10
ＤＬＩ輸注	3	2	5	2	3	0	2	1	0	0	0	0	18
テムセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	8
クリオ調整	0	0	0	2	2	2	2	0	5	3	2	4	22
合　計	63	72	90	92	84	62	82	52	63	86	74	67	887

	移植症例数				
	内科	小児科	合計	保険点数	保険点数小計
血縁者間骨髄移植	0	4	4	65,600	262,400
非血縁者間骨髄移植	21	6	27	65,600	1,771,200
同種末梢血幹細胞移植	6	1	7	65,600	459,200
自家末梢血幹細胞移植	4	1	5	30,000	150,000
非血縁間末梢血幹細胞移植	10	0	10	65,600	656,000
臍帯血	7	5	12	44,300	531,600
自家骨髄移植	0	0	0	25,000	0
骨髄採取術	12	11	23	21,640	497,720
合　　計	60	28	88		4,328,120

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	3	750	2,250
	2回目以降	15	650	9,750
合　計				12,000

	血縁	非血縁	合計	保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球採取	2	0	2	9,850	19,700

（４） 平成29年度成分採血室稼動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
自己血採取	4	6	1	0	3	5	1	0	1	3	3	3	30
末梢血幹細胞採取	0	1	4	1	3	1	3	0	1	2	1	0	17
骨髄濃縮	1	2	1	0	1	0	1	0	0	2	4	0	12
リンパ球採取	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
顆粒球採取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンク確認検査	2	8	2	4	6	5	6	2	5	4	6	2	52
最終同意	3	1	1	2	0	1	2	2	1	1	4	2	20
術前検査	6	5	5	2	4	6	3	1	4	2	2	4	44
術後検診	3	2	4	5	2	0	6	0	1	0	3	0	26
骨髄引き渡し	3	2	1	0	1	2	0	1	0	1	1	3	15
HLA検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	22	28	20	14	21	20	22	6	13	15	24	14	219

7. 健診部

平成29年度健診実績

（人）/（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一日ドック	37	38	76	55	54	79	74	86	51	50	64	61	**725**
	2,206	2,370	4,700	3,528	3,327	4,767	4,786	5,272	3,072	3,133	4,089	3,742	**44,992**
総合ドック	19	12	14	24	24	25	27	23	24	24	17	24	**257**
	3,389	2,235	2,408	4,167	4,079	4,251	4,675	3,926	4,191	4,147	3,108	4,173	**44,749**
PETドック	4	8	8	4	12	7	6	8	8	1	10	7	**83**
	480	959	959	471	1,430	839	710	959	959	120	1,190	847	**9,923**
企業健診	30	49	40	28	38	28	58	49	55	51	39	42	**507**
	1,562	3,185	2,017	1,394	1,949	1,529	3,404	2,647	2,600	2,496	1,831	2,444	**27,058**
協会健保	0	34	18	25	26	25	26	23	14	21	23	28	**263**
	0	863	303	685	1,000	739	858	803	425	650	643	834	**7,803**
福島県県民健康診査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
特定健診（基金）	0	0	0	0	1	0	3	2	0	0	1	0	**7**
	0	0	0	0	7	0	22	14	0	0	7	0	**50**
特定健診（国保）	0	0	0	0	2	3	1	0	3	0	3	0	**12**
	0	0	0	0	17	26	10	0	26	0	26	0	**105**
後期高齢健診	0	0	0	0	1	2	1	3	2	0	1	0	**10**
	0	0	0	0	8	16	8	25	16	0	8	0	**81**
特定保健指導	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	**4**
	2	0	0	0	0	10	0	0	0	6	0	2	**20**
平成29年度合計（人）	**91**	**141**	**156**	**136**	**158**	**170**	**196**	**194**	**157**	**148**	**158**	**163**	**1,868**
平成29年度合計（千円）	**7,639**	**9,612**	**10,387**	**10,245**	**11,817**	**12,177**	**14,473**	**13,646**	**11,289**	**10,552**	**10,902**	**12,042**	**134,781**

8. 薬剤部

（1） 入院･外来処方せん枚数

	入院		外来		合計総枚数	
	28 年度	29 年度	28 年度	29 年度	28 年度	29 年度
月平均枚数	14,741	15,935	17,938	17,677	32,679	33,612
年間合計枚数	176,889	191,222	215,251	212,118	392,140	403,340
院外処方せん発行率			78.0%	78.0%		

（2） 入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数	
	28 年度	29 年度
月平均人数(名)	1,166.9	1,196.9
月平均件数(件)	1,714.5	1,723.8
年間合計人数(名)	14,003	14,363
年間合計件数(件)	20,574	20,685

（3） 妊娠と薬外来の相談件数

	相談件数(件)	
	28 年度	29 年度
妊娠前	3	4
妊娠後	6	4
授乳	1	0

（4） 薬学生実務実習受け入れ人数

	受け入れ人数(人)	
	28 年度	29 年度
第一期	4	0
第二期	5	5
第三期	0	4

（5） 抗がん剤調製延患者数

	延調製患者数(人)	
	28 年度	29 年度
外来	6,968	7,661
入院	7,536	8,224

（6） 新規の治験・製造販売後調査受託件数

	新規の受託件数(件)	
	28 年度	29 年度
治 験	14	9
製造販売後調査	27	27
臨床試験	50	84

（7） 専門薬剤師資格取得薬剤師数

	取得薬剤師数(人)
	29 年度
日本薬剤師研修センター 認定薬剤師	17
日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師	10
日本医療薬学会 がん専門・指導薬剤師	専門:5 指導:3
日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師	2
日本医療薬学会 認定・指導薬剤師	認定:4 指導:1
日本病院薬剤師会 妊婦授乳婦認定薬剤師	3
日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師	1
日本化学療法学会 抗菌化学療法薬剤師	1
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	1
糖尿病療養指導士	5
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療養士	6
介護支援専門員	1
日本 DMAT 隊員	1

９．検査部

（1）平成29年度検査種別稼動集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
血液	入院	83,437	80,911	3.1	3,290,152	3,184,992	3.3
	外来	285,650	280,362	1.9	6,570,478	6,386,370	2.9
	その他	6,106	6,786	-10.0	0	0	-
	時間外入院	172,346	171,821	0.3	4,512,860	4,541,458	-0.6
	時間外外来	51,320	50,711	1.2	1,306,981	1,181,583	10.6
	小計	598,859	590,591	1.4	15,680,471	15,294,403	2.5
一般	入院	21,882	21,327	2.6	724,172	686,227	5.5
	外来	74,972	73,741	1.7	2,567,478	2,569,801	-0.1
	その他	9,721	11,629	-16.4	0	0	-
	時間外入院	4,970	5,253	-5.4	201,451	187,052	7.7
	時間外外来	13,381	13,755	-2.7	783,300	849,511	-7.8
	小計	124,926	125,705	-0.6	4,276,401	4,292,591	-0.4
生化学	入院	347,226	333,850	4.0	5,535,277	5,224,575	5.9
	外来	1,904,998	1,960,103	-2.8	18,089,429	17,086,043	5.9
	その他	59,675	75,461	-20.9	0	0	-
	時間外入院	982,671	1,011,410	-2.8	11,216,933	11,291,383	-0.7
	時間外外来	362,242	380,868	-4.9	3,625,383	3,492,095	3.8
	小計	3,656,812	3,761,692	-2.8	38,467,022	37,094,096	3.7
薬物血中濃度	入院	3,823	3,734	2.4	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	1,942	1,973	-1.6			
	その他	0	0	-			
	小計	5,765	5,707	1.0			
免疫血清	入院	25,188	23,249	8.3	3,053,907	2,796,123	9.2
	外来	176,784	170,773	3.5	19,690,661	19,151,276	2.8
	その他	9,982	10,885	-8.3	0	0	-
	時間外入院	25,840	25,266	2.3	3,853,874	3,762,671	2.4
	時間外外来	18,055	18,002	0.3	2,231,356	2,201,325	1.4
	小計	255,849	248,175	3.1	28,829,798	27,911,395	3.3
細菌	入院	45,400	44,295	2.5	6,985,145	6,866,814	1.7
	外来	25,630	24,134	6.2	3,847,444	3,595,314	7.0
	その他	472	444	6.3	0	1,440	-
	時間外入院	0	0	-	0	0	-
	時間外外来	0	0	-	0	0	-
	小計	71,502	68,873	3.8	10,832,589	10,463,568	3.5

☆細菌検査は、平成24年度から件数の集計方法が変わりました。
☆生化学検査は、平成29年度から件数の集計方法が変わりました。
☆その他の内訳（心カテ・ECG、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等）

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比(%)	当年度	前年度	比(%)
脳波	入院	773	863	-10.4	587,850	625,050	-6.0
	外来	1,299	1,242	4.6	1,100,650	1,054,050	4.4
	小計	2,072	2,105	-1.6	1,688,500	1,679,100	0.6
筋電図	入院	538	493	9.1	439,160	407,840	7.7
	外来	1,375	1,408	-2.3	1,150,390	1,167,910	-1.5
	小計	1,913	1,901	0.6	1,589,550	1,575,750	0.9
心電図	入院	8,309	7,745	7.3	1,600,650	1,440,580	11.1
	外来	29,037	26,887	8.0	5,346,120	5,024,780	6.4
	その他	2,108	2,061	2.3	0	0	-
	小計	39,454	36,693	7.5	6,946,770	6,465,360	7.4
心大血管リハビリ	入院	227	216	5.1	143,070	127,315	12.4
	外来	1,862	1,746	6.6	1,572,565	1,514,675	3.8
	小計	2,089	1,962	6.5	1,715,635	1,641,990	4.5
肺機能	入院	1,518	1,526	-0.5	162,455	159,945	1.6
	外来	9,802	9,143	7.2	998,460	925,270	7.9
	その他	1,587	1,778	-10.7	0	0	-
	小計	12,907	12,447	3.7	1,160,915	1,085,215	7.0
超音波	入院	8,546	8,663	-1.4	7,236,590	7,538,340	-4.0
	外来	18,485	17,443	6.0	12,326,000	11,728,420	5.1
	その他	1,928	2,163	-10.9	0	0	-
	小計	28,959	28,269	2.4	19,562,590	19,266,760	1.5
ドック(ECG・聴力)検査	その他	3,655	4,537	-19.4	0	0	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	546,867	526,872	3.8	29,758,428	29,057,801	2.4
	外来	2,531,836	2,568,955	-1.4	73,259,675	70,203,909	4.4
	その他	95,234	115,744	-17.7	0	0	-
	時間外入院	1,185,827	1,213,750	-2.3	19,785,118	19,782,564	0.0
	時間外外来	444,998	463,336	-4.0	7,947,020	7,724,514	2.9
	合計	4,804,762	4,888,657	-1.7	130,750,241	126,768,788	3.1

（2）平成29年度判断料

1．包括前後

保険点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	21,276	18,368	603,194	624,512	3.5
125	血液学的判断料	114,002	99,863	12,016,815	12,482,875	3.9
144	生化学的判断料　Ⅰ	113,865	99,527	16,044,425	14,331,888	-10.7
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	29,992	25,821	6,294,972	3,718,224	-40.9
144	免疫血清学的判断料	80,764	67,243	10,455,408	9,682,992	-7.4
150	微生物学的判断料	15,374	9,567	3,813,264	1,435,050	-62.4
150	病理学的判断料	3,548	3,548	836,100	532,200	-36.3
140	呼吸機能学的判断料	4,283	3,843	587,130	538,020	-8.4
180	脳波検査判断料	1,590	1,325	331,300	238,500	-28.0
180	神経・筋検査判断料	520	429	127,260	77,220	-39.3
	合計	385,214	329,534	51,109,868	43,661,481	-14.6

2．包括後前年比

保険点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比(%)
34	尿・糞便検査判断料	18,368	16,909	624,512	574,906	8.6
125	血液学的判断料	99,863	98,951	12,482,875	12,368,875	0.9
144	生化学的判断料　Ⅰ	99,527	98,580	14,331,888	14,195,520	1.0
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	25,821	25,475	3,718,224	3,668,400	1.4
144	免疫血清学的判断料	67,243	65,369	9,682,992	9,413,136	2.9
150	微生物学的判断料	9,567	9,905	1,435,050	1,485,750	-3.4
150	病理学的判断料	3,548	3,741	532,200	561,150	-5.2
140	呼吸機能学的判断料	3,843	3,687	538,020	516,180	4.2
180	脳波検査判断料	1,325	1,338	238,500	240,840	-1.0
180	神経・筋検査判断料	429	391	77,220	70,380	9.7
	合計	329,534	324,346	43,661,481	43,095,137	1.3

（3）平成29年度検査加算・管理料(検査部)

1. 包括前

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	2,273	1,780	4,053	1,068,580	837,140	1,905,720
280	薬剤初回算定月加算	193	37	230	54,040	10,360	64,400
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	133	0	133	364,420	0	364,420
20	血液化学入院初回加算	12,359		12,359	247,180		247,180
10	外来迅速検体検査加算	12,479	462,135	474,614	124,790	4,621,350	4,746,140
200	時間外緊急院内検査加算	1,680	4,774	6,454	336,000	954,800	1,290,800
240	骨髄像診断加算	942	406	1,348	226,080	97,440	323,520
500	検体検査管理加算Ⅳ	18,835		18,835	9,417,500		9,417,500
40	検体検査管理加算Ⅰ		110,282	110,282		4,411,280	4,411,280
	総合計	48,894	579,414	628,308	11,838,590	10,932,370	22,770,960

2. 包括後

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	716	1,740	2,456	336,790	818,070	1,154,860
280	薬剤初回算定月加算	0	0	0	0	0	0
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	0	0	0	0	0	0
20	血液化学入院初回加算	1,126		1,126	22,520		22,520
10	外来迅速検体検査加算	589	462,135	462,724	5,890	4,621,350	4,627,240
200	時間外緊急院内検査加算	76	4,762	4,389	14,000	863,800	877,800
240	骨髄像診断加算	9	9	464	3,120	90,280	93,400
500	検体検査管理加算Ⅳ	2,850		2,850	1,425,000		1,425,000
40	検体検査管理加算Ⅰ		110,282	110,282		4,411,280	4,411,280
	総合計	5,366	578,928	584,291	1,807,320	10,804,780	12,612,100

１０．看護部

（１）看護部の理念

赤十字の看護師として、おひとりおひとりの患者さんを大切にした看護を目指します

（２）基本方針

１．　安全で安楽な看護技術を提供します
２．　継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．　地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．　他部門と協働し、病院の健全な運営に取組みます
５．　救護活動や赤十字の講習会の普及に取組みます

（３）看護部目標

１．患者・家族参画型の看護を提供する

（４）専門分野と人数

専門看護師	
精神看護専門看護師	服部 希恵　井筧 理江
母性看護専門看護師	木全 美智代
がん看護専門看護師	牛山 喜久恵
小児看護専門看護師	中村 愛　加藤 美也子
認定看護師	
皮膚・排泄ケア認定看護師	伊藤 真粧美　福山 直美 西澤 政子　齋藤 由佳
集中ケア認定看護師	秋江 百合子　佐藤 史子
がん化学療法看護認定看護師	濱嶋 なぎさ　天野 真由美　大路 小千代
新生児集中ケア認定看護師	平岩 美緒　渡辺 綾子　上渡 めぐみ
緩和ケア認定看護師	平野 美枝子　武藤 直美
救急看護認定看護師	安藤 俊子　柚木 さよ 高田 恵理　田辺 由紀子
摂食・嚥下障害看護認定看護師	山本 利恵子　坂口 真那美
感染管理認定看護師	高坂 久美子　小澤 賀子　吉村 敦子
手術看護認定看護師	加納 朋子　二宮結花
がん性疼痛看護認定看護師	志村 みゆき　尾関 美代子
認知症看護認定看護師	岡田 朋子
透析看護認定看護師	日野 佐智子
がん放射線療法看護認定看護師	峯田 知子

認定看護師	
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	井内 豊子
慢性呼吸器疾患看護認定看護師	山北 利恵
慢性心不全看護認定看護師	中山 聡子
その他	
認定看護管理者	坂之上 ひとみ　真野 真紀子 川瀬 とし子　秋江 百合子 古市 めぐみ　川北 洋子

（5）平成29年度　看護部行事・看護職員対象研修等一覧

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	参加人数	時間内・外	会場	参加者
4月	新入看護職員採用時研修会	4/3（月）～4/17（月）				
	辞令交付式、院長のことば、病院概要、社長からのﾒｯｾｰｼﾞ、各部門の紹介 看護部門の役割、医療安全の基本的な考え方、医療安全、就業規則・勤務評定・給与 医療情報・図書室の使い方、放射線防護・MRIの危険性、職業倫理と臨床倫理	3（月）　終日	117	時間内	内ヶ島講堂	新入看護職員
	赤十字概論Ⅰ「赤十字のあゆみと活動」	4（火）　終日	117	時間内	ウインクあいち	
	災害救護、個人情報の取扱について、感染対策・医療廃棄物、健康管理 メンタルヘルス、出会う・知り合う・語り合う、労働組合について	5（水）　終日	117	時間内	内ヶ島講堂	
	オリエンテーション、看護職員に望むこと、自己紹介 身嗜みとマナー、労務管理、看護基準手順、	6（木）　終日	117	時間内	演習室1　他	
	業務管理、教育体制と教育プログラム、評価表について 看護倫理、薬剤管理	7（金）　終日	117	時間内		
	安全確保の技術、創傷感染予防、口腔感染予防 病棟体験オリエンテーション	10（月）　終日	117	時間内		
	病棟における医療安全、先輩看護師からのメッセージ 救命救急処置技術、安全な輸液管理、静脈注射STEP1	11（火）　終日	117	時間内		
	医療安全・情報管理Ⅰ 安全な看護技術　（採血・翼状針による点滴静脈注射）	12（水）　終日	117	時間内		
	医療安全・情報管理Ⅱ 安全な医療機器の取扱　（輸液ポンプ・シリンジポンプ）	13（木）　終日	117	時間内		
	安全な日常生活援助技術	14（金）　終日	117	時間内		
	赤十字概論　Ⅱ「赤十字の現況と課題」/Ⅲ「赤十字の基本原則と国際人道法」	17（月）　8:30～12:30	120	時間内		新入看護職員・未受講者
	メンタルヘルス、新人語り合う会Ⅰ	13:30～15:10/15:20～16:50	116			
	病院説明会・インターンシップ	4/22（土）　9:00～16:00	85		演習室1	看護学生　経験者看護師
5月	NST勉強会「NSTとは」「栄養管理手順について」	5/8（月）　18:00～19:00	60	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護事務・助手・介護士研修会　①	5/12（金）・15（月）　15:30～16:30	149	時間内	演習室1	看護事務・助手・介護士
	病院説明会・インターンシップ	5/13（土）・27（土）　9:00～16:00	86		演習室1	看護学生　経験者看護師
	新入看護職員研修会Ⅰ（呼吸管理・体圧管理ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ・感染対策Ⅰ・DM基礎）	5/22（月）・23（火）・30（火）・31（水）終日	117	時間内	演習室1	新入看護職員
	がん看護基礎研修「がんの疫学」「がんサバイバーシップ」	5/25（木）　18:00～19:00	24	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	マネジメント研修会	5/26（金）　17:30～19:00	62	時間外	演習室2・研修室3	看護管理者
	経験者語り合う会①	5/26（金）　13:30～17:00	11	時間内	研修室1	新入看護職員（経験者）
6月	ICM研修会	6/1（木）　15:00～16:00	38	時間内	演習室1	ICM
	褥瘡診療予防計画書の記入方法説明会	6/1（木）　16:30～17:30	41	時間内	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	医療安全推進週間	6/5（月）～6/9（金）	887	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	看護業務実践委員会　①	6/6（火）　13:30～14:30		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	病院説明会・インターンシップ	6/10（土）　9:00～16:00	35		演習室1	看護学生　経験者看護師
	NST勉強会「低栄養について」	6/12（月）　18:00～19:00	19	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護部長講演会	6/13（火）　17:30～18:30	127	時間外	演習室1	看護職員
	がん看護基礎研修「がんの看護倫理」	6/15（木）　18:00～19:00	31	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	新入看護職員研修会Ⅱ（心電図Ⅰ・安全な食事介助・救命救急処置）	6/19（月）・20（火）・26（月）・27（火）　終日	116	時間内	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会②	6/19（月）・20（火）・26（月）・27（火）　15:30～17:00	105	時間内	演習室1	新入看護職員（新卒者）
	ナーシング リサーチカフェ	6/19（月）　16:30～17:30	1	時間内	研修室2	看護職員
	防災備品使用説明会	6/23（金）　15:00～16:30		時間内	内ヶ島講堂	防災係
	RST勉強会「酸素療法・酸素療法使用のデバイス」	6/26（月）　18:00～19:00	50	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	プリセプターシップ振り返りの会	6/29（木）・30（金）　13:30～17:00	74	時間内	演習室1	プリセプター（レベルⅡ相当）
	看護部長講演会	7/3（月）　17:30～18:30	82	時間外	演習室1	看護職員
	リーダーシップ研修会	7/6（木）・7（金）　終日	28	時間内	演習室1	レベルⅢ
	病院見学会・インターンシップ	7/8（土）・29（土）　9:00～16:00	56		演習室1	看護学生　経験者看護師
	トリアージ研修「トリアージの基本」	7/10（月）　16:00～17:00	17	時間内	研修室2	救急外来担当者
	NST勉強会「経腸栄養について」	7/11（月）　18:00～19:00	19	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護記録実践委員会　①	7/11（火）　13:30～14:30		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	院内看護研究発表会	7/11（火）　17:30～19:00	50	時間外	演習室1	看護職員

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	参加人数	時間内・外	会場	参加者
7月	医療安全ワークショップ	7/12(水)16:00～18:00	48	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	災害救護基礎研修	①7/13(木)又は14(金)②20(木)・27(木)13:00～17:00 ②は同じ内容を半分に分けて実施	32	時間内	内ヶ島講堂	レベルⅠ・Ⅱ
	RST勉強会「人工呼吸器の基本」	7/11(火) 18:00～19:30	54	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護基準手順実践委員会 ①	7/20(木) 15:00～16:00		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	がん看護基礎研修「緩和ケアと緩和ケアチームの活動」	7/20(木) 18:00～19:00	36	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	マネジメント研修会	7/21(金) 17:30～19:00	76	時間外	演習室1	看護管理者
	事例で学ぶ対象理解	7/22(土) 終日	62	時間外	演習室1	レベルⅡ
	褥瘡勉強会「DESIGN-R/褥瘡ケア選択基準」「ポジショニング演習」	7/24(月) 17:30～18:30	43	時間外	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
	意識向上実践委員会 ①	7/27(木) 16:30～17:00		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	看護協会等総会報告会	7/27(木) 17:00～18:00	39	時間外	演習室2・研修室3	看護職員
	RST勉強会「人工呼吸器グラフィックモニター/人工呼吸器のトラブルシューティング」	7/31(月) 18:00～19:00	55	時間外	内ヶ島講堂	全職員
8月	各看護単位BLS技術指導者講習会	8/7(月) 13:30～17:00	30	時間内	演習室1	レベルⅡ・ⅢかつICLS受講者・今年度受講予定者
	家族看護研修会	8/8(火) 13:00～17:00	30	時間内	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	心電図Ⅱ	8/10(木) 17:30～18:30	45	時間外	演習室1	看護職員
	感染対策研修会Ⅱ「医療器具関連感染防止対策」	8/14(月)・25(金) 16:00～17:00	77	時間内	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
	ナーシング リサーチカフェ	8/21(月) 16:30～17:30	0	時間内	研修室2	看護職員
	救急トリアージフォローアップ研修	8/22(火) 17:30～18:30	17	時間外	演習室2・研修室3	救急外来担当者
	臨地実習指導者研修会	8/23(水) 終日	30	時間内	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	がん看護基礎研修「がん化学療法とは・抗癌剤の安全な取扱・主な副作用」	8/24(木) 18:00～19:00	55	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	RST勉強会「呼吸音の聴取」	8/28(月) 18:00～19:00	18	時間外	内ヶ島講堂	全職員
9月	看護業務実践員会②	9/5(火) 13:30～14:30		時間内	会議室5・6	実践委員
	経験者語り合う会②	9/7(木) 15:00～17:00	10	時間内	研修室2	新入看護職員(経験者)
	トリアージ研修「症状アセスメントのコツ」	9/11(月) 16:00～17:30	14	時間内	研修室2	救急外来担当者
	NST勉強会「栄養管理手順について」	9/11(月) 18:00～19:00	65	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	病院見学会・インターンシップ	9/15(金) 9:00～16:00	36		演習室1	看護学生 経験者看護師
	2年目研修(安全な食事介助・看取りの看護・症状観察・廃用症候群の予防ケア・看護倫理Ⅱ)	9/19(火)・26(火)・29(金) 終日	90	時間内	演習室1	2年目
	マネジメント研修会	9/22(金) 17:30～19:00	49	時間外	演習室1	看護管理者
	感染対策研修会Ⅲ「注意すべき病原体の感染防止対策」	9/25(月)・28(木) 16:00～17:00	47	時間内	演習室1(25日)・研修室2(28日)	レベルⅡ以上
	RST勉強会「人工呼吸管理中の栄養管理/鎮痛・鎮静剤の薬剤」	9/25(月) 18:00～19:00	28	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	褥瘡勉強会「使用する薬剤について」「褥瘡と栄養について」	9/25(月) 17:30～18:30	45	時間外	演習室1	レベルⅠ～Ⅲ
	がん看護基礎研修「がん化学療法看護:過敏症・血管外漏出」	9/28(木) 18:00～19:00	62	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	心電図Ⅱ	9/29(金) 17:30～18:30	53	時間外	演習室1	看護職員
10月	トリアージ研修「小児トリアージ」	10/2(月) 16:00～17:30	22	時間内	研修室2	救急外来担当者
	事例検討会	10/3(火)・6(金) 9:00～17:00	58	時間内	演習室1	「平成29年度 事例で学ぶ対象理解」受講者
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	10/5(木) 13:00～17:00	39	時間内	演習室1	未受講者
	糖尿病勉強会「糖尿病とは」「検査について」	10/5(木) 18:00～19:00	48	時間外	演習室1	全職員
	看護記録実践委員会②	10/10(火) 13:30～14:30		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	看護記録講演会	10/10(火) 18:30～19:30	109	時間外	演習室1	看護職員
	医療安全ワークショップ	10/11(水) 16:00～18:00	57	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	病院見学会・インターンシップ	10/14(土) 9:00～16:00	22		演習室1	看護学生 経験者看護師
	ナーシング リサーチカフェ 「文献検索ワークショップ」	10/16(月) 16:30～17:30	10	時間内	研修室2	看護職員
	NST勉強会「栄養評価法について」	10/16(月) 18:00～19:00	54	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	摂食嚥下勉強会	10/17(火) 17:30～18:30	37	時間外	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	がん看護基礎研修「がん放射線療法看護」	10/26(木) 18:00～19:00	39	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	防災訓練(西7・西8A・西8B・西9A・西9B・OPE・NICU)	10/27(金) 15:00～17:00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	褥瘡勉強会「褥瘡と皮膚疾患・下肢潰瘍」「スキンテア・医療機器関連創傷」	10/27(金) 17:30～18:30	46	時間外	演習室1	レベルⅠ・Ⅱ
	RST勉強会「人工呼吸器装着中の看護/VAP予防と口腔ケア」	10/30(月) 18:00～19:00	46	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護助手・介護士研修会②	10/31(火) 15:00～16:00	67	時間内	演習室1・2・研修室3	看護助手・介護士
	新入看護職員研修Ⅲ(静脈注射STEP3, 4・認知症とせん妄症状アセスメントと看護ケア・症状観察)	11/2(木)・7(火)・10(金) 終日	118	時間内	演習室1	新入看護職員
	新人語り合う会③	11/2(木)・7(火)・10(金) 15:00～17:00	105	時間内	演習室1	新入看護職員(新卒者)

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	参加人数	時間内・外	会場	参加者
11月	糖尿病勉強会「食事療法」	11/2(木) 18:00～19:00	40	時間外	演習室1	全職員
	看護助手・介護士研修会②	11/8(水) 15:00～16:00	56	時間内	演習室1・2・研修室3	看護助手・介護士
	トリアージ研修「机上シミュレーション」	11/13(月) 16:00～17:30	16	時間内	研修室2	救急外来担当者
	医療安全推進週間	11/13(月)～17(金)	819	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	NST勉強会「経腸栄養法について」	11/13(月) 18:00～19:00	21	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	摂食嚥下勉強会	11/14(火) 17:30～18:30	20	時間外	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	看護基準手順実践委員会 ②	11/16(木) 15:00～16:00		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	がん看護基礎研修「症状アセスメント：がん性疼痛」	11/16(木) 18:00～19:00	41	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	マネジメント研修会	11/17(金) 17:30～19:00	43	時間外	演習室1	看護管理者
	ナーシング リサーチカフェ	11/20(月) 16:30～17:30	3	時間内	研修室2	看護職員
	褥瘡勉強会「褥瘡処置デブリードマン洗浄」「在宅にむけての社会資源」	11/20(月) 17:30～18:30	16	時間外	演習室1	レベルⅡ・Ⅲ
	RST勉強会「呼吸リハビリ」	11/20(月) 18:00～19:00	24	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	日常生活援助技術研修会Ⅱ	11/21(火) 13:30～17:00	28	時間内	演習室1	レベルⅢ
	防災訓練(西10A・西10B・西11A・西11B・西12A・西12B)	11/24(金) 15:00～16:00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	看護部 講演会	11/24(金) 17:30～19:00	132	時間外	演習室1	看護職員
	意識向上実践委員会 ②	11/30(木) 16:30～17:30		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
12月	RST勉強会「気管切開チューブと関連機器」	12/4(月) 18:00～19:00	28	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護業務実践委員会 ③	12/5(火) 13:30～14:30		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	糖尿病勉強会「薬物療法（インスリンを含む）」	12/7(木) 18:00～19:00	28	時間外	演習室1	全職員
	トリアージ研修「実践シミュレーション」	12/11(月) 16:00～17:30	16	時間内	演習室2・研修室3	救急外来担当者
	摂食嚥下勉強会	12/12(火) 17:30～18:30	14	時間外	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	ナーシングリ サーチカフェ	12/18(月) 16:30～17:30	4	時間内	研修室2	看護職員
1月	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1/11(水) 13:00～17:00	29	時間内	演習室1	未受講者
	糖尿病勉強会「糖尿病合併症について」「口腔ケアについて」	1/11(木) 18:00～19:00	16	時間外	演習室1	全職員
	ナーシング リサーチカフェ	1/15(月) 16:30～17:30	3	時間内	研修室2	看護職員
	NST勉強会「末梢静脈栄養について」	1/15(月) 18:00～19:00	11	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	摂食嚥下勉強会	1/16(火) 17:30～18:30	15	時間外	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	RST勉強会「NPPVとV60」	1/22(月) 18:00～19:00	25	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	がん看護基礎研修「呼吸困難、倦怠感、嘔気嘔吐などの症状アセスメントとケア」	1/25(木) 18:00～19:00	28	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	防災訓練(西5A・救命A・救命B・ICU・MFICU・西6・バースセンター・西1・初療室)	1/26(金) 15:00～17:00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	赤十字救急法	1/31(水)・2/1(木)・2/2(金) 8:30～17:10	25	時間内	内ヶ島講堂	レベルⅢ
2月	糖尿病勉強会「フットケアについて」「シックデイについて」	2/1(木) 18:00～19:00	25	時間外	演習室1	全職員
	リーダーシップ研修実践報告会	2/6(火) 終日	27	時間内	演習室1	「平成29年度 リーダーシップ研修会」受講者
	心電図Ⅲ	2/8(木) 17:30～18:30	38	時間外	演習室1	看護職員
	医療安全ワークショップ	2/14(水) 16:00～18:00	50	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	後輩指導Ⅲ OJTリーダー養成研修会	2/19(月) 終日	34	時間内	演習室1	平成30年度 OJTリーダー予定者
	ナーシング リサーチカフェ	2/19(月) 16:30～17:30	4	時間内	研修室2	看護職員
	NST勉強会「中心静脈栄養について」	2/19(月) 18:00～19:00	18	時間外	演習室1	全職員
	がん看護基礎研修「がん患者の心理反応」	2/22(木) 18:00～19:00	35	時間外	演習室1	レベルⅠ～Ⅱ
	病院見学会・インターンシップ	2/24(土) 9:00～16:00	34		演習室1	看護学生 経験者看護師
3月	後輩指導Ⅰ プリセプター研修会	3/2(金)・6(火) 終日	76	時間内	演習室1	平成30年度 プリセプター予定者
	救護員としての赤十字看護師養成研修フォローアップ研修	3/5(月) 終日	16	時間内	演習室1	レベルⅢ
	がん看護基礎研修「身体・心理・社会・スピリチュアルのアセスメント」	3/8(木) 18:00～19:00	35	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	糖尿病勉強会「運動療法」「こんな時の対応は？」	3/8(木) 18:00～19:00	14	時間外	演習室1	全職員
	ウォーミングアップ研修	3/8(木)・16(金)・19(月) 13:00～16:30	107		演習室1	平成30年度 新入看護職員
	後輩指導Ⅱ 新人指導者研修会	3/9(金)・13(火) 13:30～17:00	59	時間内	演習室1	平成30年度 新人指導者予定者
	看護基準手順実践委員会③	3/15(木) 15:00～16:00		時間内	演習室2・研修室3	実践委員
	ナーシング リサーチカフェ	3/19(月) 16:30～17:30	4	時間内	研修室2	看護職員
	病院見学会・インターンシップ	3/7(水)・23(金) 9:00～16:00	114		演習室1	看護学生 経験者看護師

実績: 総研修数130（時間内74/ 時間外56　受講延べ人数6109名 【新入看護職員採用時研修会・実践委員会・就職説明会/ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟを除く】）

(6)育児休業復帰プログラムの実施

月/日	曜日	研修内容	対象者	参加者数	開催時間
5月26日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	6月28日育児休業復帰	1名	3時間
			6月30日育児休業復帰	1名	
			7月8日育児休業復帰	1名	
			7月31日育児休業復帰	1名	
			8月9日育児休業復帰	1名	
			9月1日育児休業復帰	1名	
8月18日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	9月23日育児休業復帰	1名	3時間
			10月6日育児休業復帰	1名	
			10月20日育児休業復帰	1名	
			10月24日育児休業復帰	1名	
			11月8日育児休業復帰	1名	
			11月27日育児休業復帰	1名	
			11月28日育児休業復帰	1名	
			11月29日育児休業復帰	1名	
			12月16日育児休業復帰	1名	
			12月22日育児休業復帰	1名	
11月10日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	1月15日育児休業復帰	1名	3時間
			1月28日育児休業復帰	1名	
			1月31日育児休業復帰	1名	
			2月1日育児休業復帰	1名	
			2月6日育児休業復帰	1名	
			3月20日育児休業復帰	1名	
			4月1日育児休業復帰	1名	
2月2日	金	育児休暇復帰プログラム(3時間)	4月1日育児休業復帰	4名	3時間
			4月2日育児休業復帰	1名	
			4月16日育児休業復帰	3名	
			4月24日育児休業復帰	1名	
			4月25日育児休業復帰	1名	
			4月26日育児休業復帰	1名	
			4月27日育児休業復帰	3名	
			5月8日育児休業復帰	1名	
			5月23日育児休業復帰	1名	
			5月31日育児休業復帰	1名	
			6月21日育児休業復帰	1名	
			6月23日育児休業復帰	1名	

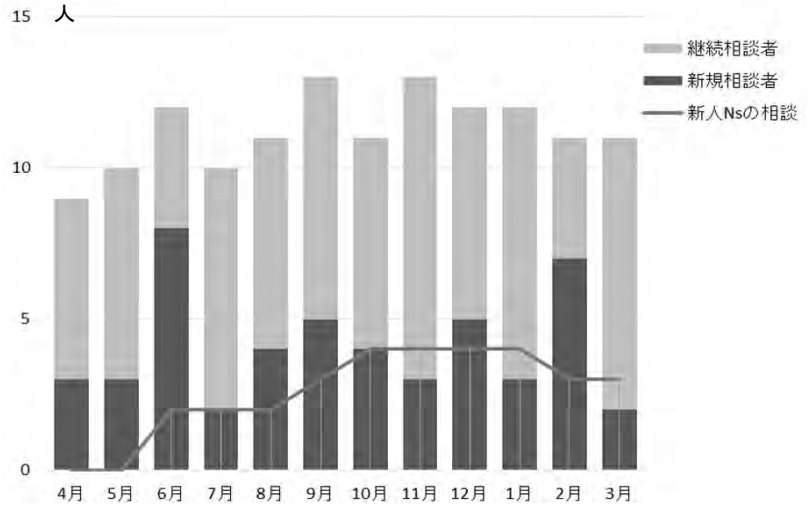
(7)看護専門外来月別患者数

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ストーマ 〈外科〉 第1・2・3・4 (木)午後	24	21	34	19	19	27	26	23	32	24	32	26	307
ストーマ 〈泌尿器科〉 第1・3 (水)午後	12	7	13	11	7	15	8	7	9	8	12	9	118
助産師外来 月～金	280	293	263	266	318	273	264	254	252	243	233	249	3,188
計	316	321	310	296	344	315	298	284	293	275	277	284	3,613

(8)「こころの相談室」利用者状況

（平成29年4月～平成30年3月末）

●利用回数　計　191 回/年
●利用者(相談者)　 8 ～13人/月
●月別相談者（継続/新規、新人Nsの割合）



●利用者54人/年　の内訳

1）勤務年数

1年目	11	20.4%
2年目	14	25.9%
3年目～5年目	10	18.5%
6年目～10年目	6	11.1%
11年以上	13	24.1%
計	54	100.0%

2）職種別

看護師・看護要員	39	72.2%
その他	15	27.8%
計	54	100.0%

3）利用目的

復帰支援(今年度)	11	20.4%
復帰支援(継続)	6	11.1%
仕事	15	27.8%
職場の人間関係	11	20.4%
家族	3	5.5%
ストレスチェック後面談	5	9.3%
その他	3	5.5%
計	54	100.0%

(9)看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数

《看護師》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定看護師研修				48	69					66	57		240
専門看護師研修			9	3									12
看護管理研修						1							1
上記以外の研修					10					4			14
合計			9	51	79	1				70	57		267

《看護学生・大学院生》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本赤十字豊田看護大学		72	298	520	100	308	491	356	401	304			2,850
愛知県立大学		67	82				444	193	87	166	130		1,169
中部大学					28	31							59
椙山女学園大学						16	47	55	255	154	163	11	701
人間環境大学				36	108	35	80	84	65	55	374	48	885
名古屋大学			16		15								31
西南女学院大学					18								18
愛知県立大学　大学院				31	10	23	8	19	45	35	18		189

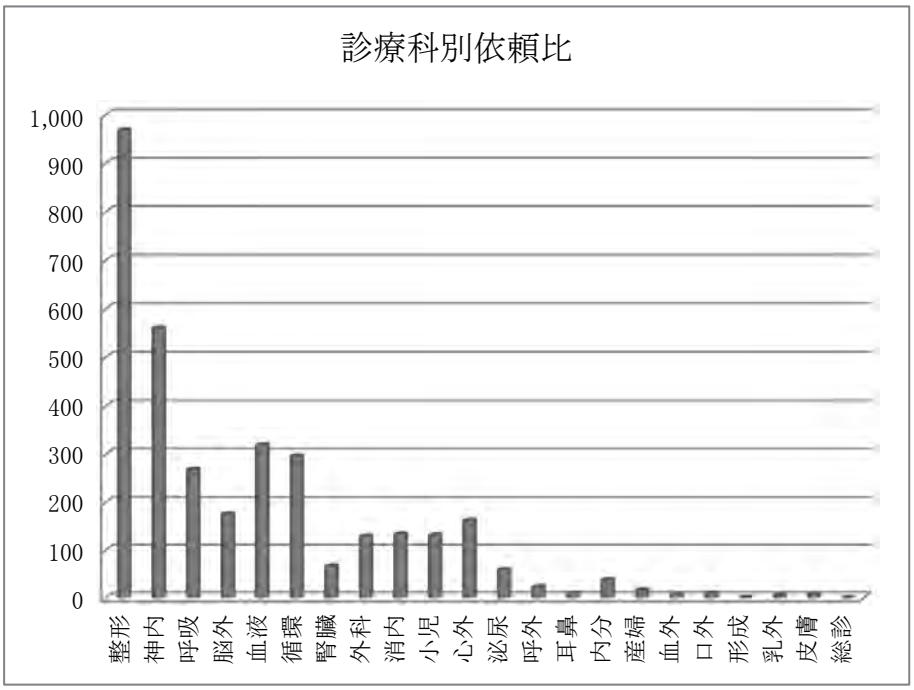
11. リハビリテーション科部

（1） リハビリ依頼件数

	平26年度	平27年度	平28年度	平29年度
入院	2,310	2,295	2,674	3,139
外来	190	157	251	257

（2） 平成29年度診療科別依頼件数

整形	969
神内	561
呼吸	269
脳外	176
血液	320
循環	297
腎臓	67
外科	130
消内	134
小児	132
心外	163
泌尿	59
呼外	23
耳鼻	10
内分	38
産婦	17
血外	8
口外	10
形成	1
乳外	5
皮膚	7
総診	0



（3） PT/OT/ST別 処方件数

	平26年度	平27年度	平28年度	平29年度
PT	2,356	2,233	2,618	3,074
OT	624	446	709	819
ST	312	242	337	557

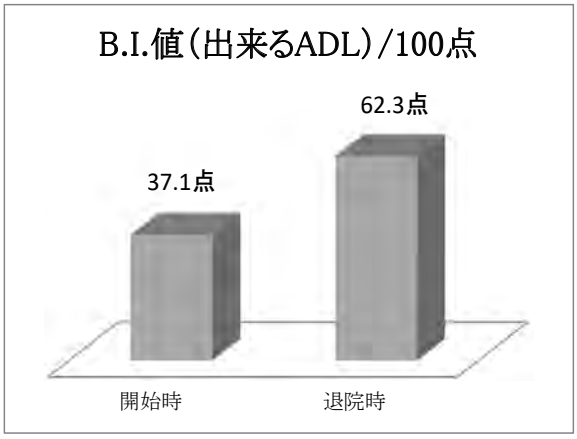
（4） 平成29年度リハビリ延べ実施件数

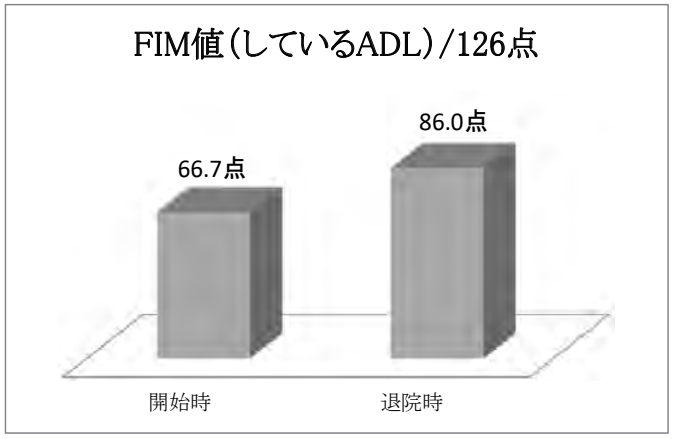
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ	2,115	2,102	2,428	2,322	2,725	2,370	2,578	2,281	2,497	2,358	2,203	2,570	28,549
廃用症候群リハ	758	699	739	719	717	664	642	549	700	642	511	607	7,947
運動器リハ（Ⅰ）	1,231	1,174	1,226	1,122	1,375	1,186	1,272	1,121	1,157	1,180	1,195	1,144	14,383
呼吸器リハ料	336	314	364	276	366	361	419	375	460	441	424	561	4,697
がん患者	777	804	995	984	1,092	1,014	1,070	997	971	793	822	1,037	11,356
緩和ケア	0	12	15	12	6	1	0	0	1	7	1	1	56
基本診療	110	125	127	114	183	131	132	110	139	170	220	198	1,759
緩和(基本診療)	0	1	8	2	3	0	0	0	5	14	6	0	39
早期加算(14日)	1,555	1,493	1,873	1,554	1,825	1,783	1,930	1,868	2,106	1,614	1,818	1,733	21,152
早期加算(30日)	1,226	1,094	1,227	1,127	1,443	1,237	1,374	1,254	1,324	1,408	1,228	1,345	15,287
リハ情報加算(労)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時リハ指導	71	68	79	85	86	72	88	97	114	72	85	97	1,014
リハ総合計画評価	294	279	309	285	331	348	330	282	344	299	333	322	3,756

（５） 平成29年度 ADLの改善状況　　（開始時 ⇒ 退院時）

入院患者 3,139人の平均

B.I.値（出来るADL）	開始時	39.2 点 /100点
	退院時	63.7 点 /100点
FIM値（しているADL）	開始時	67.3 点 /126点
	退院時	87.6 点 /126点





病棟	B.I.（100点）		FIM（126点）	
	初期	退院時	初期	退院時
12A	37.6	57.0	65.6	78.7
12B	25.5	49.9	54.7	72.6
11A	34.4	55.9	64.1	78.8
11B	32.6	67.1	62.7	90.9
10A	31.6	56.9	57.9	77.9
10B	36.0	54.1	61.6	75.9
9A	38.6	64.6	69.6	88.6
9B	37.1	54.1	67.2	79.4
8A	36.0	56.6	62.6	82.1
8B	38.1	72.1	71.1	97.9
5A	37.4	74.7	65.9	97.6
東8	89.9	94.3	118.0	120.3
東7	46.7	61.1	77.2	88.5
東6	44.9	63.0	76.9	89.0
東5	42.9	60.4	72.1	84.1

Ⅱ. 業　績

1. 著　書

平成 29 年 1 月～12 月

小児科

22 新生児疾患　母子感染予防
大城誠
今日の治療指針 2017 年版　1327-1329　2017 年 1 月 1 日発行

RS ウイルス
大城誠
周産期医学　47(2),2017,298-300　2017 年 2 月 10 日発行

小児科ケースカンファレンス　新生児疾患　敗血症、髄膜炎
大城誠
小児科診療　Vol.80　No.増刊号　2017 年 4 月 5 日発行

ちょっと気になる新生児―搬送すべき判断は？　発熱
大城誠
周産期医学　47（10）,1325-1327　2017 年 10 月 10 日発行

眼科

未熟児網膜症
佐藤英津子
最新ガイドライン準拠　小児科診断・治療指針　改訂第 2 版（遠藤文夫編）1083-1086　中山書店

耳鼻咽喉科

特集・心因性疾患診療の最新スキル　「耳鳴と聴覚過敏」
柘植勇人
ENTONI 小川 郁編 213,41-47,2017 全日本病院出版会 発行

看護部

急性期病院における看護職員確保のための戦略
坂之上ひとみ
看護のチカラ　第 22 巻 483 号　16-21　産労総合研究所　2017

Ⅱ. 業　績

２. 論　文

平成 29 年 1 月～12 月

腎臓内科

A case of perirenal extramedullary hematopoiesis in a patient with primary myelofibrosis

Imai K, Aoi T, Kitai H, Endo N, Fujino M[1], **Ichida S**

1: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

CEN Case Reports 6(2):194-199,2017

内分泌内科

経口ブドウ糖負荷試験でGHの奇異性上昇を認めた先端巨大症の１例

安田寛子,清田篤志,吉藤真梨子,岡崎美香子,柳沼裕史,須崎法幸[1],**尾﨑信暁**

1: 名古屋医療センター脳神経外科

Pharma Medica 35(2):90-90,2017

血液内科

Impact of T-cell chimerism on relapse after cord blood transplantation for hematological malignancies: Nagoya Blood and Marrow Transplantation Group study

Yokohata E[1], Kuwatsuka Y[2], Ohashi H[3,4], Terakura S[5], **Kawashima N**[1], **Seto A**[1,5], **Kurahashi S**[1], **Ozawa Y**[1], Goto T[5], Imahashi N[5], Nishida T[5], Miyao K[6], Sakemura R[6], Kato T[6], Sawa M[6], Kohno A[7], Sao H[8], Iida H[3], Kiyoi H[5], Naoe T[3,5], **Miyamura K**[1], Murata M[5]

1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

2: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan

3: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan

4: Division of Hematology, Toyota Memorial Hospital, Toyota, Japan

5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

6: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan

7: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan

8: Department of Hematology, Meitetsu Hospital, Nagoya, Japan

Bone Marrow Transplant. 2017 Apr;52(4):612-4.

The recipient CCR5 variation predicts survival outcomes after bone marrow transplantation

Horio T[1], Mizuno S[1], Uchino K[1], Mizutani M[1], Hanamura I[1], Espinoza JL[2], Onizuka M[3], Kashiwase K[4], Morishima Y[5], Fukuda T[6], Kodera Y[7], Doki N[8], **Miyamura K**[9], Mori T[10], Takami A[11]

1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

2: Cellular Transplantation Biology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science, Kanazawa, Japan

3: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan

4: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan

5: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan

6: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Unit, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

7: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University, Nagoya, Japan

8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan

9: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

10: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan

11: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan

Transpl Immunol. 2017 Jun;42:34-9.

Reduced-intensity conditioning allogeneic hematopoietic cell transplantation for younger patients with acute myeloid leukemia: a registry-based study

Yanada M[1], Kurosawa S[2], Kobayashi T[3], **Ozawa Y**[4], Kanamori H[5], Kobayashi N[6], Sawa M[7], Nakamae H[8], Uchida N[9], Hashimoto H[10], Fukuda T[2], Hirokawa M[11], Atsuta Y[12,13], Yano S[14]

1: Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan

2: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

3: Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan

4: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

5: Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan

6: Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan

7: Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan

8: Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan

9: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

10: Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe, Japan

11: Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan

12: Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

13: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan

14: Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan

Bone marrow transplantation. 2017 Jun;52(6):818-24.

YM155 induces apoptosis through proteasome-dependent degradation of MCL-1 in primary effusion lymphoma

Kojima Y[1], Hayakawa F[1], **Morishita T**[1,2], Sugimoto K[3], Minamikawa Y[4], Iwase M[4], Yamamoto H[1], Hirano D[1], Imoto N[5], Shimada K[1], Okada S[6], Kiyoi H[1]

1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

2: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

3: Fujii Memorial Research Institute, Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd., Otsu, Japan

4: Department of Analytical Neurobiology, Faculty of Pharmacy, Meijo University, Nagoya, Japan

5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan; Department of Hematology, Ogaki Municipal Hospital, Gifu, Japan
6: Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
Pharmacological research. 2017 Jun;120:242-51

Increased non-relapse mortality due to high-dose cytarabine plus CY/TBI in BMT/PBSCT for acute lymphoblastic leukaemia in adults

Arai Y[1,2], Kondo T[1], Shigematsu A[3], Tanaka J[4], Ohashi K[5], Fukuda T[6], Kawakita T[7], Mori T[8], Hoshino T[9], Onizuka M[10], **Ozawa Y**[11], Yoshida S[12], Ueda Y[13], Mizuno I[14], Atsuta Y[15,16], Mizuta S[17]; Japan Society for Haematopoietic Cell Transplantation
1: Department of Haematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
2: Laboratory of Host Defences, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA
3: Department of Haematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan
4: Department of Haematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan
5: Haematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Centre, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
6: Department of Haematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Centre Hospital, Tokyo, Japan
7: Department of Haematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Centre, Kumamoto, Japan
8: Division of Haematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
9: Leukaemia Research Centre, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan
10: Department of Haematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan
11: Department of Haematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
12: Department of Haematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan
13: Department of Haematology/Oncology and Transfusion and Haemapheresis Centre, Kurashiki Central Hospital, Kurashiki, Japan
14: Department of Haematology, Hyogo Cancer Centre, Akashi, Japan
15: Japanese Data Centre for Haematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
16: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
17: Department of Haematology, National Hospital Organization Toyohashi Medical Centre, Toyohashi, Japan
British journal of haematology. 2017 Jul;178(1):106-11

Toll-like receptor genetic variations in bone marrow transplantation

Uchino K[1], Mizuno S[1], Sato-Otsubo A[2], Nannya Y[2], Mizutani M[1], Horio T[1], Hanamura I[1], Espinoza JL[3], Onizuka M[4], Kashiwase K[5], Morishima Y[6], Fukuda T[7], Kodera Y[8], Doki N[9], **Miyamura K**[10], Mori T[11], Ogawa S[2], Takami A[1]
1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Nagakute, Japan
2: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Cellular Transplantation Biology, Kanazawa University Graduate School of Medical Science, Kanazawa, Japan
4: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan
5: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center, Tokyo, Japan
6: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
7: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Unit, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
8: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University, Nagakute, Japan
9: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital, Tokyo, Japan
10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
11: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
Oncotarget. 2017 Jul 11;8(28):45670-86.

Impact of graft-versus-host disease on outcomes after unrelated cord blood transplantation

Kanda J[1,2], Morishima Y[3], Terakura S[4], Wake A[5], Uchida N[5], Takahashi S[6], Ono Y[7], Onishi Y[8], Kanamori H[9], Aotsuka N[10], **Ozawa Y**[11], Ogawa H[12], Sakura T[13], Ohashi K[14], Ichinohe T[15], Kato K, Atsuta Y[16,17], Teshima T[18], Murata M[4]
1: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
4: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
6: Department of Molecular Therapy, Advanced Clinical Research Center, Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
7: Department of Internal Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan
8: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan
9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan
10: Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita Hospital, Narita, Japan
11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
12: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan
13: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan
14: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan
16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
17: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
18: Department of Hematology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan
Leukemia 31(3):663-668 2017年3月

Increase of bone marrow macrophages and CD8+ T lymphocytes predict graft failure after allogeneic bone marrow or cord blood transplantation

Kawashima N[1,2], Terakura S[2], Nishiwaki S[2], **Koyama D**[1,2], **Ozawa Y**[1], Ito M[3], **Miyamura K**[1]
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
Bone Marrow Transplant. 2017 Aug;52(8):1164-70

Persistent detection of alternatively spliced BCR-ABL variant results in a failure to achieve deep molecular response

Yuda J[1], Miyamoto T[1], Odawara J[1,2], Ohkawa Y[2], Semba Y[1,2], Hayashi M[1,2], **Miyamura K**[3], Tanimoto M[4], Yamamoto K[5], Taniwaki M[6], Akashi K[1]

1: Department of Medicine and Biosystemic Science, Kyushu University Graduate School of Medical Science, Fukuoka, Japan
2: Department of Advanced Medical Initiatives, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan
3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
4: Department of Hematology, Oncology and Respiratory Medicine, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Science, Okayama, Japan
5: Department of Clinical Research and Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center, Nagoya, Japan
6: Division of Hematology and Oncology, Department of Medicine, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan
Cancer Sci. 2017 Aug 12.

Deeper molecular response is a predictive factor for treatment-free remission after imatinib discontinuation in patients with chronic phase chronic myeloid leukemia: the JALSG-STIM213 study

Takahashi N[1], Tauchi T[2], Kitamura K[3], **Miyamura K**[4], Saburi Y[5], Hatta Y[6], Miyata Y[7], Kobayashi S[8], Usuki K[9], Matsumura I[10], Minami Y[11], Usui N[12], Fukuda T[13], Takada S[14], Ishikawa M[15], Fujimaki K[16], Gomyo H[17], Sasaki O[18], Ohishi K[19], Miyake T[20], Imai K[21], Suzushima H[22], Mitsui H[23], Togitani K[24], Kiguchi T[25], Atsuta Y[26], Ohtake S[27], Ohnishi K[28], Kobayashi Y[29], Kiyoi H[30], Miyazaki Y[31], Naoe T[7]; Japan Adult Leukemia Study Group

1: Department of Hematology, Nephrology and Rheumatology, Akita University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Hondo, Akita, Akita, 010-8543, Japan
2: Department of Hematology, Tokyo Medical University, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan
3: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital, Ichinomiya, Japan
4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
5: Department of Hematology, Oita Prefectural Hospital, Oita, Japan
6: Division of Hematology and Rheumatology, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan
7: National Hospital Organization, Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan
8: Division of Hematology, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan
9: Department of Hematology, NTT Medical Center Tokyo, Tokyo, Japan
10: Department of Hematology and Rheumatology, Faculty of Medicine, Kindai University, Osaka-Sayama, Japan
11: Department of Hematology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa, Japan
12: Department of Clinical Oncology/Hematology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
13: Department of Hematology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan
14: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan
15: Department of Hematology, Saitama Medical University International Medical Center, Saitama, Japan
16: Department of Hematology, Fujisawa City Hospital, Fujisawa, Japan
17: Department of Hematology, Hyogo Cancer Center, Akashi, Japan
18: Department of Hematology, Miyagi Cancer Center, Natori, Japan
19: Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy, Mie University Hospital, Tsu, Japan
20: Department of Oncology/Hematology, Shimane University Hospital, Izumo, Japan
21: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan
22: Department of Hematology, Kumamoto Shinto General Hospital, Kumamoto, Japan
23: Department of Hematology, Otemae Hospital, Osaka, Japan
24: Department of Hematology and Respiratory Medicine, Kochi Medical School, Kochi, Japan
25: Department of Hematology, Chugoku Central Hospital, Fukuyama, Japan
26: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
27: Kanazawa University, Kanazawa, Japan
28: Japanese Red Cross Aichi Blood Center, Seto, Japan
29: Hematology Division, International University of Health and Welfare, Mita Hospital, Tokyo, Japan
30: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
31: Department of Hematology, Nagasaki University, Nagasaki, Japan
Int J Hematol. 2017 Sep 19

Long-term treatment with bosutinib in a phase 1/2 study in Japanese chronic myeloid leukemia patients resistant/intolerant to prior tyrosine kinase inhibitor treatment

Takahashi N[1], Nakaseko C[2], Kobayashi Y[3], **Miyamura K**[4], Ono C[5], Koide Y[6], Fujii Y[7], Ohnishi K[8]

1: Department of Hematology, Akita University Hospital, Akita, Japan
2: Department of Hematology, Chiba University Hospital, Chiba, Japan
3: Department of Hematology and Oncology, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
4: Hematology Division, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Aichi, Japan
5: Medical Affairs, Pfizer Japan, Tokyo, Japan
6: Oncology Clinical Research, Pfizer Japan, Tokyo, Japan
7: Clinical Statistics, Pfizer Japan, Tokyo, Japan
8: Japanese Red Cross Aichi Blood Center, Aichi, Japan
Int J Hematol. 2017 Sep;106(3):398-410

Ponatinib in Japanese patients with Philadelphia chromosome-positive leukemia, a phase 1/2 study

Tojo A[1], Kyo T[2], Yamamoto K[3], Nakamae H[4], Takahashi N[5], Kobayashi Y[6], Tauchi T[7], Okamoto S[8], **Miyamura K**[9], Hatake K[10], Iwasaki H[11], Matsumura I[12], Usui N[13], Naoe T[14], Tugnait M[15], Narasimhan NI[15], Lustgarten S[15], Farin H[15], Haluska F[15,16], Ohyashiki K[7]

1: The Institute of Medical Science, The University Of Tokyo, Japan
2: Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan
3: Aichi Cancer Center Hospital, Aichi, Japan
4: Osaka City University Hospital, Osaka, Japan
5: Akita University Hospital, Akita, Japan
6: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
7: Tokyo Medical University Hospital, Tokyo, Japan
8: Keio University Hospital, Tokyo, Japan
9: Japan Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Aichi, Japan
10: The Cancer Institute Hospital Japanese Foundation for Cancer Research, Tokyo, Japan
11: Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan
12: Kinki University Hospital, Osaka, Japan
13: The Jikei University Daisan Hospital, Tokyo, Japan
14: National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Aichi, Japan
15: ARIAD Pharmaceuticals, Inc., Cambridge, MA, USA 16: BioCancell Therapeutics Ltd., Jerusalem, Israel
Int J Hematol. 2017 Sep;106(3):385-97.

Comparison of Autologous and Unrelated Transplants for Cytogenetically Normal Acute Myelogenous Leukemia

Mizutani M[1], Takami A[1], Hara M[2], Mizuno S[1], Yanada M[3], Chou T[4], Uchiyama H[5], Ohashi K[6], Miyamoto T[7], **Ozawa Y**[8], Imataki O[9], Kobayashi N[10], Uchida N[11], Kanamori H[12], Kamimura T[13], Eto T[14], Onizuka M[15], Tanaka J[16], Atsuta Y[17], Yano S[18]
1: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, School of Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan
2: Department of Medical Innovation, Osaka University Hospital, Suita, Japan
3: Department of Hematology, School of Medicine, Fujita Health University, Toyoake, Japan
4: Department of Internal Medicine, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan
5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital, Kyoto, Japan
6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
7: Department of Hematology and Oncology, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan
8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
9: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Kagawa University Hospital, Kagawa, Japan
10: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Hokkaido, Japan
11: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
12: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan
13: Department of Hematology, Harasanshin Hospital, Fukuoka, Japan
14: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan
15: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine, Kanagawa, Japan
16: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan
17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
18: Division of Clinical Oncology and Hematology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Sep;23(9):1447-54.

Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adolescents and Young Adults with Acute Myeloid Leukemia

Tomizawa D[1], Tanaka S[2], Kondo T[3], Hashii Y[4], Arai Y[3], Kudo K[5], Taga T[6], Fukuda T[7], Goto H[8], Inagaki J[9], Koh K[10], Ohashi K[11], **Ozawa Y**[12], Inoue M[13], Kato K[14], Tanaka J[15], Atsuta Y[16], Adachi S[17], Ishida H[18]
1: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
2: Department of Clinical Biostatistics, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University, Kyoto, Japan
4: Department of Pediatrics, Osaka University, Suita, Japan
5: Department of Pediatrics, Fujita Health University, Toyoake, Japan
6: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan
7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
8: Division of Hemato-Oncology/Regenerative Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
9: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan
10: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
11: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
13: Department of Hematology/Oncology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Izumi, Japan
14: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
15: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan
16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University, Nagoya, Japan
17: Department of Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan
18: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Sep;23(9):1515-22

High incidence of extensive chronic graft-versus-host disease in patients with the REG3A rs7588571 non-GG genotype

Koyama D[1], Murata M[1], Hanajiri R[1], Okuno S[1], Kamoshita S[1], Julamanee J[1], Takagi E[1], Hirano D[1], Miyao K[1], Sakemura R[1], Goto T[1], Hayakawa F[1], **Seto A**[2], **Ozawa Y**[2], **Miyamura K**[2], Terakura S[1], Nishida T[1], Kiyoi H[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Aichi, Japan
2: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Aichi, Japan

PLoS One. 2017;12(9):e0185213

Quality of Life after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation According to Affected Organ and Severity of Chronic Graft-versus-Host Disease.

Kurosawa S[1], Oshima K[2], Yamaguchi T[3], Yanagisawa A[4], Fukuda T[5], Kanamori H[6], Mori T[7], Takahashi S[8], Kondo T[9], Kohno A[10], **Miyamura K**[11], Umemoto Y[12], Teshima T[13], Taniguchi S[14], Yamashita T[15], Inamoto Y[5], Kanda Y[16], Okamoto S[7], Atsuta Y[17]

1: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

2: Department of Hematology, Jyoban Hospital, Tokiwa Foundation, Fukushima, Japan

3: Division of Biostatistics, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan

4: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan

5: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

6: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan

7: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan

8: Department of Hematology and Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

9: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

10: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan, Japan

11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

12: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University, Osaka, Japan

13: Department of Hematology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan

14: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

15: Department of Hematology, St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan

16: Division of Hematology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan

17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

Biol Blood Marrow Transplant. 2017 Oct;23(10):1749-58

Impact of the presence of HLA 1-locus mismatch and the use of low-dose antithymocyte globulin in unrelated bone marrow transplantation

Kawamura K[1], Kanda J[2], Fuji S[3], Murata M[4], Ikegame K[5], Yoshioka K[6], Fukuda T[3], **Ozawa Y**[7], Uchida N[8], Iwato K[9], Sakura T[10], Hidaka M[11], Hashimoto H[12], Ichinohe T[13], Atsuta Y[14,15], Kanda Y[1,16]

1: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan

2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

3: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

4: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

5: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan

6: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan

7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

8: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

9: Department of Blood Transfusion, Hiroshima Red Cross and Atomic Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan

10: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Gunma, Japan

11: Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center, Kumamoto, Japan

12: Department of Hematology/Division of Stem Cell Transplantation, Kobe General Hospital/Institute of Biomedical Research and Innovation, Kobe, Japan

13: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan

14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan

15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

16: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan

Bone marrow transplantation. 2017 Oct;52(10):1390-8.

Prognostic Impact of Donor Source on Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Outcomes in Adults with Chronic Myelomonocytic Leukemia: A Nationwide Retrospective Analysis in Japan.

Itonaga H[1], Aoki K[2], Aoki J[3], Ishikawa T[4], Ishiyama K[5], Uchida N[6], Sakura T[7], Ohashi K[8], Kurokawa M[9], **Ozawa Y**[10], Matsuoka KI[11], Nakamura Y[12], Kimura F[13], Iwato K[14], Nawa Y[15], Hirokawa M[16], Kato K[17], Ichinohe T[18], Atsuta Y[19], Miyazaki Y[20]

1: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan

2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

3: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan

4: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan

5: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan

6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

7: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan

8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan

9: Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan

10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

11: Department of Hematology and Oncology, Okayama University, Okayama, Japan

12: Third Department of Internal of Medicine, Yamaguchi University School of Medicine, Yamaguchi, Japan

13: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan

14: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan

15: Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital, Matsuyama, Japan

16: Department of General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan

17: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan.

18: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan

19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
20: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Nov 28.

Successful treatment with allogeneic stem cell transplantation followed by DLI and TKIs for e6a2 BCR-ABL-positive acute myeloid leukaemia: A case report and literature review.

Harada Y[1], Nishiwaki S[1,2], Sugimoto T[1], **Onodera K**[3], **Goto T**[3], **Sato T**[3], **Kamoshita S**[3], **Kawashima N**[3], **Seto A**[3], Okuno S[1], Yamamoto S[1], Iwasaki T[1], **Ozawa Y**[3], **Miyamura K**[3], Akatsuka Y[4], Sugiura I[1]
1: Division of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital
2: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital
3: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
4: Division of Hematology, Fujita Health University School of Medicine
Medicine. 2017 Dec;96(50):e9160.

Efficacy and safety of autologous peripheral blood stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: A study protocol for a multicenter exploratory prospective study (Auto-Ph17 study)

Nishiwaki S[1], Sugiura I[2], Miyata Y[3], Saito S[4], Sawa M[5], Nishida T[6], **Miyamura K**[7], Kuwatsuka Y[1], Kohno A[8], Yuge M[9], Kasai M[4], Iida H[3], Kurahashi S[2], **Osaki M**[7], Goto T[6], Terakura S[6], Murata M[6], Nishikawa H[10], Kiyoi H[6]
1: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya
2: Division of Hematology and Oncology, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi
3: Department of Hematology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center
4: Department of Hematology and Oncology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya
5: Department of Hematology, Anjo Kosei Hospital, Anjo
6: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine
7: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya
8: Department of Hematology and Oncology, JA Aichi Konan Kosei Hospital, Konan
9: Division of Hematology, Ichinomiya Municipal Hospital, Ichinomiya
10: Department of Immunology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Medicine. 2017 Dec;96(52):e9568.

Homozygous HLA-C1 is Associated with Reduced Risk of Relapse after HLA-Matched Transplantation in Patients with Myeloid Leukemia

Arima N[1], Kanda J[2], Tanaka J[3], Yabe T[4], Morishima Y[5], Kim SW[6], Najima Y[7], **Ozawa Y**[8], Eto T[9], Kanamori H[10], Mori T[11], Kobayashi N[12], Kondo T[2], Nakamae H[13], Uchida N[14], Inoue M[15], Fukuda T[6], Ichinohe T[16], Atsuta Y[17], Kanda Y[18]
1: Department of Hematology, Medical Research Institute Kitano Hospital, Osaka, Japan
2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan
4: Hematology Division, Japanese Red Cross Tokyo Metropolitan Blood Center, Tokyo, Japan
5: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
7: Hematology Division, Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan
10: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan
11: Department of Hematology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
12: Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan
13: Department of Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan
14: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
15: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan
16: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan
17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
18: Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Dec 27

Comparison of Conditioning with Fludarabine/Busulfan and Fludarabine/Melphalan in Allogeneic Transplantation Recipients 50 Years or Older.

Kawamura K[1], Kako S[1], Mizuta S[2], Ishiyama K[3], Aoki J[4], Yano S[5], Fukuda T[6], Uchida N[7], **Ozawa Y**[8], Eto T[9], Iwato K[10], Kanamori H[4], Kahata K[11], Kondo T[12], Sawa M[13], Ichinohe T[14], Atsuta Y[15], Kanda Y[16]
1: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
2: Division of Hematology, National Hospital Organization Toyohashi Medical Center, Toyohashi, Japan
3: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan
4: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan
5: Division of Clinical Oncology and Hematology, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
6: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
7: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
8: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

9: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan
10: Department of Blood Transfusion, Hiroshima Red Cross and Atomic Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan
11: Department of Hematology, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan
12: Department of Hematology/Oncology, Kyoto University Hospital, Kyoto, Japan
13: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan
14: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan
15: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
16: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan; Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Dec;23(12):2079-87

[Prior harvesting and cryopreservation of peripheral blood stem cells from related donors: current situations in Japan]
Kobayashi T[1], Ohashi K[1], Haraguchi K[2], Okuyama Y[2], Hino M[3], Tanaka J[4], Ueda Y[5], Nishida T[6], Atsuta Y[7], Takanashi M[8], Iida M[9], Muroi K[10], Yabe H[11], **Miyamura K**[12]
1: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital
2: Division of Transfusion and Cell Therapy, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital
3: Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Osaka City University
4: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University
5: Department of Hematology/Oncology, Kurashiki Central Hospital
6: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine
7: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation
8: Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society
9: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University, School of Medicine
10: Division of Cell Transplantation and Transfusion, Jichi Medical University Hospital
11: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine
12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
[Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology. 2017;58(11):2205-12.

Impact of graft-versus-host disease on outcomes after unrelated cord blood transplantation
Kanda J[1,2], Morishima Y[3], Terakura S[4], Wake A[5], Uchida N[5], Takahashi S[6], Ono Y[7], Onishi Y[8], Kanamori H[9], Aotsuka N[10], **Ozawa Y**[11], Ogawa H[12], Sakura T[13], Ohashi K[14], Ichinohe T[15], Kato K[16], Atsuta Y[17,18], Teshima T[19], Murata M[4]
1: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
4: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
6: Department of Molecular Therapy, Advanced Clinical Research Center, Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
7: Department of Internal Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan
8: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan
9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan
10: Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita Hospital, Narita, Japan
11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
12: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan
13: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan
14: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan
16: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan.
17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
18: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
19: Department of Hematology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan
Leukemia 31(3):663-668 2017年3月

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉[1], 中村和司[1], 高木寛人[1], 中山靖唯[1], **佐藤貴彦**, **小澤幸泰**, **宮村耕一**
1: リハビリテーション科
理学療法学 Supplement 2016(0):1450 2017

神経内科

重症貧血を伴う子宮体癌術後に生じた可逆性脳血管攣縮症候群の1例
蛭薙智紀, **村尾厚徳**, **後藤洋二**, **真野和夫**
脳卒中 39(3):190-194, 2017

結核性髄膜炎・眼病変が疑われ, 治療経過中に大脳白質病変を呈した一例
髙阪勇輔, **小森祥太**, **森盟**, **平野聡子**, **渡邉はづき**, **馬渕直紀**, **後藤洋二**, **真野和夫**, 宇佐美欽通[1], 小林三砂紀[1], 佐藤英津子[1]
1:眼科
臨床神経学 57(12):806, 2017

細菌性髄膜炎, 化膿性海綿静脈洞血栓症, 脳梗塞を合併したLemierre症候群の一例
小森祥太, **森盟**, **田中美咲**, **村尾厚徳**, **渡邉はづき**, **馬渕直紀**, **後藤洋二**, **真野和夫**

臨床神経学　57(12):806,2017

TNF-α阻害薬投与中に発症した、抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎の1例
蛭薙智紀[1],**後藤洋二**,**真野和夫**
1: 大垣市民病院　神経内科
臨床神経学　57(10)622,2017

脳梗塞発症を契機に発見された、卵巣癌によるTrousseau症候群の一例
田中美咲
臨床神経学　57(10)604,2017

脳幹梗塞の経過を経て脳幹型posterior reversible encephalopathy syndromeを発症した1例
渡邉はづき,**馬渕直紀**,**後藤洋二**,**真野和夫**
臨床神経学　57(10)604,2017

再発したFisher症候群の1例
村尾厚徳,**田中美咲**,**蛭薙智紀**,**渡邉はづき**,**満間典雅**,**後藤洋二**,**真野和夫**
臨床神経学　57(10):606,2017

Back restlessnessを呈した2例
安藤孝志[1],**後藤洋二**,**真野和夫**
1: 春日井市民病院神経内科
臨床神経学　57(9):540,2017

呼吸器内科

肺アスペルギローマ切除より5年後にアスペルギルス有瘻性膿胸を合併した1例
木村令,**谷本光希**,**横山佑衣子**,**町井春花**,**佐野未来**,**田宮裕太郎**,**西山裕乃**,**篠塚怜衣**,**山田衣里子**,**高納崇**,**石川紫都**,**青山大輔**,**横山俊彦**,**野村史郎**,川角佑太[1],門松由佳[1],上野陽史[1],森正一[1]
1: 呼吸器外科
気管支学　39(SUPPL):5315-5315,2017

気管支鏡検査中の冷生食による止血処置により心静止に至る徐脈を発症した1例
西山裕乃,**青山大輔**,**横山佑衣子**,**谷本光希**,**町井春花**,**佐野未来**,**木村令**,**田宮裕太郎**,**篠塚怜衣**,**山田衣里子**,**高納崇**,**石川紫都**,**横山俊彦**,**野村史郎**
気管支学　39:5308-5308,2017

肺結核に合併し気管支鏡にて組織診断が得られた気管気管支骨軟骨形成症の一例
佐野未来,**谷本光希**,**町井春花**,**横山佑衣子**,**木村令**,**田宮裕太郎**,**西山裕乃**,**篠塚怜衣**,**山田衣里子**,**高納崇**,**石川紫都**,**青山大輔**,**横山俊彦**,**野村史郎**
気管支学　39:5314-5314,2017

循環器内科

Biphasic Force-Frequency Relation Predicts Primary Cardiac Events in Patients With Hypertrophic Cardiomyopathy
Morimoto R[1], Okumura T[1], Bando YK[1], Fukaya K[1], Sawamura A[1], Kawase H[1], **Shimizu S**, Shimazu S[1], Hirashiki A[1], Takeshita K[1], Murohara T[1]
1: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine
Circ J. 81(3):368-375　2017 Feb

心臓悪性リンパ腫の1例
河合雄一[1],奥村真之[1],富家未来[1],河村綾希子[1],伊藤茂樹[1],**三浦絢子**,二橋尚志[2]
1: 放射線診断科
2: 小牧市民病院放射線科
核医学　54(1):565-565,2017

うっ血性心不全をきたした偽性アルドステロン症の1例
鷲野将也,小栗光俊[1],**神谷春雄**
1: 春日井市民病院循環器科
心臓　49(5):476-480,2017

A Patient with Heart Failure and Sleep-disordered Breathing Who Presented with Marked Reverse Remodeling by Continuous Positibe Airway Pressure Therapy
Fukushima T, **Yasuda K**, Eguchi K[1], Fujino M[2], **Kamiya H**
1: Division of Cardiovascular Medicine, Department of Medicine,Jichi Medical University School of Medicine, Japan
2: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
Internal Medicine　56(17):2289-2294,2017

Impact of Skeletal Muscle Mass on Long-Term Adverse Cardiovascular Outcomes in Patients With Chronic Kidney Disease
Harada K[1], Suzuki S[2], Ishii H[1], Aoki T[1], Hirayama K[1], **Shibata Y**[1], Negishi Y[1], Sumi T[1], Kawashima K[1], Kunimura A[1], Shimbo Y[3], Tatami Y[1], Kawamiya T[1], Yamamoto D[1], Morimoto R[4], Yasuda Y[5], Murohara T[1]
1: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
2: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

3: Department of Cardiology, Kariya Toyota General Hospital, Kariya, Japan
4: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan; Department of CKD Initiatives Internal Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
5: Department of CKD Initiatives Internal Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Am J Cardiol. 2017 Apr 15;119(8):1275-1280

Effect of sitagliptin on the echocardiographic parameters of left ventricular diastolic function in patients with type 2 diabetes: a subgroup analysis of the PROLOGUE study

Yamada H[1], Tanaka A[2], Kusunose K[1], Amano R[3], Matsuhisa M[3], Daida H[4], Ito M[5], Tsutsui H[6], Nanasato M[7], **Kamiya H**[8], Bando YK[9], Odawara M[10], Yoshida H[11], Murohara T[9], Sata M[3], Node K[2]; PROLOGUE Study Investigators
1: Department of Cardiovascular Medicine, Tokushima University Hospital
2: Department of Cardiovascular Medicine, Saga University
3: Department of Diabetes Therapeutics and Research Center, Tokushima University, Tokushima, Japan
4: Department of Cardiovascular Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan
5: Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan
6: Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan
7: Cardiovascular Center, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan
8: Division of Cardiology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
9: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
10: Department of Diabetes, Endocrinology, Metabolism and Rheumatology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan
11: Clinical Research Center, Saga University, Saga, Japan
Cardiovasc Diabetol. 2017 May 11;16(1):63

Coronary artery calcification scores improve contrast-induced nephropathy risk assessment in chronic kidney disease patients

Osugi N[1,2], Suzuki S[1], **Shibata Y**[1], Tatami Y[1], Harata S[1], Ota T[1], Hayashi M[3], Yasuda Y[4], Ishii H[1], Shimizu A[2], Murohara T[1]
1: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine
2: Department of Cardiology, National Center for Geriatrics and Gerontology, Obu, Japan.
3: Department of Cardiology, Fujita Health University Second Hospital, Nagoya, Japan
4: Department of CKD Initiatives Internal Medicine, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
Clin Exp Nephrol. 2017 Jun;21(3):391-397

Correlations between geriatric nutritional risk index and peripheral artery disease in elderly coronary artery disease patients

Kawamiya T[1,2], Suzuki S[1], Ishii H[1], Hirayama K[1], Harada K[1], **Shibata Y**[1], Tatami Y[1], Harata S[1], Kawashima K[1], Kunimura A[1], Takayama Y[1], Shimbo Y[1], Osugi N[1], Yamamoto D[1], Ota T[1], Kono C[2], Murohara T[1]
1: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
2: Department of Neurology, Yagoto Hospital, Nagoya, Japan
Geriatr Gerontol Int. 2017 Jul;17(7):1057-1062

A Patient with Heart Failure and Sleep-disordered Breathing Who Presented with Marked Reverse Remodeling by Continuous Positive Airway Pressure Therapy

Fukushima T[1], **Yasuda K**[1], Eguchi K[2], Fujino M[3], **Kamiya H**[1]
1: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
2: Division of Cardiovascular Medicine, Department of Medicine, Jichi Medical University School of Medicine, Japan
3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
Intern Med. 2017 Sep 1;56(17):2289-2294

消化器内科

口側表層拡大進展範囲の内視鏡診断が困難であった早期胃癌の1例

山中裕貴子[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],宮田完志[1],**村手健太郎**,藤野雅彦[2]
1: 一般・消化器外科
2: 細胞診分子病理診断部
消化器外科　40(4):477～482,2017

小児科

新生児・乳児期頭部MRI検査における真空固定具を用いた無鎮静検査

田中龍一,大萱俊介,中山淳,神澤孝洋,奥村俊彦,濱崎咲也子,立花貴史,安田彩子,大城誠,鬼頭修
日本小児科学会雑誌　121(1):60-66　2017年1月

Outcome differences between children and adolescents and young adults with non-Hodgkin lymphoma following stem cell transplantation

Kobayashi R[1], Mitsui T[2], Fujita N[3], Osumi T[4], Aoki T[5], Aoki K[6], Suzuki R[7], Fukuda T[8], Miyamoto T[9], **Kato K**, Nakamae H[10], Goto H[11], Eto T[12], Inoue M[13], Mori T[14], Terui K[15], Onizuka M[16], Koh K[17], Koga Y[18], Ichinohe T[19], Sawada A[13], Atsuta Y[20], Suzumiya J[7]
1: Department of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital
2: Department of Pediatrics, Yamagata University School of Medicine, Yamagata, Japan.
3: Department of Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan.
4: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
5: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
6: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan
7: Shimane University Hospital Cancer Center, Oncology/Hematology, Izumo, Japan
8: Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan

9: Medicine and Biosystemic Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan
10: Hematology, Osaka City University Hospital, Osaka, Japan.
11: Division of Hemato-oncology/Regenerative Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
12: Department of Hematology, Hamanomachi Hospital, Fukuoka, Japan
13: Department of Hematology/Oncology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan
14: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan
15: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan
16: Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan
17: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
18: Department of Pediatrics, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan
19: Department of Hematology and Oncology, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan 20: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
Int J Hematol Mar;105(3):369-376 2017

Impact of graft-versus-host disease on outcomes after unrelated cord blood transplantation

Kanda J[1,2], Morishima Y[3], Terakura S[4], Wake A[5], Uchida N[5], Takahashi S[6], Ono Y[7], Onishi Y[8], Kanamori H[9], Aotsuka N[10], Ozawa Y[11], Ogawa H[12], Sakura T[13], Ohashi K[14], Ichinohe T[15], **Kato K**[16], Atsuta Y[17,18], Teshima T[19], Murata M[4]
1: Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute, Nagoya, Japan
4: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
5: Department of Hematology, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
6: Department of Molecular Therapy, Advanced Clinical Research Center, Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
7: Department of Internal Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan
8: Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital, Sendai, Japan
9: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Kanagawa, Japan
10: Division of Hematology-Oncology, Japanese Red Cross Society Narita Hospital, Narita, Japan
11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
12: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan
13: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan
14: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
15: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan
16: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan.
17: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
18: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
19: Department of Hematology, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan
Leukemia 31(3):663-668 2017年3月

産科における新生児管理の実態と管理中の急変症例に関する調査

大城誠,小山典久[1],石川薫[2],大木茂[3]
1: 豊橋市民病院小児科
2: 愛知県周産期医療協議会元会長
3: 聖隷浜松病院総合周産期母子遼センター新生児科
日本周産期・新生児医学会雑誌 53(1);57-63 2017年5月

Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adolescents and Young Adults with Acute Myeloid Leukemia

Tomizawa D[1], Tanaka S[2], Kondo T[3], Hashii Y[4], Arai Y[3], Kudo K[5], Taga T[6], Fukuda T[7], Goto H[8], Inagaki J[9], Koh K[10], Ohashi K[11], Ozawa Y[12], Inoue M[13], **Kato K**[14], Tanaka J[15], Atsuta Y[16], Adachi S[17], Ishida H[18]
1: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
2: Department of Clinical Biostatistics, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Department of Hematology and Oncology, Kyoto University, Kyoto, Japan
4: Department of Pediatrics, Osaka University, Suita, Japan
5: Department of Pediatrics, Fujita Health University, Toyoake, Japan
6: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan
7: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
8: Division of Hemato-Oncology/Regenerative Medicine, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
9: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan
10: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
11: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan
12: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
13: Department of Hematology/Oncology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Izumi, Japan
14: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
15: Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan
16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University, Nagoya, Japan
17: Department of Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan
18: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto, Japan
Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Sep;23(9):1515-22

Factors related to home health-care transition in trisomy 13

Kitase Y[1], Hayakawa M[1], Kondo T[1], Saito A[1], **Tachibana T**[2], **Oshiro M**[2], Ieda K[3], Kato E[3], Kato Y[4], Hattori T[4], Hayashi S[5], Ito M[6], Hyodo R[6], Muramatsu Y[7], Sato Y[1]

1: Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan

2: Department of Neonatology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan

3: Department of Pediatrics, Tosei General Hospital, Alchi, Japan

4: Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Alchi, Japan

5: Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Alchi, Japan

6: Department of Pediatrics (2), Ogaki Municipal Hospital, Ogaki, Japan

7: Department of Pediatrics, Central Hospital, Aichi Human Service Center, Alchi, Japan

Am J Med Genet A. 2017 Oct;173(10):2635-2640

Prognostic Impact of Donor Source on Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Outcomes in Adults with Chronic Myelomonocytic Leukemia: A Nationwide Retrospective Analysis in Japan.

Itonaga H[1], Aoki K[2], Aoki J[3], Ishikawa T[4], Ishiyama K[5], Uchida N[6], Sakura T[7], Ohashi K[8], Kurokawa M[9], Ozawa Y[10], Matsuoka KI[11], Nakamura Y[12], Kimura F[13], Iwato K[14], Nawa Y[15], Hirokawa M[16], **Kato K**[17], Ichinohe T[18], Atsuta Y[19], Miyazaki Y[20]

1: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan

2: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan

3: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan

4: Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan

5: Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan

6: Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

7: Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan

8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital, Tokyo, Japan

9: Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan

10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

11: Department of Hematology and Oncology, Okayama University, Okayama, Japan

12: Third Department of Internal of Medicine, Yamaguchi University School of Medicine, Yamaguchi, Japan

13: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, National Defense Medical College, Tokorozawa, Japan

14: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic Bomb Survivors Hospital, Hiroshima, Japan

15: Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital, Matsuyama, Japan

16: Department of General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine, Akita University Graduate School of Medicine, Akita, Japan

17: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan.

18: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan

19: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan

20: Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University, Nagasaki, Japan

Biology of blood and marrow transplantation : journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation. 2017 Nov 28.

産科における新生児管理の実態と管理中の急変症例に関する調査

大城誠, 小山典久[1], 石川薫[2], 大木茂[3]

1: 豊橋市民病院小児科

2: 愛知県周産期医療協議会元会長

3: 聖隷浜松病院総合周産期母子遼センター新生児科

日本周産期・新生児医学会雑誌　53(1):57-63, 2017

胎児期に発症したニーマンピック病C型（NieamannPick disease typeC, NPC）の新生児例

田中龍一, 杉浦時雄[1], **橘本佑樹**, **神澤孝洋**, **新井紗記子**, **落合加奈代**, **濱崎咲也子**, **中山淳**, **安田彩子**, **大城誠**, **鬼頭修**

1: 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野

日本周産期・新生児医学会雑誌　53(2):754-754, 2017

極低出生体重児における生後4週間の総ビリルビン値と暦3歳児の発達予後との関連

新井紗記子, **神澤孝洋**, **落合加奈代**, **濱崎咲也子**, **田中龍一**, **中山淳**, **安田彩子**, **大城誠**, **鬼頭修**

日本周産期・新生児医学会雑誌　53(2):474-474, 2017

早産出生要因となった母体妊娠合併症別の極低出生体重単胎児における暦3歳児の予後との関連因子

大城誠, **浅井幸奈**, **橘本佑樹**, **神澤孝洋**, **落合加奈代**, **濱崎咲也子**, **新井紗記子**, **田中龍一**, **中山淳**, **安田彩子**, **鬼頭修**

日本周産期・新生児医学会雑誌　53(2):489-489, 2017

敗血症, 髄膜炎

大城誠

小児科診療　80:156-160, 2017

成長ホルモン導入前後にCGMを行った先天性複合型下垂体機能低下症の一例

八田容理子, 上條隆司[1]

1: なごやかこどもクリニック

Phamrma Medica　35(2):91-91, 2017

日々の症例カンファランスのあり方ー若手医師が望むリソウのカンファランスー

青井輝希[1], **新井紗記子**, 石丸雅矩[2], 糸島亮[3], 河本敦[4], 櫻井由香里[5], 下澤弘憲[6], 新居広一郎[7]

1: 舞鶴医療センター
2: 東海大学医学部附属病院
3: 市立札幌病院
4: 倉敷中央病院
5: 旭川厚生病院
6: 自治医科大学附属病院
7: 香川大学
日本新生児成育医学会雑誌　29(1):162-166,2017

「重篤な疾患を持つ新生児の家族と医療スタッフの話し合いのガイドライン（話し合いのGL)」をもっと活用しやすくなるように多職種で話し合おう！－どうして話し合いのGLをうまく活用することができないのか？－

福原里恵[1,2,3,5],饗場智[2,4,6],網塚貴介[1,4,7],飯田浩一[1,2,4,8],**大城誠**[1,2,4,9],加部一彦[1,2,4,10],久保実[1,2,4,11],白石淳[2,4,12],田村正徳[1,4,13],飛騨麻里子[2,4,14],船戸正久[1,4,15],和田和子[1,4,16],和田浩[1,2,4,17]
1: 旧　倫理問題検討委員会
2: 現　倫理委員会
3: 委員長
4: 委員
5: 県立広島病院新生児科
6: 山形県立中央病院小児科
7: 青森県立中央病院成育科
8: 大分県立病院総合周産期母子医療センター
9: 名古屋第一赤十字病院小児科
10: 埼玉医科大学総合医療センター新生児科
11: 石川県立中央病院小児科
12: 大阪母子医療センター新生児科
13: 埼玉医科大学総合医療センター小児科
14: 横浜労災病院新生児内科
15: 大阪発達総合療育センター小児科
16: 大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター
17: 大阪発達総合療育センター小児科
日本新生児成育医学会雑誌　29(2):326-328,2017

当初顆粒球成熟障害を呈し,ヘテロ接合性ELANE遺伝子変異を認めた周産期好中球減少症の一例

若松学,関谷由子[1],**坂口大俊**,**吉田奈央**,唐川修平[2],小林正夫[2],松本公一[3],**加藤剛二**
1: 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学・成長発達医学
2: 広島大学大学院医歯薬保健学研究院小児科
3: 国立成育医療研究センター小児がんセンター
日本小児血液・がん学会雑誌　54(1)35-38　2017

A Survery of the actual management and acute life-threatnening events involving healthy newborns in matemrnity wards

Oshiro M, Koyama N[1], Ishikawa K[2], Ohki S[3]
1: Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital
2: Fomer President of Aichi Prefecture Perintal Medical Council
3: Department of Neonatology, Maternal and Perinatal Care Center, Seirei Hamamatsu General Hospital
Journal of Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine　53(1):57-63,2017

総合周産期母子医療センターをもつ災害拠点病院における病院避難訓練～小児周産期リエゾンとの連携を見据えたNICU避難における課題～

今井一徳[1],伊藤友弥[2],水野光規[2],**大城誠**[3],小島俊行[4],花木芳洋[4],高橋礼子[5],小澤和弘[6]
1: あいち小児保健医療センター集中治療科
2: あいち小児保健医療センター救急科
3: 小児科
4: 救急科
5: 厚生労働省DMAT事務局
6: 愛知医科大学災害医療研究センター
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):513-513,2017

Prognostic factors of hydrops fetalis with pleural effusion

Nakayama A[1], **Oshiro M**[1], Yamada Y[2], Hattori T[3], Wakano Y[4,5], Hayashi S[6], Kokubo M[7], Takemoto K[8], Honda S[9], Ieda K[10], Yamamoto H[11], Kouwaki M[12], Yokoi K[13], Shinohara O[14], Kato T[4,] Miyata M[15], Tanaka T[16], Hayakawa M[17]
1: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
2: Division of Reproductive and Perinatal Medical Center, Aichi Medical University Hospital, Nagakute, Japan
3: Department of Neonatology, Anjo Kosei Hospital, Anjo, Japan
4: Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan
5: Department of Pediatrics, Ichinomiya Municipal Hospital, Ichinomiya, Japan
6: Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Okazaki, Japan
7: Department of Pediatrics, Aichi Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives Kainan Hospital, Yatomi, Japan
8: Department of Pediatrics, Konan Kosei Hospital, Konan, Japan
9: Department of Pediatrics, Komaki City Hospital, Komaki, Japan
10: Department of Pediatrics, Tosei General Hospital, Seto, Japan
11: Department of Neonatology, Toyota Memorial Hospital, Toyota, Japan

12: Department of Pediatrics, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Japan
13: Department of Pediatrics, Nagoya City West Medical Center, Nagoya, Japan
14: Department of Pediatrics, Handa City Hospital, Handa, Japan
15: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Aichi, Japan
16: Department of Pediatrics, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan
17: Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan.
Pediatr Int　59(10):1053-1057　2017

新生児・乳児頭部 MRI 検査における真空固定具を用いた無鎮静検査
田中龍一, 大萱俊介, 中山淳, 神澤孝洋, 奥村俊彦, 濱崎咲也子, 立花貴史, 安田彩子, 大城誠, 鬼頭修
日本小児科学会雑誌　121(1), 2017, 60-66

軟口蓋麻痺が初発症状であった Guillain-Barre 症候群の 1 例
坂口陽子[1], 城所博之[1], 小川千香子[1], **竹内智哉**, 横井摂理[2], 根来民子[1], 渡邉一功[1], 夏目淳[1]
1: 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
2: 愛知県青い鳥医療療育センター小児科
小児科臨床　70(1):57-61, 2017

一般・消化器外科、乳腺・内分泌外科、緩和ケア科

口側表層拡大進展範囲の内視鏡診断が困難であった早期胃癌の 1 例
山中裕貴子, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 宮田完志, 村手健太郎[1], 藤野雅彦[2]
1: 消化器内科
2: 細胞診分子病理診断部
消化器外科　40(4):477-482, 2017

脊髄血管芽腫・褐色細胞腫・多発膵腫瘍を合併した vonHippel-Lindau 病の 1 例
加藤翔子, 後藤康友, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 宮田完志, 波多野寿[1], 藤野雅彦[2]
1: 脳神経外科
2: 細胞診分子病理診断部
日本消化器外科学会雑誌　50(7):587-595　2017

結腸左半切除にて救命しえた劇症型 Clostridium difficile 腸炎の 1 例
前田真吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 宮田完志, 藤野雅彦[1]
1: 細胞診分子病理診断部
日本消化器外科学会雑誌　50(5):401-408　2017

左下横隔動脈領域の caliber persistent artery からの難治性胃出血の 1 例
細井敬泰, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 宮田完志, 藤野雅彦[1]
1: 細胞診分子病理診断部
日本消化器外科学会雑誌　50(2):112-121, 2017

腹腔鏡下胆嚢摘出術と同時に摘出した伏針の 1 例
雄谷慎吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78(3)　2017 年 7 月

脾摘術を施行した脾悪性腫瘍 13 例の長期成績
南貴之, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 宮田完志, 伊藤雅文[1], 藤野雅彦[2]
1: 病理部
2: 細胞診分子病理診断部
癌の臨床　63(3):265-272, 2017

膵癌を含む４重複癌の切除後, 長期生存中の 1 例
水谷圭吾, 田中寛, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78(11):2575　2017

術前化学療法にて pCR が得られた進行直腸癌の 1 例
鈴木琢也, 吉岡裕一郎, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 鶴田成昭, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78(11):2575　2017

有茎性腫瘤を呈した胃癌の大腸転移の 1 例
田口遼, 前田真吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78(11):2571　2017

クラミジア感染による小腸腸閉塞の 1 例
毛利康一, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 南貴之, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78:2066-2069　2017

全脳照射にて改善した乳癌髄膜癌腫症に伴う続発性認知症の 1 例

浅井真理子, 田中寛, 後藤康友, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 河合奈津子, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 深田浩志, 水野宏論, 岩瀬拓士, 宮田完志
癌と化学療法　44:2101-2103　2017

急性虫垂炎と比較した虫垂憩室炎の臨床的特徴
梅村将成, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 深田浩志, 宮田完志, 藤野雅彦 [1]
1: 細胞診分子病理診断部
日本臨床外科学会雑誌　78:2391-2397　2017

集学的治療が奏効した乳房悪性葉状腫瘍異時性リンパ節転移の 1 例
田中寛, 後藤康友, 南貴之, 長尾拓哉, 毛利康一, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78:1225-1229　2017

術前平均赤血球容積は StageⅡ大腸癌切除例の予後予測因子である
細井敬泰, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78:905-915　2017

腹腔鏡下胆嚢摘出術と同時に摘出した伏針の 1 例
雄谷慎吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 宮田完志
日本臨床外科学会雑誌　78:591-595　2017

腹腔鏡下に観察し切除した空腸間膜血管脂肪腫の 1 例
吉岡裕一郎, 三宅秀夫, 永井英雅, 奥野正隆, 細井敬泰, 南貴之
臨床外科　72:1387-1391　2017

乳房に発生した多形型死亡肉腫の 1 例
後藤康友, 浅井真理子, 湯浅典博, 宮田完志, 藤野雅彦 [1]
1: 細胞診分子病理診断部
臨床外科　72:77-80　2017

MIB-1 index is unlikely to predict relapse-free survival in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma
Minami T, Yuasa N, Miyake H, Takeuchi E, Nagai H, Ito M[1], Kiriyama A[1], Miyata K
1: 病理部
Diseases of The Esophagus　1-8　2017

心臓血管外科

低侵襲僧帽弁手術において，メイズ，三尖弁輪形成の同時施行は妥当か?
所正佳, 伊藤敏明, 前川厚生, 澤木完成, 柳澤淳次, 尾関貴啓, 折居衛, 雜賀俊行
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 65(suppl): 439 -439 2017

両側内胸動脈グラフトによる左冠動脈領域の血行再建の検討
林泰成, 伊藤敏明, 前川厚生, 澤木完成, 所正佳, 柳澤淳次, 尾関貴啓, 折居衛
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 65(suppl): 466 -466 2017

急性心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する術式の検討
尾関貴啓, 伊藤敏明, 前川厚生, 澤木完成, 所正佳, 柳澤淳次, 折居衛, 雜賀俊行
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 65(suppl): 628 -628 2017

MICS AVR vs TAVR 手術成績と低侵襲性
所正佳, 伊藤敏明, 前川厚生, 澤木完成, 柳澤淳次, 尾関貴啓, 折居衛
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 65(suppl): 845 -845 2017

MICS MVP の早期成績～正中 MVP との比較検討～
所正佳, 伊藤敏明, 前川厚生, 澤木完成, 柳澤淳次, 尾関貴啓
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 65(suppl): 854 -854 2017

呼吸器外科

肺アスペルギローマ切除より 5 年後にアスペルギルス有瘻性膿胸を合併した 1 例
木村令 [1], 谷本光希 [1], 横山佑衣子 [1], 町井春花 [1], 佐野未来 [1], 田宮裕太郎 [1], 西山裕乃 [1], 篠塚怜衣 [1], 山田衣里子 [1], 高納崇 [1], 石川紫都 [1], 青山大輔 [1], 横山俊彦 [1], 野村史郎 [1], 川角佑太, 門松由佳, 上野陽史, 森正一
1: 呼吸器内科
気管支学　39(SUPPL):5315-5315, 2017

顆粒球コロニー刺激因子の発現を認めた限局性悪性胸膜中皮腫の 1 切除例
門松由佳, 川角佑太, 上野陽史, 内山美佳, 森正一
日本呼吸器外科学会雑誌　31(5):689-696, 2017

上大静脈および腕頭静脈合併切除を施行した胸部悪性腫瘍症例における血行再建術式と周産期管理の検討
門松由佳, 森正一, 上野陽史, 福本紘一 [1], 内山美佳 [2], 重光希公生 [3], 吉岡洋 [4], 横井香平 [1]
1: 名古屋大学呼吸器外科

2: 小牧市民病院呼吸器外科
3: 大垣市民病院呼吸器外科
4: 名古屋第二赤十字病院呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌　31(4):446-452,2017

肺癌術後にギランバレー症候群を発症した 1 例
門松由佳,川角佑太,上野陽史,宇佐美範恭[1],**内山美佳,森正一**
1: 一宮市立市民病院
肺癌　57(5):499-499　2017

妊娠中に胸痛を契機に発見され,経過中に自然縮小を認めた胸腺腫の 1 手術例
門松由佳,川角佑太,上野陽史,内山美佳,森正一
肺癌　57(5):508-508,2017

進行期肺癌合併気胸 24 例の検討
上野陽史,川角佑太,門松由佳,内山美佳,森正一
肺癌　57(5):499-499,2017

前横隔腫瘍の鑑別と術中隣接臓器合併切除の検討
上野陽史,川角佑太,門松由佳,内山美佳,森正一
肺癌　57(5):508-508,2017

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の 1 例
福原伸彦[1],安藤智子[1],上田真子[1],大西主真[1],江崎正俊[1],木村晶子[1],三澤研人[1],坂田慶子[1],夫馬和也[1],猪飼恵[1],三宅菜月[1],西子裕規[1],栅木善旭[1],栗林ももこ[1],手塚敦子[1],坂堂美央子[1],斎藤愛[1],廣村勝彦[1],津田弘之[1],**森正一**,水野公雄[1]
1: 産婦人科
東海産科婦人科学会雑誌　54:241-245　2017

脳神経外科

Sinus Pericranii with Dominant Benous Outflow in the Superior Eyelid
Ito E[1], Takasu S[2], **Hattori K**
1: Department of Neurosurgery, Gifu Prefectural Tajimi Hospital
2: Department of Neurosurgery, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital
Neurologia medico-chirurgica　57(3):144-148　2017

脊髄血管芽腫・褐色細胞腫・多発膵腫瘍を合併した vonHippel-Lindau 病の 1 例
加藤翔子[1],後藤康友[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],宮田完志[1],**波多野寿**,藤野雅彦[2]
1: 一般・消化器外科
2: 細胞診分子病理診断部
日本消化器外科学会雑誌　50(7):587-595　2017

産婦人科

突然の多量性器出血によりショック状態を呈した子宮動脈奇形の 1 例
猪飼恵,江崎正俊,鈴木一弘,池田沙矢子,齋藤愛,廣村勝彦,古橋円
産科と婦人科　84(5):631-634,2017

急速な経過で死に至った S 状結腸癌卵巣直接浸潤の 1 例
長尾有佳里,新保暁子[1],**三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,三宅菜月,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄**
1:名古屋大学医学部産婦人科
産科と婦人科　84(4):499-505,2017

診断および治療に腹腔鏡下手術が有用であった卵巣外子宮内膜症性嚢胞の一例
長尾有佳里,猪飼恵,坂堂美央子,齋藤愛,廣村勝彦,安藤智子
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌　33(1):173-177,2017

造血細胞移植後女性の卵巣機能不全に対するホルモン補充療法の導入と継続に関する検討
齋藤愛,安藤智子,福原伸彦,長尾有佳里,三宅菜月,栗林ももこ,坂堂美央子
日本女性医学学会雑誌　25(1):44-49,2017

Factors associated with delivery at or after 28 weeks gestation in women with bluging fetal membranes before 26 weeks gestation
Ito A, Maseki Y, Ikeda S, Tezuka A, Kuribayashi M, Furuhashi M
The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine　30(17):2046-2050　2017

Simulation training is useful for shortening the decision-to-delivery interval in cases of emergent cesarean section
Iitani Y, **Tsuda H**, Ito Y, Moriyama Y, Nakano T, Imai K, Kotani T, Kikkawa F
The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine　16:1-5　2017

劇症型アメーバ感染症を併発し死亡に至った子宮頸癌の一例
江崎正俊,坂堂美央子,上田真子,大西主真,村瀬充香,木村晶子,三澤研人,福原伸彦,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,栅木善旭,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
東海産科婦人科学会雑誌　54:165-171　2017

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の１例
福原伸彦, 安藤智子, 上田真子, 大西主真, 江崎正俊, 木村晶子, 三澤研人, 坂田慶子, 夫馬和也, 猪飼恵, 三宅菜月, 西子裕規, 柵木善旭, 栗林ももこ, 手塚敦子, 坂堂美央子, 斎藤愛, 廣村勝彦, 津田弘之, 森正一 [1], **水野公雄**
1: 呼吸器外科
東海産科婦人科学会雑誌　54:241-245　2017

整形外科

広範囲重症熱傷後に発症した異所性骨化３例に対する治療方針の検討
水藤元武 [1], 柳澤大輔 [1], **堀井恵美子**, 星野夕紀 [1], 高清水一慶 [1], 金城勇人 [1], 紅俊介 [1], 岩澤幹直 [2]
1: 信州大学医学部形成再建外科
2: 長野赤十字病院形成外科
日本形成外科学会総会・学術集会抄録　(60):395-395, 2017

小児上腕骨顆上骨折の治療経験
杉浦洋貴, 堀井恵美子
骨折　39:5187-5187, 2017

大腿骨近位部骨折の手術方の違いによる術後成績についてーγネイル固定と人工骨頭置換術の比較ー
海老原恵理 [1], 高木寛人 [1], 山川桂子 [1], 中山靖唯 [1], **洪淑貴, 山本英樹**
1: リハビリテーション科
愛知県理学療法学会誌　29(1):3-7　2017

耳鼻咽喉科

健常者の早口言葉の誤りの分析ー誤り音と早口言葉の性質に注目してー
山川瑞季, 吉田敬 [1]
1: 愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科源吾聴覚学専攻
日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集　(43):88-88, 2017

語音弁別能の改善から考える補聴器両耳装用の価値
小林万純, 柘植勇人, 大西俊, 伊藤潤平, 鈴木淳志, 寺田聡広, 曾根三千彦 [1]
1: 名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報　120(4):632-632, 2017

麻酔科

下肢整形外科手術中に発症した肺血栓塞栓症の診断に経食道心エコーが有用であった一例
中嶋麻里, 横田修一, 北尾岳, 冨田貴子, 土師初美, 村瀬洋敏, 片岡万紀子
日本臨床麻酔学会　37(6):5279-5279, 2017

A randomized controlld trial comparing paravertebral block via the surgical field with thoracic epidural block using ropivacaine for posst-thoracotomy pain relief
Tamura T, Mori S[1], Ando M[1], **Yokota S**, Shibata Y[1], Nishiwaki K[1]
1: 名古屋大学医学部附属病院　麻酔科
J Anesth. 2017 Apr;31(2):263-270

Transesophageal echocardiograms of a Left Atrial Rhabdomyosarcoma
Tamura T
Ann Thorac Surg. 2017 Jun;103(6):e555.

泌尿器科

骨盤臓器脱手術後の尿失禁に対する理学療法の効果
渡邉日香里 [1], **加藤久美子**, 井上倫恵 [1], 鈴木重行 [1]
1: 名古屋大学大学院医学系研究科
愛知県理学療法学会誌　29:104-104, 2017

「泌尿器科」頻尿＋夜間頻尿
加藤久美子
治療　99(3):323-327, 2017

帝王切開後の膀胱子宮瘻に対しLH-RHアゴニストが奏功した１例
永山洵, 加藤久美子, 松井宏孝, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木省治, 山本茂樹, 鈴木弘一, 服部良平
日本泌尿器科学会雑誌　108(2):118-121, 2017

眼科

名古屋第一赤十字病院における未熟児網膜症の現状
中野友哉子, 佐藤英津子, 羅英明
眼科臨床紀要　10(6):482-485　2017

結核性髄膜炎・眼病変が疑われ, 治療経過中に大脳白質病変を呈した一例
髙阪勇輔 [1], 小森祥太 [1], 森盟 [1], 平野聡子 [1], 渡邉はづき [1], 馬渕直紀 [1], 後藤洋二 [1], 真野和夫 [1], **宇佐美欽通, 小林三砂紀, 佐藤英津子**
1: 神経内科

臨床神経学　57(12):806,2017

リハビリテーション科

大腿骨近位部骨折の手術方の違いによる術後成績について－γネイル固定と人工骨頭置換術の比較－
海老原恵理,高木寛人,山川桂子,中山靖唯,洪淑貴[1],山本英樹[1]
1: 整形外科
愛知県理学療法学会誌　29(1):3-7　2017

安静臥位時の呼吸困難が下肢の挙上により改善した間質性肺炎の一症例
田口季依,中村和司
愛知県理学療法学会誌　29:100-100,2017

パーキンソン病における発声・発話治療－般化に向けて－
田中康博[1],坪井崇[1],レビット順子[2],**田中まゆ**,田中教義[3],渡辺宏久[1],勝野雅央[1]
1: 名古屋大学神経内科
2: テキサス女子大学コミュニケーション科学・障害学科
3: 蒲郡市民病院　リハビリテーション科
保健医療学雑誌　8(1):80-88,2017

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉,中村和司,高木寛人,中山靖唯,佐藤貴彦[1],小澤幸泰[1],宮村耕一[1]
1: 血液内科
理学療法学 Supplement　2016(0):1450　2017

Voice and speech treatment of Parkinson's disease: Treatment approach toward generalization.
Tanaka Y[1], Tsuboi T[1], J S Levitt[2], **Tanaka M**, Tanaka N[3], Watanabe H[1], Katsuno M[1]
1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine
2: Department of Communication Sciences & Disorders, Texas Woman's University
3: Department of Rehabilitation Gamagori City Hospital
The Journal of Allied Health Sciences　8(1):80-88,2017

救急部

救急医療を支える血液事業とは－救命救急センターにおける血液製剤の使用状況－
花木芳洋,村上和代[1],小澤幸泰[1],遠藤美紀子[2],加藤秀樹[2],湯浅典博[2]
1: 輸血部
2: 検査部
血液事業　39(4):733-734,2017

病院避難！どこへ？南海トラフ巨大地震を想定して
小島俊行,久保敦史,服部哲幸,大鐘隆宏,黒野康正,**花木芳洋**
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):549-549,2017

小児周産期災害リエゾン～平時からの連携も視野に入れて～
伊藤友弥[1],北川喜己[2],**花木芳洋**,稲田眞治[3],小澤和弘[4],高橋礼子[5]
1: あいち小児保健医療総合センター救急科
2: 名古屋掖済会病院救命救急センター
3: 名古屋第二赤十字病院救命救急センター
4: 愛知医科大学災害医療研究センター
5: 国立病院機構災害医療センター
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):480-480,2017

総合周産期母子医療センターをもつ災害拠点病院における病院避難訓練～小児周産期リエゾンとの連携を見据えたNICU避難における課題～
今井一徳[1],伊藤友弥[2],水野光規[2],大城誠[3],**小島俊行**[4],**花木芳洋**[4],高橋礼子[5],小澤和弘[6]
1: あいち小児保健医療センター集中治療科
2: あいち小児保健医療センター救急科
3: 小児科
4: 救急科
5: 厚生労働省 DMAT 事務局
6: 愛知医科大学災害医療研究センター
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):513-513,2017

放射線科

心臓悪性リンパ腫の１例
河合雄一,奥村真之,富家未来,河村綾希子,伊藤茂樹,三浦絢子[1],二橋尚志[2]
1: 循環器内科
2: 小牧市民病院放射線科
核医学　54(1):565-565,2017

病理部、細胞診分子病理診断部

小児造血不全症の病理中央診断

伊藤雅文
臨床血液　58(6)：2017

口側表層拡大進展範囲の内視鏡診断が困難であった早期胃癌の1例
山中裕貴子[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],宮田完志[1],村手健太郎[2],**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
2: 消化器内科
消化器外科　40(4):477-482,2017

A case of perirenal extramedullary hematopoiesis in a patient with primary myelofibrosis
Imai K[1], Aoi T[1], Kitai H[1], Endo N[1], **Fujino M**, Ichida S[1]
1: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
CEN Case Reports　6(2):194-199,2017

脾摘術を施行した脾悪性腫瘍13例の長期成績
南貴之[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],奥野正隆[1],宮田完志[1],**伊藤雅文**,**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
癌の臨床　63(3):265-272,2017

結腸左半切除にて救命しえた劇症型Clostridium difficile腸炎の1例
前田真吾[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],奥野正隆[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
日本消化器外科学会雑誌　50(5):401-408　2017

左下横隔動脈領域のcaliber persistent arteryからの難治性胃出血の1例
細井敬泰[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],奥野正隆[1],南貴之[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
日本消化器外科学会雑誌　50(2):112-121,2017

脊髄血管芽腫・褐色細胞腫・多発膵腫瘍を合併したvonHippel-Lindau病の1例
加藤翔子[1],後藤康友[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],宮田完志[1],波多野寿[2],**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
2: 脳神経外科
日本消化器外科学会雑誌　50(7):587-595　2017

急性虫垂炎と比較した虫垂憩室炎の臨床的特徴
梅村将成[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],深田浩志[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1: 一般・消化器外科
日本臨床外科学会雑誌　78:2391-2397　2017

MIB-1 index is unlikely to predict relapse-free survival in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma
Minami T[1], Yuasa N[1], Miyake H[1], Takeuchi E[1], Nagai H[1], **Ito M**, **Kiriyama A**, Miyata K[1]
1: 一般・消化器外科
Diseases of The Esophagus　1-8　2017

Recurrent MYB rearrangement in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm
Suzuki K[1], Suzuki Y[2], Hama A[1], Muramatsu H[1], Nakatochi M[3], **Gunji M**[4], Ichikawa D[1], Hamada M[1], Taniguchi R[1], Kataoka S[1], Murakami N[1], Kojima D[1], Sekiya Y[1], Nishikawa E[1], Kawashima N[1], Narita A[1], Nishio N[1,3], Nakazawa Y[5], Iwafuchi H[6], Watanabe KI[7], Takahashi Y[1], **Ito M**[4], Kojima S[1], Kato S[2], Okuno Y[3]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
2: Department of Pathology and Laboratory Medicine, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan
3: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan
4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
5: Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan
6: Department of Pathology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan
7: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan
Leukemia. 2017 Jul;31(7):1629-33

Increase of bone marrow macrophages and CD8+ T lymphocytes predict graft failure after allogeneic bone marrow or cord blood transplantation
Kawashima N[1,2], Terakura S[2], Nishiwaki S[2], Koyama D[1,2], Ozawa Y[1], **Ito M**[3], Miyamura K[1]
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
2: Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
Bone Marrow Transplant. 2017 Aug;52(8):1164-70

検査部、輸血部

救急医療を支える血液事業とは－救命救急センターにおける血液製剤の使用状況－
花木芳洋[1],**村上和代**[2],**小澤幸泰**[2],**遠藤美紀子**[3],**加藤秀樹**[3],**湯浅典博**[3]
1: 救急部

2: 輸血部
3: 検査部
血液事業　39(4):733-734,2017

一般検査室におけるインシデントの検討
恒川浩二郎,加藤秀樹,湯浅典博
日本医療マネジメント学会雑誌　18:265-265,2017

検査技師のノンテクニカルスキル向上のための取り組み
杉浦由季,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博
日本医療マネジメント学会雑誌　18:225-225,2017

女性における血性レムナントリポ蛋白と動脈硬化との関連
山森雅大,永山円,遠藤美紀子,加藤敦美,堀田美佐,前岡悦子,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査　66(6):615-621,2017

薬剤部

薬剤師トレーニングによるCOPD吸入薬の自己体験を生かした吸入指導の有用性
中村敏史[1,6],長谷川雅哉[2,6],**野村浩夫**[6],宇野浩生[3,6],武藤達也[4],葛谷真理[5],岡本浩一[6]
1: 名古屋掖済会病院薬剤部
2: 津島市民病院薬剤部
3: 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院薬剤部
4: 名鉄病院薬剤部
5: 名古屋第二赤十字病院薬剤部
6: 名城大学薬学部薬物動態制御学研究室
日本病院薬剤師会雑誌　53(8):975-980,2017

病院避難！どこへ？南海トラフ巨大地震を想定して
小島俊行,久保敦史,**服部哲幸**,大鐘隆宏,**黒野康正**,花木芳洋
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):549-549,2017

医療技術部

カオリンACTの過度な延長とセライトACTから推察されるAT3の欠乏
蜂須賀章友,開正宏,中井悠二,落合友彌,山鹿彰,服部敏之
体外循環技術 44(2):133-133,2017

看護部

急性期の痛みの軽減のための取り組み
平岩美緒[1]
1: 新生児集中ケア認定看護師会副会長
日本新生児看護学会誌　23(1):48-48,2017

病院避難！どこへ？南海トラフ巨大地震を想定して
小島俊行,久保敦史,服部哲幸,**大鐘隆宏**,黒野康正,花木芳洋
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):549-549,2017

【5時間目】お腹が痛い患者さん
柚木さよ
エマージェンシー・ケア　30(5):458-465,2017

管理局業務部

病院避難！どこへ？南海トラフ巨大地震を想定して
小島俊行,**久保敦史**,服部哲幸,大鐘隆宏,黒野康正,花木芳洋
Japanese Journal of Disaster Medicine　21(3):549-549,2017

Ⅱ．業　　績

３．学　会

平成 29 年 1 月～12 月

腎臓内科

An Improved Approach for Advance Care Planing in the Clinical Setting of Geriatric Nephrology
Ishikawa H
5th Annual World Congress of Geriatrics and Gerontology-2017

内分泌内科

ニボルマブ投与後に副腎不全に至った肺癌の一例
吉藤真梨子, 岡崎美香子, 柳沼裕史, 安田寛子, 渡邉保子, 清田篤志, 横山俊彦[1], 野村史郎[1], **尾崎信暁**
1: 呼吸器内科
日本内科学会東海支部主催第 231 回東海地方会　2017 年 2 月　津市

術前採血検査を利用した待機的直腸低位前方切除術での縫合不全のリスク評価
吉岡裕一郎[1], 春田純一[2], **清田篤志**
1: 一般・消化器外科
2: 消化器内科
第 32 回日本静脈経腸栄養学会　2017 年 2 月　岡山市

経口ブドウ糖負荷試験で GH の奇異性上昇を認めた先端巨大症の 1 例
安田寛子, 吉藤真梨子, 岡崎美香子, 柳沼裕史, 清田篤志, 渡邉保子, 須崎法幸[1], **尾崎信暁**
1: 国立病院機構名古屋医療センター脳神経外科
第 90 回日本内分泌学会学術総会　2017 年 4 月　京都市

57 歳で診断した AVPR2 新規遺伝子変異による先天性腎性尿崩症の一例
吉藤真梨子, 岡崎美香子, 柳沼裕史, 安田寛子, 渡邉保子, 清田篤志, 尾崎信暁
日本内科学会第 232 回東海地方会　2017 年 6 月　名古屋市

カベルゴリン治療により血糖コントロールの改善を認めた PRL、GH 産生下垂体腫瘍の 1 例
上田一裕, 吉藤真梨子, 岡崎美香子, 渡邉保子, 清田篤志, 尾崎信暁
第 17 回日本内分泌学会東海支部学術集会　2017 年 9 月　名古屋市

集中治療にて救命しえた粘液水腫性昏睡の一例
上田一裕, 吉藤真梨子, 岡崎美香子, 渡邉保子, 清田篤志, 尾崎信暁
第 60 回日本甲状腺学会学術集会　2017 年 10 月　別府市

SAP 使用中インスリンアレルギーを発症しステロイド内服で改善した 1 型糖尿病の 1 例
岡崎美香子, 清田篤志, 吉藤真梨子, 柳沼裕史, 安田寛子, 渡邉保子, 木村那智[1], **尾崎信暁**
1: ソレイユ千種クリニック
第 91 回日本糖尿病学会中部地方会　2017 年 10 月　金沢市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1], 春田純一[1], **清田篤志**[1], 黒野康正[1]
1: 名古屋第一赤十字病院　NST
第 53 回日本赤十字社医学会総会　　2017 年 10 月　仙台市

ヘミン製剤により症状改善を得た急性ポルフィリン症の 1 例
柳沼裕史, 清田篤志, 吉藤真梨子, 岡崎美香子, 安田寛子, 渡邉保子, 尾崎信暁
日本内科学会第 233 回東海地方会　2017 年 10 月　岐阜市

Composite paraganglioma-ganglioneuroma で再発した VHL 病の一例
吉藤真梨子, 岡崎美香子, 上田一裕, 柳沼裕史, 安田寛子, 渡邉保子, 清田篤志, 尾崎信暁
第 27 回臨床内分泌代謝 Update　2017 年 11 月　神戸市

血液内科

単一施設における成人血縁移植における Marrow, PB の成績比較
加賀谷裕介, 大引真理恵, 尾崎正英, 吉野実世, 池野世新, 佐藤貴彦, 中島麻梨絵, 森下番允, 小澤幸泰, 宮村耕一
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植後の一次生着不全の検討
水牧裕希[1,2], 青木淳[3], 諫田淳也[4], 福田隆浩[5], 神田善伸[6,7], 大橋一輝[8], 内田直之[9], **小澤幸泰**[10], 熱田由子[11], 宮崎泰司[12], 石山謙[2]
1: 石川県立中央病院血液内科
2: 金沢大学附属病院血液内科
3: 神奈川県立がんセンター血液内科
4: 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学
5: 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科
6: 自治医科大学附属病院血液内科
7: 自治医科大学附属さいたま医療センター血液科
8: がん・感染症センター都立駒込病院血液内科
9: 国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科

10: 名古屋第一赤十字病院血液内科
11: 日本造血細胞移植データセンター
12: 長崎大学原爆後障害医療研究所原爆・ヒバクシャ医療部門血液内科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

トリソミー8 を含む骨髄異形成症候群の同種造血細胞移植における予後因子解析：成人骨髄異形成症候群 WG 研究
小沼貴晶[1], 宮崎泰司[2], 内田直之[3], 大橋一輝[4], 近藤忠一[5], 中前博久[6], 高橋聡[1], 森毅彦[7], **小澤幸泰**[8], 加藤千明[9], 岩戸康治[10], 福田隆浩[11], 一戸辰夫[12], 熱田由子[13,14], 石山謙[15]
1: 東京大学医科学研究所血液腫瘍内科
2: 長崎大学原爆後障害医療研究所原爆・ヒバクシャ医療部門血液内科
3: 国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科
4: がん・感染症センター都立駒込病院血液内科
5: 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学
6: 大阪市立大学医学部附属病院血液内科・造血細胞移植科
7: 慶応義塾大学医学部血液内科
8: 名古屋第一赤十字病院血液内科
9: 名鉄病院血液内科
10: 広島赤十字・原爆病院血液内科
11: 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科
12: 広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野
13: 日本造血細胞移植データセンター
14: 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学
15: 金沢大学附属病院血液内科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

完全静脈栄養の長期使用は同種造血細胞移植後の理学療法に影響する
松永佑哉[1], 中村和司[1], 中山靖唯[1], **佐藤貴彦**[2], 高坂久美子[3], **大引真理恵**[2], **尾崎正英**[2], **吉野実世**[2], **池野世新**[2], **中島麻梨絵**[2], **加賀谷裕介**[2], **森下喬允**[2], **瀬戸愛花**[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], **小澤幸泰**[2], **宮村耕一**[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 造血細胞移植センター
4: 整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

寛解期で造血幹細胞移植を施行された成人フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病（non PhALL）における graft-versus-host disease-free, relapse-free survival（GRFS）の検討～JSHCT 成人 ALLWG 研究
藤澤信[1], 鵜飼知嵩[2], 大橋一輝[3], **小澤幸泰**[4], 福田隆浩[5], 内田直之[6], 金森平和[7], 一戸辰夫[8], 田中淳司[9], 熱田由子[10], 水田秀一[11]
1: 横浜市立大学附属市民総合医療センター血液内科
2: 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部
3: がん・感染症センター都立駒込病院血液内科
4: 名古屋第一赤十字病院血液内科
5: 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科
6: 国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科
7: 神奈川県立がんセンター血液内科
8: 広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野
9: 東京女子医科大学病院血液内科
10: 日本造血細胞移植データセンター
11: 国立病院機構豊橋医療センター血液内科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

血管内皮障害関連移植後合併症のバイオマーカー解析と治療成績についての検討
小澤幸泰[1], 尾関和貴[2], 河野彰夫[2], **宮村耕一**[1], 森下剛久[2]
1: 名古屋第一赤十字病院血液内科
2: 江南厚生病院血液腫瘍内科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

造血細胞移植における免疫抑制薬の未承認・適応外使用状況の検討:ドラッグ・ラグ解消に向けて
鍬塚八千代[1], 熱田由子[2], 平川晃弘[1], 内田直之[3], 土岐典子[4], 一戸辰夫[5], 井上雅美[6], 高梨美乃子[7], 岡本真一郎[8], **宮村耕一**[9], 福田隆浩[10]
1: 名古屋大学先端医療・臨床研究支援センター
2: 日本造血細胞移植データセンター
3: 国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科
4: がん・感染症センター都立駒込病院血液内科
5: 広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野
6: 大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科
7: 日本赤十字社血液事業本部
8: 慶応義塾大学医学部血液内科
9: 名古屋第一赤十字病院血液内科
10: 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科

第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

当科における同種造血幹細胞移植早期の緑膿菌敗血症奨励の検討
中島麻梨絵, 大引真理恵, 尾崎正英, 吉野実世, 池野世新, 佐藤貴彦, 加賀谷裕介, 森下番允, 瀬戸愛花, 小澤幸泰, 宮村耕一
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

本邦の同種造血幹細胞移植後長期生存成人患者の QOL に関する横断的観察研究:慢性 GVHD 臓器別重症度と QOL
黒澤彩子[1], 大島久美[2], 山口拓洋[3], 柳澤昌実[4], 福田隆浩[1], 金森平和[5], 森毅彦[6], 高橋聡[7], 近藤忠一[8], 河野彰夫[9], **瀬戸愛花**[10], 梅本由香里[11], 豊嶋崇徳[12], 谷口修一[13], 山下卓也[14], 熱田由子[4]
1: 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科
2: 広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野
3: 東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野
4: 日本造血細胞移植データセンター
5: 神奈川県立がんセンター血液内科
6: 慶応義塾大学医学部血液内科
7: 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科
8: 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学
9: 江南厚生病院血液・腫瘍内科
10: 名古屋第一赤十字病院血液内科
11: 大阪市立大学医学部附属病院血液内科・造血細胞移植科
12: 北海道大学病院血液内科
13: 国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科
14: 聖路加国際病院血液内科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

わが国における血縁者間末梢血幹細胞凍結の実態の把握のためのアンケート調査
小林武[1], 大橋一輝[1], 原口京子[2], 奥山美樹[2], 日野雅之[3], 田中淳司[4], 上田恭典[5], 西田徹也[6], 熱田由子[7], 高梨美乃子[8], 飯田美奈子[9], 室井一男[10], 矢部普正[11], **宮村耕一**[12]
1: がん・感染症センター都立駒込病院血液内科
2: がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科
3: 大阪市立大学医学部附属病院血液内科・造血細胞移植科
4: 東京女子医科大学血液内科学講座
5: 倉敷中央病院血液内科
6: 名古屋大学医学部附属病院血液内科
7: 日本造血細胞移植データセンター
8: 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
9: 愛知医科大学医学部造血細胞移植振興寄附講座
10: 自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部
11: 東海大学医学部再生医療科学
12: 名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

当院における急性骨髄性白血病および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植後の Wilmstumorgene-1 (WT1) の経時的変化
池野世新, 瀬戸愛花, 大引真理恵, 尾崎正英, 吉野実世, 佐藤貴彦, 加賀谷裕介, 中島麻梨絵, 森下番允, 小澤幸泰, 宮村耕一
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

急性骨髄性白血病と急性リンパ性白血病における同種造血幹細胞移植前後の比較
中村和司[1], 松永佑哉[1], 中山靖唯[1], **佐藤貴彦**[2], 高坂久美子[3], **大引真理恵**[2], **尾崎正英**[2], **吉野実世**[2], **池野世新**[2], **中島麻梨絵**[2], **加賀谷裕介**[2], **森下番允**[2], **瀬戸愛花**[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], **小澤幸泰**[2], **宮村耕一**[2]
1: 名古屋第一赤十字病院リハビリテーション科
2: 名古屋第一赤十字病院血液内科
3: 名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター
4: 名古屋第一赤十字病院整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

dasatinib 内服中に発症したサイトメガロウイルス腸炎の 3 例
尾崎正英, 大引真理恵, 吉野実世, 池野世新, 佐藤貴彦, 中島麻梨絵, 加賀谷裕介, 森下番允, 小澤幸泰, 宮村耕一
第 6 回日本血液学会東海地方会　2017 年 4 月　名古屋市

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉[1], 中村和司[1], 中山靖唯[1], **佐藤貴彦**, 高坂久美子[2], **大引真理恵**, **尾崎正英**, **吉野実世**, **池野世新**, **中島麻梨絵**, **加賀谷裕介**, **森下番允**, **瀬戸愛花**, 山本英樹[3], 洪淑貴[3], **小澤幸泰**, **宮村耕一**
1: リハビリテーション科
2: 看護部
3: 整形外科
第 52 回日本理学療法学会学術大会　2017 年 5 月　千葉市

造血幹細胞移植患者の下肢筋力に影響する因子の検討

中村和司[1],松永佑哉[1],髙木寛人[1],中山靖唯[1],**佐藤貴彦**,**小澤幸泰**,**宮村耕一**
1: リハビリテーション科
第52回日本理学療法学術大会　2017年5月　千葉市

Higher peak tacrolimus concentrations after allogeneic transplantation increase the risk of endothelial cell damage complications
Morishita T
22nd Congress of European Hematology Association, 21-26 June 2017, Madrid, Spain

The possibility of MSC infusion for the treatment of transplant-associated microangiopathy
Morishita T, Ohbiki M, Yoshino M, Osaki M, Ikeno S, Sato T, Nakashima M, Kagaya Y, Ozawa Y, Miyamura K
第79回日本血液学会学術集会　2017年10月　東京都

Iodine staining and p16 evaluatiom could detect precancerous esophageal lesion after allogeneic HSCT
Sato T, Seto A, Ohbiki M, Osaki M, Yoshino M, Ikeno S, Nakashima M, Kagaya Y, Kawashima N, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K, Haruta J[1], Ito M[2]
1: Dept. Gastroenterology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
2: Dept. Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第79回日本血液学会学術集会　2017年10月　東京都

Diffuse large B-cell Lymphoma with MYC gene rearrangements.
Ohbiki M, Osaki M, Yoshino M, Ikeno S, Sato T, Kagaya Y, Nakashima M, Morishita T, Ozawa Y, Ito M[1], **Miyamura K**
1: Dept. Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第79回日本血液学会学術集会　2017年10月　東京都

Multi-lineage response of eltrombopag in refractory patients with moderate/severe aplastic anemia
Ohata K[1], Yamazaki H[2], Iida H[3], Imada K[4], Obara N[5], Yokumine Y[6], Tomiyama Y[7], Usuki K[8], Imajo k[9], **Miyamura K**[10], Sasaki O[11], Fanghong Zhang[12], Hattori T[12], Tajima T[12], Umezu M[12], Nakao S[13]
1: Dept. Hematology, Osaka Saiseikai Nakatsu Hospital
2: Div. Transfusion Medicine, Kanazawa University Hospital
3: Dept. Hematology, NHO Nagoya medical Center
4: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Osaka Hospital
5: Dept. Hematology, University of Tsukuba
6: Dept. Hematology, Itami City Hospital
7: Dept. Blood Transfusion, Osaka University Hospital
8: Dept. Hematology, NTT Medical Center Tokyo
9: Dept. Hematology/Oncology, Okayama City Hospital
10: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
11: Dept. Hematology, Miyagi Cancer Center
12: Novartis Pharma K.K.
13: Dept. Hematology, Kanazawa University
第79回日本血液学会学術集会　2017年10月　東京都

Three successful cases of hepatosplenic T-cell lymphoma
Ohbiki M, Osaki M, Yoshino M, Ikeno S, Sato T, Kagaya Y, Nakashima M, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
第79回日本血液学会学術集会　2017年10月　東京都

同種造血幹細胞移植患者における移植前後の身体機能と運動耐容能の変化
永井将貴[1],中村和司[1],松永佑哉[1],**佐藤貴彦**
1: リハビリテーション科
第44回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会　2017年11月　舞鶴市

神経内科

細菌性髄膜炎、化膿性海綿静脈洞血栓症、脳梗塞を合併したLemierre症候群の一例
小森祥太,**森盟**,**田中美咲**,**村尾厚徳**,**渡邉はづき**,**馬渕直紀**,**後藤洋二**,**真野和夫**
第147回日本神経学会東海・北陸地方会　2017年3月　名古屋市

病初期に遺伝性筋疾患との鑑別を要したvalosin-containing protein(VCP)関連筋萎縮性側索硬化症の1例
安藤孝志[1],上田美紀[1],中村亮一[1],中西浩隆[1],川頭祐一[1],曽根淳[1],熱田直樹[1],久留聡[2],**後藤洋二**[3],**真野和夫**[3],勝野雅央[1]
1: 名古屋大学神経内科
2: 国立病院機構鈴鹿病院神経内科
3: 神経内科
第147回日本神経学会東海・北陸地方会　2017年3月　名古屋市

ドーパミントランスポーターSPECT（DAT SPECT）で高度集積低下のみられたbeta-propeller protein-associated neurodegeneration(BPAN)の1例
服部達哉[1],服部優子[1],**後藤洋二**[2],吉野浩代[3],服部信孝[3]
1: 本町クリニック

2: 名古屋第一赤十字病院神経内科
3: 順天堂大学神経内科
第 147 回日本神経学会東海・北陸地方会　2017 年 3 月　名古屋市

脊髄小脳失調症 6 型の綿条体機能
堀本佳彦[1], 飯田昭彦[2], **後藤洋二**, 加藤重典[3], 稲垣亜紀[1], 田島稔久[1], 日比野敬明[1], 深川和利[1], 蒲澤秀洋[1]
1: 名古屋市総合リハビリテーションセンター神経内科
2: 名古屋市総合リハビリテーションセンター放射線科
3: 名古屋第二赤十字病院神経内科
第 148 回日本神経学会東海・北陸地方会　2017 年 7 月　名古屋市

当院における認知症ケアチームの活動報告
岡田朋子[1], 飯田大輔[2], 榎本伸一[3], **後藤洋二**
1: 看護部
2: 精神科
3: 医療社会事業課
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

無菌性髄膜炎の経過中に樹氷状網膜血管炎を呈した 1 例
宇佐美欽通[1], 小林三砂紀[1], 佐藤英津子[1], **森盟**, **真野和夫**
1: 眼科
名古屋大学眼科集談会　2017 年 12 月　名古屋市

循環器内科

Impact of delayed hospital presentation in acute decompensated heart failure
安田健一郎, **柴田義久**, **近藤喜代太**, **岡部慧**, **尾崎令奈**, **野村佳広**, **森下佳洋**, **清水真也**, **嶋野祐之**, **花木芳洋**, **神谷春雄**
第 81 回日本循環器学会学術集会　2017 年 3 月　石川市

左室側に引き込まれ、PVL が残った Evolut R に対し、グースネックスネアを用いて PVL を減らすことが出来た 1 例
澤木完成[1], **柴田義久**, **清水真也**, 所正佳[1], 柳澤淳次[1], **森下佳洋**, **安田健一郎**, **神谷春雄**, 伊藤敏明[1]
1: 心臓血管外科
日本循環器学会第 149 回東海地方会　2017 年 7 月　名古屋市

大動脈四尖弁による狭窄症に経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を施行した 1 例
近藤喜代太, **柴田義久**, **平松武宏**, **岡部慧**, **尾崎令奈**, **安田健一郎**, **柴田陽平**, **森下佳洋**, **清水真也**, **嶋野祐之**, **花木芳洋**, **神谷春雄**
第 38 回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会　2017 年 10 月　金沢市

EvoluteR 留置時に上行大動脈へ dislocation をきたした一例
清水真也, **柴田義久**, **平松武宏**, **近藤喜代太**, **岡部慧**, **尾崎令奈**, **安田健一郎**, **柴田陽平**, **森下佳洋**, **嶋野祐之**, **花木芳洋**, **神谷春雄**
第 38 回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会　2017 年 10 月　金沢市

MDCT で診断し得た弁輪膿瘍の 1 例
岡部慧, **柴田義久**, **平松武宏**, **近藤喜代太**, **尾崎令奈**, **安田健一郎**, **柴田陽平**, **森下佳洋**, **嶋野祐之**, **花木芳洋**, **神谷春雄**
日本循環器学会第 150 回・第 135 回東海北陸合同地方会　2017 年 11 月　名古屋市

呼吸器内科

Non-resolving pneumonia にはどのような疾患が含まれているのか？：CJLSG 0911 多施設共同研究結果の紹介
進藤有一郎[1], 市川元司[1], 杉野安輝[1], 八木哲也[1], 進藤丈[1], 小笠原智彦[1], **野村史郎**, 山本雅史[1], 谷口博之[1], 鈴木隆二郎[1], 齋藤博[1], 安藤昌彦[1], 川村孝[1], 長谷川好規[1], 坂英雄[1]
1: 中日本呼吸器臨床研究機構
第 82 回東海呼吸器感染症研究会　2017 年 1 月　名古屋市

ニボルマブ投与後に副腎不全に至った肺癌の一例
吉藤真梨子[1], 岡崎美香子[1], 柳沼裕史[1], 安田寛子[1], 渡邉保子[1], 清田篤志[1], **横山俊彦**, **野村史郎**, 尾崎信暁[1]
1: 内分泌内科
日本内科学会東海支部主催第 231 回東海地方会　2017 年 2 月　津市

ANCA 関連血管炎に合併した肺胞出血に対してリツキシマブが奏効した 1 例
町井春花, **谷本光希**, **横山佑衣子**, **木村令**, **佐野未来**, **田宮裕太郎**, **西山裕乃**, **篠塚怜衣**, **山田衣里子**, **高納崇**, **青山大輔**, **横山俊彦**, **野村史郎**
第 129 回日本結核病学会東海地方学会、第 111 回日本呼吸器学会東海地方学会、第 14 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会　2017 年 5 月　名古屋市

病理学的に診断された月経随伴性気胸の一例
横山佑衣子, **谷本光希**, **町井春花**, **木村令**, **佐野未来**, **田宮裕太郎**, **西山裕乃**, **篠塚怜衣**, **山田衣里子**, **高納崇**, **青山大輔**, **横山俊彦**, **野村史郎**, 門松由佳[1]
1: 呼吸器外科
第 129 回日本結核病学会東海地方学会、第 111 回日本呼吸器学会東海地方学会、第 14 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会　2017 年 5 月　名古屋市

気管支鏡検査中の冷生食による止血処置により心静止に至る除脈を発症した１例
西山裕乃, 青山大輔, 横山佑衣子, 谷本光希, 町井春花, 佐野未来, 木村令, 田宮裕太郎, 篠塚怜衣, 山田衣里子, 高納崇, 石川紫都, 横山俊彦, 野村史郎
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2017 年 6 月　長崎市

肺結核に合併し気管支鏡にて組織診断が得られた気管気管支骨軟骨異形成症の一例
佐野未来, 谷本光希, 町井春花, 横山佑衣子, 木村令, 田宮裕太郎, 西山裕乃, 篠塚怜衣, 山田衣里子, 高納崇, 石川紫都, 青山大輔, 横山俊彦, 野村史郎
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2017 年 6 月　長崎市

肺アスペルギローマ切除より 5 年後にアスペルギルス有廔性膿胸を合併した１例
木村令, 谷本光希, 横山佑衣子, 町井春花, 佐野未来, 田宮裕太郎, 西山裕乃, 篠塚怜衣, 山田衣里子, 高納崇, 石川紫都, 青山大輔, 横山俊彦, 野村史郎, 川角佑太[1], 門松由佳[1], 上野陽史[1], 森正一[1]
1: 呼吸器外科
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2017 年 6 月　長崎市

がん化学療法における薬剤リンパ球刺激試験の実施状況について
櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], 福井佳明[1], 成瀬徳彦[1], 天野真由美[2], 濱嶋なぎさ[2], 中野祐往[3], **野村史郎**
1: 薬剤部
2: 看護部
3: 化学療法内科
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2017 年 7 月　神戸市

当院における Nivolumab の使用経験
谷本光希
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2017 年 7 月　神戸市

多剤併用免疫抑制療法が奏効した Amyopathic dermatomyositis(ADM)の１例
谷本光希, 稲垣雅康, 酒井麻里, 町井春花, 横山佑衣子, 木村令, 佐野未来, 西山裕乃, 篠塚怜衣, 山田衣里子, 高納崇, 青山大輔, 横山俊彦, 野村史郎
第 130 回日本結核病学会東海地方学会、第 112 回日本呼吸器学会東海地方学会、第 15 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性悉皆学会中部支部会　2017 年 11 月　津市

MAC 症治療終了後に Mycobacterium abscessus 肺感染症を合併した１例
酒井麻里, 野村史郎, 横山俊彦, 青山大輔, 高納崇, 山田衣里子, 篠塚怜衣, 西山裕乃, 木村令, 佐野未来, 谷本光希, 横山佑衣子, 町井春花, 稲垣雅康
第 130 回日本結核病学会東海地方学会、第 112 回日本呼吸器学会東海地方学会、第 15 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性悉皆学会中部支部会　2017 年 11 月　津市

消化器内科

術前採血検査を利用した待機的直腸低位前方切除術での縫合不全のリスク評価
吉岡裕一郎[1], **春田純一**, 清田篤志[2]
1: 一般・消化器外科
2: 内分泌内科
第 32 回日本静脈経腸栄養学会　2017 年 2 月　岡山市

耳鼻咽喉科領域の異物の取り扱い
内科医の立場から
食道異物に対する内視鏡治療
春田純一
第 41 回愛知県耳鼻咽喉科研修会　2017 年 4 月　名古屋市

術前診断に苦慮した膵リンパ上皮嚢胞の１例
高野宏平, 春田純一, 山口丈夫, 土居崎正雄, 鷲見肇, 村手健太郎, 橘口裕樹, 大橋彩子, 吉岡直輝
日本内科学会第 233 回東海地方会　2017 年 10 月　岐阜市

Iodine staining and p16 evaluatiom could detect precancerous esophageal lesion after allogeneic HSCT
Sato T[1], Seto A[1], Ohbiki M[1], Osaki M[1], Yoshino M[1], Ikeno S[1], Nakashima M[1], Kagaya Y[1], Kawashima N[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1], **Haruta J**, Ito M[2]
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
2: Dept. Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 79 回日本血液学会学術集会　2017 年 10 月　東京都

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1], **春田純一**[1], 清田篤志[1], 黒野康正[1]
1:名古屋第一赤十字病院　NST
第 53 回日本赤十字社医学会総会　　2017 年 10 月　仙台市

胃腫瘍との鑑別を要した難知性胃潰瘍の１例
大橘彩子,春田純一,山口丈夫,土居崎正雄,鷲見肇,村手健太郎,橘口裕樹,吉岡直輝,青井広典,河村達哉,高野宏平,八田勇輔
日本消化器病学会東海支部第 127 回例会　2017 年 11 月　名古屋市

肝生検で診断した小細胞癌の１例
河村達哉,春田純一,山口丈夫,土居崎正雄,鷲見肇,村手健太郎,橘口裕樹,大橘彩子,吉岡直輝,青井広典,高野宏平,八田勇輔
日本消化器病学会東海支部第 127 回例会　2017 年 11 月　名古屋市

ダビガトラン起因性食道炎の１例
青井広典,春田純一,山口丈夫,土居崎正雄,鷲見肇,村手健太郎,橘口裕樹,大橘彩子,吉岡直輝,河村達哉,高野宏平,八田勇輔
日本消化器病学会東海支部第 127 回例会　2017 年 11 月　名古屋市

精神科

当院における認知症ケアチームの活動報告
岡田朋子[1],**飯田大輔**,榎本伸一[2],後藤洋二[3]
1: 看護部
2: 医療社会事業課
3: 神経内科
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

小児科

Weber-Christian 病が疑われた 8 歳男子例
加藤俊輔,濱口直子,大萱俊介,竹内智哉,三井さやか,岸本泰明,福見大地
第 269 回日本小児科学会東海地方会　2017 年 2 月　名古屋市

門脈灌流異常に伴う肺高血圧症に対するエポプロステノール大量療法を行っている１例
福見大地
第 1 回 CHD-PAH forum in Nagoya　2017 年 2 月　名古屋市

同種骨髄移植の前後に TKI の投与を行い寛解を維持している Ph+ ALL の 1 例
三輪田俊介,浅井幸奈,北井文恵,若松学,坂口大俊,吉田奈央,加藤剛二
第 72 回東海小児血液懇話会　2017 年 2 月　名古屋市

緊急手術を施行した新生児精巣捻転症の一例
水谷達志
第 24 回小児医療センター症例検討会　2017 年 3 月　名古屋市

過去 5 年間に出生し当院 NICU に入院した 18trisomy　16 名の経過～胎児診断と予後～
三井さやか,羽田野爲夫,岸本泰明,福見大地
第 23 回日本胎児心臓病学会学術集会　2017 年 3 月　東京都

double lesion を持つ難治てんかんの 6 歳男児
大萱俊介,竹内智哉
第 6 回名古屋/浜松・小児科/脳外合同カンファランス　2017 年 3 月　名古屋市

造血細胞移植における移植関連合併症とその低減の試み
加藤剛二
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

小児急性白血病に対する同種造血細胞移植における KIR-L ミスマッチの意義
坂口大俊,山森彩子,若松学,三輪田俊介,吉田奈央,加藤剛二
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

先天性代謝異常症に対する骨髄非破壊的前処置による造血細胞移植成績
加藤剛二,若松学,山森彩子,三輪田俊介,坂口大俊,吉田奈央,小野寺理[1]
1: 新潟大学脳研究所神経内科
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

ケモカイン CCL8 の移植後早期発現は同種造血細胞移植における非再発死亡率の増加と相関する
山本雅樹[1,2],堀司[1,2],畠山直樹[3],五十嵐敬太[1,2],稲澤奈津子[2],鈴木信寛[4],武井則雄[2],伊藤陽一[5],松本公一[6],**加藤剛二**[7],堤裕幸[2],小海康夫[1]
1: 札幌医科大学病態情報学講座
2: 札幌医科大学小児科
3: 旭川医科大学小児科
4: 北海道立子ども照合医療・療育センター
5: 北海道大学医学統計学分野
6: 国立成育医療センター　小児がんセンター

7: 名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

小児造血幹細胞移植後に合併する出血性膀胱炎の検討
三輪田俊介, 若松学, 山森彩子, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

小児同種造血細胞移植後における血流感染症の臨床的特徴と危険因子
吉田奈央, 若松学, 山森彩子, 三輪田俊介, 坂口大俊, 加藤剛二
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

小児血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植後のコリンエステラーゼ値と移植関連合併症死亡との関連
若松学, 山森彩子, 三輪田俊介, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

小児骨髄異形成症候群における同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス再活性化が再発に与える影響
石丸紗恵 [1], 山本将平 [2], 工藤寿子 [3], 加藤元博 [4], 渡邉健一郎 [5], 矢部普正 [6], 稲垣二郎 [7], 井上雅美 [8], 高橋義行 [9], **加藤剛二** [10], 橋井佳子 [11], 佐藤篤 [12], 熱田由子 [13], 長谷川大一郎 [14]
1: 東京都立小児医療センター血液・腫瘍科
2: 昭和大学藤が丘病院小児科
3: 藤田保健衛生大学病院造血幹細胞移植チーム
4: 国立成育医療研究センター小児がん医療センター
5: 静岡県立こども病院血液腫瘍科
6: 東海大学医学部附属病院小児・細胞移植再生医療科
7: 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター小児科
8: 大阪府立母子保健総合医療センター
9: 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
10: 名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科
11: 大阪大学大学院医学系研究科小児科学
12: 宮城県立こども病院血液腫瘍科
13: 日本造血幹細胞移植データセンター
14: 兵庫県立こども病院血液腫瘍内科
第 39 回日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松江市

在胎 32 週未満の早産児における無症候性動脈管開存症の経過と発達予後の検討
濱崎咲也子, 落合加奈代, 新井紗記子, 田中龍一, 中山淳, 福見大地, 安田彩子, 大城誠, 鬼頭修, 羽田野爲夫
第 120 回日本小児科学会学術集会　2017 年 4 月　東京都

小児における同種造血幹細胞移植後の肝生検例の検討
若松学, 山森彩子, 三輪田俊介, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二, 伊藤雅文 [1]
1: 病理部
第 6 回日本血液学会東海地方会　2017 年 4 月　名古屋市

小児における同種造血細胞移植後の皮膚生検の臨床的意義の検討
三輪田俊介, 山森彩子, 若松学, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二, 伊藤雅文 [1]
1: 病理部
第 6 回日本血液学会東海地方会　2017 年 4 月　名古屋市

胎児期に発症した、ニーマン・ピック病 C 型(Niemann-Pick disease typeC, NPC)の新生児例
田中龍一, 杉浦時雄 [1], **橘本佑樹, 神澤孝洋, 新井紗記子, 落合加奈代, 濱崎咲也子, 中山淳, 安田彩子, 大城誠, 鬼頭修**
1: 蒲郡市民病院小児科
第 53 回日本周産期・新生児医学会　2017 年 7 月　横浜市

極低出生体重児における 生後 4 週間の総ビリルビン値と 暦 3 歳時の発達予後との関連
新井紗記子, 浅井幸奈, 橘本佑樹, 神澤孝洋, 落合加奈代, 濵崎咲也子, 田中龍一, 中山淳, 安田彩子, 大城誠, 鬼頭修
第 53 回日本周産期・新生児医学会　2017 年 7 月　横浜市

早産出生要因となった母体妊娠合併症別の極低出生体重単胎児における暦 3 歳時予後との関連因子
大城誠, 浅井幸奈, 橘本佑樹, 神澤孝洋, 落合加奈代, 濵崎咲也子, 新井紗記子, 田中龍一, 中山淳, 安田彩子, 鬼頭修
第 53 回日本周産期・新生児医学会　2017 年 7 月　横浜市

小児急性リンパ性白血病の治療におけるステロイド製剤の違いによる合併症の比較検討
奥山美沙恵, 前村遼, 山森彩子, 若松学, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二
第 53 回中部日本小児科学会　2017 年 8 月　金沢市

診断に難渋した甲状腺腫瘍の 1 例
前村遼, 奥山美沙恵, 若松学, 山森彩子, 坂口大俊, 吉田奈央, 加藤剛二, 後藤康友 [1]
1: 乳腺・内分泌外科

第72回東海小児がん研究会　2017年9月　名古屋市

胎児発育不全と妊娠高血圧症候群のため単胎早産出生となった極低出生体重児における 入院時低血糖による発達予後への影響
大城誠,浅井幸奈,橋本佑樹,落合加奈代,新井紗記子,濵崎咲也子,田中龍一,中山淳,安田彩子,鬼頭修
第62回日本新生児成育医学会　2017年10月　さいたま市

当院NICUにおける 在宅移行例の入院期間と予後についての検討
安田彩子,鬼頭修,大城誠,中山淳,田中龍一,新井紗記子,落合加奈代,濵崎咲也子,浅井幸奈,橋本佑樹
第62回日本新生児成育学会　2017年10月　さいたま市

Target SpO2導入前後の 超早産児における慢性肺疾患と未熟児網膜症罹患率の検討
落合加奈代,浅井幸奈,橋本佑樹,新井紗記子,濵崎咲也子,田中龍一,中山淳,安田彩子,大城誠,鬼頭修
第62回日本新生児成育医学会　2017年10月　さいたま市

Priority of CD34+ cells or TNC to select cord blood units below optimal cell doses for HCT
Nakasone H[1], Tabuchi K[2], Uchida N[3], Ohno Y[4], Takahashi S[5], Matsuhashi Y[6], Kozai Y[7], Miyakoshi S[8], Fukuda T[9], Ichinohe T[10], Atsuta Y[11], Takanashi M[13], **Kato K**[14], Yabe H[12], Kanda Y[1]
1: Saitama Medical Center, Jichi Medical University, Saitama, Japan
2: Tokyo Metropolitan Komagome Hospital, Tokyo, Japan
3: Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
4: Kitakyushu Municipal Medical Center, Kitakyushu, Japan
5: The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Japan
6: Kawasaki Medical School Hospital, Kurashiki, Japan
7: Tokyo Metropolitan Tama Medical Center, Tokyo, Japan
8: Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital, Tokyo, Japan
9: National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
10: Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Japan
11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
12: Tokai University, Isehara, Japan
13: Japanese Red Cross Society, Tokyo, Japan
14: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

Integrated molecular profiling of juvenile myelomonocytic leukemia
Murakami N[1], Okuno Y[1], Yoshida K[2], Shiraishi Y[3], Nagae G[5], Suzuki K[1], Narita A[1], **Sakaguchi H**[6], Kawashima N[1], Xinan Wang[1], Yinyan Xu[1], Chiba K[3], Tanaka H[3], Hama A[1], Sanada M[2], Hirayama M[4], Watanabe A[4], Ueno T[7], Kojima S[1], Aburatani H[5], Mano H[7], Miyano S[3], Ogawa S[2], Takahashi Y[1], Muramatsu H[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University, Nagoya, Japan
2: Department of Pathology and Tumor Biology, Kyoto University, Kyoto, Japan
3: Human Genome Center, Tokyo University, Tokyo, Japan
4: Department of Pediatrics, Nakadori General Hospital, Akita, Japan
5: Genome Science Division, Tokyo University, Tokyo, Japan
6: Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
7: Department of Cellular Signaling, Tokyo University, Tokyo, Japan
The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

Impacts of GVHD on outcomes after allogeneic stem cell tranplantation for children with LBL
Mitsui T[1], Fujita N[2], Koga Y[3], Fukano R[4], Osumi T[5], Mori M[6], Iwasaki F[7], **Kato K**[8], Koh K[6], Okimoto Y[9], Yabe H[10], Inoue M[11], Hashii Y[12], Sato A[13], Atsuta Y[14], Suzumiya J[15], Kobayashi R[16]
1: Pesiatrics, Yamagata Univ, Yamagata, Japan
2: Pediatrics, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Suvivors Hospital
3: Pediatrics, Kyushu University, School of Medicine, Fukuoka, Japan
4: Pediatrics, National Hospital Organization, Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan
5: Hematology/Oncology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
6: Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
7: Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center
8: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Children's Medical Center
9: Hematology and Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan
10: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University
11: Osaka Medical Research Institute for Maternal and Child Health
12: Department of Pediatirics, Osaka University Graduate School of Medicine
13: Hematology and Oncology Miyagi Children's Hospital
14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
15: Hematology/Oncology, Shimane University Hospital Cancer Center
16: Department of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan
The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

Genetic alterations in acute unclassified leukemia, result of JACLS-ALL02 study

Shimada A[1], Hasegawa D[2], Imamura T[3], Kaneda M[4], Yagi K[5], Takahashi Y[6], Usami I[7], Suenobu S[8], Nishimura S[9], Suzuki N[10], Hashii Y[11], Deguchi T[12], Saito M[13], **Kato K**[14], Kosaka Y[2], Hirayama M[12], Iguchi A[15], Kawasaki H[16], Hori H[12], Sato A[17], Kudo T[18], Nakahata T[19], Oda M[1], Ueno H[20], Sanada M[13], Hara J[20], Ogawa S[20], Horibe K[13]

1: Dept. Pediatr.Hematol./Oncol.,Okayama Univ.Hosp., Okayama, Japan

2: Dept. Hematol./Oncol., Hyogo Prefectural Children's Hosp., Kobe, Japan

3: Dept. Pediatr., Kyoto Pregectural Univ. Med., Kyoto, Japan

4: Dept. Pediatr., Asahikawa Medical Univ., Asahikawa, Japan

5: Yumura Clinic, Osaka, Japan

6: Dept. Pediatr., Aomori Prefectural Central Hosp., Aomori, Japan

7: Dept. Pediatr. Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Amagasaki, Japan

8: Div. of General Pediatr. Emergency Med., Oita University, Oita, Japan

9: Nishimura Clinic

10: Dept. Pediatr., Hokkaido Med. Center for Child Health

11: Dept. Pediatr., Osaka Univ.

12: Dept. Pediatr., Mie Univ.

13: Clinical Research Center, National Hosp. Org. Nagoya Medical Center

14: Hematol, Oncol., Child. Med. Cent., Red Cross Nagoya First Hosp

15: Dept. Pediatr., Hokkaido University

16: Dept. Pediatr., Kansai Medical Univ.

17: Dept. Pediatr. Hematol./Oncol., Miyagi Children's Hosp.

18: Depat. Pediatr., Saiseikai Nishi Otaru Hosp

19: Center for iPS Cell Research and Application, Kyoto University

20: Dept. Pathol. Tumor Biol., Grad School of Med., Kyoto Univ

21: Dept. Pediatr. Hematol./Oncol., Osaka City General Hosp

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology 2017年10月 Tokyo

Clinical effect of genetic alterations in pediatric B-cell acute lymphoblastic leukemia

Ueno H[1], Yoshida K[1,2], Nannya Y[1], Iijima-Yamashita Y[2], Shiozawa Y[3], Ishida T[2], Tsukamoto H[2], Kataoka K[1], Yoshizato T[1], Makishima H[1], Seki M[3], Kibe M[2], Shiraishi Y[4], Tanaka H[4], Chiba K[4], Deguchi T[5], Sato A[5], Hashii Y[7], Tokimasa S[8], Hara J[9], Kosaka Y[10], **Kato K**[11], Imamura T[12], Miyano S[4], Ogawa S[1], Horibe K[2], Sanada M[2]

1: Path. & Tumor Biol., Kyoto Univ., Kyoto, Japan

2: Clin. Res. Ctr., Nagoya Med. Ctr., Nagoya, Japan

3: Pediatr., Tokyo Univ., Tokyo, Japan

4: Human Genome Ctr., Univ. Tokyo, Tokyo, Japan

5: Pediatr., Mie Univ., Tsu, Japan

6: Hematol. & Oncol., Miyagi Child. Hosp., Sendai, Japan

7: Pediatr., Osaka Univ., Osaka, Japan

8: Pediatr., Osaka City Univ., Osaka, Japan

9: Pediatr., Hematol.& Oncol., Osaka City General Hosp., Osaka, Japan

10: Hematol.& Oncol., Hyogo Prefectural Child. Hospital, Kobe Japan

11: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan

12: Pediatr., Kyoto Pref. Univ. of Med., Kyoto

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology 2017年10月 Tokyo

Clinical sequencing of 375 patients with inherited and acquired bone marrow failure syndromes

Muramatsu H[1], Okuno Y[1], Yoshida K[2], Shiraishi Y[3], Narita A[1], **Sakaguchi H**[1], Kawashima N[1], Yinyan Xu[1], Chiba K[3], Tanaka H[3], Hama A[1], Sanada M[2,4], Takahashi Y[1], Kanno H[5], Yamaguchi H[6], Ohga S[7], Manabe A[8], Harigae H[9], Kunishima S[4], Ishii E[10], Kobayashi M[11], Koike K[12], Watanabe K[13], Ito E[14], Takata M[15], Yabe M[16], Miyano S[3], Ogawa S[2], Kojima S[1]

1:Department of Pediatrics, Nagoya University, Nagoya, Japan

2: Department of Pathology and Tumor Biology, Kyoto University

3: Institute of Medical Science, The University of Tokyo

4: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center

5: Department of Transfusion Medicine, Tokyo Women's Medical University

6: Department of Hematology, Nippon Meddical School

7: Department of Pediatrics, Kyushu University Graduate School of Medicine

8: Department of Pediatrics, St. Luke's International Hospital

9: Department of Hematolohgy and Rheumatology, Tohoku University Graduate School

10: Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine

11: Department of Pediatrics, Hiroshima University Hospital

12: Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine

13: Department of Hematology/Oncology, Shizuoka Children's Hospital

14: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine

15: Department of Late Effects Studies, Radiation Biology Center, Kyoto University

16: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University Hospital

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology 2017年10月 Tokyo

Outcomes after cord blood transplantation for myelodysplastic syndromes in children

Yoshida N[1], Watanabe K[2], Hama A[3], Yamamoto S[4], Yabe H[5], Inagaki J[6], Inoue M[7], Takahashi Y[3], **Kato K**[1], Hashii Y[8], Sato A[9], Atsuta Y[10], Hasegawa D[11]

1: Pediatric Hematology/Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
2: Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan
3: Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
4: Pediatrics, Showa University Fujigaoka Hospital, Yokohama, Japan
5: Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University, Isehara, Japan
6: Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan
7: Osaka Women's and Chilidren's Hospital, Izumi, Japan
8: Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan
9: Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan
10: Japanese Date Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
11: Hematology and Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

Prognosis of relapse after first hematopoietic cell transplantation for pediatric acute leukemia
Sakaguchi H, Wakamatsu M, Yamamori A, Maemura R, Doisaki S, Yoshida N, Kato K

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

Effect of Glutathione S-transferase gene variations on busulfan pharmacokinetics in children

Narita A[1], Miyazaki M[2], Hamada M[1], Kataoka S[1], Ichikawa D[1], Taniguchi R[1], Murakami N[1], Kojima D[1], Suzuki K[1], Nishikawa E[1], Kawashima N[1], Okuno Y[1], Muramatsu H[1], Nishio N[1], Hama A[1], **Sakaguchi H**[3], **Yoshida N**[3], **Kato K**[3], Nagai T[2], Yamada K[2], Kojima S[1]

1: Dept. Pediatrics, Nagoya University, Nagoya
2: Dept. Neuropsychopharmacology and Hospital Pharmacy, Nagoya University, Nagoya
3: Pediatric Hematology/ Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

The results of colon biopsies after allogenic stem cell transplantation in children
Wakamatsu M, Maemura R, Yamamori A, Sakaguchi H, Doisaki S, Yoshida N, Ito M[1], **Kato K**

1: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital

The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017年10月　Tokyo

当院で経験したacute peripartum TTTSが疑われた一例
浅井幸奈,濵崎咲也子,橘本佑樹,新井紗記子,落合加奈代,藤城尚純,中山淳,安田彩子,大城誠,鬼頭修

第26回東海新生児研究会　2017年11月　名古屋市

JACLS ALL-02 再発BCP-ALLにおける予後因子の後方視的検討
Clinical and biological characterization of relapsed BCP-ALL: a report from JACLS ALL02 study

Sato A[1], Imamura T[2], Kawasaki H[3], Yagi K[4], Iguchi A[5], Deguchi T[6], Hashii Y[7], Saito A[8], Endo M[9], Hori H[10], **Kato K**[11], Kobayashi M[12], Hara J[13], Horibe K[14]

1: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan
2: Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine Graduate School of Medical Science, Kyoto, Japan
3: Department of Pediatrics, Kansai Medical University, Osaka, Japan
4: Yumura Clinic, Osaka, Japan
5: Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan
6: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan
7: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
8: Laboratory of Clinical, Epidemiological and Health Services Research, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan
9: Department of Pediatrics, Iwate Medical University School of Medicine, Morioka, Japan
10: Department of Medical Education, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan
11: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
12: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical & Health Science, Hiroshima, Japan
13: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
14: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan

第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

小児B前駆細胞性急性リンパ性白血病におけるクリニカルシーケンスを用いた新規予後モデルについて
A Novel Prediction Model Integrating Genomic and Clinical Features in Pediatric B-progenitor Acute Lymphoblasstic Leukemia

Ueno H[1], Yoshida K[1], Nannya Y[1], Iijima Y[2], Shiozawa Y[1,4], Shiraishi Y[5], Ishida T[2], Tsukamoto H[2], Kataoka K[1], Yoshizato T[1], Makishima H[1], Kakiuchi N[1], Seki M[4], Kibe M[2], Tanaka H[5], Chiba K[5], Deguchi T[6], Sato A[7], Hashii Y[8], Tokimasa S[9], Hara J[10], Kosaka Y[11], **Kato K**[12], Imamura T[13], Miyano S[5], Ogawa S[1], Horibe K[2], Sanada M[2]

1: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
2: Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan
3: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
4: Department of Pediatrics, Graduate School of medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
5: Human Genome Center, Institute of Medical Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
6: Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan

7: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Childrens Hospital, Sendai, Japan
8: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Japan
9: Department of Pediatrics, Osaka City University Graduate School of Medicine, Japan
10: Department of Pediatrics Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
11: Department of Hematology/Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan
12: Department of Hematology and Oncology, Childrens Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
13: Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

JPLSG AML05研究における低および中間リスク群に対する同種造血細胞移植の治療成績と予後予測因子

Hsashii Y[1], Hyakuna N[2], Ishida H[3], Umeda K[4], Takahashi Y[5], Nagasawa M[6], Yabe H[7], Nakazawa Y[8], Fujisaki H[9], Yano M[10], Matsumoto K[11], Goto H[12], Kakuda H[13], Koh K[14], Tomizawa D[11], Tawa A[15], Taga T[16], Adachi S[17], **Kato K**[18]
1: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
2: Department of Pediatrics, University of the Ryukyu Hospital, Nishihara, Japan
3: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto, Japan
4: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
5: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
6: Department of Pediatrics, Musashino Red Cross Hospital, Musashino, Japan
7: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine
8: Department of Pediatrics Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan
9: Department of Hematology and Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan
10: Department of Pediatrics, Akita University Hospital, Akita, Japan
11: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
12: Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
13: Department of Hematology Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan
14: Department of Hematology and Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
15: Higashiosaka Aramoto Heiwa Clinic, Higashiosaka, Japan
16: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan
17: Human Health Sciences, Kyoto University　18: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

若年性骨髄単球性白血病に対する包括的遺伝子解析

Integrated molecular profiling of juvenile myelomonocytic leukemia

Murakami N[1], Muramatsu H[1], Okuno Y[2], Yoshida K[3], Shiraishi Y[4], Nagae G[5], Suzuki K[1], Narita A[1], **Sakaguchi H**[6], Kawashima N[1], Xinan Wang[1], Yinyan Xu[1], Chiba K[4], Tanaka H[4], Nishio N[2], Hama A[1], Sanada M[7], Hirayama M[8], Watanabe A[8], Ueno T[9], Kojima S[1], Aburatani H[5], Mano H[9], Miyano S[4], Ogawa S[3], Takahashi Y[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
2: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan
3: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
4: Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Center, Nagoya, Japan
5: Genome Science Division, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
6: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
7: Department of Advanced Diagnosis, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan
8: Department of Pediatrics, Nakadori General Hospital, Akita, Japan
9: Department of Cellular Signaling, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

Thiotepaを用いた高リスク髄芽腫に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法の治療成績

Thiotepa-based high-dose chemotherapy with autologous stem cell rescue in children with high-risk medulloblastoma

Sajiki D, Maemura R, Yamamori A, Wakamatsu M, Sakaguchi H, Yoshida N, Hatano H[1], **Kato K**
1: Department of Neurosurgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

JPLSG AML-05 臨床試験における高リスク群の第一寛解期移植成績の後方視的検討

Retrospective analysis of high risk childhood AML undergoing allio-SCT in first CR: Results of AML-05 by JPLSG

Hyakuna N[1], Hashii Y[2], Ishida H[3], Umeda K[4], Takahashi Y[5], Nagasawa M[6], Yabe H[7], Nakazawa Y[8], Koh K[9], Goto H[10], Fujisaki H[11], Matsumoto K[12], Kakuda H[13], Yano M[14], Tawa A[15], Tomizawa D[12], Taga T[16], Adachi S[17], **Kato K**[18]
1: Department of Pediatrics, University of the Ryukyus Hospital, Okinawa, Japan
2: Department of Pediatrics, Osaka University, Osaka, Japan
3: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto
4: Department of Pediatrics, Kyoto University, Kyoto, Japan
5: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
6: Musashino Red Cross Hospital, Musashino, Japan
7: Department of Cell Tranplantation and Regenerative Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan
8: Department of Pediatrics, Shinshu University School of Medicine, Matsumoto, Japan
9: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Cancer, Saitama, Japan
10: Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan
11: Osaka City General Hospital, Osaka, Japan

12: National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
13: Department of Hematology/Oncology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan
14: Department of Pediatrics Akita University Hospital, Akita, Japan
15: Higashiosaka Aramoto Heiwa Clinic, Higashiosaka, Japan
16: Department of Pediatrics, Shiga University of Medical Science, Otsu, Japan
17: Human Health Sciences, Kyoto University, Kyoto, Japan 18: Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

小児再生不良性貧血における胚細胞変異
Germiline mutation in pediatric patients with aplastic anemia
Narita A[1], Muramatsu H[1], Okuno Y[1], Xinan Wang[1], Yinyan Xu[1], Kawashima N[1], Nishio N[1], Hama A[1], **Sakaguchi H, Yoshida N, Kato K**, Kojima S[1], Takahashi Y[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

ＭＬＬ再構成を有する小児AML患者の治療予後に関する後方視的検討
Prognosis of children with MLL-rearranged acutemyaeloid Leukemia
Yamamori A, Maemura R, Wakamatsu M, Sakaguchi H, Yoshida N, Kato K
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

造血幹細胞移植後HHV-6B感染症
Human herpesvirus 6B infection in pediatric hematopoietic stem cell transplantation
Miura H[1], Kudo K[1], Tanaka M[1], Takahashi Y[2], Kojima S[2], **Kato K, Yoshida N, Sakaguchi H**, Yoshikawa T[1]
1: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Aichi, Japan
2: Department of Pediatrics, Nagoya University School of Medicine
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

非寛解期小児急性白血病に対する二段階前処置を用いた同種造血細胞移植
Allogeneic hematopoietic cell transplantation following cytoreductive chemothrapy and sequential conditioning in children with refractory actu leukemia
Yoshida N, Maemura R, Wakamatsu M, Yamamori A, Sakaguchi H, Kato K
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

再発難治性小児急性リンパ性白血病に対するボルテゾミブ併用療法
Bortezomib combined chemotherapy for children with relapsed/refractory acute lymphoblastic leukemia
Sakaguchi H, Maemura R, Yamamori A, Wakamatsu M, Yoshida N, Kato K
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

小児急性リンパ性白血病の治療におけるステロイド製剤の違いによる合併症の比較検討
Comparison of adverse events caused by dexamethasone and prednisolone in the chemotherapy for childhood acute lymphoblastic leukemia
Okuyama M, Maemura R, Yamamori A, Wakamatsu M, Sakaguchi H, Yoshida N, Kato K
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

小児前駆B細胞型急性リンパ性白血病における初発時髄外病変
Extramedullary disease at intial diagnosis in pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia
Wakamatsu M, Maemura R, Yamamori A, Sakaguchi H, Yoshida N, Kato K
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

小児ALLにおけるIg/TCR再構成からみたクローン構造の解析
Analysis for the clonal architecture of Ig/TCR rearrangement in childhood actute lymphoblastic leukemia
Iijima Y[1], Sanada M[1], Nishijima D[1], Yamada M[1], Akaihata M[2], **Fuyama M**, Kibe M[1], Imamura T[2], **Kato K**
1: National Hospital Organization, Nagoya Medical Center, Clinical Research Center, Nagoya, Japan
2: Department of Pediatrics, Kyoto Prefectural University of Medicine, Graduate School of Medical Science, Kyoto, Japan
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

小児急性リンパ性白血病（ALL）患者におけるWT1mRNAの臨床的有用性
Clinical significance of WT1 mRNA expression levels in childhood patients with acute lymphoblastic leukemia
Ishida T[1,2], Kosaka Y[1,2], Hashii Y[2], Watanabe K[2], **Kato K**[2], Imaizumi M[2], Kaneko T[2], Sunami S[2], Watanabe A[2], Hiramatsu H[2], Koga Y[2], Hirayama M[2], Koh K[2], Horibe K[2]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Cancer Center, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan
2: WT1 mRNA Assasy Kit ALL Research Group
第59回日本小児血液・がん学会学術集会 2017年11月 松山市

高リスク神経芽腫における初回自家幹細胞移植実施例の予後因子の検討
Clinical Prognostic factors in patients with high-risk neuroblastoma undergoing a single autologous stem cell tranplant
Saito Y[1], Kiyotani C[2], Inoue M[3], Takahashi Y[4], Ogawa A[5], Chin M[6], Koga Y[7], **Kato K**[8], Koh K[9], Watanabe K[10], Hashii Y[11], Sato A[12], Atsuta Y[13], Matsumoto K[2]

1: Department of Hematology/Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan
2: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
3: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Osaka, Japan
4: Department of Pediatrics/Developmental Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
5: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan
6: Department of Pediatrics and Child Health, Nihon University Itabashi Hospital, Tokyo, Japan
7: Department of Pediatrics, Kyushu University Hospital, Fukuoka, Japan
8: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
9: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
10: Department of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan
11: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
12: Department of Hematology and Oncology, Miyagi Children's Hospital, Miyagi, Japan
13: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation
第59回日本小児血液・がん学会学術集会　2017年11月　松山市

Clinical Significance of Natural Killer Cell-Mediated Alloreactivity in Unrelated Cord Blood Transplantation for Children with Acute Leukemia: A Japanese National Registry Study
Sakaguchi H[1], Arima N[2], Narita A[3], Ishimaru S[4], Tomizawa D[5], Hasegawa D[6], Kato M[5], Ishida H[7], Kanda J[8], Inoue M[9], **Yoshida N**[1], Koh K[10], Inagaki J[11], Ogawa A[12], Hori T[13], Hashii Y[14], **Kato K**[1], Atsuta Y[15,16]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross, Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan
2: Department of Hematology, Kitano Hospital, Osaka, Japan
3: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
4: Department of Hematology/Oncology, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center, Tokyo, Japan
5: Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
6: Department of Hematology and Oncology, Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan
7: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto, Japan
8: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan
9: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan
10: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan
11: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka, Japan
12: Department of Pediatrics, Niigata Cancer Center Hospital, Niigata, Japan
13: Department of Pediatrics, Sapporo Medical University Hospital, Sapporo, Japan
14: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan
15: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
16: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
You have submitted the following abstract to 59th Annual Meeting and Exposition　2017年12月

一般・消化器外科、乳腺・内分泌外科、緩和ケア科

高度リンパ節転移を伴った早期胃癌の1例
木村仁美, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第47回愛知臨床外科学会　2017年2月　名古屋市

脳原発 hemangiopericytoma の肝転移 に対し Reducion surgery を行った1例
小出知美, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 清水大輔, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志, 服部正興
第47回愛知臨床外科学会　2017年2月　名古屋市

膵 Lymphoepithelial cyst の1例
松浦唯, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第47回愛知臨床外科学会　2017年2月　名古屋市

術前採血検査を利用した待機的直腸低位前方切除術での縫合不全のリスク評価
吉岡裕一郎, 春田純一[1], 清田篤志[2]
1: 消化器内科
2: 内分泌内科
第32回日本静脈経腸栄養学会　2017年2月　岡山市

Sandwich 法にて修復した再発傍ストーマヘルニアの1例
永井英雅, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 深田浩志, 浅井真理子, 水野宏論, 宮田完志
第14回日本ヘルニア学会東海地方会　2017年2月　名古屋市

経肛門イレウス管の洗浄後にS状結腸憩室穿孔をきたした1例
正橘佳樹, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第53回日本腹部救急医学会総会　2017年3月　横浜市

急性虫垂炎を呈した虫垂 Goblet cell carcinoid の 3 例
前田真吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 53 回日本腹部救急医学会総会　2017 年 3 月　横浜市

胃切除、Billroth-II 法再建後の gastritis cystica polyposa に併存した胃癌の 1 例
水野宏論, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 永井英雅, 浅井真理子, 宮田完志, 桐山理美 [1]
1: 病理部
第 89 回日本胃癌学会総会　2017 年 3 月　広島市

Micropapillary component を有する胃癌の 3 例
清水大輔, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 浅井真理子, 水野宏論, 宮田完志
第 89 回日本胃癌学会総会　2017 年 3 月　広島市

DCS 療法により pCR が得られた cT4 胃癌の 1 例
浅井真理子, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 89 回日本胃癌学会総会　2017 年 3 月　広島市

腺扁平上皮癌と中分化腺癌による同時性多発胃癌の 1 例
一木朝絵, 長尾拓哉, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 293 回東海外科学会総会　2017 年 4 月　名古屋市

多発腫瘤を呈した脾悪性リンパ腫の 1 例
山下大紀, 南貴之, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 293 回東海外科学会総会　2017 年 4 月　名古屋市

胃に浸潤した横行結腸癌の 1 例
朝比奈録央, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 293 回東海外科学会総会　2017 年 4 月　名古屋市

重症閉塞性腸炎を伴った S 状結腸間膜窩ヘルニアの 1 例
浅井真理子, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 293 回東海外科学会総会　2017 年 4 月　名古屋市

StageⅡ, Ⅲ 切除例における右側大腸癌の臨床病理学的特徴
深田浩志, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 水野宏論, 宮田完志
第 117 回日本外科学会定期学術集会　2017 年 4 月　横浜市

低分化腺癌と比較した大腸髄様癌切除例の臨床病理学的特徴
長尾拓哉, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 加藤翔子, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 宮田完志
第 117 回日本外科学会定期学術集会　2017 年 4 月　横浜市

超音波診断しえた Closed loop 型腸閉塞の 1 例
上田遼太, 湯浅典博 [1], **毛利康一, 深田浩志,** 小島祐毅 [1], 有吉彩 [1], 前岡悦子 [1]
1: 検査部
第 90 回日本超音波医学会学術集会　2017 年 5 月　宇都宮市

自動吻合器を用いた Altemeier 変法を行った横行結腸人工肛門重積脱出の 1 例
吉岡裕一郎, 竹内英司
第 66 回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会　2017 年 6 月　安城市

胸部食道癌に併存した食道 mucosal bridge の 2 例
松本悠平, 湯浅典博, 三宅秀夫, 永井英雅, 南貴之
第 71 回日本食道学会学術集会　2017 年 6 月　長野市

Upside-down stomach を呈した食道裂孔ヘルニアの 5 例
南貴之, 湯浅典博, 三宅秀夫, 永井英雅
第 71 回日本食道学会学術集会　2017 年 6 月　長野市

空腸横行結腸バイパスが有効であった直腸癌局所再発後の小腸穿孔の 1 例

今井聡子,河合奈津子,湯浅典博,吉岡裕一郎,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,宮田完志
第 22 回日本緩和医療学会学術大会　2017 年 6 月　横浜市

呼吸器系悪性腫瘍終末期患者の血液検査データによる短期予後予測
酒井麻里,湯浅典博,河合奈津子
第 22 回日本緩和医療学会学術大会　2017 年 6 月　横浜市

呼吸器系悪性腫瘍終末期患者の血液検査データによる短期予後予測
酒井麻里,湯浅典博,河合奈津子
第 22 回日本緩和医療学会学術大会　2017 年 6 月　横浜市

潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸嚢肛門管吻合術後に発生した残存直腸癌の 1 例
吉岡裕一郎,竹内英司,湯浅典博,三宅秀夫,後藤康友,永井英雅,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 87 回大腸癌研究会　2017 年 7 月　四日市市

炎症性乳癌に対して wPTX+trastuzumab を行い pCR となった 1 例
浅井真理子,後藤康友,田中寛,南貴之,毛利康一
第 25 回日本乳癌学会学術総会　2017 年 7 月　福岡市

膵癌を含む 4 重複癌の切除後長期生存中の 1 例
水谷圭吾,田中寛,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 48 回愛知臨床外科学会　2017 年 7 月　名古屋市

術前 SP 療法が著効した Bormann4 型胃癌の 1 例
杉浦孝太,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 48 回愛知臨床外科学会　2017 年 7 月　名古屋市

有茎性腫瘤を呈した腎癌の大腸転移の 1 例
田口遼,前田真吾,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,南貴之,長尾拓哉,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 48 回愛知臨床外科学会　2017 年 7 月　名古屋市

術前化学療法にて pCR が得られた進行直腸癌の 1 例
鈴木琢也,吉岡裕一郎,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,奥野正隆,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 48 回愛知臨床外科学会　2017 年 7 月　名古屋市

術後早期に肝転移再発した盲腸腺扁平上皮癌の 1 例
鶴田成昭,奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 48 回愛知臨床外科学会　2017 年 7 月　名古屋市

小腸・S 状結腸に同時に絞扼性腸閉塞をきたした 1 例
金田友里恵,毛利康一,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

下部胆管原発 mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC)の 1 例
杉本拓也,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

術後 1 年で肝再発した Stage Ⅰ (T1b,N0)大腸癌の 1 例
大野哲生,南貴之,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

術前 DCS 療法を行った進行胃癌 7 例の検討
奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

Characteristics of long-term outcome of Stage IV gastric cancer
浅井真理子,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

びまん性胃粘膜下異所腺に併存した早期胃癌の臨床病理学的検討

毛利康一,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,後藤康友,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 72 回日本消化器外科学会総会　2017 年 7 月　金沢市

Characteristics of long-term outcome of Stage Ⅳ gastric cancer
Asai M, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Miyata K
第 47 回 World congress of surgery　2017 年 8 月　Basel,switzerland

Prognostic value of laboratory data for relapse-free survival in resected stageⅡ and Ⅲ gastric cancer
Nagao T, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Miyata K
第 47 回 World congress of surgery　2017/8　Basel,switzerland

Clinicopathological features of stageⅡ and Ⅲ resected right-sided colon cancer
Fukata K, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Miyata K
第 47 回 World congress of surgery　2017/8　Basel,switzerland

診断に難渋した甲状腺腫瘍の 1 例
前村遼[1],奥山美沙恵[1],若松学[1],山森彩子[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],加藤剛二[1],**後藤康友**
1: 小児科
第 72 回東海小児がん研究会　2017 年 9 月　名古屋市

closed loop 型を呈し静脈鬱滞により癒痕性狭窄を認めた小腸閉塞の 1 例
杉浦孝太,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 294 回東海外科学会　2017 年 10 月　津市

切除 12 年後に全身性多発骨 再発をきたした早期胃癌の 1 例
鶴田成昭,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,宮田完志
第 294 回東海外科学会　2017 年 10 月　津市

大都市の大規模病院が目指すがん医療とは
宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

術前 SP 療法が著効し長期生存中の Virchow 転移陽性胃癌の 1 例
伊藤里奈,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

虫垂周囲膿瘍と鑑別が困難であった急性虫垂炎を合併した虫垂粘液癌の 1 例
後藤まどか,前田真吾,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

大腸髄様癌の 1 例
竹中花予,深田浩志,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

肥満(BMI≧25kg/㎡)は胃癌治癒切除例の予後不良因子である
大原令子,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

大腿ヘルニアとの鑑別を要した恥骨骨折による恥骨筋内血種の 1 例
竹内英司,湯浅典博,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

大腸癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見
湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

小児甲状腺低分化癌の 1 例
後藤康友,田中寛,浅井真理子,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 50 回日本甲状腺外科学会学術集会　2017 年 10 月　福島市

進行下部直腸癌に対する術前化学療法の短期成績
吉岡裕一郎,竹内英司
第 72 回日本大腸肛門病学会学術集会　2017 年 11 月　福岡市

十二指腸壁内転移を伴った胃癌の 1 例
後藤希, 南貴之, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　東京都

胸部食道真性憩室内に発生した多発食道癌の 1 例
荒木甫, 吉岡裕一郎, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

穿孔性腹膜炎を合併した小腸多発 T 細胞リンパ腫の 1 例
高野貴弘, 浅井真理子, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 深田浩志, 水野宏論, 鶴田成昭, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

気道閉塞による心停止を併発し甲状腺腫瘍の 1 救命例
浅井真理子, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 鶴田成昭, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

経肛門イレウス管の挿入された大腸癌根治切除例の長期予後-傾向スコアマッチングによる症例対象試験-
前田真吾, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 神原祐一, 浅井真理子, 深田浩志, 水野宏論, 鶴田正昭, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

高分化型腺癌 EMR 後に粘液癌として再発した S 状結腸癌の 1 例
南貴之, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 長尾拓也, 前田真吾, 毛利康一, 浅井真理子, 深田浩志, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

小腸大量切除を要した大動脈解離による上腸間膜動脈血行不全の 1 例
毛利康一, 湯浅典博, 竹内英司, 三宅秀夫, 後藤康友, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

亜急性の経過を呈した下腸間膜動脈閉塞による S 状結腸虚血性腸炎の 1 例
水野宏論, 湯浅典博, 竹内英司, 後藤康友, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 田中寛, 南貴之, 長尾拓哉, 前田真吾, 毛利康一, 宮田完志
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　仙台市

腹腔鏡下尿膜管摘出術 39 例の検討
奥野正隆, 三宅秀夫, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 南貴之, 前田真吾, 毛利康一
第 30 回日本内視鏡外科学会総会　2017 年 12 月　京都市

単孔式腹腔鏡下手術にて切除した小腸濾胞性リンパ腫の 1 例
前田真吾, 永井英雅, 吉岡裕一郎, 奥野正隆, 南貴之, 毛利康一, 三宅秀夫
第 30 回日本内視鏡外科学会総会　2017 年 12 月　京都市

原発巣切除および化学療法後に腹腔鏡下に切除し得た上行結腸癌同時性胃大弯リンパ節転移の 1 例
南貴之, 吉岡裕一郎, 永井英雅, 奥野正隆, 前田真吾, 毛利康一, 三宅秀夫
第 30 回日本内視鏡外科学会総会　2017 年 12 月　京都市

心臓血管外科

左室側に引き込まれ、PVL が残った Evolut R に対し、グースネックスネアを用いて PVL を減らすことが出来た 1 例
澤木完成, 柴田義久[1], 清水真也[1], **所正佳**, **柳澤淳次**, 森下佳洋[1], 安田健一郎[1], 神谷春雄[1], **伊藤敏明**
1: 循環器内科
日本循環器学会第 149 回東海地方会　2017 年 7 月　名古屋市

血管外科

The initial result of EVAR combined with renal stents or stent grafts
Yamamoto K, Tokunaga S, Nishikimi N
18th Asian Society for Vascular Surgery　2017/10　Kuala Lumpur, Malaysia

呼吸器外科

進行肺癌に合併した気胸症例の検討
上野陽史, 川角裕太, 門松由佳, 内山美佳[1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 111 回日本肺癌学会中部支部会学術集会　2017 年 2 月　松本市

2 本のカテーテルを使用した持続肋間神経ブロックの胸腔鏡下肺葉切除後の鎮痛効果と安全性の検討－傍脊椎ブロックとの比較－
門松由佳, 川角佑太, 上野陽史, 内山美佳[1], 若井建志[2], **森正一**
1: 内山クリニック

2: 名古屋大学予防医学
第 117 回日本外科学会定期学術集会　2017 年 4 月　横浜市

著明な拡張を認める気管支動脈蔓状血管腫を伴う荒蕪肺に対する一手術例―術式の工夫―
門松由佳, **川角佑太**, **上野陽史**, 宇佐美範恭 [1], 内山美佳 [2], **森正一**
1: 一宮市民病院呼吸器外科
2: 内山クリニック
第 34 回日本呼吸器外科学会総会　2017 年 5 月　博多市

縦隔上部病変に対する手術法の検討～13 症例のまとめ～
門松由佳, **川角佑太**, **上野陽史**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 34 回日本呼吸器外科学会総会　2017 年 5 月　博多市

肺癌または他臓器癌の肺転移として切除した結果、肺癌と他臓器癌肺転移合併と判明した 3 例
川角佑太, **門松由佳**, **上野陽史**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 34 回日本呼吸器外科学会総会　2017 年 5 月　博多市

肺結節または腫瘤に対する楔状切除後のリークに対する治療戦略
上野陽史, **川角佑太**, **門松由佳**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 34 回日本呼吸器外科学会総会　2017 年 5 月　博多市

病理学的に診断された月経随伴性気胸の一例
横山佑衣子 [1], 谷本光希 [1], 町井春花 [1], 木村令 [1], 佐野未来 [1], 田宮裕太郎 [1], 西山裕乃 [1], 篠塚怜衣 [1], 山田衣里子 [1], 高納崇 [1], 青山大輔 [1], 横山俊彦 [1], 野村史郎 [1], **門松由佳**
1: 呼吸器内科
第 129 回日本結核病学会東海地方学会、第 111 回日本呼吸器学会東海地方学会、第 14 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会　2017 年 5 月　名古屋市

肺アスペルギローマ切除より 5 年後にアスペルギルス有廔性膿胸を合併した 1 例
木村令 [1], 谷本光希 [1], 横山佑衣子 [1], 町井春花 [1], 佐野未来 [1], 田宮裕太郎 [1], 西山裕乃 [1], 篠塚怜衣 [1], 山田衣里子 [1], 高納崇 [1], 石川紫都 [1], 青山大輔 [1], 横山俊彦 [1], 野村史郎 [1], **川角佑太**, **門松由佳**, **上野陽史**, **森正一**
1: 呼吸器内科
第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2017 年 6 月　長崎市

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の 1 例
福原伸彦 [1], 上田真子 [1], 大西主真 [1], 江﨑正俊 [1], 木村晶子 [1], 三澤研人 [1], 猪飼恵 [1], 坂田慶子 [1], 夫馬和也 [1], 西子裕規 [1], 三宅菜月 [1], 柵木善旭 [1], 栗林ももこ [1], 手塚敦子 [1], 齋藤愛 [1], 坂堂美央子 [1], 廣村勝彦 [1], 安藤智子 [1], 水野公雄 [1], **森正一**
1: 産婦人科
第 105 回愛知産科婦人科学会　2017 年 7 月　名古屋市

劇症型アメーバ感染症を併発し死亡に至った子宮頸癌の一例
江崎正俊 [1], 上田真子 [1], 大西主真 [1], 木村晶子 [1], 三澤研人 [1], 猪飼恵 [1], 坂田慶子 [1], 夫馬和也 [1], 福原伸彦 [1], 西子裕規 [1], 三宅菜月 [1], 柵木善旭 [1], 栗林ももこ [1], 手塚敦子 [1], 齋藤愛 [1], 坂堂美央子 [1], 廣村勝彦 [1], 安藤智子 [1], 水野公雄 [1], **森正一**
1: 産婦人科
第 105 回愛知産科婦人科学会　2017 年 7 月　名古屋市

右上葉切除術に対する完全定型化の試み
門松由佳, **川角佑太**, **上野陽史**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 70 回日本胸部外科学会定期学術集会　2017 年 9 月　札幌市

液腺型肺腺癌の 2 例
川角佑太, **門松由佳**, **上野陽史**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 111 回日本肺癌学会中部支部学術集会　2017 年 9 月　名古屋市

肺癌術後にギランバレー症候群を発症した 1 例
門松由佳, **川角佑太**, **上野陽史**, 宇佐美範恭 [1], 内山美佳 [2], **森正一**
1: 一宮市民病院　呼吸器外科
2: 内山クリニック
第 58 回日本肺癌学会学術集会　2017 年 10 月　横浜市

進行期肺癌合併気胸 24 例の検討
上野陽史, **川角佑太**, **門松由佳**, 内山美佳 [1], **森正一**
1: 内山クリニック

第 58 回日本肺癌学会学術集会　2017 年 10 月　横浜市

前縦隔腫瘍の鑑別と術中隣接臓器合併切除の検討
上野陽史, 川角佑太, 門松由佳, 内山美佳[1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 58 回日本肺癌学会学術集会　2017 年 10 月　横浜市

妊娠中に共通を契機に発見され、経過中に自然縮小を認めた胸腺腫の 1 手術例
門松由佳, 川角佑太, 上野陽史, 内山美佳[1], **森正一**
1: 内山クリニック
第 58 回日本肺癌学会学術集会　2017 年 10 月　横浜市

最上部肺外胸部腫瘍の 2 手術例
門松由佳, 川角佑太, 森正一
第 79 回日本臨床外科学会総会　2017 年 11 月　東京都

形成外科

糖尿病フットケアにかかわる治療
林祐司
第 43 回糖尿病薬物療法研究会　2017 年 3 月　名古屋市

仙骨部放射線潰瘍の治療経験
林祐司
第 13 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会　2017 年 3 月　名古屋市

放射線潰瘍 8 例の治療経験
林祐司
第 9 回日本褥瘡学会総会学術集会・総会　2017 年 7 月　岐阜市

スキンケアナースと多職種居連携による難治性褥瘡患者の治癒対策
伊藤真粧美[1], 福山直美[1], 宮本論美[1], 園田玲子[1], 須永康代[1], 林衛[2], 石川尚人[3], 西田圭吾[4], **林祐司**
1: 看護部
2: 栄養課
3: 関節外科リウマチ科
4: 皮膚科
第 67 回日本病院学会　2017 年 7 月　神戸市

仙骨部放射線潰瘍 4 例の治療経験
林祐司
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

糖尿病性足病変の治療と予防
林祐司
第 19 回海部津島糖尿病地域連携研究会　2017 年 11 月　津島市

整形外科、リハビリテーション科(Dr のみ)

水泳選手に行った関節鏡下股関節唇形成術の 3 例
田中佑樹, 山本英樹, 高木寛人[1]
1: リハビリテーション科
第 40 回東海スポーツ傷害研究会　2017 年 2 月　名古屋市

完全静脈栄養の長期使用は同種造血細胞移植後の理学療法に影響する
松永佑哉[1], 中村和司[1], 中山靖唯[1], 佐藤貴彦[2], 高坂久美子[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], **山本英樹**[1,4], **洪淑貴**[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 造血細胞移植センター
4: 整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

急性骨髄性白血病と急性リンパ性白血病における同種造血幹細胞移植前後の比較
中村和司[1], 松永佑哉[1], 中山靖唯[1], 佐藤貴彦[2], 高坂久美子[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], **山本英樹**[1,4], **洪淑貴**[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: 名古屋第一赤十字病院リハビリテーション科
2: 名古屋第一赤十字病院血液内科
3: 名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター
4: 名古屋第一赤十字病院整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

びまん性特発性骨増殖症（DISH）を伴う椎体骨折に対するBalloon Kyphoplasty(BKP)の短期成績　―骨折形態による比較―
八木秀樹,井上英則
第46回日本脊椎脊髄病学会　2017年4月　札幌市

高齢関節リウマチ患者に対するアバタセプトの効果についての検討
石川尚人
第61回日本リウマチ学会　2017年4月　福岡市

肘関節terrible triad 損傷の治療経験－鉤状突起骨折の骨接合は必須か
洪淑貴,堀井恵美子,大塚純子,山賀崇,杉浦洋貴
第60回日本手外科学会学術集会　2017年4月　名古屋市

Pilot splintを用いた母指固定肢位の検討
小川倫永子[1],服部亜衣[1],**洪淑貴,堀井恵美子**
1: リハビリテーション科
第29回　日本ハンドセラピィ学会学術集会　2017年4月　名古屋市

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉[1],中村和司[1],中山靖唯[1],佐藤貴彦[2],高坂久美子[3],大引真理恵[2],尾崎正英[2],吉野実世[2],池野世新[2],中島麻梨絵[2],加賀谷裕介[2],森下喬允[2],瀬戸愛花[2],**山本英樹,洪淑貴**,小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 看護部
第52回日本理学療法学会学術大会　2017年5月　千葉市

びまん性特発性骨増殖症に伴う椎体骨折に対するBalloon Kyphoplasty(BKP)の有用性
八木秀樹,井上英則
第87回東海脊椎脊髄病研究会　2017年6月　名古屋市

スキンケアナースと多職種居連携による難治性褥瘡患者の治癒対策
伊藤真粧美[1],福山直美[1],宮本論美[1],園田玲子[1],須永康代[1],林衛[2],**石川尚人**,西田圭吾[3],林祐司[4]
1: 看護部
2: 栄養課
3: 皮膚科
4: 形成外科
第67回日本病院学会　2017年7月　神戸市

当院におけるTofacitinibの使用経験
石川尚人
第61回日本リウマチ学会　2017年4月　福岡市、第29回中部リウマチ学会　2017年9月　金沢市

トファシチニブ治療中に悪性腫瘍を発症した2例
山賀崇,石川尚人
第29回中部リウマチ学会　2017年9月　金沢市

高齢者橈骨遠位遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折に対する尺骨頭切除の経験
山賀崇,堀井恵美子,洪淑貴,杉浦洋貴,井戸洋旭,田中佑樹,長谷康弘,風間悠介
第63回東海整形外科外傷研究会　2017年9月　名古屋市

膝前十字靱帯損傷患者における大腿四頭筋の筋厚・筋輝度と影響因子の関連性
高木寛人[1],山川桂子[1],打田健人[1],西川大樹[1],杉浦江美[1],**山本英樹**
1: リハビリテーション科
第5回日本運動器理学療法学術大会　2017年9月　札幌市

遠位上腕二頭筋腱不全断裂の1例
井戸洋旭,堀井恵美子,井上英則,洪淑貴,山賀崇,杉浦洋貴,田中佑樹,長谷康弘
第129回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会　2017年10月　富山市

背側小切開にて観血的整復を行った母趾指節間関節脱臼の2例
長谷康弘,井戸洋旭,杉浦洋貴,洪淑貴,堀井恵美子
第129回中部日本整形外科災害外科学会　2017年10月　富山市

小指中手指節関節伸展拘縮に対して装具療法が有効であった症例の報告
服部亜衣[1],西之園智子[1],安井茜[1],**洪淑貴,堀井恵美子**
1: リハビリテーション科
第17回東海北陸作業療法学会　2017年11月　名古屋市

USEFULNESS OF CUSTUM MADE SPLINTS FOR DETERMING POSITION OF THUMB CM JOINT ARTHRODESIS　-A CASE REPORT-
佐藤陽[1], 服部亜衣[1], **洪淑貴**, **堀井恵美子**
1: リハビリテーション科
第 7 回　アジア太平洋ハンドセラピィ学会　2017 年 11 月　フィリピン

高齢者に対するアバタセプト SC による治療についての検討
石川尚人
第 32 回臨床リウマチ学会　2017 年 12 月　神戸市

当院における高齢者に対するアバタセプト SC による治療
石川尚人
第 32 回臨床リウマチ学会　2017 年 12 月　神戸市

リハビリテーション科（PT、OT、ST）

水泳選手に行った関節鏡下股関節唇形成術の 3 例
田中佑樹[1], 山本英樹[1], **高木寛人**
1: 整形外科
第 40 回東海スポーツ傷害研究会　2017 年 2 月　名古屋市

急性骨髄性白血病と急性リンパ性白血病における同種造血幹細胞移植前後の比較
中村和司[1], **松永佑哉**[1], **中山靖唯**[1], 佐藤貴彦[2], 高坂久美子[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2] 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 造血細胞移植センター
4: 整形外科
第 39 回　日本造血細胞移植学会総会　2017 年 3 月　松山市

完全静脈栄養の長期使用は同種造血細胞移植後の理学療法に影響する
松永佑哉[1], **中村和司**[1], **中山靖唯**[1], 佐藤貴彦[2], 高坂久美子[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 造血細胞移植センター
4: 整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

安静臥位時の呼吸困難が下肢の挙上により改善した間質性肺炎の一症例
田口季依, **中村和司**
第 26 回 愛知県理学療法学術大会　2017 年 3 月　名古屋市

Pilot splint を用いた母指固定肢位の検討
小川倫永子, **服部亜衣**, 洪淑貴[1], 堀井恵美子[1]
1: 整形外科
第 29 回　日本ハンドセラピィ学会学術集会　2017 年 4 月　名古屋市

早期リハビリテーションに対する院内意識調査～他職種へのアンケートより～
西川大樹
第 4 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会東海地方学会　2017 年 4 月　名古屋市

造血幹細胞移植患者の下肢筋力に影響する因子の検討
中村和司, **松永佑哉**, **髙木寛人**, **中山靖唯**, 佐藤貴彦[1], 小澤幸泰[1], 宮村耕一[1]
1: 血液内科
第 52 回日本理学療法学術大会　2017 年 5 月　千葉市

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉, **中村和司**, **中山靖唯,** 佐藤貴彦[1], 高坂久美子[2], 大引真理恵[1], 尾崎正英[1], 吉野実世[1], 池野世新[1], 中島麻梨絵[1], 加賀谷裕介[1], 森下喬允[1], 瀬戸愛花[1], 山本英樹[3], 洪淑貴[3], 小澤幸泰[1], 宮村耕一[1]
1: 血液内科
2: 看護部
3: 整形外科
第 52 回日本理学療法学会学術大会　2017 年 5 月　千葉市

病棟看護師に対する診療科別の排尿ケア習熟度調査
福山直美[1], 伊藤真粧美[1], 加藤留美子[1], **奥田哲也**, 中村由美[2], 安藤智子[3], 服部良平[4], 加藤久美子[5]
1: 看護部
2: 管理局業務部医事サービス第一課
3: 産婦人科

4: 泌尿器科
5: 女性泌尿器科
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都

膝前十字靱帯損傷患者における大腿四頭筋の筋厚・筋輝度と影響因子の関連性
髙木寛人, 山川桂子, 打田健人, 西川大樹, 杉浦江美, 山本英樹 [1]
1: 整形外科
第 5 回日本運動器理学療法学術大会　2017 年 9 月　札幌市

食道入口部開大不全の原因とアプローチについて
犬飼晃見, 佐久間英規 [1], 坂口真那美 [2]
1: 歯科口腔外科
2: 看護部
第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2017 年 9 月　千葉市

同種造血幹細胞移植患者における移植前後の身体機能と運動耐容能の変化
永井将貴, 中村和司, 松永佑哉, 佐藤貴彦 [1]
1: 血液内科
第 44 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会　2017 年 11 月　舞鶴市

当院における急性期脳梗塞患者の栄養状態と ADL との関係
武藤健人, 髙木寛人, 中村和司
第 33 回東海北陸理学療法学術集会　2017 年 11 月　福井市

USEFULNESS OF CUSTUM MADE SPLINTS FOR DETERMING POSITION OF THUMB CM JOINT ARTHRODESIS　-A CASE REPORT-
佐藤陽, 服部亜衣, 洪淑貴 [1], 堀井恵美子 [1]
1: 整形外科
第 7 回　アジア太平洋ハンドセラピィ学会　2017 年 11 月　フィリピン

小指中手指節関節伸展拘縮に対して装具療法が有効であった症例の報告
服部亜衣, 西之園智子, 安井茜, 洪淑貴 [1], 堀井恵美子 [1]
1: 整形外科
第 17 回東海北陸作業療法学会　2017 年 11 月　名古屋市

脳神経外科

3 年以上腫瘍制御が得られている AT/RT 2 例の治療経過
波多野寿
第 45 回日本小児神経外科学会　2017 年 6 月　神戸市

骨縫合に発生した類皮腫の 2 例
羽生健人
日本脳神経外科学会中部支部学術集会　2017 年 9 月　三重市

ステント留置以外の adjunctive technique を必要とした脳動脈瘤治療に対する検討
服部健一, 波多野寿, 岡本剛, 藤谷繁, 和田健太郎, 木部祐士
日本脳神経外科学会第 76 回学術総会　2017 年 10 月　名古屋市

急性期脳卒中に対する血管内治療
岡本剛
名古屋第一赤十字病院　平成 29 年度　地域医療連携診療検討会　2017 年 10 月　名古屋市

Subarachnoid hemorrhage induces neuronal nitric oxide synthase phosphorylation at Ser1412 in the dentate gyrus of the rat brain
Wada K, Osuka K[1], Watanabe Y[2], Usuda N[3], Fukasawa M[3], Araki Y[4], Okamoto S[4], Wakabayashi T[4]
1: Department of Neurological Surgery, Aichi Medical University
2: High Technology Research Center, Pharmacology, Showa Pharmaceutical University
3: Department of Anatomy Ⅱ, Fujita Health University School of Medicine
4: Department of Neurosurgery, Nagoya University Graduate School of Medicine
第 76 回日本脳神経外科学会総会　2017 年 10 月　名古屋市

進行性多発脳梗塞を繰り返し開頭脳生検によって診断しえた血管内リンパ腫の 1 例
木部祐士
日本脳神経外科学会第 76 回学術総会　2017 年 10 月　名古屋市

外傷性内頚動脈海綿静脈洞瘻に対する脳血管内治療
和田健太郎, 服部健一, 岡本剛, 伊藤圭志, 羽生健人, 木部祐士, 藤谷繁, 波多野寿
第 33 回日本脳神経血管内治療学会学術総会　2017 年 11 月　東京都

ステント留置以外の adjunctive technique を必要とした脳動脈瘤治療に対する検討
服部健一, 波多野寿, 岡本剛, 藤谷繁, 和田健太郎, 木部祐士
第 33 回日本脳神経血管内治療学会学術総会　2017 年 11 月　東京都

Thiotepa を用いた高リスク髄芽腫に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法の治療成績
Thiotepa-based high-dose chemotherapy with autologous stem cell rescue in children with high-risk medulloblastoma
Sajiki D[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Wakamatsu M[1], Sakaguchi H[1], Yoshida N[1], **Hatano H**, Kato K[1]
1: Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Japan
第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会　2017 年 11 月　松山市

皮膚科

スキンケアナースと多職種居連携による難治性褥瘡患者の治癒対策
伊藤真粧美[1], 福山直美[1], 宮本諭美[1], 園田玲子[1], 須永康代[1], 林衛[2], 石川尚人[3], **西田圭吾**, 林祐司[4]
1: 看護部
2: 栄養課
3: 関節外科リウマチ科
4: 形成外科
第 67 回日本病院学会　2017 年 7 月　神戸市

泌尿器科、女性泌尿器科

骨盤臓器脱～診断と治療の落とし穴
加藤久美子
第 17 回女性骨盤底疾患フォーラム　2017 年 2 月　越谷市

第 6 回経腟メッシュ手術講習会－合併症
加藤久美子
第 11 回日本骨盤臓器脱手術学会　2017 年 3 月　東京

尿トラブルに負けないで～頻尿・尿もれ・骨盤臓器脱
加藤久美子
第 11 回日本骨盤臓器脱手術学会　2017 年 3 月　東京

clear cell papillary renal cell carcinoma の 2 例
松井宏考, 永山洵, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木省治, 鈴木弘一, 加藤久美子, 服部良平
第 274 回日本泌尿器科学会東海地方会　2017 年 3 月　名古屋市

骨盤臓器脱の診療－落とし穴と動向
加藤久美子
第 16 回多摩丘陵地区排尿障害懇話会　2017 年 3 月　多摩市

認知症・担癌・虚弱高齢者の骨盤臓器脱に対する NTR 腟閉鎖術の意義
加藤久美子, 鈴木省治, 永山洵, 松井宏考, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木弘一, 服部良平
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

認知症・担癌・虚弱高齢者の骨盤臓器脱に対する NTR 腟閉鎖術の意義
加藤久美子, 鈴木省治, 永山洵, 松井宏考, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木弘一, 服部良平
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

当院における鏡視下ドナー右腎摘出術の検討
藤田高史[1], 加藤真史[1], 石田昇平[1], 舟橋康人[1], 松川宜久[1], **服部良平**, 後藤百万[1]
1: 名古屋大学医学部泌尿器科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

アニマルモデルの小腸を用いた sealing device による熱損傷の評価
鈴木都史郎[1], 皆川倫範[1], 小川輝之[1], **服部良平**, 上原剛[2], 石塚修[1]
1: 信州大学医学部泌尿器科
2: 信州大学医学部病理診断科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

当院における腎門部腎癌に対する腹腔鏡下腎部分切除術の臨床的検討
平林裕樹, 松井宏考, 永山洵, 佐野友康, 鈴木省治, 加藤久美子, 鈴木弘一, 服部良平
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

夜間頻尿を有する女性過活動膀胱患者におけるミラベグロンの有用性　―QOL と睡眠障害に及ぼす影響ついての検討
吉田正貴[1], 後藤百万[2], 影山慎二[3], **加藤久美子**, 松川宜久[2], 成島雅博[4]
1: 国立長寿医療研究センター泌尿器科
2: 名古屋大学大学院病態外科学講座泌尿器科学

3: かげやま医院
4: 名鉄病院泌尿器科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

骨盤臓器脱患者に対する個別骨盤底筋体操実施後の長期観察成績―臨床症状・QOL・体操実施状況に着目して
大内みふか[1,2], 橘田岳也[1], 菅野由岐子[1], 簗山真由子[1], 守屋仁彦[1], 篠原信雄[1], **加藤久美子**
1: 北海道大学大学院医学研究科腎泌尿器外科学分野
2: 北海道医療大学リハビリテーション科学部理学療法学科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

骨盤臓器脱に合併した OAB：β3 作動薬と抗コリン薬のクロスオーバー試験
永山洵, 加藤久美子, 松井宏考, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木省治, 鈴木弘一, 服部良平, 佐久間英規[1], 大岩伊知郎[1]
1: 歯科口腔外科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

腎盂尿管癌における予後因子の検討
佐野友康, 服部良平, 永山洵, 松井宏考, 平林裕樹, 鈴木弘一, 鈴木省治, 加藤久美子, 都築豊徳[1]
1: 愛知医科大学病院病理部
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

ウロギネのマイナー 尿道脱について
加藤久美子
第 25 回名古屋尿流動態塾（ウロダイ塾）　2017 年 4 月　名古屋

排尿障害入門 in 多治見～誰にも言えない女性の尿もれ・骨盤臓器脱
加藤久美子
2017 年 5 月　多治見

骨盤臓器脱の術後慢性疼痛－経腟メッシュ手術（TVM）と従来型（NTR）
加藤久美子, 鈴木省治, 松井宏考, 永山洵, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木弘一, 服部良平
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京

病棟看護師に対する診療科別の排尿ケア習熟度調査
福山直美[1], 伊藤真粧美[1], 加藤留美子[1], 奥田哲也[2], 中村由美[3], 安藤智子[4], **服部良平, 加藤久美子**
1: 看護部
2: リハビリテーション科
3: 管理局業務部医事サービス第一課
4: 産婦人科
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都

尿流測定（UFM・尿波形・ウロフロ）の説明の工夫～外来ブザーの減少を目指して
長尾千尋[1], **加藤久美子**, 金簗美衣子[1], 須藤麻子[1], 原和美[1], 佐藤優子[1], 山本亜紀[1], 安藤由香[1], **鈴木弘一, 服部良平**
1: 看護部
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京

長期間続く症状に対して漢方薬によるアプローチで治療可能であった 2 症例
佐野友康
第 34 回泌尿器科漢方研究会学術集会　2017 年 6 月　東京都千代田区

泌尿器科がんにおけるリンパ節廓清の実際について
佐野友康
東海泌尿器科研究会（TUSG）学術セミナー　2017 年 6 月　名古屋市

器質化血腫を来した Myelolipomatous metaplasia を伴った副腎腺腫の 1 例
伊藤茂樹[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 新井綾希子[1], 河合雄一[1], **服部良平**, 安藤良太[2], 藤野雅彦[3]
1: 放射線科
2: 病理部
3: 細胞診分子病理診断部
第 31 回日本腹部放射線学会　2017 年 6 月　旭川市

尿トラブル・脱に取り組む－患者として医師として
加藤久美子
第 19 回日本女性骨盤底医学会　2017 年 7 月　福井

「ウロギネのマイナー」尿道脱の診断の遅れ
加藤久美子, 松井宏考, 永山洵, 佐野友康, 平林裕樹, 鈴木省治, 鈴木弘一, 服部良平
第 19 回日本女性骨盤底医学会　2017 年 7 月　福井

骨盤臓器脱手術後の腹圧性尿失禁に対する骨盤底筋体操の効果―無作為化比較パイロット試験
渡邊日香里[1,2],**加藤久美子**,井上倫恵[1],鈴木重行[2]
1: 名鉄病院
2: 名古屋大学大学院医学系研究科
第19回日本女性骨盤底医学会　2017年7月　福井

当院における腎門部腎癌に対する腹腔鏡下腎部分切除術の臨床的検討
平林裕樹,松井宏考,永山洵,佐野友康,鈴木省治,鈴木弘一,加藤久美子,服部良平
第33回腎移植・血管外科研究会　2017年7月　小田原市

LSCでの卵管切除は必要か
鈴木省治,加藤久美子,永山洵,松井宏考,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,服部良平
第19回日本女性骨盤底医学会　2017年7月　福井

女性の切迫性尿失禁・骨盤臓器脱のみかた
加藤久美子
岐阜腎癌フォーラム　2017年7月　岐阜

女性の尿トラブル―頻尿・尿失禁・骨盤臓器脱をどう診るか
加藤久美子
第7回みやびの会　2017年7月　名古屋市

Comparizon of survival outcomes between laparoscopic and open radical nephroureterectomy in patients with upper tract urothelial carcinoma
T.Sano, R.Hattori, O.Kamihira[1], S.Yamada[2], Y.Tsuji[3], M.Gotoh[3], T.Tsuzuki[4]
1: 小牧市民病院
2: 名古屋第二赤十字病院
3: 名古屋大学泌尿器科
4: 愛知医科大学病院病理部
15th Urological Association of Asia Congress　2017年8月　Hong Kong, Wan Chai

骨盤臓器脱手術後の慢性疼痛－術式別検討
鈴木省治,川西秀治,松井宏考,永山洵,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,服部良平
第30回日本排尿機能学会　2017年9月　東京

骨盤臓器脱手術前の腹圧性尿失禁の有無による骨盤底筋体操の効果
渡邉日香里[1],**加藤久美子**,井上倫恵[1],鈴木重行[1]
1: 名古屋大学医学部保健学科
第30回日本排尿機能学会　2017年9月　東京

前立腺癌新grading systemにおけるtertiary Gleason pattern 5の重要性
加藤真史[1],都築豊徳[2],石田亮[3],山口朝臣[4],木村亮[5],佐々直人[1],松川宜久[1],吉野能[1],**服部良平**,後藤百万[1]
1: 名古屋大学・大学院医学系研究科・泌尿器科学
2: 愛知医科大学・病理診断科
3: 名古屋第二赤十字病院泌尿器科
4: 小牧市民病院泌尿器科
5: 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院泌尿器科
第55回日本癌治療学会学術集会　2017年10月　横浜

Transvaginal extraction of the kidney following laparoscopic nephrectomy for RCC or pure laparoscopic nephroureterectomy for upper tract UC
R.Hattori
37th Congress of the societe international d'Urologie (SIU)　2017年10月　Lisbon

腎盂尿管癌における予後因子の検討
佐野友康,服部良平,永山洵,松井宏考,平林裕樹,鈴木弘一,鈴木省治,加藤久美子,都築豊徳[1]
1: 愛知医科大学病理診断科
第67回 日本泌尿器科学会中部総会　2017年11月　大阪市

Computational volume-analysis of compensatory hypertrophy of the contralateral kidney after nephrectomy
J Nagayama, Y Yoshino[1], **R Hattori**, T.Yamamoto[1],Y.Funahashi[1], Y.Matsukawa[1], C.Wang[1], K.Mori[1], M.Gotoh[1]
1: 名古屋大学泌尿器科
American Society of Nephrology KIDNEY WEEK 2017　2017年11月　New Orleans, USA, 2017

産婦人科

妊娠26週未満の胎胞脱出・可視における予後因子の検討
木村晶子,柵木善旭,池田沙矢子,手塚敦子,栗林ももこ,古橋円
第69回日本産科婦人科学会学術講演会　2017年4月　広島市

Platinum allegy に対し other platinum での rechallenge を行った３例
三澤研人, 市川義一[1], 佐竹恵[1], 加藤恵[1], 江河由起子[1], 鈴木まり子[1], 根本泰子[1]
1: 静岡赤十字病院
平成 29 年度静岡産婦人科学会春季学術集会　2017 年 5 月　静岡市

子宮内膜異型増殖症治療後不妊に対し、胚盤胞移植が無効でクロミフェン排卵により妊娠に至った一例
大西主真, **猪飼恵**, **西子裕規**, **三宅菜月**, **齋藤愛**, **江口智子**, **安藤智子**
第 39 回中部生殖医学会　2017 年 6 月　名古屋市

病棟看護師に対する診療科別の排尿ケア習熟度調査
福山直美[1], 伊藤真粧美[1], 加藤留美子[1], 奥田哲也[2], 中村由美[3], **安藤智子**, 服部良平[4], 加藤久美子[4]
1: 看護部
2: リハビリテーション科
3: 管理局業務部医事サービス第一課
4: 泌尿器科
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の 1 例
福原伸彦, **上田真子**, **大西主真**, **江﨑正俊**, **木村晶子**, **三澤研人**, **猪飼恵**, **坂田慶子**, **夫馬和也**, **西子裕規**, **三宅菜月**, **柵木善旭**, **栗林ももこ**, **手塚敦子**, **齋藤愛**, **坂堂美央子**, **廣村勝彦**, **安藤智子**, **水野公雄**, 森正一[1]
1: 呼吸器外科
第 105 回愛知産科婦人科学会　2017 年 7 月　名古屋市

Twin reversed arterial perfusion sequence に対してラジオ波血流遮断術後、生児に重症 FGR を生じた 1 例
上田真子, **大西主真**, **江﨑正俊**, **福原伸彦**, **木村晶子**, **三澤研人**, **猪飼恵**, **坂田慶子**, **夫馬和也**, **西子裕規**, **三宅菜月**, **栗林ももこ**, **手塚敦子**, **齋藤愛**, **坂堂美央子**, **廣村勝彦**, **安藤智子**, **水野公雄**
第 105 回愛知産科婦人科学会　2017 年 7 月　名古屋市

劇症型アメーバ感染症を併発し死亡に至った子宮頸癌の一例
江﨑正俊, **上田真子**, **大西主真**, **木村晶子**, **三澤研人**, **猪飼恵**, **坂田慶子**, **夫馬和也**, **福原伸彦**, **西子裕規**, **三宅菜月**, **柵木善旭**, **栗林ももこ**, **手塚敦子**, **齋藤愛**, **坂堂美央子**, **廣村勝彦**, **安藤智子**, **水野公雄**, 森正一[1]
1: 呼吸器外科
第 105 回愛知産科婦人科学会　2017 年 7 月　名古屋市

筋層浸潤が疑われる atypical polypoid adenomyoma の一例
新保暁子, 長坂徹郎[1], **水野公雄**, 藤野雅彦[2], 伊藤雅文[3], 梶山広明[4], 吉川史隆[4]
1: 名古屋大学医学部保健学科
2: 名古屋第一赤十字病院細胞診分子病理診断部
3: 名古屋第一赤十字病院病理部
4: 名古屋大学産婦人科
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

初期卵巣癌に対する妊孕性温存手術～拡大 vs 温存：傾向スコアを用いた長期生存解析の結果から～
梶山広明[1], 河井通泰[1], **水野公雄**, 山室理[1], 小口秀紀[1], 水野美香[1], 吉川史隆[1]
1: 名古屋大学産婦人科
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

小腸悪性リンパ腫を術前診断し得た子宮体癌の一例
長尾有佳里, **三澤研人**, **猪飼恵**, **夫馬和也**, **西子裕規**, **三宅菜月**, **坂堂美央子**, **廣村勝彦**, **水野公雄**
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

PTX＋CBDCA＋BEV にて化学療法中に SIADH をきたした子宮頚部小細胞癌の 1 例
西子裕規, **三澤研人**, **猪飼恵**, **夫馬和也**, **長尾有佳里**, **三宅菜月**, **坂堂美央子**, **廣村勝彦**, **水野公雄**
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

18kg を超える巨大子宮頸部平滑筋肉腫の 1 例
廣村勝彦, 干場勉[1], 近藤壯[1], 平吹信弥[1], 佐々木博正[1]
1: 石川県立中央病院婦人科
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の 1 例
新井綾希子[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 河合雄一[1], 伊藤茂樹[1], **福原伸彦**, **坂堂美央子**, **水野公雄**, 安藤良太[2], 伊藤雅文[2], 小川浩[3]
1: 放射線科
2: 病理部
3: 名古屋大学放射線科
第 162 回日本医学放射線学会中部地方会　2017 年 7 月　富山市

【ワークショップ】便秘症の妊婦に対する漢方の有効性と安全性
津田弘之,牛田貴文[1],今井健史[1],中野知子[1],小谷友美[1],吉川史隆[1]
1: 名古屋大学産婦人科
第37回産婦人科漢方研究会　2017年8月　旭川市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の1例
新井綾希子[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],伊藤茂樹[1],**福原伸彦**,**坂堂美央子**,**水野公雄**,安藤良太[2],伊藤雅文[2],小川浩[3]
1: 放射線科
2: 病理部
3: 名古屋大学放射線科
第18回Japanese society for the advancemant of women's imaging　2017年9月　淡路市

Mycoplasma hominis intraperitoneal infection from vagina after total laparoscopic hysterectomy:A case report
Misawa K, Ichikawa Y[1], Hashimoto M[1], Satake M[1], Katou M[1], Egawa Y[1], Suzuki M[1],Nemoto T[1]
1: 静岡赤十字病院　産婦人科
18th APAGE Annual Congress 2017　2017年9月　岡山市

帝王切開瘢痕部妊娠に対してメソトレキセート療法後に子宮鏡下治療をした1例
廣村勝彦,近藤壮[1],松本みお[1],松山純[1],平吹信弥[1],佐々木博正[1],干場勉[1]
1: 石川県立中央病院婦人科
第57回日本産科婦人科内視鏡学会　2017年9月　岡山市

サルモネラ感染を合併した子宮内膜症性嚢胞に対し、腹腔鏡下手術が著効した一例
木村晶子,**猪飼恵**,**齋藤愛**,**坂堂美央子**,**廣村勝彦**,**安藤智子**
第57回日本産科婦人科内視鏡学会　2017年9月　岡山市

超小児頭大の腫瘍が膣外に脱出した子宮頸癌に対して、腹腔鏡補助下腟式子宮全摘を施行した一例
坂堂美央子,**木村晶子**,**猪飼恵**,**齋藤愛**,**廣村勝彦**,**安藤智子**
第57回日本産科婦人科内視鏡学会　2017年9月　岡山市

Operative hysteroscopy following methotrexate for cesarean scar pregnancy.
廣村勝彦,近藤壮[1],松本みお[1],松山純[1],平吹信弥[1],佐々木博正[1],干場勉[1]
1: 石川県立中央病院婦人科
18th APAGE Annual Congress　2017年9月　岡山市

子宮頸がんに対する薬物療法
廣村勝彦
東海オンコロジーセミナー　2017年10月　名古屋市

こんなときどうする？（卵巣がん）
廣村勝彦
Nagoya Gynecologic Cancer Forum　2017年10月　名古屋市

子宮頸癌治療後に肺転移で再発し片肺全摘を施行した1例
上田真子,**坂堂美央子**,**大西主真**,**江﨑正俊**,**木村晶子**,**三澤研人**,**福原伸彦**,**猪飼恵**,**坂田慶子**,**夫馬和也**,**西子裕規**,**三宅菜月**,**栗林ももこ**,**手塚敦子**,**齋藤愛**,**廣村勝彦**,**津田弘之**,**安藤智子**,**水野公雄**
第106回愛知産科婦人科学会　2017年10月　名古屋市

治療に難渋した子宮腺肉腫卵巣転移の一例
大西主真,**坂堂美央子**,**上田真子**,**江﨑正俊**,**木村晶子**,**三澤研人**,**福原伸彦**,**猪飼恵**,**坂田慶子**,**夫馬和也**,**西子裕規**,**三宅菜月**,**栗林ももこ**,**手塚敦子**,**齋藤愛**,**廣村勝彦**,**津田弘之**,**安藤智子**,**水野公雄**
第38回東海卵巣腫瘍研究会　2017年10月　名古屋市

当院における月経随伴性気胸の治療経験
木村晶子,**安藤智子**,**村瀬充香**,**猪飼恵**,**福原伸彦**,**西子裕規**,**三宅菜月**,**栗林ももこ**,**齋藤愛**,**坂堂美央子**
第32回日本女性医学学会　2017年11月　大阪市

肝梗塞を合併したHELLP症候群の一例
大西主真,**手塚敦子**,**上田真子**,**江﨑正俊**,**木村晶子**,**三澤研人**,**福原伸彦**,**猪飼恵**,**坂田慶子**,**夫馬和也**,**西子裕規**,**三宅菜月**,**栗林ももこ**,**手塚敦子**,**齋藤愛**,**坂堂美央子**,**廣村勝彦**,**津田弘之**,**安藤智子**,**水野公雄**
第106回愛知産科婦人科学会　2017年月11月　名古屋市

明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム（ASUISHI）を受講して
水野公雄
第13回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会　2017年11月　名古屋市

自己卵子を用いた ART により妊娠・出産に至った Turner 症候群の一例
齋藤愛, 大西主真, 江崎正俊, 猪飼恵, 西子裕規, 三宅菜月, 江口智子, 安藤智子
第 62 回日本生殖医学会学術講演会　2017 年 11 月　下関市

当院における悪性腫瘍患者の精子凍結保存の検討
猪飼恵, 大西主真, 江崎正俊, 三宅菜月, 齋藤愛, 江口智子, 安藤智子
第 62 回日本生殖医学会学術講演会　2017 年 11 月　下関市

ART により妊娠・出産に至った Turner 症候群の一例
安藤智子, 坂堂美央子, 大西主真, 齋藤愛
第 3 回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会　2017 年 12 月　淡路市

眼科

無菌性髄膜炎の経過中に樹氷状網膜血管炎を呈した 1 例
宇佐美欽通, 小林三砂紀, 佐藤英津子, 森盟[1], 真野和夫[1]
1: 神経内科
名古屋大学眼科集談会　2017 年 12 月　名古屋市

耳鼻咽喉科

当科で治療した原発不明癌頸部リンパ節転移について
寺田聡広, 鈴木淳志
第 27 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会　2017 年 1 月　東京都

語音弁別能の改善から考える補聴器両耳装用
小林万純, 柘植勇人, 大西俊, 伊藤潤平, 鈴木淳志, 寺田聡広, 曾根三千彦[1]
1: 名古屋大学耳鼻咽喉科
第 168 回日耳鼻東海地方部会連合講演会 2017 年 3 月　愛知県長久手市

パネルディスカッション「耳鼻咽喉科領域の異物の取り扱い」
柘植勇人
第 41 回愛知県耳鼻咽喉科研修会　2017 年 4 月　名古屋市

語音弁別能の改善から考える補聴器両耳装用の価値
小林万純[1], **柘植勇人, 大西俊, 伊藤潤平, 鈴木淳志, 寺田聡広**, 曾根三千彦[1]
1: 名古屋大学耳鼻咽喉科
第 118 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会　2017 年 5 月　広島市

ボイスプロテーゼ脱落を繰り返した 1 症例
鈴木淳志, 寺田聡広
第 41 回日本頭頸部癌学会　2017 年 6 月　京都市

示唆に富む中等度一側難聴・補聴器治療症例（症例提示編）
加藤大介, 三宅杏季, 柘植勇人, 塔下童男, 加藤由記, 伊藤潤平, 大西俊, 鈴木克尚
第 3 回耳鳴・難聴研究会　2017 年 7 月　東京都

示唆に富む中等度一側難聴・補聴器治療症例（考察応用編）
塔下童男, 三宅杏季, 柘植勇人, 加藤大介, 加藤由記, 伊藤潤平, 大西俊, 鈴木克尚
第 3 回耳鳴・難聴研究会　2017 年 7 月　東京都

我々が考える耳鳴診療のキーポイント
柘植勇人, 加藤大介, 三宅杏季, 塔下童男, 加藤由記, 伊藤潤平, 大西俊, 鈴木克尚
第 3 回耳鳴・難聴研究会　2017 年 7 月　東京都

中耳真珠腫手術の工夫－軟組織再建に活用する Z 形成術－
柘植勇人, 植田広海[1], **伊藤潤平, 鈴木克尚, 大西俊, 鈴木淳志, 寺田聡広**, 曾根三千彦[2]
1: 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科
2: 名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 170 回日耳鼻東海地方部会連合講演会 2017 年 9 月　名古屋市

耳鳴に対する当院の補聴器フィッティング手法
柘植勇人, 三宅杏季, 加藤大介, 塔下童男, 加藤由記, 伊藤潤平, 鈴木克尚, 大西俊, 杉浦彩子[1], 曾根三千彦[2]
1: 国立長寿医療研究センター耳鼻咽喉科
2: 名古屋大学　耳鼻咽喉科
第 62 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2017 年 10 月　福岡市

耳鳴と聴覚過敏を伴う中等度一側難聴の補聴器奏功例　- 症例提示と検査手技 -
加藤大介, 三宅杏季, 柘植勇人, 塔下童男, 加藤由記, 伊藤潤平, 鈴木克尚
第 62 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2017 年 10 月　福岡市

耳鳴と聴覚過敏を伴う中等度一側難聴の補聴器奏効例　- 考察編 -
三宅杏季, 柘植勇人, 加藤大介, 塔下童男, 加藤由記, 伊藤潤平, 鈴木克尚
第 62 回日本聴覚医学会総会・学術講演会　2017 年 10 月　福岡市

Z 形成を応用した外耳道入口部拡大形成術
柘植勇人, 植田広海[1], **伊藤潤平**, 曾根三千彦[2]
1: 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科
2: 名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 27 回日本耳科学会総会・学術講演会　2017 年 11 月　横浜市

麻酔科

帝王切開中に肺血栓塞栓症を発症した 2 例
中嶋麻里, 北尾岳, 横田修一
日本麻酔科学会東海・北陸支部第 15 回学術集会　2017 年 9 月　名古屋市

A Crossover Healthy Volunteers Study of Quadratus Lumborum Block to Detect the Paravertebral Space Dissemination
Tamura T, Yokota S, Ito S[1], Shibata Y[2], Nishiwaki K[2]
1: 放射線科
2: 名古屋大学医学部附属病院麻酔科
The annual meeting of American Sciety of Anestheiologist　2017 年 10 月　ボストン

A Randomized Controlled Trial Comparing Rectus Sheath Block With Local Anesthesia Infiltration for Hernia Repair
Tamura T, Kaneko K[1], Yokota S, Ando M[2], Nishiwaki K[2]
1: 小児外科
2: 名古屋大学医学部附属病院放射線科
The annual meeting of American Society of Anesthesiologist　2017 年 10 月　ボストン

化学療法内科

がん化学療法における薬剤リンパ球刺激試験の実施状況について
櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], 福井佳明[1], 成瀬徳彦[1], 天野真由美[2], 濱嶋なぎさ[2], **中野祐住**, 野村史郎[3]
1: 薬剤部
2: 看護部
3: 呼吸器内科
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2017 年 7 月　神戸市

放射線科

器質化血腫を来した Myelolipomatous metaplasia を伴った副腎腺腫の 1 例
伊藤茂樹, 山田恵一郎, 村井淳志, 富家未来, 新井綾希子, 河合雄一, 服部良平[1], 安藤良太[2], 藤野雅彦[3]
1: 泌尿器科
2: 病理部
3: 細胞診分子病理診断部
第 31 回日本腹部放射線学会　2017 年 6 月　旭川市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の 1 例
新井綾希子, 山田恵一郎, 村井淳志, 富家未来, 河合雄一, 伊藤茂樹, 福原伸彦[1], 坂堂美央子[1], 水野公雄[1], 安藤良太[2], 伊藤雅文[2], 小川浩[3]
1: 産婦人科
2: 病理部
3: 名古屋大学放射線科
第 162 回日本医学放射線学会中部地方会　2017 年 7 月　富山市

CT 上薄壁空洞を認めた卵巣粘液性嚢胞腫瘍の肺転移の 2 例
伊藤茂樹, 山田恵一郎, 村井淳志, 富家未来, 新井綾希子, 河合雄一, 藤野雅彦[1]
1: 細胞診分子病理診断部
第 31 回胸部放射線研修会　2017 年 8 月　松山市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の 1 例
新井綾希子, 山田恵一郎, 村井淳志, 富家未来, 河合雄一, 伊藤茂樹, 福原伸彦[1], 坂堂美央子[1], 水野公雄[1], 安藤良太[2], 伊藤雅文[2], 小川浩[3]
1: 産婦人科
2: 病理部
3: 名古屋大学放射線科
第 18 回 Japanese society for the advancemant of women’s imaging　2017 年 9 月　淡路市

A Crossover Healthy Volunteers Study of Quadratus Lumborum Block to Detect the Paravertebral Space Dissemination
Tamura T[1], Yokota S[1], **Ito S**, Shibata Y[2], Nishiwaki K[2]
1: 麻酔科
2: 名古屋大学医学部附属病院麻酔科
The annual meeting of American Sciety of Anestheiologist　2017 年 10 月　ボストン

当院が経験した RTPS のコミッショニング
臼井友彦
日本放射線技術学会愛知県放射線治療研究会　2017 年 12 月　名古屋市

歯科、歯科口腔外科

骨盤臓器脱に合併した OAB：β3 作動薬と抗コリン薬のクロスオーバー試験
永山洵[1], 加藤久美子[2], 松井宏考[1], 佐野友康[1], 平林裕樹[1], 鈴木省治[2], 鈴木弘一[1], 服部良平[1], **佐久間英規**, **大岩伊知郎**
1: 泌尿器科
2: 女性泌尿器科
第 105 回日本泌尿器科学会総会　2017 年 4 月　鹿児島

食道入口部開大不全の原因とアプローチについて
犬飼晃見[1], **佐久間英規**, 坂口真那美[2]
1: リハビリテーション科
2: 看護部
第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2017 年 9 月　千葉市

病理部、細胞診分子病理診断部

胃切除、Billroth-II 法再建後の gastritis cystica polyposa に併存した胃癌の 1 例
水野宏論[1]，湯浅典博[1]，竹内英司[1]，三宅秀夫[1]，永井英雅[1]，浅井真理子[1]，宮田完志[1]，**桐山理美**
1: 一般・消化器外科
第 89 回日本胃癌学会総会　2017 年 3 月　広島市

骨髄増殖性腫瘍の更なる診断向上に向けて
池田和彦[1], **伊藤雅文**
1: 福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座血液内科学講座
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

骨髄増殖性腫瘍の病理診断（Advanced）
伊藤雅文
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

胸腺 MALT リンパ腫の臨床病理学的特徴
安藤良太, **伊藤藍**, **露木敦士**, **小南理美**, **藤野雅彦**, **伊藤雅文**
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

子宮類内膜腺癌と診断した症例における神経内分泌マーカー発現に関する臨床病理学的検討
伊藤藍, **安藤良太**, **露木敦士**, **小南理美**, **藤野雅彦**, **伊藤雅文**
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

A case of low-grade pyloric gland neoplasm arising from remnant stomach after distal gastrectomy
小南理美, **伊藤藍**, **安藤良太**, **露木敦士**, **藤野雅彦**, **伊藤雅文**
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

骨髄増殖性腫瘍の病理組織像
伊藤雅文
第 106 回日本病理学会総会　2017 年 4 月　東京都

小児における同種造血幹細胞移植後の肝生検例の検討
若松学[1], 山森彩子[1], 三輪田俊介[1], 坂口大俊[1], 吉田奈央[1], 加藤剛二[1], **伊藤雅文**
1: 小児科
第 6 回日本血液学会東海地方会　2017 年 4 月　名古屋市

小児における同種造血細胞移植後の皮膚生検の臨床的意義の検討
三輪田俊介[1], 山森彩子[1], 若松学[1], 坂口大俊[1], 吉田奈央[1], 加藤剛二[1], **伊藤雅文**
1: 小児科
第 6 回日本血液学会東海地方会　2017 年 4 月　名古屋市

芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍
丸山総枝[1], 森本亜由美[1], 酒井美穂[1], 池井戸重廣[1], 山本将毅[1], **伊藤雅文**, 中野晃伸[1]
1: 土岐市立総合病院検査部病理
第 58 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）　2017 年 5 月　大阪市

100 例の MPN 症例スライドをみる会
伊藤雅文
第 10 回東京骨髄病理研究会　2017 年 6 月　伊勢原市

器質化血腫を来した Myelolipomatous metaplasia を伴った副腎腺腫の 1 例
伊藤茂樹[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 新井綾希子[1], 河合雄一[1], 服部良平[2], **安藤良太**, **藤野雅彦**
1: 放射線科
2: 泌尿器科
第 31 回日本腹部放射線学会　2017 年 6 月　旭川市

Glioblastoma
安藤良太, **伊藤藍**, **露木敦士**, **小南理美**, **藤野雅彦**, **伊藤雅文**
第 79 回日本病理学会中部支部交見会　2017 年 7 月　富山市

実臨床での造血器腫瘍遺伝子検査の実際と展望－i-densy- IS-5320 を活用して－
伊藤雅文, **郡司昌治**
第 18 回日本検査血液学会学術集会イブニングセミナー３　2017 年 7 月　札幌市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の 1 例
新井綾希子[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 河合雄一[1], 伊藤茂樹[1], 福原伸彦[2], 坂堂美央子[2], 水野公雄[2], **安藤良太**, **伊藤雅文**, 小川浩[3]
1: 放射線科
2: 産婦人科
3: 名古屋大学放射線科
第 162 回日本医学放射線学会中部地方会　2017 年 7 月　富山市

筋層浸潤が疑われる atypical polypoid adenomyoma の一例
新保暁子[1], 長坂徹郎[2], 水野公雄[1], **藤野雅彦**, **伊藤雅文**, 梶山広明[3], 吉川史隆[3]
1: 産婦人科
2: 名古屋大学医学部保健学科
3: 名古屋大学産婦人科
第 59 回日本婦人科腫瘍学会　2017 年 7 月　熊本市

CT 上薄壁空洞を認めた卵巣粘液性嚢胞腫瘍の肺転移の 2 例
伊藤茂樹[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 新井綾希子[1], 河合雄一[1], **藤野雅彦**
1: 放射線科
第 31 回胸部放射線研修会　2017 年 8 月　松山市

卵巣原発非妊娠性絨毛癌の 1 例
新井綾希子[1], 山田恵一郎[1], 村井淳志[1], 富家未来[1], 河合雄一[1], 伊藤茂樹[1], 福原伸彦[2], 坂堂美央子[2], 水野公雄[2], **安藤良太**, **伊藤雅文**, 小川浩[3]
1: 放射線科
2: 産婦人科
3: 名古屋大学放射線科
第 18 回 Japanese society for the advancemant of women’s imaging　2017 年 9 月　淡路市

The results of colon biopsies after allogenic stem cell transplantation in children
Wakamatsu M[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Sakaguchi H[1], Doisaki S[1], Yoshida N[1], **Ito M**, Kato K[1]
1: Department of Pediatric Hemato-Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 79th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology　2017 年 10 月　Tokyo

Iodine staining and p16 evaluatiom could detect precancerous esophageal lesion after allogeneic HSCT
Sato T[1], Seto A[1], Ohbiki M[1], Osaki M[1], Yoshino M[1], Ikeno S[1], Nakashima M[1], Kagaya Y[1], Kawashima N[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1], Haruta J[2], **Ito M**
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
2: Dept. Gastroenterology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 79 回日本血液学会学術集会　2017 年 10 月　東京都

Diffuse large B-cell Lymphoma with MYC gene rearrangements.
Ohbiki M[1], Osaki M[1], Yoshino M[1], Ikeno S[1], Sato T[1], Kagaya Y[1], Nakashima M[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], **Ito M**, Miyamura K[1]
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 79 回日本血液学会学術集会　2017 年 10 月　東京都

センチネルリンパ節術中迅速診断における偽陰性の要因検討
広瀬美砂, **古賀一輝**, **阿知破智**, **阿知波輝彦**
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

わかりやすい病理解剖の手順　－ビデオ解説を交えて－
広瀬美砂
第 29 年度　第 2 回病理細胞検査研究班セミナー　2017 年 11 月　金沢市

染色標本を用いた FISH 解析の応用

杉山知咲季, 郡司昌治, 山下比鶴, 村上佳穂, 藤野雅彦, 伊藤雅文
第 56 回日本臨床細胞学会秋季大会　2017 年 11 月　福岡市

検査部

超音波診断しえた Closed loop 型腸閉塞の 1 例
上田遼太[1], **湯浅典博**, 毛利康一[1], 深田浩志[1], **小島祐毅**, **有吉彩**, **前岡悦子**
1: 一般・消化器外科
第 90 回日本超音波医学会学術集会　2017 年 5 月　宇都宮市

薬剤部

がん化学療法における薬剤リンパ球刺激試験の実施状況について
櫛原朋恵, **櫛原秀之**, **福井佳明**, **成瀬徳彦**, 天野真由美[1], 濱嶋なぎさ[1], 中野祐往[2], 野村史郎[3]
1: 看護部
2: 化学療法内科
3: 呼吸器内科
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2017 年 7 月　神戸市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1], 春田純一[1], 清田篤志[1], **黒野康正**[1]
1: 名古屋第一赤十字病院　NST
第 53 回日本赤十字社医学会総会　　2017 年 10 月　仙台市

医療技術部

スキンケアナースと多職種居連携による難治性褥瘡患者の治癒対策
伊藤真粧美[1], 福山直美[1], 宮本論美[1], 園田玲子[1], 須永康代[1], **林衛**, 石川尚人[2], 西田圭吾[3], 林祐司[4]
1: 看護部
2: 関節外科リウマチ科
3: 皮膚科
4: 形成外科
第 67 回日本病院学会　2017 年 7 月　神戸市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1], 春田純一[1], 清田篤志[1], 黒野康正[1]
1: 名古屋第一赤十字病院　NST
第 53 回日本赤十字社医学会総会　　2017 年 10 月　仙台市

カーボカウントとその指導効果
林衛
第 19 回海部津島糖尿病地域連携研究会　　2017 年 11 月　津島市

看護部

完全静脈栄養の長期使用は同種造血細胞移植後の理学療法に影響する
松永佑哉[1], 中村和司[1], 中山靖唯[1], 佐藤貴彦[2], **高坂久美子**[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 造血細胞移植センター
4: 整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

急性骨髄性白血病と急性リンパ性白血病における同種造血幹細胞移植前後の比較
中村和司[1], 松永佑哉[1], 中山靖唯[1], 佐藤貴彦[2], **高坂久美子**[3], 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], 山本英樹[1,4], 洪淑貴[1,4], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: 名古屋第一赤十字病院リハビリテーション科
2: 名古屋第一赤十字病院血液内科
3: 名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター
4: 名古屋第一赤十字病院整形外科
第 39 回日本造血細胞移植学会　2017 年 3 月　島根市

同種造血幹細胞移植における完全静脈栄養の長期使用が理学療法に及ぼす影響
松永佑哉[1], 中村和司[1], 中山靖唯[1], 佐藤貴彦[2], **高坂久美子**, 大引真理恵[2], 尾崎正英[2], 吉野実世[2], 池野世新[2], 中島麻梨絵[2], 加賀谷裕介[2], 森下喬允[2], 瀬戸愛花[2], 山本英樹[3], 洪淑貴[3], 小澤幸泰[2], 宮村耕一[2]
1: リハビリテーション科
2: 血液内科
3: 整形外科
第 52 回日本理学療法学会学術大会　2017 年 5 月　千葉市

病棟看護師に対する診療科別の排尿ケア習熟度調査

福山直美, 伊藤真粧美, 加藤留美子, 奥田哲也[1], 中村由美[2], 安藤智子[3], 服部良平[4], 加藤久美子[5]

1: リハビリテーション科

2: 管理局業務部医事サービス第一課

3: 産婦人科

4: 泌尿器科

5: 女性泌尿器科

第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都

緩和ケア病棟における遺族会に参加した看護師、ボランティアの体験と参加することの意味

服部希恵, 平野美枝子, 井篭理江, 高間紀子

第 22 回日本緩和医療学会学術大会　2017 年 6 月　横浜市

緩和ケアセンターにおける遺族会に参加した遺族の体験と参加することの意味

井篭理江, 服部希恵, 高間紀子, 平野美枝子

第 22 回日本緩和医療学会学術大会　2017 年 6 月　横浜市

病棟の安全文化を醸成するための看護管理者のコンピテンシーの特徴

近森清美, 村瀬智子[1], 奥村潤子[1]

1: 日本赤十字豊田看護大学

第 18 回日本赤十字看護学会学術集会　2017 年 6 月　北九州市

尿流測定（UFM・尿波形・ウロフロ）の説明の工夫～外来ブザーの減少を目指して

長尾千尋, 加藤久美子[1], **金築美衣子, 須藤麻子, 原和美, 佐藤優子, 山本亜紀, 安藤由香**, 鈴木弘一[1], 服部良平[1]

1: 女性泌尿器科

第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都千代田区

スキンケアナースと多職種居連携による難治性褥瘡患者の治癒対策

伊藤真粧美, 福山直美, 宮本論美, 園田玲子, 須永康代, 林衛[1], 石川尚人[2], 西田圭吾[3], 林祐司[4]

1: 栄養課

2: 関節外科リウマチ科

3: 皮膚科

4: 形成外科

第 67 回日本病院学会　2017 年 7 月　神戸市

急性期病院における看護職員確保の戦略について考える

坂之上ひとみ, 真野真紀子, 須永康代, 川瀬とし子, 高坂久美子

第 67 回日本病院学会　2017 年 7 月　神戸市

がん化学療法における薬剤リンパ球刺激試験の実施状況について

櫛原朋恵[1], 櫛原秀之[1], 福井佳明[1], 成瀬徳彦[1], **天野真由美, 濱嶋なぎさ**, 中野祐住[2], 野村史郎[3]

1: 薬剤部

2: 化学療法内科

3: 呼吸器内科

第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2017 年 7 月　神戸市

胃内視鏡検査件数増加に伴う新体制構築への工夫

村上綾子, 岡山風子, 伊藤真由美, 加藤宣子, 筒井礼子

第 58 回日本人間ドック学会学術大会　2017 年 8 月　さいたま市

病院の「お見送り」に関する看護管理の要素

森早苗, 永坂和子[1], 藤原奈佳子[1]

1: 人間環境大学大学院看護学研究科

第 21 回日本看護管理学会学術集会　2017 年 8 月　横浜市

看護分野における「死」に関わる文献の動向と社会的関心

森早苗, 藤原奈佳子[1], 永坂和子[1]

1: 人間環境大学大学院看護学研究科

日本ヒューマンヘルスケア学会　2017 年 9 月　大府市

食道入口部開大不全の原因とアプローチについて

犬飼晃見[1], 佐久間英規[2], **坂口真那美**

1: リハビリテーション科

2: 歯科口腔外科

第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2017 年 9 月　千葉市

中央手術室の医療消耗品費用の削減への取り組み

近森清美

第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

当院における認知症ケアチームの活動報告
岡田朋子, 飯田大輔[1], 榎本伸一[2], 後藤洋二[3]
1: 精神科
2: 医療社会事業課
3: 神経内科
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

自閉症スペクトラムを有する白血病患児の中心静脈カテーテル消毒への介入方法
川西未紗, **天白美咲**, **友松梨奈**, **佐伯暢隆**
第 15 回日本小児がん看護学会学術集会　2017 年 11 月　松山市

バースセンター（院内助産）利用者アンケート調査の報告－院内助産に求められていること－
鈴木真由子, **會澤幸世**, **柴田幸子**, **真野真紀子**
平成 29 年度愛知県看護研究学会　2017 年 12 月　名古屋市

医療社会事業部

当院における認知症ケアチームの活動報告
岡田朋子[1], 飯田大輔[2], **榎本伸一**, 後藤洋二[3]
1: 看護部
2: 精神科
3: 神経内科
第 53 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

管理局業務部

病棟看護師に対する診療科別の排尿ケア習熟度調査
福山直美 1, 伊藤真粧美 1, 加藤留美子 1, 奥田哲也[2], **中村由美**, 安藤智子[3], 服部良平[4], 加藤久美子[5]
1: 看護部
2: リハビリテーション科
3: 産婦人科
4: 泌尿器科
5: 女性泌尿器科
第 30 回日本老年泌尿器科学会　2017 年 6 月　東京都

Ⅱ．業　　績

４．学術講演等記録

平成 29 年 1 月～12 月

4. 学術講演等記録

平成29年　講習会・講演会・研修会等

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月6日	プレゼン資料作成研修会	―より良いプレゼン資料を効率的に作成する方法を身につけよう―	株式会社ファーストクリエイト　山本和正氏	教育研修推進室
2月10日	クリティカルパス講演会	『クリティカルパスと看護記録』	大阪市立大学医学部附属病院看護師長　中麻里子	クリティカルパス推進チーム
2月21日	地域医療連携学術講演会	『薬物療法の話題：肺癌診療ガイドライン変更のポイントも含めて』	名古屋大学医学部附属病院化学療法部　教授　安藤雄一	癌化学療法委員会／中外製薬株式会社
3月4日・5日	緩和ケア研修会			総務課
3月16日	感染防止対策講演会	『カイセンまめちしき―明日から使える疥癬対策―』	わたなべ皮膚科クリニック　北村達彦	院内感染防止対策委員会
3月24日	医療安全管理講演会	『当院の現状報告』 『医療の質と安全のためのコンフリクト・マネジメント』	保安管理室長　土井敏彦 石巻赤十字病院呼吸器外科部長兼医療安全推進室長　植田信策	医療安全推進室・患者相談窓口
4月7日	成人先天性心疾患外来開設記念講演	『成人先天性心疾患診療～総合病院に求められる役割～』	県立岐阜医療センター小児循環器科医長 面家健太郎	
4月25日		『DPC制度の基礎と日常臨床における活用』	副院長兼診療部長　真野和夫	教育研修推進室
4月26日・27日	臨床研究研修会	平成29年度臨床研究研修会		臨床研究審査委員会
5月8日、5月10日～12日	空気感染防止対策研修会			院内感染防止対策委員会
6月5日～9日	第1回医療安全研修会 第1回感染対策研修会	『患者対応』 『安全な薬剤管理』 『薬剤耐性(AMR)対策アクションプランについて』	保安管理室長　土井敏彦 薬剤部　平井孝典 副院長　野村史郎	医療安全推進室
6月12日	臨床研究・治験支援センター講演会	『遺伝カウンセリングと研究倫理指針の変遷』	愛知県心身障害者コロニー中央病院　臨床第一部長　水野誠司	臨床研究・治験支援センター
6月30日	輸血研修会	『クリオプレシピテート製剤の院内調整に向けて』		輸血療法委員会
7月4日	医療廃棄物研修会	『廃棄物に関する法律と基本方針』 『平成28年度廃棄物処理費用と処理方法』 『針刺し事故、院内感染の防止』 『廃棄物分別指導者の役割』		医療廃棄物管理委員会
7月29日	なかむら学術セミナー	消化器系疾患について 『名古屋市における胃がん検診（内視鏡検査）について』 『当院における緊急内視鏡診療の現況～上部消化管を中心に～』 『肝疾患のup to date―B、C型肝炎について―』	名古屋市中村区医師会副会長　いいだクリニック　院長　飯田昌幸 第一消化器内科部長　春田純一 第一消化器内科副部長　土居崎正雄	名古屋第一赤十字病院、中村区医師会、西区医師会、中区医師会、中川区医師会、北区医師会、海部医師会、アストラゼネカ株式会社、第一三共株式会社
8月26日・27日	緩和ケア研修会			総務課
9月5日～8日	手洗い研修会			院内感染防止対策委員会
9月27日	安全衛生教育講演会	『ストレスと精神障害』	精神保健支援センター長　舟橋龍秀	安全衛生委員会
9月28日	がん看護基礎研修Ⅴ	がん化学療法看護：過敏症、血管外漏出		がん診療連携拠点病院運営委員会
10月6日	総合医局学術講演会	『レジリエンス・エンジニアリング理論の医療安全への実装～変動する複雑適応系の制御』	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部　教授　中島和江	総合医局

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
10月26日	がん看護基礎研修VI	がん放射線療法看護		がん診療連携拠点病院運営委員会
11月6日	感染防止対策講演会	『我が国におけるASP(Antimicrobial Stewardship Program)の推進』	昭和大学医学部内科学講座臨床感染学部門 教授　二木芳人	院内感染防止対策委員会
11月13日	第2回医療安全研修会 第2回感染対策研修会	『不眠とせん妄の治療における薬物使用の留意点』 『採血と検体取り扱いの注意点』 『抗菌薬の正しい使い方』	心療相談センター長　太田龍朗 検査部　生理検査課長　牧俊哉 薬剤部　救急病棟業務係長　向山直樹	医療安全推進室
11月13日 ～17日	第2回医療安全研修会 第2回感染対策研修会	『不眠とせん妄の治療における薬物使用の留意点』 『採血と検体取り扱いの注意点』 『抗菌薬の正しい使い方』	心療相談支援センター長　太田龍朗 検査部　生理検査課長　牧俊哉 薬剤部　救急病棟業務係長　向山直樹	医療安全推進室
11月28日	総合医局・医療安全管理学術講演会	『医療訴訟と事故調査制度～栄養・輸液療法を中心に～』	中村・平井・田邉法律事務所 弁護士／医師／MBA　田邉昇	主催:総合医局 共催:医療安全管理委員会
11月29日	脳死臓器移植に関する講演会	『臓器移植の現状について』 『臓器移植コーディネーターの役割と必要性』	日本臓器移植ネットワーク　小林様	脳死臓器提供者に関する委員会

平成29年　その他

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
1月10日	摂食嚥下障害ケアチーム勉強会	嚥下評価(講義と演習)	歯科副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
1月16日	NST・摂食嚥下ケアチーム共催勉強会	フレイル・サルコペニアと栄養について		栄養サポートチーム、摂食・嚥下ケアチーム
1月23日	RST勉強会	「1. NPPVについて(講義)」 「2. NPPV・V60　マスクフィッティング・操作方法(演習)」		呼吸器管理チーム(RST)・看護部:診療の補助業務関連技術教育委員会
2月5日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急係
2月8日	医療安全管理ワークショップ	第38回医療安全管理ワークショップ 『処方オーダーの一部修正の変更処方が変更前処方の中止がされずに追加投与となった事例』		医療安全推進チーム
2月13日	NST勉強会	『腸内細菌叢とビフィズス菌について』		栄養サポートチーム
2月14日	摂食嚥下障害ケアチーム勉強会	嚥下評価(講義と演習)	歯科副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
2月20日	認知症ケアチーム	第2回　認知症の基礎講座 「認知症」と「せん妄」の違いについて		認知症ケアチーム
3月1日	緩和ケアチーム勉強会	『病(やまい)の語り』を聴く―コミュニケーションの見立てから実例まで―	緩和ケアチーム臨床心理士　飯田大輔	緩和ケアチーム
3月15日	事務処理I・Aレポートワークショップ	『院内保育所利用者の利用料金徴収業務において利用料金を重複徴収してしまった事例』		事務処理改善ワーキンググループ
4月26日	CT説明会	「東芝320列CT装置AquilionONEのご紹介」	東芝メディカルシステムズ株式会社中部支社 アプリケーションスペシャリスト　伊藤恭子氏	主催:教育研修推進室 共催:放射線診断科
4月24日、5月8日		テルモ小型シリンジポンプ取り扱い講習会		テルモ株式会社 臨床工学技術課
5月8日	NST勉強会	『栄養管理手順(栄養管理計画表の運用)について』		栄養サポートチーム
6月3日	ICLS指導者講習 WorkShop		花木芳洋　他	救命救急係
6月4日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急係
6月12日	NST勉強会	『リハビリテーション栄養について(フレイル・サルコペニア)』		栄養サポートチーム
6月26日	RST勉強会	『酸素療法』 『酸素療法使用デバイスについて』	第二呼吸器内科部長　横山俊彦	呼吸器管理チーム(RST)・看護部:診療の補助業務関連技術教育委員会

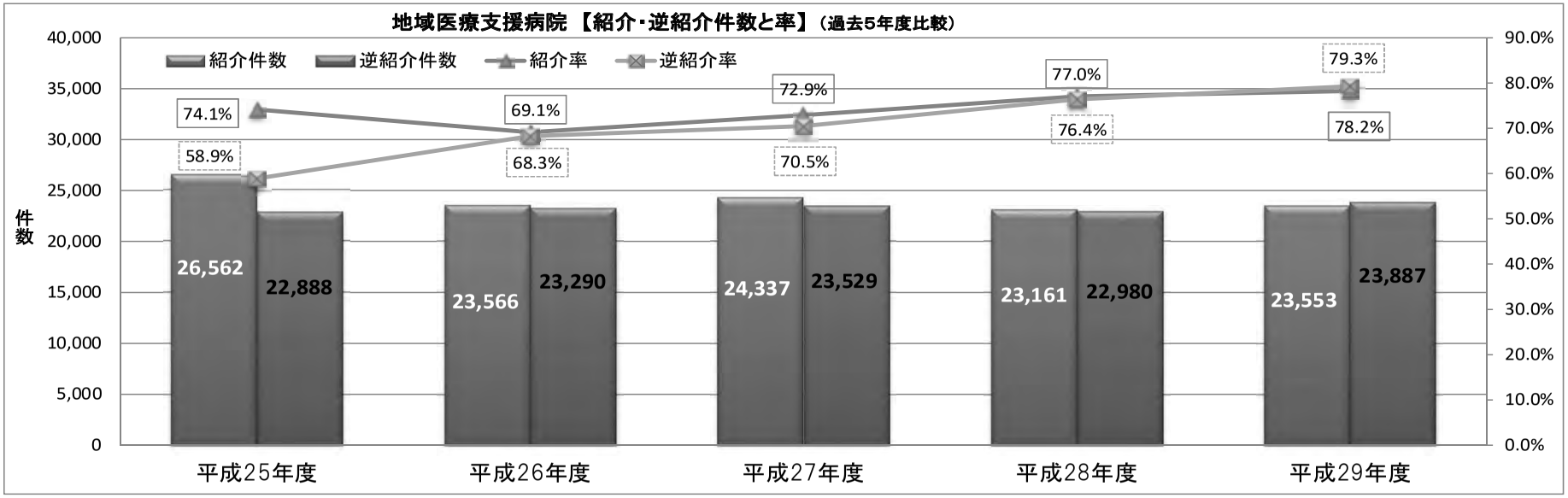
日 付	種 類	テーマ	講 師	主 催
7月6日	ONCOLOGY PHARMACIST勉強会兼化学療法センター勉強会	『ヨーロッパの癌専門薬剤師の役割』	Dr.Roland Starlinger	サンド株式会社 癌化学療法委員会
7月10日	NST勉強会	『当院の経腸栄養ラインナップについて』		栄養サポートチーム
7月10日	AED操作教育に関する教育講習			
7月11日	RST勉強会	『人口呼吸器の基本と構造　NPW e-500』	第2呼吸器内科部長　横山俊彦 臨床工学技術課　中井悠二	呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会
7月12日	第39回医療安全管理ワークショップ	『救急蘇生時の危険薬の誤投与事例』		医療安全推進チーム
7月13日・ 20日・27日	災害救護基礎研修			
7月24日	AED操作実技訓練			
7月31日	RST勉強会	『人口呼吸器　NPWe500　グラフィックモニターについて』 『人工呼吸器のトラブルシューティング』	臨床工学技術課　開正宏	呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会
8月14日・ 16日・18日	事務処理改善活動に関する説明会	『事務処理改善活動の概要』 『事務処理インシデントアクシデントレポートの提出基準、提出方法について』		事務処理改善ワーキンググループ
8月22日	事務処理I・Aレポートワークショップ	『共有フォルダのデータを削除してしまった事例』		事務処理改善ワーキンググループ
8月25日	クリニカルパス勉強会	電子カルテにおけるパス作成の方法 『パス作成の説明』 『心カテにおける分岐パス』	医療情報課　安井元規 循環器内科　森下佳洋	クリニカルパス推進チーム
8月28日	RST勉強会	『呼吸音の聴取について』		呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会
9月3日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急係
9月11日	NST勉強会	『NSTとは？』 『栄養管理手順について』		栄養サポートチーム
9月15日	研修医勉強会	『見せます！救急医の頭の中』	名古屋掖済会病院救命救急センター　安藤裕貴	教育研修推進室
9月25日	RST勉強会	『人口呼吸管理中の鎮痛・鎮静剤』	薬剤師　服部哲幸	呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会
10月5日	認知症の基礎講座	『認知症に対する正しい理解を深め、接し方を学ぶ』	名古屋市中村区北部いきいき支援センター 社会福祉士　太田友美	認知症ケアチーム
10月5日	糖尿病勉強会	『糖尿とは』 『検査について』	内分泌内科部長　尾﨑信暁 一般検査係長　浅井祥之	透析予防診療チーム
10月11日	第40回医療安全管理ワークショップ	『取り消しされた画像検査に患者が予約票を持参して検査待ち』		医療安全推進チーム
10月16日	NST勉強会	『栄養評価法について』		栄養サポートチーム
10月17日	摂食嚥下障害ケアチーム勉強会	『嚥下評価(講義と演習)』	歯科副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
10月20日	クリニカルパス大会	『急性期心臓リハビリテーションパス』 『消化器内科パス』	第一循環器内科副部長　清水真也 第一消化器内科副部長　土居崎正雄	クリニカルパス推進チーム
10月30日	RST勉強会	『VAP予防と口腔ケア』 『人口呼吸器装着中の看護』	歯科副部長　佐久間英規 救急看護認定看護師　髙田恵理	呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会
11月2日	糖尿病勉強会	『食事療法』	管理栄養士　細川祥江	透析予防診療チーム
11月13日	NST勉強会	『経腸栄養法について』		栄養サポートチーム
11月14日	摂食嚥下障害ケアチーム勉強会	『嚥下評価(講義と演習)』	歯科副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
11月20日	RST勉強会	『呼吸リハビリ(講義・演習)』		呼吸器管理チーム(RST)・ 看護部:診療の補助業務 関連技術教育委員会

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
11月26日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急係
12月1日	研修医勉強会	『地域包括ケアシステムの視点』	東栄町国民健康保険東栄病院　院長　丹羽治男	教育研修推進室
12月4日	RST勉強会	『気管切開チューブについてとその取り扱い』		呼吸器管理チーム(RST)・看護部:診療の補助業務関連技術教育委員会
12月7日	糖尿病勉強会	『薬物療法(インスリンを含む)』	薬剤部　医薬品情報係長　野村浩夫	透析予防診療チーム
12月12日	摂食嚥下障害ケアチーム勉強会	『嚥下評価(講義と演習)』	歯科副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
12月15日	研修医勉強会	『ERでの神経内科－危険な病態を見抜く問診・診察の基本－』	名古屋大学神経内科愛知医科大学加齢医科学研究所　安藤孝志	教育研修推進室

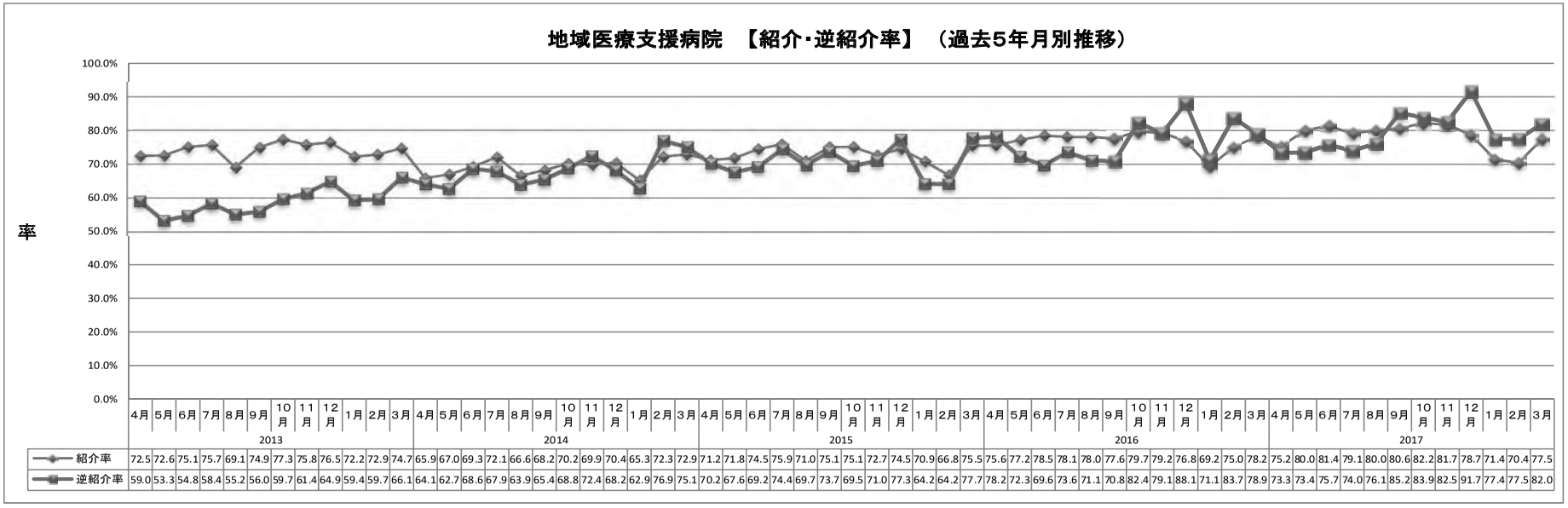
Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

1．地域医療連携室

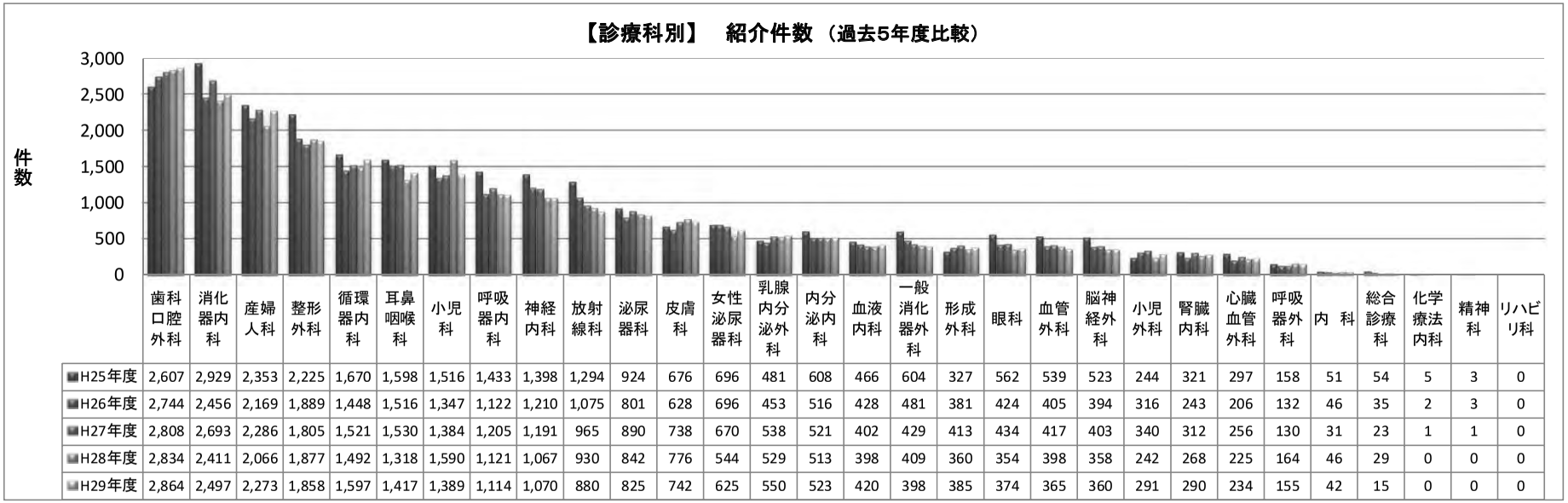
（1）地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）



（2）地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】（年度月別推移）

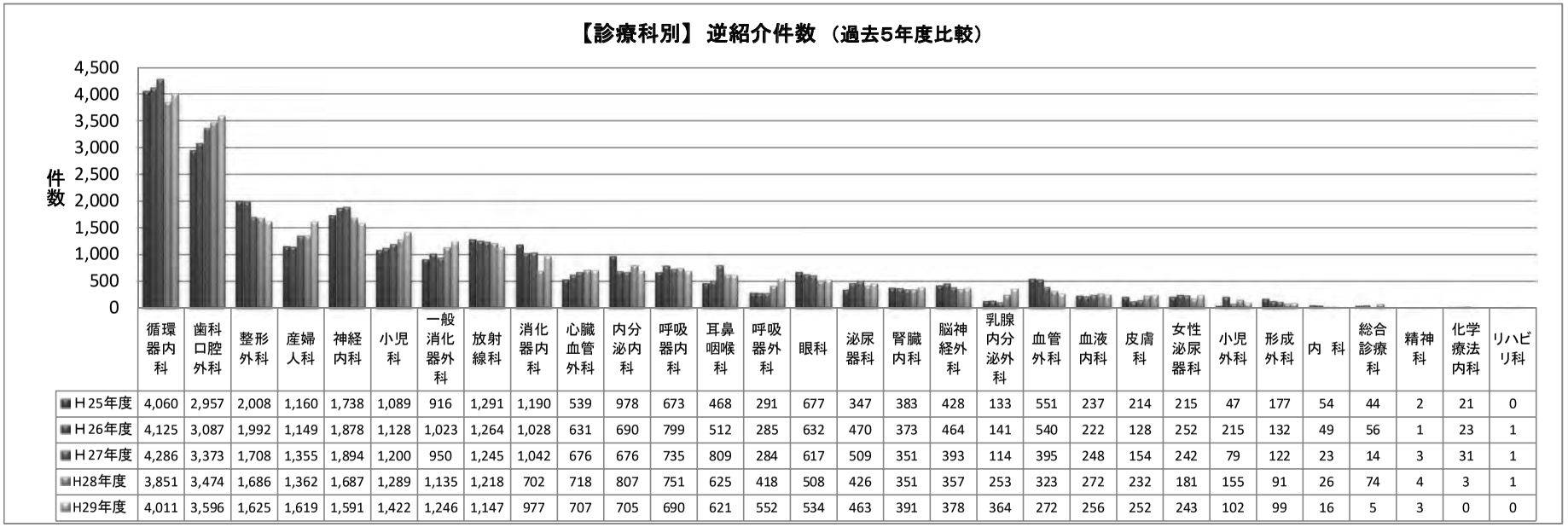


(3)【診療科別】紹介件数(過去5年度比較)



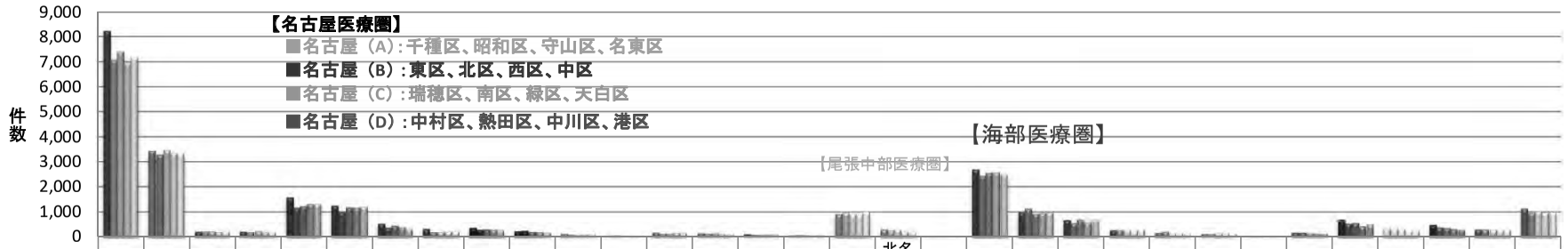
	歯科口腔外科	消化器内科	産婦人科	整形外科	循環器内科	耳鼻咽喉科	小児科	呼吸器内科	神経内科	放射線科	泌尿器科	皮膚科	女性泌尿器科	乳腺内分泌外科	内分泌内科	血液内科	一般消化器外科	形成外科	眼科	血管外科	脳神経外科	小児外科	腎臓内科	心臓血管外科	呼吸器外科	内　科	総合診療科	化学療法内科	精神科	リハビリ科
H25年度	2,607	2,929	2,353	2,225	1,670	1,598	1,516	1,433	1,398	1,294	924	676	696	481	608	466	604	327	562	539	523	244	321	297	158	51	54	5	3	0
H26年度	2,744	2,456	2,169	1,889	1,448	1,516	1,347	1,122	1,210	1,075	801	628	696	453	516	428	481	381	424	405	394	316	243	206	132	46	35	2	3	0
H27年度	2,808	2,693	2,286	1,805	1,521	1,530	1,384	1,205	1,191	965	890	738	670	538	521	402	429	413	434	417	403	340	312	256	130	31	23	1	1	0
H28年度	2,834	2,411	2,066	1,877	1,492	1,318	1,590	1,121	1,067	930	842	776	544	529	513	398	409	360	354	398	358	242	268	225	164	46	29	0	0	0
H29年度	2,864	2,497	2,273	1,858	1,597	1,417	1,389	1,114	1,070	880	825	742	625	550	523	420	398	385	374	365	360	291	290	234	155	42	15	0	0	0

(4)【診療科別】逆紹介件数(過去5年度比較)



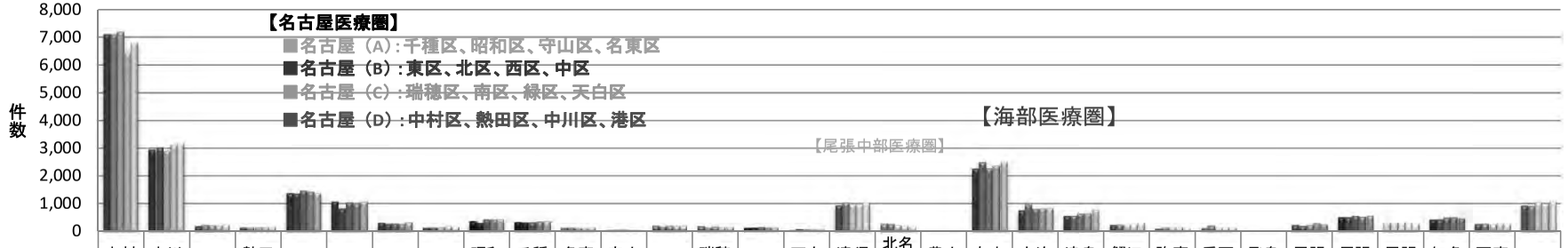
	循環器内科	歯科口腔外科	整形外科	産婦人科	神経内科	小児科	一般消化器外科	放射線科	消化器内科	心臓血管外科	内分泌内科	呼吸器内科	耳鼻咽喉科	呼吸器外科	眼科	泌尿器科	腎臓内科	脳神経外科	乳腺内分泌外科	血管外科	血液内科	皮膚科	女性泌尿器科	小児外科	形成外科	内　科	総合診療科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H25年度	4,060	2,957	2,008	1,160	1,738	1,089	916	1,291	1,190	539	978	673	468	291	677	347	383	428	133	551	237	214	215	47	177	54	44	2	21	0
H26年度	4,125	3,087	1,992	1,149	1,878	1,128	1,023	1,264	1,028	631	690	799	512	285	632	470	373	464	141	540	222	128	252	215	132	49	56	1	23	1
H27年度	4,286	3,373	1,708	1,355	1,894	1,200	950	1,245	1,042	676	676	735	809	284	617	509	351	393	114	395	248	154	242	79	122	23	14	3	31	1
H28年度	3,851	3,474	1,686	1,362	1,687	1,289	1,135	1,218	702	718	807	751	625	418	508	426	351	357	253	323	272	232	181	155	91	26	74	4	3	1
H29年度	4,011	3,596	1,625	1,619	1,591	1,422	1,246	1,147	977	707	705	690	621	552	534	463	391	378	364	272	256	252	243	102	99	16	5	3	0	0

(5)【地域、医療圏別】2次医療圏別紹介元動向(過去5年度比較)



	中村区	中川区	港区	熱田区	西区	中区	北区	東区	千種区	昭和区	名東区	守山区	南区	緑区	瑞穂区	天白区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	愛西市	弥富市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H25年度	8,257	3,453	217	221	1,591	1,262	536	334	373	239	133	52	178	146	107	61	933	319	9	2,714	993	681	277	172	125	8	175	706	348	492	305	1,145
H26年度	7,101	3,302	229	201	1,180	1,008	388	199	300	260	104	68	143	139	83	74	989	264	9	2,463	1,147	565	272	215	116	15	183	541	336	396	302	971
H27年度	7,424	3,490	230	244	1,243	1,196	462	210	316	209	84	41	138	149	84	68	928	303	4	2,571	931	701	274	138	163	9	152	564	331	367	290	1,023
H28年度	6,980	3,366	202	206	1,330	1,182	390	213	300	200	99	43	167	125	92	60	918	212	3	2,597	963	592	235	139	126	3	137	446	263	322	285	965
H29年度	7,190	3,357	219	188	1,321	1,215	321	221	278	177	103	45	145	99	97	70	1,012	208	4	2,516	977	726	319	140	128	17	132	512	259	282	277	998

(6)【地域、医療圏別】2次医療圏別逆紹介先動向(過去5年度比較)



	中村区	中川区	港区	熱田区	西区	中区	北区	東区	昭和区	千種区	名東区	守山区	南区	瑞穂区	緑区	天白区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	弥富市	愛西市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H25年度	7,118	2,960	194	144	1,389	1,079	321	135	377	346	131	58	214	193	136	48	952	286	8	2,278	767	562	240	105	128	9	235	516	312	434	274	939
H26年度	7,118	3,041	242	135	1,367	835	284	140	311	324	140	63	178	144	141	84	1,049	270	6	2,505	969	571	250	132	223	8	200	518	318	443	281	926
H27年度	7,214	2,914	233	147	1,478	1,051	292	148	438	334	127	72	215	182	161	73	986	233	5	2,281	820	651	239	164	119	4	237	561	335	511	253	1,051
H28年度	6,478	3,132	208	151	1,445	999	278	193	435	364	113	52	186	133	143	71	977	208	7	2,383	835	653	240	147	136	8	303	533	349	517	310	993
H29年度	6,815	3,184	239	162	1,391	1,083	336	167	449	377	134	56	200	161	135	82	1,032	189	8	2,510	848	789	322	115	133	14	256	576	279	470	273	1,102

(7)平成29年度医療機器等の共同利用の実績

1 共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数(平成28年4月～平成29年3月)
特殊検査実績 1

検 査 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	10	7	11	17	17	13	16	16	10	10	13	16	156
脳波	1	1	7	2	3	5	2	1	0	1	4	3	30
MR(頭頸部)	53	54	53	36	37	49	41	34	30	27	51	34	499
MR(躯幹)	9	18	11	8	14	9	17	12	9	3	14	11	135
MR(四肢)	2	3	2	2	6	4	2	2	6	1	2	2	34
CT(頭頸部)	0	3	7	2	3	4	3	2	8	4	5	6	47
CT(躯幹)	28	30	22	32	30	26	33	29	27	29	26	27	339
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64列マルチスライスCT	7	4	4	6	5	2	3	9	2	7	10	2	61
PET－CT	9	6	3	8	3	8	4	6	4	9	1	2	63
シンチグラム	0	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	1	8
放射線治療	5	2	2	4	1	11	2	4	5	10	3	4	53
合 計	124	128	122	117	120	133	125	115	103	101	129	108	1,425

開設者と直接関係のない医療機関延べ数(平成29年4月～平成30年3月)
特殊検査実績 2

検 査 項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡(上部消化管)	10	7	11	17	17	13	16	16	10	10	13	16	156
脳波	1	1	7	2	3	5	2	1	0	1	4	3	30
MR(頭頸部)	53	54	53	36	37	49	41	34	30	27	51	34	499
MR(躯幹)	9	18	11	8	14	9	17	12	9	3	14	11	135
MR(四肢)	2	3	2	2	6	4	2	2	6	1	2	2	34
CT(頭頸部)	0	3	7	2	3	4	3	2	8	4	5	6	47
CT(躯幹)	28	30	22	32	30	26	33	29	27	29	26	27	339
CT(四肢)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64列マルチスライスCT	7	4	4	6	5	2	3	9	2	7	10	2	61
PET－CT	9	6	3	8	3	8	4	6	4	9	1	2	63
シンチグラム	0	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	1	8
放射線治療	5	2	2	4	1	11	2	4	5	10	3	4	53
合 計	124	128	122	117	120	133	125	115	103	101	129	108	1,425

2 共同利用実績(開放型病床)
共同利用による病床利用率(平成29年4月～平成30年3月)

区 分	開放病床		利用した医師数	共同指導回数	利用率
	新入院患者数	入院患者延人数			
平成29年4月	1	19	1	0	12.7%
平成29年5月	2	13	2	0	8.4%
平成29年6月	1	12	1	0	8.0%
平成29年7月	3	21	3	0	13.5%
平成29年8月	5	48	5	0	31.0%
平成29年9月	6	37	6	0	24.7%
平成29年10月	5	48	5	0	31.0%
平成29年11月	3	29	3	0	19.3%
平成29年12月	4	26	4	0	16.8%
平成30年1月	2	33	2	0	21.3%
平成30年2月	6	46	6	0	32.9%
平成30年3月	2	62	2	0	40.0%
年間合計・年間病床利用率	40	394	40	0	21.6%
月平均	3.3	32.8	3.3	0.0	

（8）病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回　数	開 催 日 ： 会 場	開 催 内 容	講　　師	参加者（医療従事者）	
				院 内	院 外
第　1　回	平成11年10月23日(土)	狭心症をめぐって	座長：循環器科部長　大野三良		
	午後3時～午後4時30分		内科側から循環器科副部長　神谷春雄	39名	80名
	日本赤十字愛知女子短期大学 4階階段教室		外科側から心臓外科副部長　伊藤敏明		
第　2　回	平成12年6月24日(土)	内視鏡　up－to－date	司会：第二消化器科部長　日下部篤彦		
	午後2時30分～午後4時30分	内視鏡的止血処置と内視鏡手術	内視鏡による異物除去 消化器科医師　佐久間晶子		
	名古屋第一赤十字病院		主として上部消化管 第一消化器科副部長　春田純一	28名	53名
	古川講堂		主として下部消化管及び胆道系 第二消化器科副部長　山口丈夫		
			診療所医師の立場から 竹田内科胃腸科クリニック　竹田信彦 先生		
第　3　回	平成13年9月29日(土)	内視鏡　up－to－date	外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、 泌尿器科、産婦人科、脳神経外科		
	午後3時～午後5時	外科系各科における今日の内視鏡治療	各科から主にVideを中心に発表		
	名古屋第一赤十字病院		開業医における内視鏡検査の実情	39名	51名
	古川講堂		奥村胃腸科外科院長　奥村恪郎 先生		
第　4　回	平成14年9月21日(土)	1　Brain　attackの時代に診療の現場から	司会：神経内科部長　真野和夫 脳神経外科部長　稲尾意秀		
	午後3時～午後5時	2　診断・超音波診断の有用性 ・SPECTの有用性	診断・超音波診断の有用性：神経内科　中野智伸 SPECTの有用性：神経内科　山下史国		
	名古屋第一赤十字病院	3　治療・外科的治療の現状 ・脳動脈瘤、脳出血の治療、	脳動脈の治療：脳神経外科　西沢俊久 脳出血の治療：脳神経外科副部長　池田浩司	32名	44名
	古川講堂	4　閉塞性脳血管障害の治療 ・リハビリテーションの効果	閉塞性脳血管障害：脳神経外科　壁谷隆介 リハビリテーションの効果：鵜飼リハビリテーション病院副院長　鄭統圭 先生		
		5　・エビデンスに基づく二次予防	神経内科副部長　後藤洋二		
第　5　回	平成15年10月25日(土)	糖尿病 より良い全身管理を目ざして	司会：第三内科部長　山守育雄		
	午後3時～午後5時	1　診療所の立場から	糖研会Ｒ＆Ｋクリニック鬼頭内科 院長 鬼頭柳三 先生		
	名古屋第一赤十字病院	2　糖尿病網膜症の実態、 内科医に期待したいこと	眼科医師　鈴木俊光		
	古川講堂	3　糖尿病性腎症の自然歴、現況と腎症管理の基本的視点 糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか	第二内科部長代理　市田静憲	23名	49名
		4　冠動脈疾患の視点から見た糖尿病と その予防	第一循環器科副部長　佐野宏明		
		5　末梢血管病変から見た糖尿病とその予防	第一外科副部長　山本清人		
		6　まとめ	第三内科部長　山守育雄		
第　6　回	平成16年10月23日(土)	高血圧症−合併症を防ぐには−	司会：副院長　大野三良		
	午後3時～午後5時	1　家庭医からみた高血圧症	藤田内科小児科医院 院長　藤田淳士 先生		
	名古屋第一赤十字病院	2　高血圧と腎障害	第二内科部長　市田静憲		
	古川講堂	3　高血圧と脳血管障害	脳神経外科副部長　加藤恭三	23名	47名
		4　高血圧と心臓病	第一循環器科副部長　佐野宏明		
		5　まとめ	副院長　大野三良		
第　7　回	平成17年10月29日(土)	「めまい」について	司会：第一神経内科部長　真野和夫		
	午後3時～午後5時	1　「メニエール病とその注意点」	吉川耳鼻咽喉科 院長　吉川兼人 先生		
	名古屋第一赤十字病院	2　耳鼻科医の立場から	名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科医師　古橋篤		
	古川講堂	3　循環器科医の立場から	名古屋第一赤十字病院 第二循環器科副部長　牧野光恭	30名	61名
		4　神経内科医の立場から	名古屋第一赤十字病院 第二神経内科部長　後藤洋二		
		5　脳神経外科医の立場から 副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」	名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　池田浩司		
		6　精神科医の立場から	名古屋第一赤十字病院 精神科部長　中西雅夫		
第　8　回	平成18年10月21日(土)	「プライマリー・ケアで診る家庭医に必要な 小児救急の知識」	座長：第四小児科部長　羽田野 爲夫		
	午後3時～午後5時	1　開業医から診た小児救急の問題点について	フジノ内科 藤野 均 先生		
	名古屋第一赤十字病院	2　名古屋第一赤十字病院小児科の立場から			
	内ヶ島講堂	(1)発熱の対処、紹介、入院の目安	名古屋第一赤十字病院 小児科医長　丸山　幸一		
		(2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院 回避のコツ	名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　　羽田野 爲夫	28名	92名
		(3)喘鳴、気道感染などの対処	名古屋第一赤十字病院 第一小児科副部長　月舘 千寿子		
		3　名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から 「小児期発疹のあれこれ」	名古屋第一赤十字病院 皮膚科部長　安藤　浩一		
		4　勤務医から診療所へ、診療所から勤務医 へ	名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　　羽田野 爲夫		
第　9　回	平成19年10月20日(土)	平成20年度開始の特定健診に臨んで			
	午後6時30分～午後8時	座長講演 「特定健診に臨んで」	名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良		

	ヒルトン名古屋　5階「扇の間」	基調講演 「当院での特定健診・特定保健指導」 特別講演 1)「開業医から考える特定健診とは」 特別講演 2)「特定健診・特定保険指導とNPOのかかわり」	名古屋第一赤十字病院 健診部長　野村 史郎 細川外科クリニック 院長　細川 秀一 先生 愛知県医師会 健診・保険事業理事 水上クリニック院長　水上 哲秀 先生	15名	100名
第　10　回	平成20年7月12日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	【在宅医療に向けて】 Ⅰ)診療所側から 講演1 「在宅医療の病診連携における問題点」 講演2 「診療所からみた在宅医療のための病診連携」 Ⅱ)病院側から 講演1 「在宅における胃瘻管理」 講演2 「在宅における酸素療法」 講演3 「在宅における排尿管理」 講演4 「がん性疼痛・緩和ケア」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　酒井　秀造 (医)心月会　じょうど医院 院長　森 光春 先生 (医)古山医院 院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 消化器内科 山田 恵一 名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長 野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 泌尿器科部長 村瀬 達良 名古屋第一赤十字病院 緩和ケア科部長 北折 健次郎	17名	56名
第　11　回	平成21年7月11日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	～日常臨床におけるうつ病対策～ 講演Ⅰ 「見逃しやすいうつ病患者とその対応」 講演Ⅱ 「うつ病の早期発見と治療」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良 中村公園メンタルクリニック 院長　佐藤 信幸 先生 名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 (医)北林会 北林病院 名誉院長　太田 龍朗 先生	27名	70名
第　12　回	平成22年7月10日(土) 午後5時～午後7時 名鉄グランドホテル11階	「投薬禁忌の注意点」と 「がんのクリティカルパス」 講演Ⅰ 「併用注意、禁忌薬剤について」 ～各診療科からのコメントを含めて～ 講演Ⅱ 診療所側から 「がん地域連携クリティカルパスにおける 開業医の役割」 病院側から 1)「作成から運用と進捗状況について」 2)「胃癌・大腸癌の地域連携クリティカルパス について」 3)「乳癌地域連携パスの運用について」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良 名古屋第一赤十字病院 薬剤部　教育研修課長　池田 義明 座長：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷 春雄 (医)順英会　太田なごやかクリニック 院長　太田 英正 先生 名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科部長　野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 第二一般・消化器外科部長　竹内 英司 名古屋第一赤十字病院 乳腺・内分泌外科部長　後藤 康友	43名	87名
第　13　回	平成23年7月9日(土) 午後5時～午後7時 名鉄グランドホテル11階	～東日本大震災における医療活動と支援～ 講演Ⅰ 「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」 講演Ⅱ 「東日本大震災(・大津波)：被災地の岩として」	座長：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長兼医療社会事業部長　花木 芳洋 名古屋市医師会中村区支部 副会長　細川 秀一　先生 石巻赤十字病院 院長　飯沼 一宇　先生	42名	49名
第　14　回	平成24年7月21日(土) 午後5時～午後7時 名古屋観光ホテル2階	～かかりつけ医と病院医師が相互に期待すること ～ 講演Ⅰ「診療所で診る腰痛、関節痛、しびれ ～専門医への紹介のタイミング～ 」 講演Ⅱ「慢性腰痛について」 講演Ⅲ「四肢のしびれをどう診るか。 神経内科の立場から」	座長：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業部長　花木 芳洋 名古屋市中村区医師会 副会長　谷 能之 先生 名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　井上 英則 名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野 和夫	34名	57名
第　15　回	平成25年7月13日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 バースセンター棟4階　演習室1	～認知症診療について～ 講演Ⅰ「中村区医師会の認知症疾患への 取り組みと地域連携」 講演Ⅱ「認知症の診断と治療について」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野 和夫	24名	35名
第　16　回	平成26年7月12日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋観光ホテル3階	地域連携による糖尿病診断と治療について 講演Ⅰ　中村区糖尿病研究会のこれまでの取り組み 講演Ⅱ　糖尿病性腎症はいつ紹介すべきか 講演Ⅲ　糖尿病　―最近のトピックス―	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 名古屋市中村区医師会副会長 谷内科院長　谷 能之 先生 名古屋第一赤十字病院 腎臓内科医長　遠藤 信英 名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎 信暁	27名	50名
第　17　回	平成27年7月25日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋観光ホテル3階	病院から在宅へ ～在宅医療・介護連携の発展に向けて～ 講演Ⅰ「地域包括ケアシステムを踏まえた 中村区在宅医療・介護連携」 講演Ⅱ「糖尿病診療における病診連携」 講演Ⅲ「摂食嚥下障害の評価と口腔ケア」 講演Ⅳ「廃用症候群に対する在宅機能訓練」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎 信暁 名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩 伊知郎 名古屋第一赤十字病院 整形外科部長　大澤 良充	22名	58名
第　18　回 ※「なかむら学術セミナー」に名称変更	平成28年7月23日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	1．医療事故調査制度の開始にあたって 講演Ⅰ「医療事故調査制度の現況について」 2．心原性脳塞栓症の救急治療と予防 講演Ⅱ「心房細動の根治治療を目指して」 講演Ⅲ「脳塞栓症の急性期血管内治療について」	座長：名古屋第一赤十字病院 医療安全推進チーム委員長兼第二産婦人科部長　水野 公雄 愛知県医師会理事 (医)細川外科クリニック　細川　秀一 先生 座長：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷 春雄 名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　柴田　義久 名古屋第一赤十字病院 脳卒中科副部長　岡本　剛	38名	45名
第　19　回 なかむら学術 セミナー	平成29年7月29日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	消化器系疾患について 講演Ⅰ「名古屋市における胃がん検診(内視鏡検査)について 講演Ⅱ「当院における緊急内視鏡診療の現況－上部消化管出血を中心に－」 講演Ⅲ「肝疾患のup to date －B、C型肝炎について－」	座長：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　　春田　純一 名古屋市中村区医師会副会長 いいだクリニック　飯田　昌幸　先生 名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　　春田　純一 名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科副部長　土居崎　正雄	30名	48名

（9）平成29年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2017年4月17日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	神経内科研修会・症例検討会 演者：脳卒中科部長　後藤　洋二	7名	10名
2017年5月15日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	一般・消化器外科研修会・症例検討会 演者：一般・消化器外科第二部長　竹内　英司	13名	17名
2017年6月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	10名	17名
2017年7月24日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一呼吸器内科部長　野村史郎	15名	16名
2017年9月25日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	整形外科研修会・症例検討会 演者：整形外科部長	10名	15名
2017年10月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	5名	13名
2017年11月20日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一消化器内科部長　春田純一	11名	17名
2017年12月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：腎臓内科副部長　石川　英昭	3名	11名
2018年1月15日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一呼吸器内科部長　野村史郎	14名	9名
2018年2月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	4名	13名
2018年3月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：内分泌内科　尾﨑　信暁	1名	13名
2017年4月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	7名
2017年5月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	4名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年6月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	7名
2017年7月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　横山　俊彦	1名	5名
2017年8月30日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	7名
2017年9月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第二呼吸器内科部長　横山　俊彦	1名	5名
2017年10月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	6名
2017年11月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	7名
2017年12月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	7名
2018年1月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	3名
2018年2月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	4名
2018年3月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1名	8名
2017年5月26日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	2名
2017年7月28日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	4名
2017年9月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	4名
2017年11月24日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	4名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年1月26日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	4名
2018年3月23日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一	1名	4名
2017年5月18日	木	20:00 ～ 21:30	第26回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	「Spontaneous Coronary Artery Dissection」 演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	3名	3名
2017年7月27日	木	20:00 ～ 21:30	第27回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	6名	4名
2017年9月28日	木	20:00 ～ 21:30	第28回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	2名	3名
2018年1月18日	木	20:00 ～ 21:30	第29回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	13名	5名
2018年3月15日	木	20:00 ～ 21:30	第30回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	9名	3名
2017年7月29日	土	16:30 ～ 18:00	第19回　なかむら学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋観光ホテル2階　曙東の間	消化器系疾患について 講演Ⅰ「名古屋市における胃がん検診（内視鏡検査）について」 演者：名古屋市中村区医師会副会長 いいだクリニック　飯田　昌幸　先生 講演Ⅱ「当院における緊急内視鏡診療の現況 －上部消化管出血を中心に－」 演者：名古屋第一赤十字病院　第一消化器内科部長　春田　純一 講演Ⅲ「肝疾患のup to date －B、C型肝炎について－」 演者：名古屋第一赤十字病院　第一消化器副部長　土居崎　正雄	30名	48名
2018年2月8日	木	17:00 ～	第15回名古屋第一赤十字病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　バースセンター棟4階　演習室１	講演Ⅰ「病院と歯科診療所の連携について」 演者：一般社団法人愛知県歯科医師会 会長　内堀典保先生 講演Ⅱ「歯科臨床医に必要な口腔がん検診の知識」 演者：愛知学院大学歯学部　顎顔面外科学講座 教授　長尾　徹先生	26名	89名
2017年4月22日	土	8:00 ～ 18:30	第60回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	38名	7名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2017年4月23日	日	8:00 ～ 18:30	第60回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	39名	4名
2017年6月3日	土	9:00 ～ 18:00	ICLS Work Shop 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	7名	11名
2017年6月4日	日	8:00 ～ 18:30	第61回ICLSなかむら 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	42名	4名
2017年11月26日	日	8:00 ～ 18:30	第63回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	40名	4名
2018年2月10日	土	8:00 ～ 19:00	第64回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	40名	6名
2017年6月1日	木	15:00 ～ 17:00	MC事後検証会 参加対象：医療従事者 西春日井広域消防本部　西消防署3階講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	1名	48名
2017年9月6日	月	10:00 ～ 12:00	MC事後検証会 参加対象：医療従事者 海部東部消防組合消防本部2階　講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	1名	46名
2018年3月14日	月	15:00 ～ 17:00	海部地区消防本部・西春日井広域事務組合消防本部合同症例検討会 参加対象：医療従事者　（旧　MC事後検証会） あま市七宝産業会館　2階大会議室	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	1名	42名
2017年9月2日	土	9:00 ～	JMECC 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　会議室他	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　花木 芳洋	19名	4名
2017年4月1日	土	16:00 ～ 19:40	第41回耳鼻咽喉科研修会 参加対象：医療従事者 名古屋市立大学院	「内科医の立場から」 演者：名古屋第一赤十字病院 消化器内科部長　春田　純一	6名	236名
2017年4月8日	土	16:30 ～ 19:35	第14回西区地域医療連携フォーラム 参加対象：医療従事者 名鉄グランドホテル	「不眠治療の最前線～睡眠薬の歴史と変遷～」 演者：名古屋第一赤十字病院 診療相談センター長　太田　龍朗	1名	117名
2017年4月8日	土	16:30 ～ 18:00	第2回あま津島RAネットワークセミナー 参加対象：医療従事者 名古屋国際ホテル	「当院でのRA治療とアバタセプトSCの使用経験」 演者：名古屋第一赤十字病院 整形外科　副部長　石川　尚人	2名	20名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年4月8日	土	14:15 ～ 16:00	第37回中村区糖尿病研究会 参加対象：医療従事者 ミッドランドスクエア	「乳酸アシドーシスを呈した高齢者2型糖尿病患者の一例」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科　吉藤　真梨子	1名	27名
2017年4月9日	日	14:00 ～ 17:00	第25名古屋尿流動態塾〈ウロダイ塾〉 参加対象：医療従事者 名古屋ルーセントタワー	「第25名古屋尿流動態塾〈ウロダイ塾〉」 演者：名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科部長　加藤　久美子	1名	25名
2017年4月14日	金	19:00 ～ 21:00	第1回Clinical Epilepsy School 参加対象：医療従事者 名古屋観光ホテル	「新規抗てんかん薬のreview」 演者：名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　藤谷　繁	1名	63名
2017年4月16日	日	13:00 ～ 16:00	病院歯科衛生士のためのシンポジウム 参加対象：病院勤務の歯科衛生士 愛知県歯科医師会館	「知りたい病院歯科衛生士の活動」 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科　犬飼　桂子	1名	57名
2017年4月19日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度　第1回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象：薬剤師 名古屋第一赤十字病院東棟2階会議室3	「潰瘍性大腸炎とリアルダ錠1200mgの治療」 演者：持田製薬MR 「新たな便秘治療剤　アミティーザカプセル24μg」 演者：マイランEPD合同会社MR 「院外処方せんの疑義照会報告から見える問題点」 中村区薬剤師会会長　石田　哲也 名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森　一博	5名	10名
2017年4月20日	木	19:30 ～ 21:30	CML Round Table Meeting in Aichi 参加対象：医師 名古屋観光ホテル	「CML Round Table Meeting in Aichi」 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科部長　宮村　耕一	1名	5名
2017年4月24日	月	19:00 ～ 21:00	DIC Forum Nagoya 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　バースセンター演習室1	「血液疾患における治療の知識普及、地域医療への貢献」 演者：名古屋第一赤十字病院 輸血部部長　小澤　幸泰	1名	40名
2017年5月17日	水	19:30 ～ 21:00	南大高循環器懇話会 参加対象：医療従事者 南生協病院　3Fフィットネスセンター	「創が小さく痛みの軽い心臓手術～MICS手術～」 演者：名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科部長　伊藤　敏明	1名	44名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年5月17日	水	19:30 ～ 19:40	平成29年度　第2回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象：薬剤師 名古屋第一赤十字病院東棟2階会議室3	「エピヂュオゲルの適正使用」 「乾癬治療剤　マーデュオックス軟膏について」 演者：マルホ株式会社 「爪白癬治療剤　ルコナック爪外用液について」 演者：佐藤製薬 「中医協での調剤報酬の検討状況 演者：名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森一博	4名	10名
2017年5月19日	金	19:00 ～ 20:45	第3回造血細胞移植Total Care Forum 参加対象：医療従事者 ウインクあいち　11階　会議室1102	「最新の医療研究に関する知識の普及と学術水準に貢献」 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科　理学療法士　中村　和司	1名	51名
2017年5月20日	土	16:00 ～ 18:30	平成29年度東海周産期研修会 参加対象：名古屋大学産婦人科医局出身医師 名古屋マリオットアソシアホテル	「前1回の帝王切開既往に対し、反復帝王切開時に 癒着胎盤と診断し子宮摘出を余儀なくされた1例」 演者：名古屋第一赤十字病院 産婦人科　柵木　善旭	1名	76名
2017年5月20日	土	14:30 ～ 18:00	第37回東海川崎病研究会 参加対象者：医師 名古屋国際センター　別棟ホール	「川崎病治療不応例における当院受診前のリスク因子 について」 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　岸本　泰明	1名	49名
2017年5月25日	木	19:30 ～ 21:10	「CardioVascular Conference in West Nagoya」 参加対象者：医師 ストリングスホテル名古屋　3階フローティングテラス	「心房細動の診断・治療の選択肢」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　安田　健一郎	2名	31名
2017年6月2日	金	19:00 ～ 21:00	名古屋南部血液疾患講演会 参加対象：医療従事者 名古屋笠寺ワシントンホテルプラザ　1階　会議室	「名古屋南部血液疾患講演会」 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科部長　宮村　耕一	1名	11名
2017年6月10日	土	16:00 ～ 17:40	第15回名東・守山循環器勉強会 参加対象者：医師 TKPガーデンシティ名古屋　4F「御岳」	「血管外科の現状～静脈血血栓症について」 演者：名古屋第一赤十字病院 第二血管外科部長　山本　清人	1名	17名
2017年6月18日	日	9:00 ～ 10:30	平成29年東海連合会細胞診基礎講習会 参加対象者：医師 愛知県がんセンター中央病院　国際交流センター大会議室	「リンパ節、骨髄、髄液細胞診」 演者：名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部長　藤野　雅彦	1名	37名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年6月21日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度　第3回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室3	1部　新薬説明会 「クローン病治療剤　ゼンタコートカプセル3mgについて」 演者:ゼリア新薬株式会社 「アレルギー性疾患治療剤　デザレックス5mgについて」 演者:杏林製薬株式会社 2部　事例検討会 演者:中村薬剤師会　会長　石田　哲也 名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森　一博	4名	12名
2017年6月22日	日		「循環器勉強会」 参加対象者:医療従事者 中川区休日急病診療所　3F	「循環器勉強会」 演者:名古屋第一赤十字病院 集中治療部部長　澤木　完成	1名	12名
2017年6月25日	日	10:40 ～ 11:10	平成29年度愛知県歯科衛生士会研修会 参加対象:歯科衛生士 愛知県歯科医師会館	「周術期口腔機能管理とは」(仮) 演者:名古屋第一赤十字病院 歯科係長　中山　桂子	1名	26名
2017年6月29日	木	18:00 ～ 21:30	第25回呼吸器疾患チーム医療研究会 参加対象者:医療従事者 ノバルティスファーマ(株)名古屋事業所	「呼吸器領域における薬学と治療の研鑽」 演者:名古屋第一赤十字病院 薬剤部　野村　浩夫	1名	18名
2017年6月30日	木	19:00 ～ 20:30	Meet the Expert on Gastric Cancer 参加対象者:医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	「胃がん治療における最新情報の共有」 演者:名古屋第一赤十字病院 科学療法内科部長　中野　祐往	16名	9名
2017年7月4日	火	10:00 ～ 16:00	平成29年度研修会「一般病棟における　うつ・せん妄の理解とその対応」 参加対象:医療従事者 愛知県看護協会	「せん妄の基本的知識」等 演者:名古屋第一赤十字病院 リエゾン　服部　希恵 「うつ病の基礎的知識」等 演者:名古屋第一赤十字病院 緩和ケア　看護師　井筧　理江	2名	106名
2017年7月7日	金	19:00 ～ 21:00	「名古屋骨髄セミナー」 参加対象者:医療従事者 名古屋マリオットアソシアホテル　16階　サルビア	「名古屋骨髄セミナー」 演者:名古屋第一赤十字病院 輸血部　池口　美代子	15名	45名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年7月8日	土	14:30 ～ 15::45	在宅診療を考える会 参加対象：医療従事者 ストリングスホテル名古屋　3階フローティングテラス	「急性期病院での認知症看護認定看護師の活躍」 演者：名古屋第一赤十字病院 認知症看護認定看護師　岡田　朋子	1名	118名
2017年7月8日	土	14:30 ～ 15:45	平成29年度生涯教育研修会テクニカル編 参加対象者：医療従事者 (株)名給	「摂食・嚥下障害について」 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビレーション第一課　犬飼　晃見	1名	199名
2017年7月13日	木	18:30 ～ 20:10	西名古屋産婦人科病診連携の会 参加対象：医師、医療従事者 名古屋第一赤十字病院　演習室1	最新の医学的知見の普及 演者：名古屋第一赤十字病院 第二小児科部長　大城　誠 産婦人科医師　福原伸彦 産婦人科副部長　津田弘之	11名	14名
2017年7月14日	金	19:00 ～ 21:30	第43回　肺癌診断会 参加対象 ホテルメルパルク名古屋　2階　瑞雲	第43回　肺癌診断会　夜の診断会 演者：名古屋第一赤十字病院 副院長兼病理部長　伊藤　雅文	1名	100名
2017年7月15日	土	17:25 ～ 19:00	「テルモ((株)POSTIV SMBGセミナー」 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　演習室　1	「テルモ((株)POSTIV SMBGセミナー」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾﨑　信暁 内分泌内科　上田　一裕	8名	11名
2017年7月15日	土	17:00 ～ 19:00	「第17回産婦人科内分泌研究会」 「当院におけるがん・生殖医療の現状と今後の展望」 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル	「第17回産婦人科内分泌研究会」 「当院におけるがん・生殖医療の現状と今後の展望」 演者：名古屋第一赤十字病院 産婦人科　齋藤　愛	1名	84名
2017年7月15日	土	13:30 ～ 14:30	「中村区臨床整形外科医会」 参加対象：医師 名古屋観光ホテル　18F　アリエス	整形外科疾患における治療学知識の普及目的 演者：名古屋第一赤十字病院 手外科・リハビリテーション科　部長　洪　淑貴	1名	5名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年7月19日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度　第4回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室3	1部　新薬説明会 「C型肝炎治療剤　ジメンシー配合錠について」 演者：BMS新薬株式会社 「緑内障治療剤　アイファガン点眼液0.1%について」 演者：千寿製薬株式会社 2部 「患者のための薬局ビジョン」 実現のためのアクションプランについて 演者：名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森　一博	4名	9名
2017年7月20日	木	19:30 ～ 21:00	パーキンソン病学術講演会 ～チームでパーキンソン病を考える～ 参加対象：医療従事者 ホテルガーデンパレス　葵泉	「当院におけるパーキンソン患者のtilt testの紹介」 演者：名古屋第一赤十字病医院 リハビリテーション科　奥田　哲也	28名	110名
2017年7月25日	木	18:30 ～ 20:30	「第54回東海小児造血細胞移植研究会」 参加対象：医師 安保ホール	小児造血細胞移植に関する最新の医学的知見を現場の医師に広く普及 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　山森　彩子	5名	45名
2017年7月27日	木	19:30 ～ 21:30	第7回みやびの会 参加対象：医師 メルパルク名古屋　4F「葵」	「泌尿器の疾患について」 演者：名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科　部長　加藤　久美子	1名	4名
2017年8月3日	木	19:30 ～ 20:50	「第4回RA臨床セミナー」 参加対象：医師 名古屋クレストンホテル　9Fクラウンルーム	「第4回RA臨床セミナー」 演者：名古屋第一赤十字病院 リウマチ科　副部長　石川　尚人	1名	11名
2017年8月6日	日	10:35 ～ 11:20	平成29年度　医療機器安全基礎講習会（第39回ME技術講習会） 参加対象：医療従事者 imyホール　3階会議室	「医療機器を安全に扱うための医療ガスのトラブルと対策」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学技術第二課　開　正宏	1名	191名
2017年8月26日	土	14:30 ～ 16:00	平成29年度　中村区薬剤師会合同講演会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　バースセンター4F　演習室1	「メマリー錠・OD錠の適正使用」 演者：第一三共株式会社 「地域包括ケアシステムにおける認知症診療 ～薬剤師に期待されること～」 演者：古山医院　院長　古山　明夫　先生	1名	40名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2017年8月26日	土	9:30 ～ 17:35	平成29年度　緩和ケア研修会（8／27も）	「緩和ケア研修会開催にあたって」 演者：名古屋第一赤十字病院　緩和ケア科部長　湯浅典博 ほか5演題	15名	12名
2017年8月30日	水	18:50 ～ 20:55	てんかんを考える会 参加対象者：医師 名古屋大学医学部　鶴友会館　2階　大会議室	「乳児期早期に笑い発作を発症した視下部過誤腫のⅠ例」 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　竹内　智哉	1名	45名
2017年8月31日	火	10:00 ～ 16:00	平成29年度研修会「一般病棟における　うつ・せん妄の 理解とその対応」その② 参加対象：医療従事者 愛知県看護協会	「せん妄の基本的知識」等 演者：名古屋第一赤十字病院 リエゾン　服部　希恵 「うつ病の基本的知識」等 演者：名古屋第一赤十字病院 緩和ケア　看護師　井筥　理江	2名	92名
2017年9月3日	日	10:50 ～ 11:40	「MEセミナー」 参加対象者：医療従事者 八神製作所　8F　サマニアンホール	「HFTについて　～小児から成人の適応と実績～」 演者：名古屋第一赤十字病院 医療技術部　臨床工学技術課　開　正宏	1名	48名
2017年9月11日	月	20:15 ～ 22:00	第25回小児医療センター症例検討会 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「頸部リンパ節腫脹」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　朱　逸清 「発育・発達遅延で紹介されIRUD－Pで診断に至った一例」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　橋本　佑樹 「黄疸と腹痛を呈した女児例」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　奥山　美沙恵 「予防接種の最近の話題」 演者：名鉄病院　予防接種センター顧問　宮津光伸先生	13名	20名
2017年9月14日	木	19:00 ～ 20:30	「第4回名古屋南西部整形外科懇話会」 参加対象者：医療従事者 キャッスルプラザ名古屋　4階「菊の間」	「骨粗鬆症治療の現実と未来への展望」 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　伊藤　彰英	1名	45名
2017年9月20日	水	19:00 ～	平成29年度第5回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室　3	1部　新薬説明会 ①「PCSK9　モノクローナル　レパーサ皮下注140mgペン」 ②「多発性硬化症治療剤　テクフィデラカプセル120．240mg 2部　医療安全対策について 演者：名古屋第一赤十字病院　薬剤部　森　一博	10名	10名
2017年9月27日	水	15:00 ～ 15:40	「認知症勉強会」 参加対象者：医療従事者 エムエスTOWN中村3F	「認知症の方を地域で見守るために必要なこと」 演者：名古屋第一赤十字病院 看護係長　岡田　朋子	1名	25名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2017年9月29日	金	17:00 ～ 20:00	第56回臨技中部圏支部医学検査学会関連事業 学会前日イブニングセミナー 参加対象者：医療従事者 名古屋国際会議場　2号館	「明日から役立つ！免疫染色の現状とこれから」 「どう読む？免疫染色の結果」 演者：名古屋第一赤十字病院 細胞診分子病理診断部部長　藤野　雅彦	2名	70名
2017年9月30日	土	14:50 ～	中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 アルフレッサ（株）名古屋西事業所　会議室	「てんかんについて」 演者：名古屋第一赤十字病院 脳卒中科　馬渕　直紀	1名	17名
2017年10月1日	日	13:40 ～ 14:20	「東海オンコロジーセミナー」 参加対象：医師 名古屋大学附属病院　医系研究棟　B1会議室	「東海ｵﾝｺﾛｼﾞｾﾐﾅｰ」 演者：名古屋第一赤十字病院 産婦人科医長　廣村　勝彦	4名	58名
2017年10月2日	月	17:00 ～ 18:30	平成２９年度地域医療連携診療検討会 （脳卒中地域医療連携パス）	「脳卒中地域医療連携パスの運用状況報告」 演者：名古屋第一赤十字病院　脳卒中科副部長　岡本剛 名古屋第一赤十字病院　医療社会事業司　福岡愛美	16名	32名
2017年10月7日	土	13:30 ～ 16:45	新任者養成研修会 参加対象：MSW ウインクあいち　11階　1104会議室	「医療制度改革によるMSWの業務」 演者：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業課長　榎本　伸一	1名	54名
2017年10月7日	土	17:00 ～ 19:05	臨床セミナー 参加対象者：医師 サイプレスガーデンホテル	「不眠症治療の最前線～睡眠薬の歴史と変遷～」 演者：名古屋第一赤十字病院 診療相談センター長　太田　龍朗	1名	53名
2017年10月14日	土	10:30 ～ 16:10	平成29年生涯教育研修会 参加対象者：医療従事者 （株）名給	栄養アセスメントに基づいた管理計画 演者：名古屋第一赤十字病院 医療技術部栄養課第一栄養指導係長　伴野　広幸	1名	48名
2017年10月17日	火	18:40 ～ 19:00	Immuno-Oncology Seminer in NAGOYA 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　16F「サルビア」	「当院でのニボルマブ使用経験」 演者：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　谷本　光希	1名	50名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2017年10月18日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度第6回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室　3	新薬説明会「オピオイド誘発性便秘治療剤ｽｲﾝﾌﾟﾛｸ0.2mg」 『乾癬治療剤　ｵﾃｽﾞﾗ錠ｽﾀｰﾀｰﾊﾟｯｸ30mg」 演者：塩野義製薬、セルジーン（株） 中村区医師会　在宅療養患者　診療情報提供書の運用 について　中村医師会長　石田　哲也	8名	8名
2017年10月19日	水	18:00 ～ 19:30	看看連携交流会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	がん性疼痛のアセスメントと症状緩和 名古屋第一赤十字病院　係長　志村みゆき	27名	44名
2017年10月21日	土	14:00 ～ 16:00	平成29年度第1回中村区在宅医療研究会 参加対象者：医療従事者 中村区休日診療所	「緩和ケア、終末期における相談援助」 演者：名古屋第一赤十字病院 緩和ケア科　河合　奈津子 医療社会事業課長　榎本　伸一	3名	45名
2017年10月21日	土	16:00 ～ 18:00	第14回名古屋血管外科懇話会 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　16F「サルビア」	「第14回　名古屋血管外科懇話会」 演者：名古屋第一赤十字病院 血管外科　徳永　晴索	3名	22名
2017年10月28日	土	13:00 ～ 17:00	「NPO法人血液情報広場つばさ　フォーラムin名古屋 　血液がんーより良い治療とよりよい治癒」 参加対象：血液がん患者およびその家族 一般社団法人　桜華会館	「リンパ性腫瘍Ⅱ　急性リンパ性白血病」 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　森下　喬充	1名	120名
2017年11月11日	土	17:00 ～ 18:30	Nagoya Biologics Forum 参加対象者：医師 名古屋東急ホテル　3階　葵の間	「高齢者の関節リウマチ治療について 演者：名古屋第一赤十字病院 関節外科　リウマチ科　副部長　石川　尚人	1名	13名
2017年11月15日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度第7回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室3	1．新薬説明会：①「疼痛治療剤　リリカOD錠25mg、75mg」 ②「経口そう痒症改善剤　レミッチOD錠2.5μg」 ①エーザイ（株）　②鳥居薬品（株） 2．超高齢社会におけるかかりつけ医のための適正処方の手引き 演者：名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森　一博	8名	5名
2017年11月16日	木	19:00 ～ 20:30	「西名古屋脳卒中カンファランス」 参加対象者：医師、薬剤師 名古屋マリオットアソシアホテル　17階 「桂」	「嚥下障害患者における内服薬の剤形選択」 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　永田　圭那	1名	33名
2017年11月18日	水	17:00 ～ 18:40	「西名古屋Diabetes ＆ Cardiovascular seminar」 参加対象者：医師 ウエスティンナゴヤキャッスル　3階　萩の間	「糖尿病合併冠疾患患者における脂質治療」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　第一部長　神谷　春雄	1名	15名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2017年11月23日	木	8:30 ～ 18:50	平成29年度愛知県災害医療コーディネート研修 参加対象者：医療従事者 愛知県医師会館	「災害医療コディネート研修」 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	1名	41名
2017年11月25日	土	17:00 ～ 20:00	「在宅を考える会」 参加対象者：医師・薬剤師 名鉄グランドホテル11階　桂の間	「高齢者の心房細動の治療」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　第一部長　神谷　春雄	1名	32名
2017年12月2日	土	17:00 ～ 19:00	愛知県脳神経外科カンファレンス2017 参加対象：医師 ホテル　キャッスルプラザ　4階　菊の間	てんかんに関する最新の情報提供 演者：名古屋第一赤十字病院 脳神経外科　副部長　藤谷　　繁	1名	19名
2017年12月6日	水	17:00 ～ 18:30	平成29年度地域医療連携診療検討会 （大腿骨頸部骨折地域医療連携パス） 名古屋第一赤十字病院 東棟2階　内ヶ島講堂	「現状報告」 演者：名古屋第一赤十字病院　リハビリ第一課長　早川勝 名古屋第一赤十字病院　医療社会事業司　辻村優香	16名	39名
2017年12月7日	木	19:00 ～ 20:15	「ワン・ツーカンファレンス」 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　バースセンター4階　研修室　3	「ワン・ツーカンファレンス」 演者：名古屋第一赤十字病院 関節外科リウマチ科　部長　山本　英樹	14名	9名
2017年12月9日	土	14:30 ～ 16:00	「名古屋市西区　薬剤師会」 参加対象者：医療従事者 中北薬品　天塚第一支店　会議室	「多尿をきたす疾患を鑑別する ～中枢性尿崩症の実態と治療～」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科　部長　尾﨑　信暁	1名	42名
2017年12月9日	土	12:00 ～ 18:00	愛知県肺がんチーム医療ワークショップ 参加対象者：医療従事者 中北製薬　愛知支店	「チーム医療（EBM）に基づいた非小細胞肺がんの治療 演者：名古屋第一赤十字病院 副院長兼　第一呼吸器内科部長　野村　史郎	6名	20名
2018年12月13日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度第8回中村区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室3	1．新薬説明会：①「抗てんかん剤　ビムパット錠50mg、100mg」 ②「月経困難症治療剤　ヤーズフレックス配合錠」 ①第一三共（株）　②バイエル薬品（株） 2．当院の残薬対応の変更について 演者：名古屋第一赤十字病院　薬剤部長　森　一博	5名	18名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2017年12月23日	土	10:30 ～ 17:00	平成29年愛知県放射線治療研究会 参加対象者：医療従事者 名古屋市立大学　医学部研究棟　11階　A講義室	「名古屋第一赤十字病院」 ー当院が経験したRTPSのコミッショニングー 演者：名古屋第一赤十字病院 放射線治療科部　臼井　友彦	5名	131名
2018年1月8日	月	9:00 ～ 17:20	平成29年度愛知県災害医療コーディネート研修 （ロジスティック編） 参加対象者：医療従事者 愛知県医師会館	災害時のロジスティック活動に関する研修 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	1名	89名
2018年1月10日	水	19:00 ～ 20:00	平成29年度第9回中村区区薬剤師会合同勉強会 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階会議室3	1．新薬説明会①「抗ヘルペスウイルス剤　ｱﾒﾅﾘｰﾌ錠200mg」 ②「インスリン製剤　ﾗｲｿﾞﾃﾞｸﾞ配合注フレックスタッチ」 ①マルホ（株）　②ノボルディスファーマ（株） 2．高齢者の医薬品適正使用ガイドライン骨子案について	8名	7名
2018年1月12日	金	19:00 ～ 20:15	NETセミナー 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院	NETセミナー　～診断から治療まで～ 演者：名古屋第一赤十字病院 消化器内科部長　春田　純一	1名	16名
2018年1月13日	土	15:00 ～ 17:30	「第84回　東海呼吸器感染症研究会 参加対象者：医師 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）	「重症レジオネラ肺炎の2例」 演者：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　木村　令	1名	50名
2018年1月13日	土	14:30 ～ 18:00	第46回糖尿病薬物療法研究会 参加対象者：医師、薬剤師薬剤師 ウインクあいち　9F　902号室	「くすりと糖尿病」 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　野村　浩夫	3名	104名
2018年1月25日	木	19:30 ～ 21:00	「Heart　Conference　in Nagoya ～若手循環器内科医の集い～」 参加対象者：医療従事者 ウェスティンナゴヤキャッスル	「心房細動アブレーション周術期の凝固療法（仮）」 演者：名古屋第一赤十字病院 第三循環器部長　嶋野　祐之	1名	17名
2017年1月27日	土	14:10 ～ 15:10	「循環器セミナー」 参加対象者：医療従事者 八神製作所「サマニアンホール」	「トラブルとその対応について」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学技術第二課　開　正宏	1名	22名
2017年1月27日	土	14:50 ～	中村薬剤師会講演会 参加対象者：医療従事者 アルフレッサ（株）名古屋西事業所　会議室	「心不全の薬物療法」 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　副部長　清水　真也	1名	40名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2018年2月1日	木	19:00 ～ 21:00	Urological Cancer Forum 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル16階「アイリスⅠ」	尿路上皮癌に関する最新情報 演者：名古屋第一赤十字病院 泌尿器科　佐野　友康	1名	40名
2018年2月3日	土	16:00 ～ 17:30	日本女医会愛知県支部学術講演会 参加対象者：医師 メルパルクNAGOYA　2階　羽衣の間	「女性泌尿器の種を蒔く ～尿失禁・骨盤臓器脱の初診診療と動向～」 演者：名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科　部長　加藤　久美子	1名	47名
2018年2月3日	土	13:00 ～ 16:00	「在宅医療の概略と医療材料について」 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ4階　演習室1	「在宅医療の概略と医療材料について」 演者：東邦薬品(株)検査薬・ﾒﾃﾞｨｶﾙ事業部 在宅推進チーム	2名	43名
2018年2月6日	火	9:00 ～ 12:10	「専科教育救急科救急課程第27期」 参加対象：救急隊員 名古屋市消防局消防学校	「産婦人科・周産期」 演者：名古屋第一赤十字病院 産婦人科　柵木　善旭	1名	69名
2018年2月7日	水	19:00 ～ 21:00	「第26回呼吸器疾患チーム医療研究会」 参加対象者：医師 イオンコンパス名古屋駅前会議室5階	①「抗菌剤の適正使用について」 ②生物学的製剤投与中の肺感染症について」 演者：名古屋第一赤十字病院 ①呼吸器内科　部長　横山　俊彦 ②呼吸器内科　副部長　高納　崇	3名	27名
2018年2月15日	木	18:30 ～ 20:30	「第7回西名古屋認知症セミナー」 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　バースセンター4階　研修室3	認知症疾患に関する知識の発展 演者：名古屋第一赤十字病院 認知症看護認定看護師　岡田　朋子	1名	35名
2018年2月16日	木	18:00 ～ 19:00	地域医療学術講演会(緩和ケア運営委員会主催) 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	「がんを患う親を持つ子供へのサポート」 講師：独立行政法人国立病院機構　九州がんセンター サイコオンコロジー科　臨床心理士　白石恵子先生	34名	7名
2018年2月17日	土	17:00 ～ 21:00	第3回東海整形外科外来治療研究会 参加対象者：医師 名古屋クレストンホテル	「高齢者における関節リウマチの治療 ～臨床と倫理～ 演者：名古屋第一赤十字病院 関節外科・リウマチ科　石川　尚人	4名	31名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2018年2月24日	土	14:00 ～ 17:00	第29年度第2回愛知県病院薬剤師会妊婦 ・授乳婦部会講演会 参加対象者：医療従事者 TKP名古屋駅前カンファレンスセンター5階5A	「不妊・不育症治療に使用する薬剤と注意点」 演者：名古屋第一赤十字病院 第二産婦人科部長　安藤　智子	2名	76名
2018年3月1日	木	19:00 ～	Prostate Cancer Meeting 2018 参加対象：医療従事者 ストリングスホテル名古屋　3階フローティングテラス	「3大学関連施設におけるエンザルタミドの治療成績」 演者：名古屋第一赤十字病院 泌尿器科　平林　裕樹	5名	39名
2018年3月3日	土	13:30 ～ 14:30	「中川区医師会」特別講演 参加対象者：医師 中川区休日急病診療所3階	参加DRにおける学術知識向上 演者：名古屋第一赤十字病院 関節外科・リウマチ科　山本　秀樹	1名	26名
2018年3月5日	月	20:15 ～ 22:00	第26回小児医療センター症例検討会 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「腹部腫瘤性病変を認めた14才の一例」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　北井　文恵 「出血エピソードを繰り返す1才9ヶ月の女児例」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　川田　しお梨 「選定療養費導入による小児救急師間外受診患者の変化」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　佐治　木大知 「学校検診における成長曲線の活用」 演者：名古屋第一赤十字病院　小児科　西門優一	22名	10名
2018年3月6日	火	18:00 ～ 19:30	名古屋第一赤十字病院学術講演会 臨床研究・治験支援センター主催 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「医学論文を紐解く統計学」 大阪市立大学大学院医学研究科 医療管理学講座　医療統計学 教授　新谷　歩先生	168名	7名
2018年3月9日	金	19:00 ～ 20:15	「第311回東海胸研」 参加対象者：医師 ウインクあいち「1104」	「当院における抗ARS抗体陽性間質性肺炎症例について」 演者：名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科　町井　春花	1名	54名
2018年3月14日	水	9:00 ～ 10:30	「専科教育救急科救急課程第27期」 参加対象：救急隊員 名古屋市消防局消防学校	「医療機関への情報提供と今後の救急医療」 演者：名古屋第一赤十字病院 救急部部長兼救命救急センター長　花木　芳洋	1名	69名
2018年3月14日	水	18:40 ～ 20:00	あいちARTを語る会 参加対象者：医師 ストリングスホテル名古屋	「子宮腺筋症合併不妊治療に関する一考察」 演者：名古屋第一赤十字病院 産婦人科　第二部長　安藤　智子	1名	20名

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2018年3月22日	木	19:15 ～ 20:55	「名古屋西部地区糖尿病スキルアップセミナー」 参加対象者：医師 JPタワー3F　ホール＆カンファレンス	「名古屋西部地区糖尿病スキルアップセミナー」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科　部長　　尾﨑　信暁	1名	23名
2018年3月26日	月	19:00 ～ 20:30	N. Y. C RCC Seminar 参加対象者：医師 ヒルトン名古屋	細胞癌の薬物療法 演者：名古屋第一赤十字病院 腎泌尿器内視鏡外科部長　服部　良平 泌尿器科　平林　裕樹	8名	63名
2018年3月28日	水	15:00 ～ 20:30	「リウマチ患者さまの公園講座」 参加対象者：医師、医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	①「高齢者に対するリウマチ療法について」 ②リウマチと日常生活について」 演者：名古屋第一赤十字病院 ①関節外科・リウマチ科　副部長　石川　尚人 ②看護師　指方　孝子	3名	9名
						5,044名

２．医療社会事業課
（1） 平成29年度年間援助件数

1.ケース人数

《年度実人数》

ケースの区分	実人数
年度実人数	9,500

《月別実人数年度合計》

ケースの区分	入院・外来	実人数
月別継続ケースの年度合計		4,272
月別新規ケースの年度合計	入院	6,725
	外来	2,336
合計		13,333

月別終了ケースの年度合計	9,064

2.年度別延人数

ケースの区分	延人数
年度延人数	46,991

3.新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	1,118
看護師	6,046
リハビリ職	2
その他院内職員	275
本人	666
家族・親戚縁者	452
院外関係機関	451
近隣者・知人	8
ソーシャルワーカー	43
合計	9,061

4.問題

区分	実件数
家族関係の問題	50
介護・療養生活上の問題	5,912
経済に関する問題	326
日常生活上の問題	126
就労・職場の問題	38
教育の問題	1
医療の確保に関する問題	4,093
人権に関わる問題	60
心理・情緒的問題	11
制度活用に関する問題	2,211
その他	139
合計	12,967

5.援助方法

方法		実件数
面接	本人	6,419
	家族	6,667
電話	本人	718
	家族	5,945
訪問	家族	1
	その他	10
同行・同伴・代行		70
文章・FAX		6,115
情報収集		10,479
院内協議・院内カンファレンス		36,521
院外協議・院外カンファレンス		24,287
合同カンファレンス		283
合計		97,515

6.相談援助調整内容

内容		延件数
1.家族関係に関すること		196
2.在宅介護・地域生活に関すること		36,156
3.療養生活に関すること		896
4.経済的問題に関すること		1,344
5.就労・職場環境に関すること		74
6.就学・教育環境に関すること		13
7.虐待・暴力・人権に関すること		496
8.受診・受療に関すること		5,260
9.転院に関すること(医療機関)		26,098
10.他施設利用に関すること		2,515
11.心理・情緒的問題に関すること		76
12.他福祉関係法利用に関すること		8,767
その他		2,236
		0
合計		84,127

7.介入の時期

区分	実人数
1.受診	211
2.外来継続	1,562
3.入院時	279
4.入院継続	592
5.退院期	5,851
6.その他	566
合計	9,061

（２）平成29年度科別援助件数

		家族関係に関すること	在宅介護・地域生活に関すること	療養生活に関すること	経済的問題に関すること	就労・職場環境に関すること	就学・教育環境に関すること	虐待・暴力・人権に関すること	受診・受療に関すること	転院に関すること	他施設利用に関すること	心理・情緒的問題に関すること	他福祉関係法利用に関すること	その他	小計	合計
内科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	52
	通院	3	2	0	0	0	0	1	3	2	1	0	15	21	48	
血液内科	入院	3	836	20	59	10	2	1	125	1,379	82	0	463	219	3,199	4,483
	通院	1	131	19	64	8	3	4	728	60	10	8	225	23	1,284	
内分泌科	入院	0	543	2	27	0	0	0	6	562	42	0	80	11	1,273	1,602
	通院	1	121	11	14	1	0	0	86	21	3	1	63	7	329	
腎臓内科	入院	1	749	6	13	0	0	11	320	1,296	109	0	234	44	2,783	3,342
	通院	2	89	6	7	0	0	0	48	22	2	1	367	15	559	
神経内科	入院	2	2,537	74	71	0	0	3	96	6,541	491	0	677	24	10,516	11,846
	通院	0	311	13	43	2	2	0	235	106	29	0	575	14	1,330	
循環器内科	入院	20	1,775	45	60	0	0	9	21	2,702	312	0	563	227	5,734	6,301
	通院	1	155	10	25	1	0	0	77	24	55	0	194	25	567	
呼吸器内科	入院	31	3,756	39	101	5	0	9	87	3,058	183	4	488	54	7,815	9,116
	通院	2	326	32	39	1	0	0	463	100	38	8	260	32	1,301	
消化器内科	入院	10	3,415	62	80	4	0	5	106	1,106	161	2	418	30	5,399	6,807
	通院	18	235	21	48	0	0	0	499	40	64	7	446	30	1,408	
一般消化器外科	入院	11	2,715	46	85	0	0	0	107	567	250	0	329	68	4,178	5,138
	通院	1	223	58	41	4	0	0	373	42	10	4	182	22	960	
心臓血管外科	入院	0	376	4	28	0	0	0	1	982	28	0	440	731	2,590	2,737
	通院	0	27	0	27	0	0	0	19	6	1	0	58	9	147	
血管外科	入院	0	43	2	3	0	0	0	0	89	6	0	31	78	252	293
	通院	0	22	0	0	0	0	0	5	3	0	0	11	0	41	
呼吸器外科	入院	0	275	2	10	0	0	0	24	122	0	0	18	5	456	616
	通院	0	9	23	1	0	0	0	105	3	4	2	9	4	160	
小児外科	入院	0	9	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	13	17
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	
整形外科	入院	0	11,295	49	27	0	0	7	17	1,510	45	0	378	18	13,346	14,405
	通院	0	381	19	29	0	0	4	99	65	22	0	408	32	1,059	
形成外科	入院	0	52	0	5	0	0	0	0	76	3	0	14	2	152	204
	通院	0	15	0	7	0	0	0	4	2	0	0	19	5	52	
脳神経外科	入院	8	1,229	41	58	0	0	77	21	3,849	144	0	103	25	5,555	6,013
	通院	0	109	32	7	1	0	39	75	42	0	0	139	14	458	
乳腺･内分泌外科	入院	5	195	37	12	1	0	0	74	24	50	3	27	2	430	963
	通院	1	34	85	13	7	0	0	315	6	7	21	41	3	533	
小児科	入院	1	692	14	22	0	0	116	11	171	18	1	212	321	1,579	2,446
	通院	1	324	15	6	4	2	95	159	6	3	0	235	17	867	
皮膚科	入院	1	64	3	0	0	0	0	5	139	31	0	5	0	248	350
	通院	0	10	0	6	0	0	0	26	10	13	0	36	1	102	
泌尿器科	入院	5	939	1	8	0	0	0	18	742	139	0	116	17	1,985	2,380
	通院	3	105	4	26	9	0	0	134	32	15	1	61	5	395	
女性泌尿器科	入院	0	47	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	53	81
	通院	0	0	2	0	0	0	0	14	0	0	0	12	0	28	
産婦人科	入院	35	620	15	80	4	4	67	33	78	6	4	153	2	1,101	1,932
	通院	14	217	33	53	11	0	35	276	49	15	7	118	3	831	
眼科	入院	0	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0	1	0	10	101
	通院	0	3	1	0	0	0	6	20	7	0	0	54	0	91	
耳鼻咽喉科	入院	10	857	15	43	1	0	1	29	294	90	0	155	7	1,502	1,809
	通院	1	80	9	15	0	0	0	72	10	3	1	116	0	307	
歯科･口腔外科	入院	0	149	9	0	0	0	6	2	87	11	0	21	1	286	371
	通院	0	1	2	16	0	0	0	40	5	3	0	18	0	85	
総合診療科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放射線科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	通院	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	6	
化学療法内科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
	通院	0	3	0	13	0	0	0	14	0	3	0	3	0	36	
救急科	入院	0	0	0	7	0	0	0	0	12	0	0	14	0	33	234
	通院	1	1	3	41	0	0	0	4	13	0	0	109	29	201	
その他	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	446
	通院	3	51	10	4	0	0	0	264	19	13	1	41	39	445	
小計	入院	143	33,169	488	799	25	6	312	1,103	25,403	2,201	14	4,944	1,886	70,493	
	通院	53	2,987	408	545	49	7	184	4,157	695	314	62	3,823	350	13,634	
合計		196	36,156	896	1,344	74	13	496	5,260	26,098	2,515	76	8,767	2,236		84,127

(3)平成29年度がん相談支援センター援助件数

1.相談者の状況

	相談形式			相談者続柄				
	面接	電話	その他	本人	家族	知人・友人	医療関係者	不明
院内患者	2,445	1,083	69	1,995	1,173	12	417	0
院外患者	20	85	1	18	52	3	33	0
計	2,465	1,168	70	2,013	1,225	15	450	0

2.現在の治療状況

診断なし	62
治療前	770
治療中	1,801
治療後	103
経過観察中	142
その他・緩和	794
不明	31
計	3,703

3.がんの状況

初発	1,891
再発・転移	1,663
その他	66
不明	83
計	3,703

4.対応内容

傾聴・語りの促進・支持的対応	743
助言　提案	512
情報提供	902
自施設受診の説明	143
他施設受診の説明	234
自施設他部門への連携	272
他施設への連携	887
その他	10
判断不明	0
計	3,703

5.相談内容

	眼 脳 神経	耳鼻 咽喉	食道	胃	大腸 小腸	肝 胆	膵	肺 縦隔 心臓	乳房	子宮 卵巣	前立腺 精巣	腎 尿管 膀胱	甲状腺 副腎	リンパ 血液	骨	皮膚	中皮腫	肉腫 腹膜 後腹膜	口腔	原発 不明	不明	計
がん検診									1	1				1								3
がんの検査			1	1		1		2	5	3		1		4					1	1		20
がんの治療	6	8	5	15	18	12	9	30	44	13	5	8	4	16					6		1	200
症状・副作用・後遺症	1	5		12	29	5	2	31	97	18		2		5		1			1		1	210
緩和ケア	7		6	26	25	31	30	75	8	19	4	17	3	8		1	2	3	5	4	14	288
臨床治験・先進医療														1								1
セカンドオピニオン	8		15	34	37	43	30	68	38	49	12	12	6	224		1	1	2	4	3	1	588
がんの治療実績 がん統計																						0
受診方法・入院		2		1	3		1	5	4	9	1	3		21		2						52
転院・医療機関紹介	34	29	24	100	92	42	28	132	113	23	12	43	6	77	2		1	1	22	2	1	784
在宅医療	7	2	2	19	15	10	2	20	10	8	2	4		6						4		111
日常生活	11	53	11	31	50	60	49	74	33	22	17	48	4	53	2		1		14	6		539
介護・看護・養育	1	1	2	10	46	16	6	5	4			1		6					1			99
社会生活　就労・仕事	1	1		1	1			4	5	6	5			12								36
社会生活　学業・就学																						0
医療費・生活費 社会保障制度	18	34	5	40	85	26	14	102	46	22	14	28	3	168	2		4	1	17	7	1	637
補完代替療法							2	1			2											5
不安　精神的苦痛		3		4	4	5	1	5	10	6	1	3	3	3								48
告知						1	1									1						3
医療者との関係						1		1	2	3	1			10	1			1				20
患者・家族間の関係		1	1	3	1		1	6	1		1	6				1			1			23
知人・友人・職場の人間関係		2										1										3
患者会・家族会 ピア情報									2	1				1								4
がん予防　喫煙・禁煙																						0
がん予防　喫煙・禁煙以外																						0
がんの遺伝														1								1
その他	1	1	2	4	1	1		6	1	2	1			3	1			2			1	27
不明					1																	1
計	95	142	74	301	408	254	176	567	424	205	78	177	29	620	8	7	9	10	72	27	20	3,703

国立がん研究センターがん対策情報センターが提示している相談支援センター相談記録に沿って集計しています。

援助領域の説明

援助の領域の内容については下記のような業務である。

（1）家族関係に関すること
クライエントの傷病が原因で顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下がクライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係調整を行う。
（2）在宅介護・地域生活に関すること
在宅療養を行っている、または行う予定であるクライエントに対する相談、また地域社会資源の説明及び在宅介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、地域関係機関との調整を行う。
（3）療養生活に関すること
入院中の生活問題に対する心理・社会的援助。具体的には入院環境の整備を行う、あるいは療養中に発生する治療以外の原因による患者対患者、患者対職員といった対人関係に問題がある場合、その解決を援助する。
（4）経済的問題に関すること
クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。
（5）就労・職場環境に関すること
クライエント自身の職業選択、職場問題の相談をはじめ、クライエントの社会復帰を目的とする援助を行う。
（6）教育環境・就学に関する相談援助
クライエントに適した就園・就学への相談、クライエント自身の復学等に関する相談援助、環境調整を行う。
（7）虐待・暴力・人権に関すること
家庭内暴力、児童虐待等、身体的・精神的な人権侵害について具体的調整を行う。
（8）受診・受療に関すること
クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントへ受診に関する情報提供や調整や、医師等へ心理・社会的背景や問題の情報提供を行う。また受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対しての援助を行う。
（9）転院に関すること
クライエントに対する他医療機関への紹介、転院の調整を行う。
(10) 他施設利用に関すること
療養可能な生活の場を確保するため、福祉施設及び介護保険施設等への入所を調整する。
(11) 心理・情緒的問題に関すること
主として面接を通し、クライエントとの間でソーシャルワークの原則に基づいた援助関係を築くことにより、クライエントのワーカビリティーを引き出す。
(12) その他福祉関係法利用に関すること
クライエントが利用できる社会保障・社会福祉制度の紹介を行う。

３．社会課

（１）平成２９年度災害救護訓練･研修派遣実績(派遣者一覧)

Ⅰ.臨時救護・行政訓練等への協力事業

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	臨時救護	アイアンマン70.3	6/11（日）	常滑市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
2	臨時救護	豊田地区L.T.C	8/2（水）～4（金）	豊田市	看護師（女性）	1
		岡崎地区L.T.C	8/3（木）～4（金）	岡崎市	看護師（女性）	1
		支部高校L.T.C	8/4（金）～6（日）	岡崎市	看護師（女性）	1
		支部小中L.T.C	8/19（土）～21（月）	岡崎市	看護師（女性）	1
3	臨時救護	中村公園夏まつり	7/26（水）	中村公園	看護師	2
			7/27（木）		看護師	2
			7/28（金）		看護師	2
4	行政等訓練	なごや市民総ぐるみ防災訓練	9/3（日）	中川区	看護師	2
5	行政等訓練	第四管区海上保安本部旅客船事故対応訓練	10/25(水)	常滑市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
6	臨時救護	中村区区民まつり	10/28（土）	中村公園一帯	看護師	2
7	行政等訓練	県営名古屋空港消火救難総合訓練	11/2（木）	豊山町	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
8	行政等訓練	洋上救急慣熟訓練	11/16(木)	常滑市	医師	1
					看護師	1
9	臨時救護	国府宮はだか祭り	2/28（水）	稲沢市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	1
10	臨時救護	マラソンフェスティバル 名古屋	3/11（日）	名古屋市内	救命チーム医師	1
					救命チーム看護師	2
					救命チーム主事	2
11	行政等訓練	愛知県医師会無線訓練	9/5(火)、3/6(火)	当院	社会課	2
12	行政等訓練	名古屋市無線訓練	8/30(水)	当院	社会課	1

Ⅱ.赤十字救護員としての研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内研修	災害救護基礎研修	7/13(木) 7/20(木) 7/27(木)	当院	看護師 主事（事務） 薬剤師 診療放射線技師 臨床検査技師 理学療法士	46
2	支部研修	こころのケア研修会	第1回：7/14（金）	支部	指導者	2
					救護員登録者	8
			第2回：9/15（金）	支部	指導者	3
					タスク	
					救護員登録者	8
			第3回：2/14（水）	支部	指導者	3
					タスク	
					救護員登録者	8
3	支部研修	支部救護員研修	１日目：11/8（水）	支部	災害医療コーディネーター	1
					災害医療コーディネート スタッフ(看護師)	1
					災害医療コーディネート スタッフ(事務系)	3
					企画運営スタッフ 医師：1、看護師3、 社会係長1	1
						3
						1
			２～３日目 11/9（木）～10（金）	日赤豊田看護大学	医師	2
					研修医	2
					看護師長	2
					看護師	4
					助産師	1
					薬剤師	1
					主事	4
4	支部訓練	地域における医療救護訓練	9/10（日）	弥富市	災害医療コーディネーター	1
					災害医療コーディネート	1
					災害医療コーディネート スタッフ(事務系)	3
					企画運営スタッフ 医師：1、看護師3、 社会係長1	1
						3
						1
					医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
5	本社研修	日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会(第3ﾌﾞﾛｯｸ)	6/16(金)～6/17（土）	福井県	医師 看護師 放射線技師	3
6	本社研修	日赤災害医療 コーディネーター研修	第1回：9/15（金）～9/16（土） 第2回:10/14（土）～15（日）	本社	スタッフ スタッフ 本社コーディネートスタッフ	1 1 1
7	本社研修	全国赤十字救護班研修会	第1回 7/1（土）～3（月） 4-6B対象	兵庫県	指導スタッフ	1
			第2回 8/5（土）～7（月） ※要前泊 1-3B対象	石巻市	指導スタッフ 研修生	5 1
			第3回 1/27（土）～29（月） 4-6B対象	本社	指導スタッフ	1
			第4回 2/17（土）～19（月） 1-3B対象	本社	指導スタッフ 研修生	3 2
8	愛知県	愛知県DPAT研修	12/17（日）	愛知県自治センター	こころのケア指導者	1

Ⅲ.病院訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内訓練	大規模災害救護訓練	2月23日(金)	当院	実施要項のとおり	

Ⅳ.日本ＤＭＡＴ・愛知DMAT隊員養成研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	ＤＭＡＴ研修	日本ＤＭＡＴ隊員養成研修	6/8(木)～6/10(土)	国立病院機構大阪災害医療センター	業務調整員	1
2	愛知ＤＭＡＴ研修	愛知ＤＭＡＴ隊員養成研修	2/11(日)～2/12(月)	愛知医科大学	医師 業務調整員	1 1

Ⅴ.日本ＤＭＡＴ隊員研修・訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	ＤＭＡＴ訓練	政府主催広域医療搬送訓練	7/29(土) ※前泊の可能性あり	近畿圏 (三重県)	インストラクター 医師 看護師 業務調整員	1 1 2 2
2	ＤＭＡＴ訓練	平成29年度南海トラフ地震時医療活動訓練(愛知県) (旧:愛知県ＳＣＵ訓練)	1/21(日)	半田市・名古屋空港	運営協力者 医師 看護師 業務調整員	1 1 2 1+α
3	ＤＭＡＴ研修	中部ブロックＤＭＡＴ技能維持研修	第３回：10/21（土）～22（日）	愛知県	ＤＭＡＴ隊員	5
4	DMAT訓練	中部ブロックＤＭＡＴ実動訓練	10/8（日）～9（月）	岐阜県	医師 看護師 業務調整員	1 2 1
5	DMAT研修	統括ＤＭＡＴ隊員養成研修	9/7(木)～9/8(金)	国立病院機構災害医療センター	ＤＭＡＴ隊員	1
6	愛知県災害医療コーディネーター等	愛知県災害医療コーディネート研修会	11/23（木）	愛知県 医師会館	医師	1
7	愛知県災害医療コーディネーター等	愛知県災害医療コーディネート研修会	1/8（月）	愛知県 医師会館	看護師 業務調整員	2
8	DMAT訓練	DMATロジスティックチーム隊員養成研修	12/23(土)～24(日)	国立病院機構災害医療センター	ＤＭＡＴ隊員	1

（２）病院ボランティア活動状況

１．病院ボランティア活動状況（その１）

活動項目	平成２９年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	１．名古屋第一赤十字病院奉仕団 （１） 病院内 ①玄関案内業務(再来受付機、自動精算機含) ②入院患者案内、付き添い ③患者サロンにおける本の整理整頓 ④超音波検査室清拭タオルの整理 ⑤慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃整理 ⑥衛生材料作成 ⑦健康教室受付、チラシ発送作業 ⑧当院機関紙等発送作業作成 ⑨車椅子点検整備 （２）役員会等活動 ①総会　平成２９年５月１日（月）開催 ②役員会・委員会　毎月１回開催 ③勉強会 （３） 関係各機関への協力（病院外） ①日本病院ボランティア協会との連携 ・総会及び1000時間活動表彰式に参加 ②中部善意銀行との連携 ・チャリティーバザーの協力 ③名古屋市社会福祉協議会との連携 ・団員募集の掲示とボランティア保険加入	会員約８０名が月～金に分かれ（１日１０～１６名）８時３０分～１４時まで活動
	２．同朋大学学生　「あんぱんまんサークル」 保育指導ボランティア	小児医療センター 火曜日１８時３０分～１９時３０分 １回約３名
	３．おはなしグループ　「ぽしぇっと」 お話会ボランティア	小児医療センター 第２、４木曜日１５時３０分～１６時３０分 約１，２名
	４．日本ホスピタルクラウン協会 ホスピタルクラウンボランティア	小児医療センター 第１，３木曜日　１５時～１７時 １回約２，３名
	５．特定非営利活動法人「ぷくぷくばるーん」 ばるーんで遊ぼう！ボランティア	小児医療センター 第２火曜日１５時～１６時 約５～７名
	６．緩和ケアセンターボランティア 個人ボランティア、音楽療法、日常生活支援 喫茶、ハンドマッサージ、傾聴ボランティア等	緩和ケアセンター（個人ボランティア） 活動日：平日

２．患者慰問活動

活動項目	平成２９年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
その他地域福祉活動に関すること	１．小児医療センター慰問 ①ひまわり(学級)コンサート　平成２９年９月１３日（水） ②クリスマス会　平成２９年１２月２０日（水） ２．緩和ケアセンター慰問 ①お誕生日会　随時　花束贈呈 ②夏まつり　平成２９年８月１８日（金） ③クリスマス会　平成２９年１２月２１日（木） ④春の音楽祭　平成３０年３月１日（木）	

（３） 地域福祉活動状況

１．平成２９年度赤十字健康教室開催状況

回　数	開催日	講演テーマ	講師 （職名）	参加人員
第１６６回	平成２９年 ５月２４日（水）	【がん化学療法を受けられる方へ】 ～がん診療連携拠点病院からのメッセージ～	【座長】野村　史郎 （副院長兼第一呼吸器内科部長）	100名
		講演１　「わかりやすいがんの治療のお話」	野村　史郎 （副院長兼第一呼吸器内科部長）	
		講演２　「がんの薬物療法について」	櫛原　秀之 （薬剤部　がん化学療法係長）	
		講演３　「治療中の生活について」	濱嶋　なぎさ （看護師長）	
		講演４　「がん治療と医療費」	浅野　賢太 （医療社会事業司）	
第１６７回	平成２９年 ７月６日（木）	【緩和ケア】 ～がんによる心と身体の苦痛を和らげる医療～	【座長】湯浅　典博 （検査部長兼緩和ケア科部長）	95名
		講演１　「緩和ケアとは」	河合　奈津子 （緩和ケア科　医師）	
		講演２　「緩和ケアチームの役割」	志村　みゆき （係長）	
		講演３　「緩和ケアセンターにおけるケア」	平野　美枝子 （看護師長）	
第１６８回	平成２９年 ９月１日（金）	【「救急医療」こんなとき、どうする？】 ～社会で共有する緊急度・重症度の判定～	【座長】花木　芳洋 （救急部長）	112名
		講演１　「口腔の救急疾患」	佐藤　春樹 （歯科口腔外科副部長）	
		講演２　「意識がおかしい！？～大切な人を助けるために、まずあなたができること～」	清水　真也 （循環器内科副部長）	
第１６９回	平成２９年 １１月２７日 （月）	【糖尿病】	【座長】尾﨑　信暁 （内分泌内科部長）	127名
		講演１　「糖尿病とフレイル・サルコペニア ～糖尿病と筋力・活動低下について～」	松原　修 （理学療法士）	
		講演２　「くすりと糖尿病」	野村　浩夫 （医薬品情報係長）	
第１７０回	平成３０年 ３月２４日（土）	【手指の疼痛・しびれ・変形　～なぜ？　どうしたらいいの？～ 】	【座長】洪　淑貴 （手外科部長）	170名
		講演１　「手指の異常　－原因と対策を考えましょうー」	堀井　恵美子 （整形外科部長）	
		講演２　「指の痛み・変形に対するセルフケア」	小川　倫永子・佐藤　陽 （作業療法士）	
合　計	計 ５回			604名

３．平成29年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月／部屋号	月別利用日数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	25
2	0	0	0	14	17	0	0	0	0	0	0	0	31
3	0	0	0	0	0	0	22	30	31	31	19	0	133
5	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	7	31	51
6	0	0	0	0	0	0	0	0	21	31	28	31	111
合　計	3	1	0	14	17	0	22	30	62	65	75	62	351
備　考	総日数	365	日	×	5	=	1,825						
	利用日数	351	日			利用率	19.0	%					

編 集 後 記

このたび「平成29年病院年報」を編集・発行いたしました。

平成29年は、世界では、トランプ米大統領就任、英政府がEU離脱を正式通知、日本では、天皇退位特例法が成立するなど、時代の変化を想起させる出来事がありました。

当院においては、平成29年4月1日をもって創立80年を迎えました。また、尾陽包括ケアの会の立ち上げ、日本赤十字社名誉副総裁高円宮妃殿下、近衞忠煇社長のご視察などの出来事がありました。

このような一年を思い浮かべながら、この病院年報に掲載されている平成29年の業績を振り返りください。

平成29年　病院年報

発行日　平成30年11月
発行者　名古屋第一赤十字病院
院長　宮田　完志
名古屋市中村区道下町3丁目35番地
℡(052)481-5111
編集者　広報活動委員会

委員長	伊藤 雅文	副院長
副委員長	牧村 淳	企画情報課
委員	井上 英則	整形外科部
	横山 俊彦	呼吸器内科部
	根倉 美矢子	看護部
	郡司 昌治	細胞診分子病理診断部
	工藤 祐介	人事課
	井上 千賀子	医事サービス第一課
	山田 敏人	医事サービス第二課
	水野 剛希	放射線診断科部
	新井 千香	看護部
	糸山 久恵	看護部
	辛島 禎史	地域医療連携課
	阿部 沙也佳	企画情報課
	森下 和子	医事サービス第一課
	近藤 尚広	薬剤部
	青木 綾子	会計課
写真班	大野 正美	放射線診断科部
	安井 元規	企画情報課
	山田 達也	薬剤部
幹事	丹羽 雅俊	企画情報課

印刷所　相羽印刷株式会社
製本所　名古屋市守山区瀬古一丁目241番地

病　院　年　報　　平成二十九年

名古屋第二赤十字病院